

史料目録 第118集

信濃国埴科郡松代伊勢町八田家文書目録
(その16上)

令和6年3月

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構

国文学研究資料館
学術資料事業部

史料目録 第118集

信濃国埴科郡松代伊勢町八田家文書目録
(その16上)

The catalogue of historical collections

Vol. 118

The catalogue of papers of the Hatta Family, Merchants and Town Officers
in the Early Modern Japan at Ise-cho, Matsushiro Castle Town, Hanishina County, Shinano Province

No.16-1

National Institute of Japanese Literature,2024

ISBN 978-4-87592-212-4

ISSN2435-2055

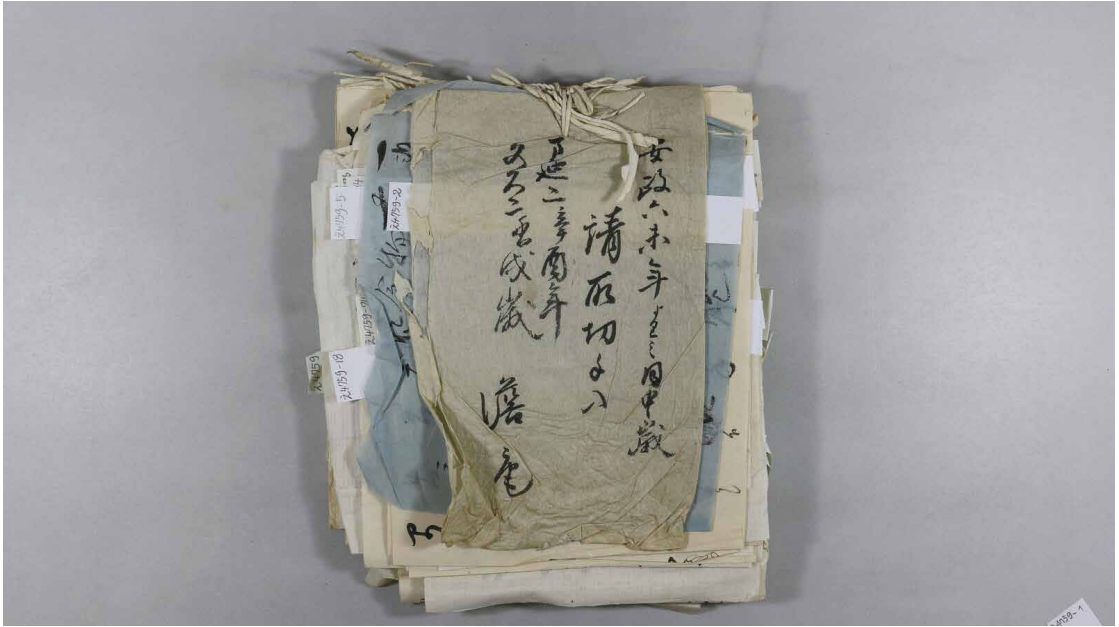


写真1 袋を先頭にした綴の例 (え 4759)

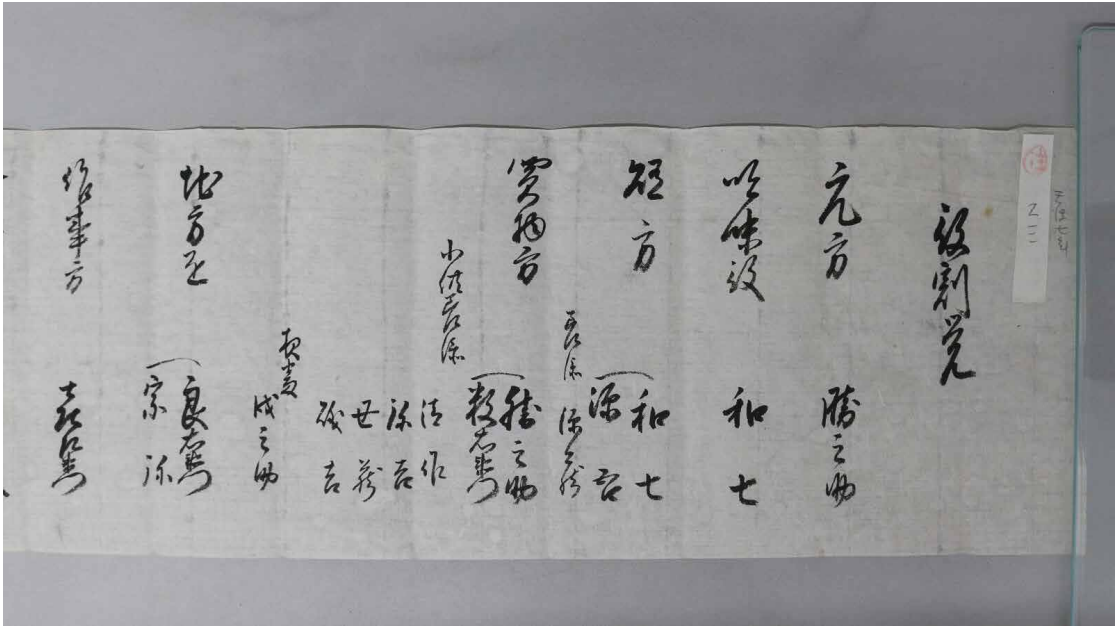


写真2 「役割覚」(え 5142) 冒頭部分。

凡 例

- 1 本目録は、『史料目録』第118集として「信濃国埴科郡松代伊勢町八田家文書目録(その16上)」(文書記号:28B)を取めた。信濃国埴科郡松代伊勢町八田家文書(以下、八田家文書と略)に関しては『史料目録』第41集(1985年)・第48集(1989年)・第50集(1990年)・第94集(2012年)・第96集(2013年)・第97集(2013年)・第99集(2014年)・第101集(2015年)・第102集(2016年)・第107集(2018年)・第108集(2019年)・第111集(2020年)・第113集(2021年)・第115集(2022年)・第117集(2023年)にも収録している。合わせて参照頂きたい。
- 2 目録編成にあたっては、ISAD(G)(国際標準・記録記述の一般原則)の考え方も参考にしつつ、文書群を発生させた組織・集団の機能に留意し、文書群の持つ体系的なコンテクストを把握することに努めるとともに、上記既刊八田家文書目録の階層構造を生かすように心掛けた。
- 3 本文記載は、(1)表題、(2)作成者または差出人、(3)宛名、(4)作成年月日、(5)形態・数量、(6)整理番号の順である。一括状況などの情報は、(5)史料形態に続けて/(半角スラッシュ)で区切った上で、これを明記した。また紙質や保存状態などの情報も同様に適宜注記した。原文書の判読不能箇所などは、[]をもって字数を埋めた。
- 4 表題は原表題のあるものはそれを採り、ないものについては()を付して仮表題を与えた。また、表題のみでは内容が判別できないものについても、簡単な内容摘記を行い、同様に()を付した。
- 5 作成年は和年号で示し、干支だけの場合はそれを採録した。推定年月日については、()を付した。
- 6 史料の形態は、本目録の大半を占める書付文書の場合、縦紙、折紙、縦切紙、横切紙、縦継紙、横切継紙、小切紙、小紙、札などと表記することで、料紙の使用法の違いを示した。冊子型史料では、縦帳については、半(半紙縦折判)、美(美濃縦折判)、横帳については、横長半(半紙横折判)、横長美(美濃横折判)、横半半(半紙横折紙半折判)などの略称によって原書の大概を示した。また絵図類や定形外の印刷物は、縦横の寸法をセンチ・メートル単位で示し、紙継があるものは鋪、ないもの(1枚もの)は枚とした。
- 7 整理番号は、今回新たにこれを付与した。
- 8 本目録は研究部渡辺浩一がこれを担当し、学術情報部の長田直子がこれを補佐した。文書の目録データの作成にあたっては、大銃地駿佑、北村駿之介、黒滝香奈、小池拓海、権英玉、菅原一、関千賀子、鈴木萌花、高井望、高橋梓、土屋岳大、角田くるみ、戸森麻衣子、布川寛大、山田拓実の各氏の協力を得た。

総目次

口 絵

凡 例

総目次

信濃国埴科郡松代伊勢町八田家文書目録（その16上）本文細目次 1

解題

1. 伊勢町八田家文書の目録編成記述の方針 6

2. 機能と組織の概要 7

3. 文書群の階層構造と内容 8

伊勢町八田家系図20

木町八田家系図22

目録本文24

内方（中項目「諸家交流」まで）24

既刊目録に見られる八田家文書群の階層構造一覧 145

（以上、その16上。以下、その16下）

内方（中項目「書状類」から）

店方

町方

松代藩御用

糸会所

産物会所

松代商法社

長野県

松木家

混入文書

信濃国埴科郡松代伊勢町八田家文書目録（その16上）本文細目次

1. 内方	24
1.1. 系図・親類書	24
1.1.1. 由緒	24
1.2. 相続・家督	25
1.3. 家訓・規定	25
1.3.1. 奉公人規定	25
1.4. 家族・奉公人	25
1.4.1. 本家勝手向立直し	25
1.4.2. 婚姻	26
1.4.3. 鉄之助	27
1.4.4. 鉄治郎松村家養子入り	27
1.4.5. 鉄治郎不行跡	27
1.4.6. 鉄治郎金井家養子入り	28
1.4.7. 八田喜兵衛	29
1.4.8. 奉公人勤向	30
1.4.9. 奉公人給金	31
1.4.10. 貸付金	31
1.4.11. 書状その他	31
1.4.12. 娘奉公上り	32
1.5. 親類	32
1.5.1. 増田徳左衛門勝手向立直し	32
1.5.2. 八田本之進跡目	32
1.5.3. 書状	34
1.5.4. その他	36
1.6. 家政	36
1.7. 藩への上納金・才覚金	36
1.8. 藩関係	37
1.8.1. 御目見・拝領・御入	37
1.8.2. 勤務	38
1.8.3. 献上	39
1.8.4. 藩士との交際	39

1.8.5. 藩政	40
1.9. 給人格取立・扶持加増	41
1.10. 土地経営	44
1.10.1. 持地	44
1.10.2. 借家・借地経営	45
1.10.3. 持地・抱屋敷絵図	45
1.10.4. 買取・質取	46
1.10.5. 売渡	46
1.10.6. 家賃取立	47
1.10.7. 年貢諸役上納	47
1.10.7.1. 年貢・小役勘定目録等	47
1.10.7.2. 御飯米一紙目録等	48
1.10.7.3. 配符など	50
1.10.7.4. 明治初年ほか	52
1.10.8. 下屋敷	53
1.10.9. 抱屋敷	54
1.10.10. 小作	54
1.10.11. 土口村	55
1.10.12. 矢代村	56
1.10.13. 生菅村小作	56
1.10.14. 長岡助右衛門小作	56
1.10.15. 小作米日延	57
1.10.16. 東寺尾村	57
1.10.17. 田野口村	57
1.10.18. 清野村	58
1.10.19. 東条村	58
1.10.20. 平林村	58
1.10.21. 田中村	58
1.10.22. 木町	58
1.10.23. 西条村	59
1.10.24. 荒町	59
1.11. 小作年貢滞出入一件	60
1.11.1. 田野口村小作年貢滞一件	60
1.11.2. 中野質地一件	61
1.12. 材木方	61

1.13. 金融	61
1.13.1. 借入金・預り金	61
1.13.2. 貸付金	64
1.13.3. 他家借財片付	73
1.13.4. 無尽	73
1.13.5. 伊勢山田御師広田筑後一件	82
1.13.6. 高遠へ御貸金取立方一件	89
1.14. 飯山領	89
1.14.1. 無尽	89
1.14.2. 訴訟	90
1.14.3. 質地	90
1.14.4. 音信	90
1.14.5. 小作	91
1.15. 岩村田領	91
1.15.1. 御勝手御用	91
1.15.2. 仕送金	91
1.15.3. 小作	91
1.15.4. 貸付金	92
1.15.5. 無尽	93
1.15.6. 訴訟	94
1.16. 赤倉温泉	95
1.17. 出張	96
1.18. 金銭・穀物請払	98
1.18.1. 複数機能に関わる勘定	98
1.18.2. 金銭請取	98
1.18.3. 穀物・諸品請払	99
1.18.4. 金銭払方	103
1.18.5. 売掛金滞	103
1.18.6. 金銭勘定	103
1.18.7. 普請	106
1.19. 賄	107
1.19.1. 諸品請払	107
1.19.2. 献立	107
1.20. 勝手向	108
1.20.1. 勝手向立て直し	108

1.20.2. 家事内尋	108
1.21. 日記・控留	112
1.21.1. 日記	112
1.21.2. 手控	112
1.22. 儀礼	112
1.22.1. 成人	112
1.22.2. 献上	113
1.22.3. 贈答・進物	113
1.22.4. 婚姻・離縁	114
1.22.5. 葬儀・法事	115
1.22.6. 先祖供養	116
1.22.7. 祝儀	116
1.22.8. 年賀状・暑中見舞等	117
1.22.9. 見舞	117
1.22.10. 御礼	118
1.23. 旅	118
1.23.1. 寺社参詣	118
1.23.2. 入湯	119
1.24. 寺社	120
1.24.1. 寺社奉加	120
1.24.2. 菩提寺浄福寺	120
1.24.3. 松代大林寺	123
1.24.4. 高野山明泉院	123
1.24.5. 松代離山神社	124
1.24.6. 和合院	124
1.24.7. 戸隠山善法院	124
1.24.8. 江戸	125
1.24.9. 良性院	125
1.24.10. 諸寺社	125
1.24.11. 諏訪宮	127
1.24.12. 願行寺	128
1.24.13. 本誓寺	128
1.24.14. 長国寺	128
1.25. 家財	129
1.25.1. 武具	129

1.25.2. 諸道具・書画ほか	129
1.25.3. 諸道具貸出	131
1.26. 蔵書・読書	132
1.27. 見聞・風説書	134
1.28. 外交・軍事情報	135
1.29. 諸情報	136
1.30. 文化的活動	137
1.30.1. 武芸・文芸	137
1.30.2. 茶の湯	137
1.30.3. 学芸	139
1.30.4. 能	139
1.30.5. 柔術	140
1.30.6. 手習	140
1.30.7. 占い	140
1.30.8. 俳句・和歌	140
1.30.9. 歴史	141
1.30.10. 佐久間家稽古所	141
1.30.11. その他	142
1.31. 諸家交流	142
1.31.1. 音信	142
1.31.2. 礼状	143

信濃国埴科郡松代伊勢町八田家文書目録（その 16 上） 解題

文書群記号 28B

文書群名 信濃国埴科郡松代伊勢町八田家文書

年代 永禄 4 年 (1561) ~ 明治 25 年 (1892)

数量 1872 レコード

1. 伊勢町八田家文書の目録編成記述の方針―「創られた原形」への注意―

伊勢町八田家文書は、信州松代城下町における御用商人かつ町役人の文書群である。この目録（その 16）には八田家文書の最後の部分（切紙文書）、および 2022 年に書庫内で再発見された黒い衣装ケース（1953 年受け入れ時の収納容器）に入っていた文書（え 4746 以降、堅紙文書や薄い帳面も含む）が収録されている。文部省史料館時代（1950～60 年代）には、文書は受け入れ時に形態別分類が行われて配架された。そのため最初が帳簿、それが終わると一紙ものの文書となり、最後に細かな切紙文書の束となる。八田家文書目録のおおむね（その 10）以降は細かな切紙文書の束の連続であった。しかし、今回 1 箱分の文書が再発見されたため、（その 9）あたりに収録されてもよいような文書、すなわち堅紙で年代・作成者・宛所など基本情報が完備している文書が多数含まれることとなった。しかし、え 4745 以前の文書はそうした基本的史料情報を欠くものが多いので、その部分の特徴に応じた整理方針は以下の通りである。

文書の束は、そこに含まれている文書の内容が多様であり、束ねた意図を図りかねるものが多い。このことから、束の大部分は文部省史料館で形成されたのではないかという疑いがますます強くなっている。特に、写真 1（え 4759）の綴りは、先頭の袋に「安政六未年より之同申歳 請取切手入 万延二辛酉年 文久二壬戌歳 澹庵」とあり、八田家六代当主慎蔵が作成した、1859 年から 1862 年の「請取切手」が入っている袋と素直にみれば理解される。今までこのようなケースは、受け入れ時に袋の中の文書を取り出して広げ、袋を先頭にして綴ったものと理解してきた。しかし、写真を見ればわかる通り、袋は縦 21cm、横 13cm と小さく、綴られた文書全てがこの袋に入っていたとは到底考えられない。この綴りは 134 点ある。受け入れ時に袋内文書に類似形態文書を加えて綴ったものと推測される。いわば「創られた原形」である。こうしてみると、他の袋も「創られた原形」の可能性がある。そうしたことも念頭において、閲覧者は綴られた、あるいは束ねられた文書を閲覧する必要がある。

なお、言うまでもないことであるが、だからといって原形保存に意味がないということにはならない。原形は何段階も存在し、受け入れ時の原形変更もその文書群の歴史の一過程である。その意味では、「原形保存の原則」は「現状保存の原則」と表現を改めた方がよいかもしれない。

そのため、検索手段上では綴りや束の配列を無視して、八田家の内部組織とその機能に即して設定した編成（わかりやすいえば分類項目）のなかに、ばらばらに配列したものもある。なお、当然のこ

とではあるが、東のなかに含まれる東に関しては、同一の機能に即して授受作成された文書の数点のカタマリである場合が多いので、東としてまとめて配列した。ただし、東のなかの東の数点の文書をバラバラの項目に配列したものもある。

なお、国文学研究資料館（歴史資料）の前身である文部省史料館では、書籍類を同一出所文書群から切り離して一まとめにし、「特殊史料」と呼んでいた。現在このコレクション史料の整理が進行中であり、そのなかから八田家文書が原出所であることが明確なものが出てきた。それらは「特」を頭文字とした番号でこの目録に掲出しておいた。以上を付言しておく。

2. 機能と組織の概要—出所の歴史

記録史料群としてのアーカイブズを編成記述するためには、まずもって出所の機能と内部組織の分析が必要である。これは今までの解題で十分になされてきており、ここではその成果に基づいて必要最小限の情報を絞って、八田家の機能と内部組織・関係組織の略述を行う。

松代伊勢町八田家は、木町の本家から宝永4年（1707）に分家し、同6年に伊勢町に居を定めたことによって始まる。以下、八田家の歴史を、後述の文書群の階層構造に関連する事項に限って簡潔に略述する。そのポイントは、八田家の内部組織とその機能、および内部組織以外の諸機能である。記述内容は過去の15冊の目録解題に全面的に依拠する。

八田家の機能は、第一に酒造と呉服を中心とする**商業**である。主要な経営部門が六つあり、それらを統括する内部組織として**内方**（御茶之間ともいう）が置かれていた。内方は家政機関でもあった。八田家には第二の機能として地主としての**土地経営**とそれに密接に関連する**金融**もあり、それらの経営行為を行っていたのは内方である。

内方が統括していた五つの経営部門には、酒造方・呉服店・油店・醤油店・質店があった。酒造方と呉服店はかなり早い段階から存在したようである。これらを**店方**としてこの目録では把握している。それぞれの概要については、中項目の解説に譲る。

以上の諸機能を具体的に担っていたのは当主とその家族、それに多数の奉公人である。当主とその家族に

表1 伊勢町八田家の奉公人役割分担

人名	役割	
勝之助	元方、買物方、質店支配	
和七	吟味役、賄方、伝兵衛銘目、酒蔵支配	
源吾	賄方、役人銘目	
源兵衛	賄方差添	
数右衛門	買物方	
清作	買物方小供差添	
弥吉	買物方小供差添	
丑蔵	買物方小供差添	
磯吉	買物方小供差添	
戌之助	買物方夜番	
良右衛門	地方懸	
宗弥	地方懸	
喜左衛門	作事方、耕作見廻方、酒蔵支配	
民右衛門	耕作見廻世話方	
長治	耕作見廻世話方、供廻り	
初吉	耕作見廻世話方、供廻り	
恒左衛門	耕作見廻世話方	
金五郎	耕作見廻世話方	
七兵衛	杜氏	
久松	杜氏手傳	
蔵之助	杜氏手傳	
太助	質店支配	
栄吉	質店支配	
米八	質店支配	
多七	酒店支配	
和作	酒店支配	
峯吉	酒店支配	
平兵衛	醤油店	
女之部	ふち	部屋遣ひ
	つや	部屋遣ひ
	とり	部屋遣ひ
	きせ	台所
	せん	台所

注記：「役割覚」（八田家文書え5142）から役割を名寄せ

については後継の系図を参照していただきたい。奉公人については、後掲の表3に天保・弘化期(1830～1847)の奉公人の経歴表が掲載されている。今回収録史料のなかに奉公人の役割分担を記したものがあつたので、口絵写真2に冒頭部分を示すとともに全ての内容は表1に掲出する(え5142)。これを見ると、中心的な奉公人4名は兼務が非常に多く、近現代の企業における部―課―係といった機能が相互排他的であるような組織とはおおよそ異なる原理を持つ組織であることが窺われる。

八田家の機能の第三は**都市行政機能**である。八田家の当主が代々**町年寄**を勤めていたことをさす。

八田家の第四の機能は、**松代藩御用**である。給人格御勝手御用役や産物御用掛を勤めており、松代藩の産業政策に深く関与することになる。このことが八田家の第五・第六の機能と組織を派生させることとなる。

以上が純粹に八田家内部の機能と組織である。以下は八田家外部の人間も加わつた組織、糸会所(第五の機能・組織)と産物会所(第六の機能・組織)について述べる。

糸会所の責任者は八田家の当主であるが、副次的責任者は一族すなわち伊勢町八田家の外部の人間であり、場所も伊勢町八田家の所有地ではないところにあつた。半ば外部の組織である。

産物会所の幹部の人的構成は糸会所と基本的に同じである。五代目当主嘉助・六代目当主慎蔵も産物会所掛に就任している。また、産物会所掛役人として松代藩の家臣が8名加わっている点が特徴的である。したがって、この産物会所も糸会所と同様に八田家の内部組織ではなく、外部の組織である。

さらに、明治2年(1869)には六代目当主慎蔵は松代商法社の商法掌に任命され、その経営に参加したものとみられる。しかし、八田家はこの組織に関しては中心的な存在ではない。

3. 文書群の階層構造と内容

以上の八田家の機能と組織の把握に基づき、3221レコード(その16上では1872レコード)の文書に対して細目次のような編成をほどこした。全体的な特徴は書状が非常に多いことである。試みに「書状」で表題欄に検索をかけると868セルという結果が出る。約四分の一が書状とみてよい。書状以外のものも含めて、月日は記されても年代が記されないことが多く、作成者と宛先を欠くものも多いため、目録編成は困難を極める。

「各項目に所属させた文書から業務のプロセスを説明することは難しい」と目録(その11)に書いた。本目録に登録した、え4746以前の文書は断片的なものが多く、同じ小項目のなかでも相互の関係が不明なものも少なからずある。

なお、予算執行の都合から今年度は1872レコードを『八田家文書目録(その16上)』としてPDFで公開する。項目編成でいえば、大項目「内方」／中項目「諸家交流」までである。残り1349レコードは2024年度に『八田家文書目録(その16下)』として公開する予定である。大項目「内方」／中項目「書状類」から大項目「混入文書」までである。

(1) 内方

内方は、経営部門の統括組織であると同時に家政機関でもある。そのため、内方で授受作成される文書は、狭義の家および土地経営・金融等の経営活動に関わる文書である。

「系図・親類書」

この中項目には、八田家の系譜に関わる文書を納めた。小項目「由緒」には、宝暦2年(1752)の三代目孫左衛門が家督相続する前の実名の由来に関する文書の包などがある。

「相続・家督」

六代目慎蔵の家督相続(嘉永5年)にあたっての親族からの書状などがある。

「家族・奉公人」

この中項目は八田家の家族および奉公人に関するものという幅広い内容である。小項目「本家勝手向立直し」は、本家である木町喜右衛門家への伊勢町八田家の介入というサブ機能に関する文書を収録している。今までの目録では寛保3年(1743)(え3605、その9)、文化6年(1809)(え4379-23、その11)のみであったが、今回は天明6年(1786)の史料が出てきている(え4942)。二代目嘉助が四男喜右衛門に木町八田家を相続させたが、今回の史料によれば、この喜右衛門か次の代の喜右衛門の死亡後また木町八田家の存続が危うくなっていることが知られる。

「婚姻」には、初代孫左衛門娘が岡野家に嫁ぐ際の縁組願(享保14年)など4点の文書の包、四代目嘉右衛門の孫養女が岡野家に嫁ぐ際の文書の包などがある。

「鉄之助」。鉄之助は五代目当主嘉助の幼名である。これまでの目録では「鉄之助嫡子」という項目であり、彼を嫡子とした時の文書を所属させていた。今回はその文書ではなく、彼の御目見えなどに関する文書があった。

鉄治郎関係の3項目。鉄治郎は六代目慎蔵の弟で嘉永5年(1852)に江戸浅草馬道町松屋(松村)新兵衛に養子縁組となるが、同7年(1854)には離縁となった。え5001、え4999はその時の関係文書とみられる。さらに彼は、安政4年(1857)に上州坂本宿本陣金井家の養子となったが文久3年(1863)に離縁となる。え4938は、まだ離縁していない段階に関係者の間でやりとりされた書状を中心としている。

「八田喜兵衛」。喜兵衛は文化10年(1827)に別家した人物で、そののち糸会所や産物会所の元方を勤めた。ここに収録した文書5点(え4733-7)からは、この喜兵衛の八田一族内での位置づけが関係者の間で必ずしも共有されていなかったことが窺える。また、この別家喜兵衛は本家である木町八田家の化政期の当主である長左衛門の跡であることもわかる。

「親類」

伊勢町八田家の親類関係の文書を集めた。「増田徳左衛門勝手向立直し」とは、八田家が増田徳左衛

門次女を養女としたことにより縁戚関係があり、増田家に八田家が介入したことから目録(その3)において設定された項目である。もっとも、この項目に所属する文書は(う 489、その3)、(え 3244、その8)、(え 4634-25、その11)、(え 4539-5、その13)に1点ずつ、本目録を併せても合計6点しかなく、介入の経緯は具体的に明らかにならない。ただ、増田徳左衛門自体は呉服方を始めとして多様な関係を八田家ととり結んでいて関連史料はデータベースに多数見られる。

「八田本之進跡目」。本之進は系図にもなく、八田家との縁戚関係が不明であるが、産物会所関係の文書には頻出している。ただし、糸会所・産物会所の役人表(その11、解題)には名前がない。安政期には産物会所で仕事をしていたようであるが、その後精神的に病んだようであり、文久3年時点では既に死去している模様である(え 4234、その11)。この目録には死去前の文書が多く、関係者の間で隠居の相談がなされている(え 4721)。また、本之進が伊勢町八田家に金を無心する書状が多数ある(え 4737)。

「藩への上納金・才覚金」

八田家が松代藩に献金することによって発生する文書のための項目であるが、その点をはっきりしているのは4点のみである。残り4点は「上納」という文言が文書にあるというだけで、ここに所属させておいた。何の上納なのかは実は不明である。

「藩関係」

この中項目は、4番目の大項目「松代藩御用」に属さない、つまり藩の御用を勤める特定の役職にとまなうわけではないが、松代藩との関係で授受作成される文書のために設定されたと理解している。

小項目「御目見・拝領・御入」は、八田家当主が藩主に拝謁したり、藩主から品物を拝領したり、あるいは藩主が城外の何らかの場所に来訪したりした際に授受作成される文書である。なかでも、え 5200は、寛保2年(1742)のいわゆる戊の満水の際、松代城が浸水したため開善寺に藩主とその家族が避難し、そこに八田家が必要な品々を届けたことに対する褒賞である。

「勤務」には松代藩士としての八田家の機能が現れる。え 4737-26は、松代藩が維新政府から命ぜられて岩村田藩士5名を預かったことに関する文書と思われる(『松代町史』上、469頁)。預かった宿所の生活環境改善に関する内容であるが、こうしたことを依頼されるのは八田家当主が三十人扶持を下付されている松代藩士でもあるからだろうか。

「藩政」には松代藩に関わる多様な文書を取めた。松代藩士が新たな役職に就任したことを八田家に知らせてくる書状が5通まとまって存在している(え 4734-8)。享保2年(1717)の松代大火の被害情報を藩が幕府に報告した文書の写しもある(え 4865)。真田家文書からの混入の可能性もあるが、城下町御用町人にはこうした情報も入ってくるとりあえず理解しておく。そのほか、諸大名の知行高書上(え 4748-41)、幕閣の人名リスト(え 4723-2)など、八田家のどの機能に属する文書なのか不明のものもあるが、「藩政」を最大限ゆるく考えてここに所属させておいた。

「給人格取立・扶持加増」

享和3年(1803)2月に四代目当主嘉右衛門が家督を相続し、給人格勝手御用役に任命された時の関連文書を中心とする。任命書写、任命にともなう儀礼関係など関連史料が比較的良好にまとまって現存する。これに付随して、三代目孫左衛門が給人格を申し付けられた件に関する聞き書きが存在する(え5173-2)。この聞き取りは同人死亡の享和3年正月以前に行われたと考えられ、かつこの内容が四代目の給人格就任の際に参照されたと想定されるため、え4748-32のあとに配列しておいた。内容が将棋・軍学・測量・漢詩と多様であるがこれらが武士としての素養と理解すればこの項目の関連史料に位置づけることができる。それ以外は文政7年(1824)8月11日に同人が給人永格を仰せ付けられたことに関する文書である。

以上が八田家の家としての機能=項目である。以下は経営史料である。

「土地経営」

この中項目は、八田家が城下町や村方に土地を所持しそこを経営することによって授受作成された文書のために設けられた。八田家による土地経営という機能に関わるより細分化されたサブ機能に即した小項目と、所持している土地の村・町ごとに細分化した小項目の2種類に分かれる。

小項目「年貢諸役上納」は領主に納める年貢に関する文書である。八田家が多くの子の土地を所持していることから八田家に集積された。本目録に収録した限りでは3種類ある。1つ目は「年貢勘定目録」という縦紙に記され、「南堀村御蔵元」から領主に提出されたものである。2つ目は「御飯米皆済状」ともいふべき切紙形態のもので、領主から村に宛てられたものである。例えば江戸藩邸の飯米という名目で徴収されている年貢の一部であろうか。3つ目は「配符」と呼ばれる切紙形態のもので、村役人や領主から地主八田家役代伝兵衛あてに提出されている。これは(その8)(その9)(その10)にも「御年貢目録」という柱書を持つ文書として収録されているが、本目録の文書はこの柱書を持つものは少ない。以上3種の違いについては、藩直轄地と家臣知行地、地主と村の関係、あるいは単に時期の違いなど多様な要素を考慮しなければならないため、これ以上の説明は整理者の能力を超えている。なお、小項目「明治初年ほか」にあるえ4783の綴りは、耕地絵図や年貢高の書付など合計22通である。明治5年(1872)という年代からみて地券交付関係の文書かもしれない。

「金融」

この中項目は、八田家が金を貸したり借りたりすることによって文書を所属させた。

小項目「貸付金」には、八田家当主が当事者ではない文書が多く含まれる。その理由としては以下が考えられる。まず、八田家の奉公人である場合がある。表1、3のように天保から嘉永期(1830～1854)の奉公人は判明するが、全ての時期の奉公人名が明らかになっているわけではないため、個々に確定はできない。また、別の可能性としては、借金証文は債権証明でもあるから債権者が借金する場合の担保になる。担保としての借金証文と理解できる場合もある。債権者が松代藩士である場合、その借金証文を担保としてその藩士に八田家が金を貸し付けたというケースを想定すれば、八田家が

借主でも貸主でもない借金証文が八田家に蓄積されることが理解できる。さらに、この「貸付金」の項目には、借金証文ではない文書がある。最も多いのは、借金の交渉をしている書状や、八田家が貸与したあとに返済期限の延期を求める書状の類である。そのほか、個別的な例を以下4つ挙げる。

え5047が「貸付金」の所属になる理由は以下の通りである。綿貫村長四郎が中島村佐元太から田地を買い取るにあたり、八田家から金を借りている。包紙に記されている通り、本証文は田地売買証文であり、八田家が貸したことにともなう文書は添証文なのではあるが、この2通の文書は八田家の貸付機能によって八田家に蓄積されたと理解できる。

え4801は、鍵屋七郎平から関田庄助あての借金返済にともなう文書である。八田家が貸し付けたわけではないが、端裏貼紙に「金貳拾貳兩利分鍵屋七郎平方へ致助成候ニ付右請印書関田氏より到来」とある通りに、この貸借関係に八田家に関与したために八田家に蓄積されることになったものである。八田家自身が貸し付けているのではないから別に小項目を立てるのが理想だが、現状は小項目が多すぎる問題を感じており小項目を増加させることは避けるべきなのでこの項目に置いた。

え5092も説明が必要であろう。作成者の八田鉄次郎は三代目孫左衛門の幼名である。したがって、八田家が約295俵の「子納御年貢次証文」を受け取り「御引替」を松代藩士と思われる3人の人物に求めているという内容となる。「年貢次証文」とは何か。そのヒントは八田家文書え245-115の小さな書付のなかにあった。

寛保元酉年御年貢次被仰付候御書付

八田嘉助御用立候金子へ同人致所持候田地年貢改差継候義ニ付、先年御用立候金子之利足江次可申哉、新納□(達か)方へ次可申哉、先達而相伺候、何れ成共差継為取可被申候、以上

九月廿二日

これによると詳細は不明ながら、「年貢次」は八田家の金融活動と関係があることが判明する。したがって、八田家所有地の年貢関係の文書ではなく、八田家の金融活動にともなう文書であるから小項目「貸付金」に位置づけておいた。なお、え245-155は反故紙が多数入った袋のなかにあったもので、大雑把な文書整理では目録に出ない文書である。丁寧な文書整理と微細な目録の有効性を示している。

「無尽」。特定無尽の一件袋がいくつかあるが、帳簿が含まれていないため無尽の運営全体が判明するものはない。ただ4735の束は37点ある。これは八田競(木町八田家の分家の系統)を預かり主とした無尽関係の一連の史料である。え4758の18点は、無尽それ自体の文書ではないが、会合の献立など無尽運営文書群の末端部分として興味深い。

「伊勢山田御師広田筑後一件」。伊勢御師の広田筑後は信濃国を旦那場としていた。広田筑後家の相続の際、居宅普請のための勤化を松代藩領内の檀家に依頼した。しかし広田筑後手代岩出六右衛門の普請仕方に不行き届きがあったことから、明和6年(1769)に松代藩領内の檀家と広田筑後の間で争論が始まり、広田筑後の借財を公家花山院名目金で賄ったことから新たな争論も発生し、長年にわたる争論となった。この関係の史料はこれまでの目録に多数収録され、経過や関係人物については(その13)の解題に詳しい。金融関係の争論であるため、中項目「金融」に属している。今回は約100点まとまって出てきている。まず、宝暦13年(1763)からの伊勢講帳簿が注目される(え4764)。これにより、争

論発生前からの伊勢講の状況を把握することができるだろう（ただ虫損が激しく後半は綴じがはずれているため保存措置が必要である）。また、明和8年（1771）一件内済後の史料が文政期まで多数見られる。これらから経過を把握すれば、これまでの目録も含めて多数の書状を始めとする無年号史料の活用が可能となる。この一件の全貌を明らかにする条件が整ってきたといえるだろう。

「飯山領」

「岩村田領」

八田家が飯山領や岩村藩領で行った経営活動に関する文書を集めた。両藩に対して八田家は融資しており、領内の村々がその抵当として質地となり毎年作徳を八田家に納めていたが、しばしば滞納が起きたため争論も発生している。そうした訴訟関係の文書も含まれる。

「赤倉温泉」

八田家の醤油店（松井店）は文政初年に越後赤倉に出店し、穀店と温泉宿を営んだ。そのためこの関係の文書は（その1）と（その7）では店方／醤油店に属していたが、理由は不明であるが（その9）以降は「内方」のなかに移された。この点利用には注意が必要である。

「金銭・穀物請払」

この中項目は、八田家「内方」が商取引活動をしたことにもなう文書のための項目として設定されたものと推測している。

最初の小項目「複数機能に関わる勘定」は、従来の「店方へ下げ金・上納金」の意味の幅を広げた項目である。細かな書付でも八田家の多様な商業・金融活動にまたがる内容を持つものがあつたため、経営全体に関わる文書をここに集中させることとした。

八田家の家族や奉公人の生活のための食料購入などについては「賄」の方に分けた。内方の商取引活動の中核は各店舗の営業報告を総合して経営全体を把握することであろうが、そうした関係の帳簿は（その1）あたりの初期の目録にあり、今回の分も含めて最後の方の目録は雑多な物品の数・量や値段の書付ばかりである。小項目「穀物・諸品請払」はそういう類の書付を集めている。また、「金銭勘定」には何らかの金銭の計算をしている書付を入れた。これらの文書は、八田家のどの機能に属するのか不明であるものが多く、そうした場合には全てこの項目に所属させた。

「勝手向」

家政改革関係の史料のための中項目である。小項目「家事内尋」は、え4778の束のみであるが69点ある。年代が記されている数点はいずれも天保10年（1839）である。本当に家政改革に関する文書なのか疑わしい文書もあるが、現状を尊重してここにまとめておいた。家政改革のための諸帳簿（い316・い319、その2）を作成する準備段階の書付類かもしれない。

御手縮御手段一条書留日記〔家政逼迫ニ付、立て直し手段〕、天保9年10月7日～2月21日（あ

1497、その1)

嘉右衛門口上書〔家事改革始末方之儀ニ付〕、(天保10年)4月、惣之進・孝助宛(あ2747、その1)に見られるように、天保10年には家政改革の検討を行っているようなのでそのように推測した。なお、この二つの文書は、目録(その1)では03.家訓・規定/02.勝手向取締(家政立て直し)にいずれも所属しているが、ここ10年の八田家文書目録は家政改革に関しては、中項目「勝手向」を使用し、中項目「家訓・規定」のそれは取締りに限定して使用するようになっていると見受けられるため、え4778をこの項目に置いた。

「儀礼」

八田家家族の出生・節句・元服(成人)・婚姻・葬儀など人生儀礼に関わる文書が中心だが、贈答儀礼や年始挨拶・暑中見舞などの儀礼的書状も含んで設定された中項目である。今回は小項目「贈答・進物」に関する書状が多い。

「旅」

八田家家族の営業や領主御用や町年寄などの公用が目的でない私的な旅行に関する文書の項目である。「社寺参詣」と「入湯」に分けている。

「寺社」

八田家が関係する寺院と神社に関する文書のための項目。八田家の菩提寺である田中村浄福寺に関する文書が多い。文政3年(1820)に本堂が焼失し再建することとなったことがわかる文書が、え5186である。この関連とみられる文書(え4742-10、え4980)が存在するが、年代不明のため確定できず集中して配列していない。

「見聞・風説書」

軍事・外交以外の災害を始めとする多様な情報に関する文書を入れた。そのなかには、京都天明大火(え4924)や江戸の文化3年大火(え4935)、さらに文政11年越後長岡地震(え4716-8-2)といった災害情報が含まれる。また、明治3年(1870)の松代騒動に関連すると思われる稚拙な仮名書きの文書もある(え4712-11, 13)。

「外交・軍事情報」

前の中項目「見聞・風説書」に意味としては含まれるのではあるが、八田家文書目録では独立した中項目になっている。松代藩が幕末に海岸防備に従事した関係からか、藩の御用商人八田家にもこうした情報が蓄積されている。今回は、海岸防備関係の地図が目立つ。また、え5049「応接警衛之記」は横浜における異人応接に関する詳細な日記である。

「文化活動」

これまでの「諸芸」という表現を改めた。その理由は「歴史」という小項目を新たに設定したためである。八田家自身の由緒とは別に、過去に対する多様な関心のもとに入手した当時でも古文書の写の類を所属させた。そのほかは、八田家当主とその家族が嗜んでいる芸能・学問関係の文書を収めた。おおむね種類別に小項目を立てた。このなかで「佐久間家稽古所」という小項目を新たに設けた理由は芸種が多様である可能性も考えたからである。

「諸家交流」

多様な家や人物と往返される書状のうち、営業や諸種御用、儀礼関係のものを除いた書状を「音信」と「礼状」に分けて配列した。

【参考文献】

国立史料館・国文学研究資料館編『信濃国埴科郡伊勢町八田家文書目録』その1～その15（1985～2023年、国文学研究資料館情報リポジトリでPDF閲覧可能）

西村慎太郎「商家文書の史料群構造分析」（国文学研究資料館編『アーカイブズの構造認識と編成記述』思文閣出版、2015年）

渡辺浩一「日本近世・近代在地記録史料群の階層構造分析について」（上掲『アーカイブズの構造認識と編成記述』）

表2 文政4年八田家所有地一覽(松代藩領内分)

区分	項目	面積/屋敷地数	備考
御持地御高小作入御居屋敷御抱屋敷間数貸貸付覚	御居屋敷	1カ所	
	御添屋敷	1カ所	
	御抱屋敷	1カ所	
	東木町御抱屋敷	1カ所	
	伊勢町御抱屋敷	4カ所	
	下伊勢町西側御抱屋敷	2カ所	
	西木町御抱屋敷	1カ所	
	鏡屋町御抱屋敷	1カ所	
	新西木町御抱屋敷	1カ所	
	伊勢町東側御持屋敷	1カ所	
	中町御抱屋敷	1カ所	
	田町御下屋敷西続	1カ所	
	町分	4石3斗4升8合	
	田中村	2石5斗8升8合	内、小作地1石2斗7升2合
	河原新田	2石3斗3升3合	内、小作地1石3斗3升3合
	荒町村	15石4斗3升4合	内、小作地9石5斗8升6合、手作1石8斗4升8合、および収納粗4合
	西条村	2石2斗6升4合	すべて小作地
	馬場形御高請之場所	4石9斗4升	すべて小作地
	東寺尾村	3石4斗1升7合	内、小作地2石5斗6升7合、手作8斗5升および東寺尾村地所砂溜り新田1割21坪余り
	東条村	28石6斗7升8合	内、東条村北組無役本田木立2斗1升6合(小作入粗3俵手作、残り小作地)、小作22石5斗8升3合、手作6斗8升3合
	鍊光寺御朱印地	4斗1升7合9勺	すべて手作地
	東福寺村	6石8斗7升1合	内、東福寺村畑方無役本田5石9斗8升(小作入粗35俵手作、同14俵3斗小作)、その他はすべて小作地
	清野村	5石4升4勺	および起地所新田1割坪数146坪、坪御用地冥加粗上納之場所此坪34坪(すべて小作地)
大林寺御朱印	3石7斗1升6合	すべて小作地	
西寺尾村御高辻之内岡神明	1石4斗9升1合6勺	すべて小作地	
□(貼り紙により判読不能) 仮舟渡下土手外北添草野	29坪		
□□(貼り紙により判読不能) 舟渡道より東八番目割開発	103坪	すべて手作地	
御取替金為引当御引請之分	光徳院分	6石8升4合	明屋敷
	矢代村御高辻之内	22石3斗2升7合3勺1才	無役本田
御高地木立	東条村南組	7斗4升5合	
	牧内村	1斗5升4合	すべて小作地
	平林村	2斗2升2合	すべて手作地
御持山	神主小河原紀伊殿	山高初3斗	小作入1俵2斗5升(内2斗5升小作/1俵手作)
	東条村南組	山高初2石9斗6升5升7合5勺	すべて小作地
	東条村北組	山高初5斗4升9合	すべて小作地
	平林村	山高初3斗7升	つくた山1斗8升(手作)/宮崎東富田山1斗9升(小作地)
	荒町村	山高初1石3斗4升3合8勺	内、小作山5斗9升4合8勺/手山7斗4升9合
	清野村	山高初2斗4升	すべて小作地
	土口村	山高初9斗6升	
	皆神山御分地山	山高初6斗1升	すべて小作地
浄福寺殿御引請之分	田中村	11石1斗3升9合	および坪数新田畑162坪5合
松屋惣左衛門より引請之分	清野村	11石6斗2升2勺	

出典：文政4年10月「御持地御高小作人入帳」(整理番号あ588)より作成。

表3 天保・弘化期八田家年季奉公人一覧

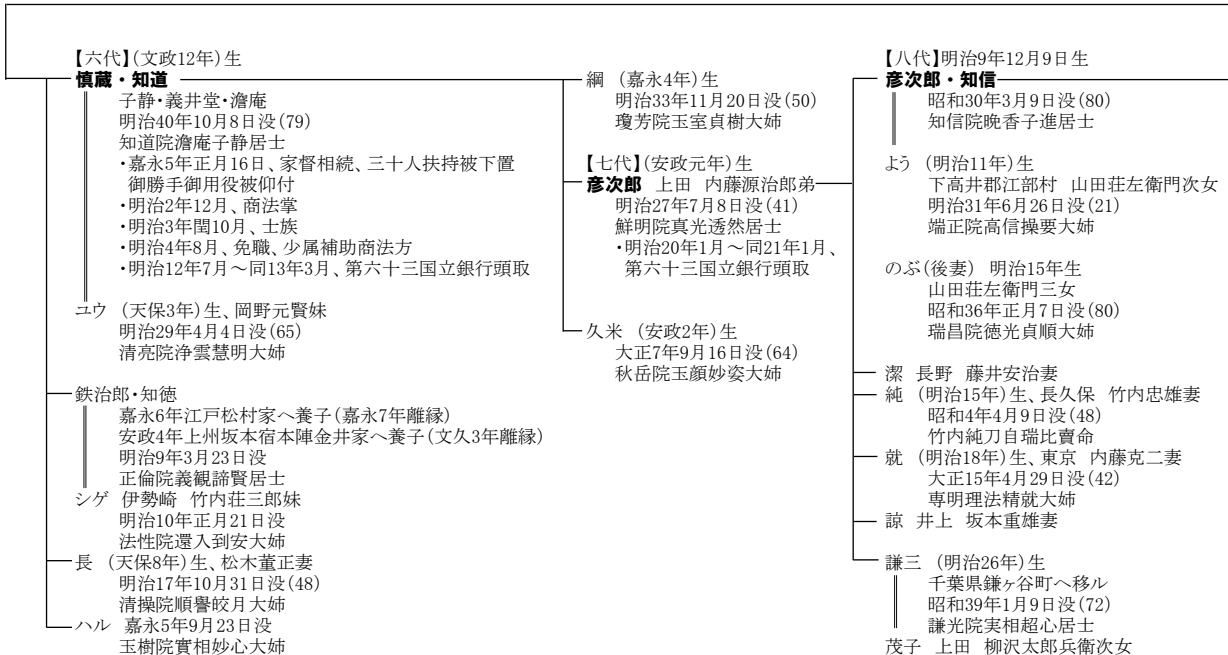
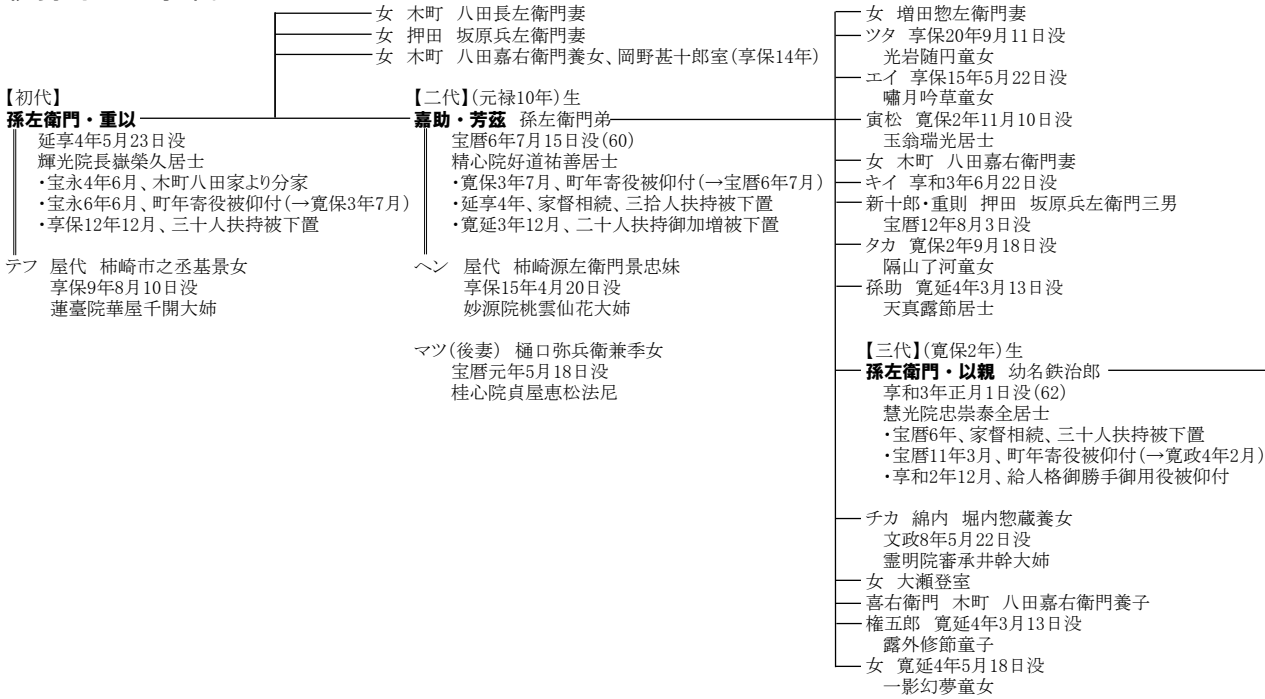
No.	氏名・出自・年齢等	履歴
1	和七	天保六未年二月役代伝兵衛名目相勤候様申渡之、役料忝人扶持差遣候事 天保七申年凶作ニ付町方名主米穀□□(欠損)歎願ニ付融通米元方相勤候之様申渡候、右大儀ニ付戌正月被下帷子差遣候事 天保八申(ママ)年御巡見様御宿相勤候付伝兵衛上下御免被成下有之付同人罷出御セわ相勤候事 天保十□□(欠損)年八月暇差遣候得共、役代之儀者其俣申渡有之
2	数右衛門	(記載なし)
3	多七	(記載なし)
4	勝之助	享和年中迄長々相勤候ニ付東木町持地之内江家名差免、出店為致候伊七悴文化十五寅年二月質店江召抱候 文政七申年三月廿三日支配人万吉退役ニ付跡役申渡之 天保十亥年十二月市兵衛与改名申渡之 同 十二丑年十二月酒店調申渡之 同 十三寅年二月酒店兵吉後見役申渡之 同 十五辰年八月質店相勤候付支配人再勤申渡之
5	和作	(記載なし)
6	栄吉 善光寺西之門町 当辰十式才 但同町古着中買喜助口入人	天保三辰年十月十五日質方江召抱候 同 六未年八月元服申渡之 同 七申年正月勢州代参申渡之 同 八酉年十一月四日久助与改名申渡之 同 十亥年呉服店の方相勤候様申渡之 同 十三寅年病氣ニ付宿下ケ致置候処養生不行届病死致候
7	米蔵 善光寺長野町 当未拾三才 但	天保六未年三月召抱候茶之間ニ而召遣 同 七申年二月質店江差遣 同 八酉年十一月酒店可相勤候様申渡之 同 十亥年十月廿五日元服申渡之 同 十一子年正月六日立代参相勤候様申渡之 同 十二丑年二月暇差遣し木町惣兵衛方江召抱ニ相成候事
8	※ 多助 善光寺撞堂村	天保六未年五月先年呉服店相勤候処、此節隠居致用向も有之候ハ、召遣呉候様深美甚十郎を以申開付、質店勝之助手助之もの入用之段申上候付、雇同様ニ而召遣候、手充之儀者一ヶ年壹両貳分宛差遣し候積り 天保十五辰二月角本より暇差遣事
9	丑蔵 中町松のや要左衛門悴 当申十三才	天保七申年二月十九日召抱質店ニ而召遣 但去未二月中目見致候へ共幼少ニ付宿下ケ当月より罷越 天保十一子年十月廿五日元服并佐助与改名申渡之 同 年五月中より呉服店相勤候様申渡之 同 十二丑年正月代参申渡之
10	清作 徳間村千左衛門子 当申十三才 但同村友吉口入人	天保七申年二月十九日召抱茶之間ニ而召遣 同 九酉年十月酒造方相勤候様申渡之 同 十二丑年二月暇差出し角本店江差置候事
11	友吉 徳間村	天保八酉年七月召抱候 但此者召抱候儀今般産物方御手放ニ相成候付売買所被 仰付候、然ル処是迄産物品取扱候者無之候付此者御会所買次相勤居、此度御手段替之訳柄手前渡世ニ相成兼候儀ニ付、段々質店勝之助を以内願候付此方ニ而無人旁其段御会所江相伺、同居罷在候内川村清十一同召抱候、右ニ付一ヶ年妻子扶助金拾貳両宛手充致遣候筈取極、弥呉服商売出精相勤候上者、相当之手充金可遣趣ニ而召遣候事 同 年十二月十五日急病ニ而角居ニ死去致候

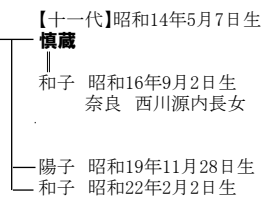
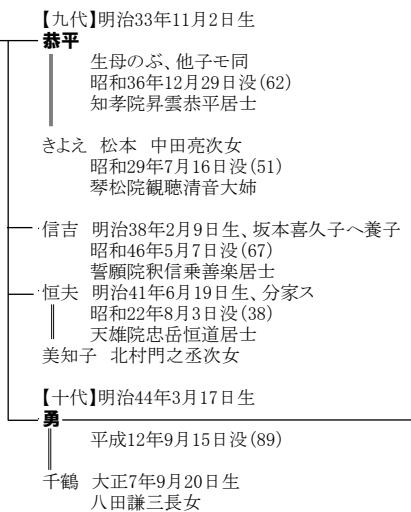
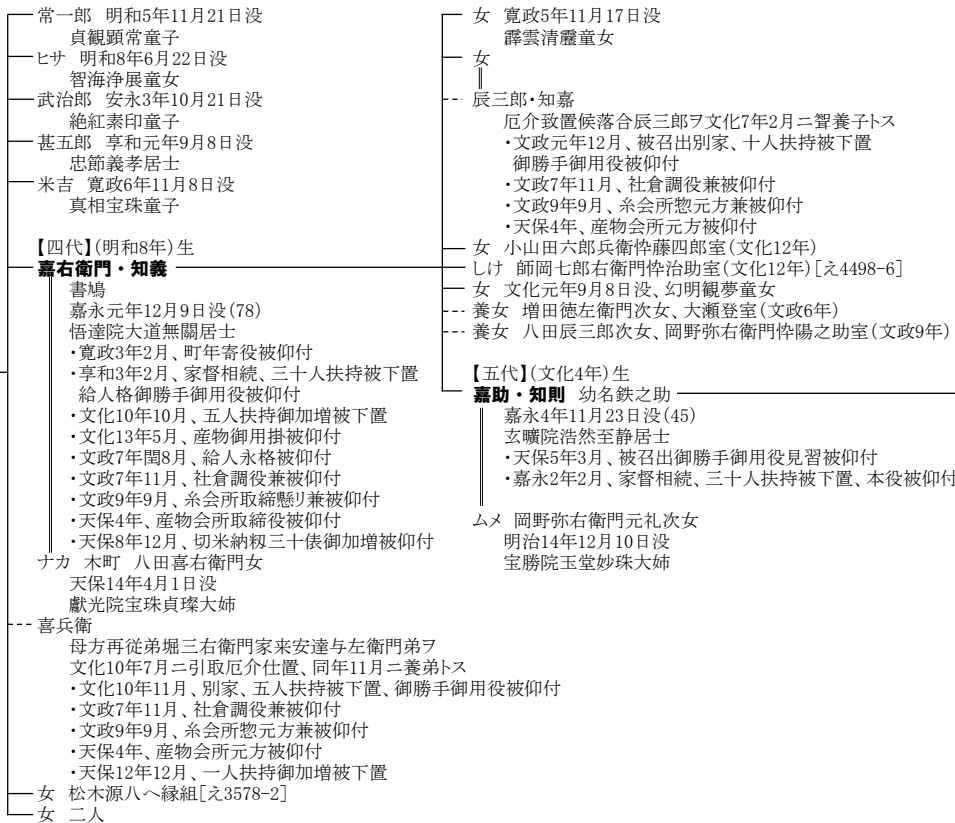
No.	氏名・出自・年齢等	履歴
12	清十 内川村伊左衛門子 但右友吉召連成候者	天保八酉年七月召抱候 天保九戌年正月友吉死去ニ付跡支配申渡之 同 二月上方注意廻りとして上京為致候 天保九戌年中召遣下女之儀ニ付甚不都束之身持候得者、下女暇出候而内分致置候処其後 迎も開置候杯と風説有之候付、同十亥年正月利七を以心得方相尋候処無其訳書差出候 付、向後申含候様申渡之差免置候事 天保十二丑年角居産物商売而巳ニ而者不都合人数も御座候付、呉服小売商売致候方可然 見込ニ付、市兵衛申立其手段為取計候事 同 十三寅年従 公義諸国一統御趣意被仰出、呉服品之内御差留之品等多分有之、仕入 物之内損金ニ相立候由ニ而寅卯兩年棚卸調帳不差出候事
13	春作 当西十三才 徳間村左右衛門子	天保八酉年七月友吉召遣居ニ付一同召抱候 同 十一子年十月廿五日元服并正助と改名申渡之 同 十三寅年正月代參相勤候様申渡之
14	富吉 専納村八左衛門子 同人死失兄良助 当西十才 但	天保八酉年十月廿六日呉服店江召抱候 同 元服申渡之 同 十四卯年正月代參相勤候事
15	莊吉 内川莊三郎子 当西 但清十同村ニ付親召連	天保八酉年十一月十五日右同断 天保 元服申渡之 同 十五辰年正月代參相勤候事
16 ※	勇助	天保九戌年六月中西條村藤吉親類之者商見習として召遣呉候様内願ニ付、其段召遣候事 但酒店和作不都束之勤方ニ付宿下ヶ致候処跡役仕候間、九月中より跡役為相勤和七後見 致候様申渡候事 丑年中暇呉候事
17 ※	甚助 稲荷山宿当丑	天保十二丑年 月召抱角居ニ而当座等脚布商売相始為取扱度段申立、壹ヶ年金拾兩宛手 充之極
18 ※	定治郎 森村民之助子	天保九戌年十一月召抱茶之間召遣候 但亥四月暇差遣候事
19	喜左衛門 大渡村	天保十亥年二月年季ニ相極召遣候酒造方支配役 但去申年二月より一季勤ニ而三兩式分宛手充致、酒造方和七支配下江為相勤候処酉年酒 造方振合相役候付支配役申渡、当二月中内願ニ付妻子扶助手充金差遣し年季ニ相極候事 天保七申年違作ニ付酒造御差留御座候間、大瀧村重左衛門方ニ而出造可致内請候而同人 江元メ役申渡罷下り候ニ付、紬嶋羽織一差遣候事 天保十二丑年迄酒造方任置候処、丑十月酒蔵調申渡候得共勘定帳不差出候付、和七・市 兵衛立合取調為致候処、以之外不勘定ニ而其上不都束之儀に多分候付、翌寅年段々相調 当人より本帖等を以侘書差出候間、勘弁相加卯年二月暇差遣候事 但当人引負金廿兩余手充之趣証文受取置候事
20	彦市 当戌四十五才 越後国頸城郡春日新田出 塩屋新田村 当戌四十五才	天保九戌年九月喜左衛門罷越召抱候者酒造方杜氏役一ヶ年金拾兩極 天保十一子年十月中病身煩ニ付暇出し国元江差戻候事
21 ※	甚十郎	天保十亥年二月一季勤 但酒店手段替候付仕入方之もの無之候付、喜左衛門口入ニ而召抱油仕入方為相勤候事、 尤手充之儀者出精振ニ而相極差遣し候筈、質店多助同様之積り 子二月暇差遣之事
22 ※	儀助 当時江戸詰御安口下座見平治子 当亥十二才 但裏町安右衛門同人叔父ニ付召連 相願候付召遣候事	天保十亥年八月十二日為雇召遣候事 病身ニ付十月暇差遣候事

No.	氏名・出自・年齢等	履歴
23	藤作 紺屋町藤吉子当寅十三才	天保十三寅年二月召抱候而呉服店ニ而召遣候事
24	大助 雨の宮村 当寅十式才	天保十三寅年二月召抱候而呉服店ニ而召遣候事 天保十五辰年十二月中高崎布袋屋買役茂助江相願差遣置候事
25	栄吉 越後国頸城郡 当亥	天保十亥年九月彦市召抱来候者酒蔵働役申付 同 十一子年十月より杜氏申渡一ケ年給金七兩式分極 弘化二巳年正月勢州代参申渡之
26	清五郎 ※ 越後国頸城郡杉沢村 当卯	天保十四卯年二月酒蔵江召抱候 一季奉公壹ケ年給金貳兩宛極
27	兵吉 大室村 当亥	天保十亥年二月酒店江召抱候 同 十三寅年二月酒店支配喜左衛門跡役申渡之五ケ年季一ケ年衣束代金貳兩宛差遣年季明之上者、金拾五兩手充被下候取極
28	音松 ※ 越後国杉沢村	天保十五辰年二月召抱候酒蔵働 一季抱給金貳兩極 但巳二月暇遣候事
29	廣作 ※ 鬼無里村	天保十五辰年二月一季抱給金三兩式分極 但巳二月暇差出候事
30	政太郎 ※ 市兵衛粹 当十三才 中町より雇人大助	天保十五辰年八月中質店相開候付召遣候
31	増七 中町栄八弟 当辰	天保十五辰年 月中より召抱候者 茶之間取次役申渡其後九月中役人源吉暇差遣候付右跡締等仮ニ申渡置候 弘化二巳年二月年季奉公ニ取極候事 但壹ケ年貳兩宛衣束代被下五ケ年明候節金拾五兩手充之極
32	長之丞 大室村 当巳	天保十五辰年七月中兵吉口入ニ而相雇酒店ニ召遣置申候 弘化二巳年二月五ケ年季奉公ニ召抱候 但壹ケ年壹兩貳分宛衣束被下年明候節金拾兩手充之極
33	藤三郎 ※ 森村彦之助弟 当巳十五才	弘化二巳年二月牧内村庄吉口入ニ而召抱酒店ニ而召遣候事

出典：史料番号 28B あ 548 「天保七申年三月改 年季奉公人抱帳 役代伝兵衛」より作成
 ※は貼り紙による情報

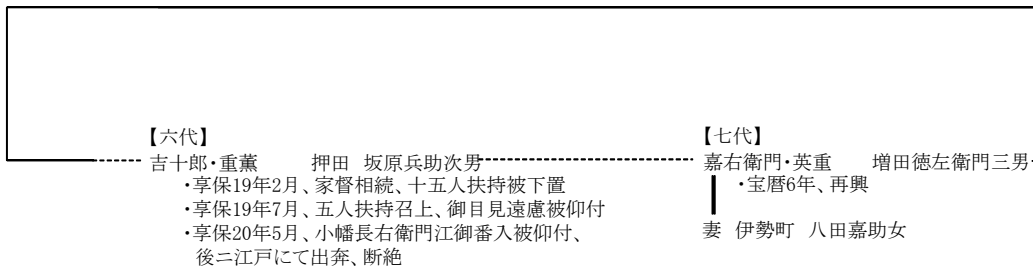
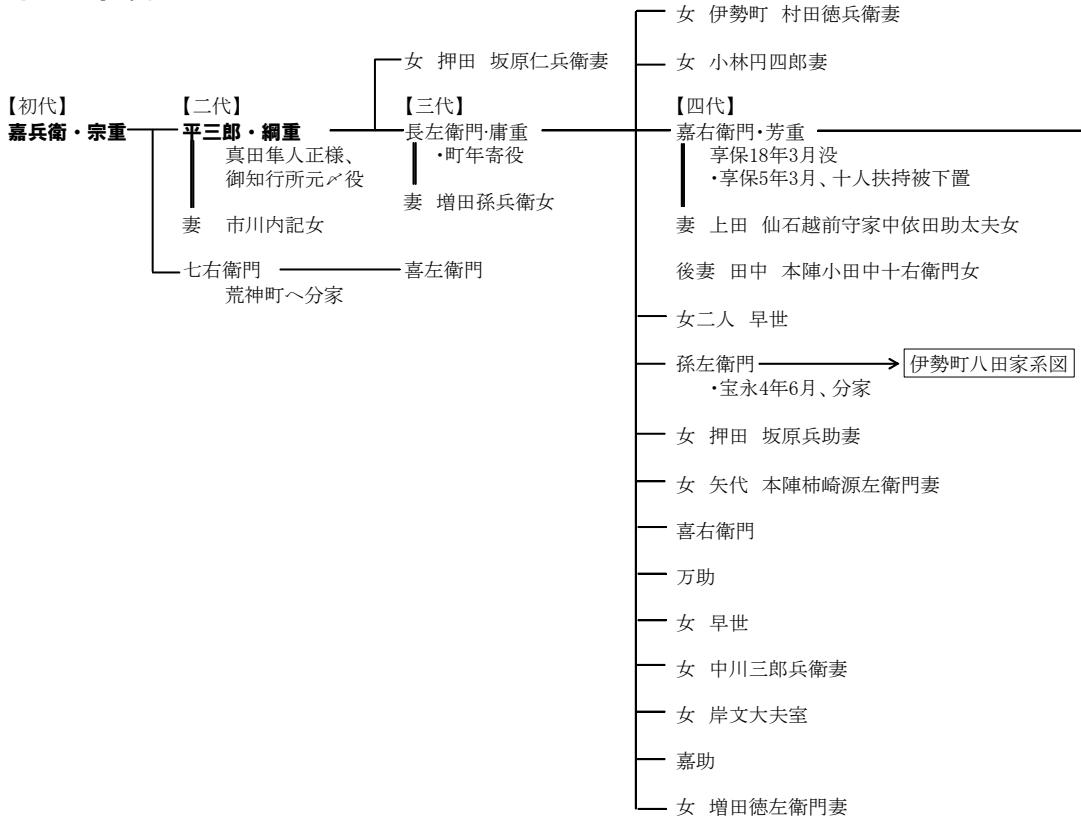
伊勢町八田家系図





◎『史料館所蔵史料目録』第41集154頁～157頁に基づいて、加筆の上、作成した。
◎点線は養子・養女・養弟を示す。二重線は夫婦を示す。
◎出典:既刊『史料目録』96・97集所収に補訂した。

木町八田家系図



----- 養女 伊勢町八田孫左衛門女、岡野甚十郎室(享保14年)

【五代】

長左衛門・昭重

- 享保19年2月没
- ・享保9年7月、被召出七人扶持被下置、刀御免御物成御用勤被仰付
- ・享保11年12月、給人格被仰付
- ・享保12年10月、御郡奉行支配二被仰付
- ・享保13年8月、種貸役被仰付
- ・享保18年3月、家督相続、十五人扶持被下置

妻 伊勢町 八田孫左衛門女

惣三郎 後二競ト改ム

- ・十人扶持被召出御番入
- 後信安公御近習被仰付
- 名競ト被下置御加恩百石被下置馬場屋敷被下置

室 岡野甚十郎女

女 樋口一角室

女 高田幾太室

競

室 木町 八田嘉右衛門女

【八代】

喜右衛門・嘉重 伊勢町
八田嘉助四男

女

女 八田競室

女 大瀬登養女

【九代】

長左衛門・資親

【十代】

喜兵衛

◎『史料館所蔵史料目録』第41集152頁～153頁に基づいて、加筆の上、作成した。
◎点線は養子・養女・養弟を示す。二重線は夫婦を示す。

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
(包紙) *(包紙上書)「御実名・御居判 八田孫左衛門殿」		包紙/(え4937-2~4は包紙一括)・1点	え4937-1
(八田孫左衛門実名・花押由来書) 勘者 高久右文→八田孫左衛門殿	(宝暦)如月中瀨日	折紙/(え4937-2-2~5はえ4937-2-1に挟込み)・1通	え4937-2-1
(以親花押)		堅切紙・1通(2枚)	え4937-2-2
(八田新十郎実名・花押由来書) 戸田主水章劉識[印][印]→八田新十郎殿 甲寅出生男	宝暦2壬申歳今月吉日	堅継紙・1通	え4937-2-3
(八田孫左衛門実名由来書)		横切紙/(え4937-2-4-1はえ4937-2-4-2を挟込む)・1通	え4937-2-4-1
(「喜翌」由来書)		堅切紙・1通	え4937-2-4-2
(八田新十郎花押)		堅切紙・1通	え4937-2-5
(包紙) *(包紙上書)「居判」		包紙/(え4937-3はえ4937-4の包紙)・1点	え4937-3-1
(以親花押)		折紙・1通	え4937-3-2
位牌(清寒院一翁居士ほか2名戒名・命日書付) *(包紙上書)「位牌 松城木町八多長左衛門」/(包紙貼紙)「上田本陽寺拙家石牌有之候由及承候間 蓮乗寺上人へ相頼候而致詮義候所 別紙之通石塔二基有之旨尤牌免も附置候様及承候則不相分候 文政三辰二月十四日喜兵衛挨拶ニ遣候」 松城木町八多長左衛門	文政3年	堅切紙/(包紙共)・1通	え5192
(包紙) *(包紙上書)「八田過去帳写 右之内法名有之候而俗名不相分候分多有之候而格別入用無之候得共 上州市川家法名俗名押田坂原家も有之候間 右等相分兼候儀も有之候ハ、見調可申事 知義」 (八田)知義		包紙/(え4777-2~4は包紙一括)・1点	え4777-1
(八田家過去帳写)		横長半・1冊	え4777-2
増田系(延宝10年~安永3年増田家の俗名法名書上)		折紙/紙背利用・1通	え4777-3
(樋口弥兵衛・柿崎源左衛門母ほか俗名・法名書付札)		札・22点1綴	え4777-4
(伊勢町八田家・木町八田家の代々当主名前書上、吉村祖父・養父および喜多村光俊父・祖父名前書上)		綴・1綴	え5009
(八田本家・分家由緒書、家祖甲州八代郡古関村産、武田家没落後松代城下へ移住、当喜兵衛迄9代相続仕来に付)		横切紙・1通	え5159

1.2. 相続・家督

(書状、御家督の御礼に付、御名代首尾好く相勤め別紙共差し上げ御入手成し下さるべきに付) 友吉→(八田)慎蔵様申上	2月11日	横切紙/(え4714-1~18は紙縫一括)/(え4714-1-1~9は紙縫一括)・1通	え4714-1-4
覚(青銅100匹献上ほか先例あり御取拵・御認等迄宜しき様願ひ、入料の儀は松木氏へ相送り同人より御請取り成し下さるべきに付) *(端裏朱書)「此通りニ而相済申候」(八田)慎蔵	正月16日	横切継紙・1通	え4714-1-5
(書状、御家督の御礼首尾能く済み目出度く存じ奉り、委細山崎よりも申し上げるべきに付) 源太郎→(八田)慎蔵様	2月12日	横切継紙・1通	え4714-8
(書状、御殿若殿様御名代にて貴君家督の御礼山崎友吉殿御名代にて首尾能く申し上げ滞りなく相済むに付) 源太郎→(八田)慎蔵様	2月9日	横切継紙・1通	え4714-9
(御家老8ヶ所へ400文などメ金1分銭1貫241文御礼金銭書付) *(端裏書)「跡目御礼之一巻」		折紙/(え4722-1~9は紙縫一括)・1通	え4722-7
(跡目格式相続御礼関係書類一括)		巻込一括/(え4722-8-1~3は巻込一括)	え4722-8
(松木様ほか10名へ跡目並びに格式御礼申し上げるに付書付)		切継紙・1通	え4722-8-1
(跡目相続の御礼青銅100疋など御家老ほかへ御礼金ほか書付)		横切紙・1通	え4722-8-2
(御家老矢沢但馬様ほか御中老などへ御礼相手役人書付)		横切継紙・1通	え4722-8-3

1.3. 家訓・規定

1.3.1. 奉公人規定

家法定(その役場勤向き専ら心がけ家法乱さず出精あることなど他18ヶ条)		横切継紙・1通	え4822
-------------------------------------	--	---------	-------

1.4. 家族・奉公人

1.4.1. 本家勝手向立直し

(書状、去暮中御世話御心付下さる河内屋と木町喜右衛門後家金子出入の義、後家方より御頼み申すに付、双方得心の上御取計い下さるべきに付) *(書状上書)「矢嶋源左衛門様 小野喜右衛門・山越六郎右衛門」	正月21日	横切紙/(え4748-1~67は一綴)・1通	え4748-54
(木町喜右衛門金子証文並びに木町喜右衛門後家酒蔵稼ぎなど包紙とも綴り)		綴/(え4942-1~9は一綴)・1綴	え4942
(包紙) *(包紙上書)「木町より差出置候古証文調書 亥六月」		包紙・1点	え4942-1
覚(喜右衛門並びに同人役代より差し上げの金子証文書付15通など)		横長半・1冊	え4942-2

1. 内方/1.4. 家族・奉公人/1.4.1. 本家勝手向立直し

仁熊村分(酉4月より天明3年11月までメ13通金子証文書付)		折紙・1通	え4942-3
請取書(酉正月より寛政2年正月までメ10通金子請取証文書付に付)		折紙・1通	え4942-4
(坂本氏・青柳氏とも金10両ずつ預り、内方御分証文書付)		切継紙・1通	え4942-5
乍恐以上書奉願上候事(酒造り仕来りの処、夫病死に付、酒蔵並びに諸道具御預けに付) 木町喜右衛門後家・(奥書)五人組・名主→御町年寄衆中・検断伴三郎兵衛殿	年号月日	堅紙・1通	え4942-6
乍恐以上書奉願候御事(手前の酒蔵など一式借用、商売の木町圓蔵ら3名、借株にては仕り難き処、私近く再開に付継続願ひ) 木町喜右衛門後家	寛政元酉年8月	堅紙・1通	え4942-7
乍恐以上書ヲ以奉願上候(更級郡稲荷山町文右衛門ら3名、冥加永上納せず農間に少々酒蔵稼ぎに付、以降は上納の上継続願ひ) 松平伊賀守領分稲荷山町三人→御奉行所様篠田五郎左衛門様	天明6年午3月8日	堅紙・1通	え4942-8
乍恐以上書奉願候御事(夫喜右衛門死去の後勝手向き難渋に付、御本金5ヶ年延引並びに新規拝借願ひ) 木町喜右衛門後家・役代・五人組	天明6年午9月	堅継紙・1通	え4942-9

1.4.2. 婚姻

(包紙) *(包紙上書)「享保十四酉年四月廿九日差出候願書等書類 おゑん縁組 願書亦書入」	享保14年	包紙/(え4900-2~5は包紙・紙縫一括)・1点	え4900-1
口上覚(私養女孫左衛門娘、岡野甚重郎方へ縁組願ひ) 八田嘉右衛門→矢沢刑部左衛門殿・恩田木工殿・望月治部左衛門殿	(享保14年)4月29日	堅紙・1通	え4900-2
口上覚(私養女孫左衛門娘、岡野甚十郎方へ縁組願ひ) 八田嘉右衛門→三人殿	(享保14年)4月	小切紙・1通	え4900-3
御願書(立紙に認めるべきなど、縁組の願ひ書き形式など書付)	(享保14年)	折紙・1通	え4900-4
覚(八田嘉右衛門より御取り持ちをもつて普請金200両遣わされ確かに受取に付) 岡野甚十郎(印)→片野道益老	享保14年酉5月7日	堅紙・1通	え4900-5
(岡野弥右衛門殿御嫡子へ辰三郎娘を貰いたき件、御示談の上、金30両御取替に付) (八田)知義記之	文化13丙子4月10日	堅紙・1通	え5122
(孫養女縁組関係文書一括)		包紙一括/(え5076-2~5は包紙一括)	え5076
(包紙) *(包紙上書)「覚 岡野弥右衛門」	(文政9年)	包紙・1点	え5076-1
覚(今般私孫養女致し岡野陽之助殿へ縁組に付、持参金65匁の内、35匁仰せつけられ、残り3匁引越しの節差出し申すべきに付) 八田嘉右衛門印→平林縫殿進殿	(文政9年)戌2月	横切継紙・1通	え5076-2
覚(文化12年12月中の借金に付、返済請取証文) 八田嘉右衛門内浦野忠七→布施五明村利左衛門・藤兵衛	文政9戌8月	横切継紙・1通	え5076-3
覚(私孫養女に致し岡野陽之助殿へ縁組に付、残り3匁引越しの節差出申すべき旨、引越しの節まで万端宜しきよう取り計らい下さるべきに付) 八田嘉右衛門(印)→平林縫殿進殿	(文政9年)戌2月	堅紙・1通	え5076-4

覚(今般倅陽之助へ八田嘉右衛門殿御養女縁組に付、持参金65匁の内残り3匁引越しの節まで万端宜しきよう取り計らい下さるべきに付) 岡野弥右衛門(印)→平林縫殿進殿	(文政9年)戌2月	堅紙・1通	え5076-5
((佐久間)先生より於長殿の世話を頼まれた件に関する存寄書) *下書		折紙/(え4725-1~14は紙縫一括)/ (え4725-4-1~3紙縫一括)・1通	え4725-4-1
(八田嘉右衛門殿娘、小山田藤四郎殿へ御引越御婚姻、御祝儀向に付、書付) 片山弥友	12月	横長半/下札あり/(虫損甚大)/ (え4933-1~2は旧封筒一括)・1冊	え4933-1
(弥右衛門殿・嘉右衛門殿結納御祝儀物に付、書付)	亥□月	横長半/(虫損甚大)・1冊	え4933-2

1.4.3. 鉄之助

(書状、先般倅鉄之助婚儀相整い御挨拶に付) 八田嘉右衛門→法華堂様・並木甚右衛門様・渡邊大蔵様貴報	3月27日	横切紙/(え4716-1~8は紙縫一括)/(え4716-8-1~8は紙縫一括)・1通	え4716-8-5
(書状、恩借金の書留帳が見つからざるに付証文を一寸御覧置き下されたきに付) * (書状上書)「鉄之助様 専之丞」 専之丞→鉄之助様	弥生未ノ2日	横切紙/(え4724-1~34は紙縫一括)・1通	え4724-21
(八田嘉右衛門倅鉄之助御目見並びに半元服願書一括)		旧封筒一括/(え4929-1~3は旧封筒一括)	え4929
口上覚(当年15歳にて倅鉄之助初めて御目見のところ、頻尿煩いにより見合わせ御頼みに付) *下書 八田嘉右衛門→岡嶋莊蔵様	5月9日	横切紙・1通	え4929-1
口上覚(倅鉄之助今年17歳になるにより半元服仕らせたき旨の願書) 八田嘉右衛門→金井左源太殿・鹿野外守殿・岡嶋莊蔵殿・望月権之進殿	3月21日	堅紙・1通	え4929-2
口上覚(倅鉄之助今年17歳になるにより半元服仕らせたき旨の願書) *下書 →金井左源太殿・鹿野外守殿・岡嶋莊蔵殿・望月権之進殿	3月	堅切紙・1通	え4929-3
(御用の儀あり、次男鉄之助召し連れ、明日4時登城あるべきに付、奉書) * (包紙上書)「奉書」/(上書)「八田嘉右衛門殿 恩田鞆負」	2月17日	横切紙/(包紙共)・1通	え5118

1.4.4. 鉄治郎松村家養子入り

目録(麻上下、絹小袖などめでたく受納くだされたきに付) 松村新兵衛→八田慎蔵殿	月日	堅紙・1通<2枚>	え5001
---	----	-----------	-------

1.4.5. 鉄治郎不行跡

覚(八田鉄治郎殿御身分御世話御用立として金15両受納めに付) 聖矢町箱尾松五郎(印)→本石町四丁目森尾仲右衛門殿	嘉永7寅10月25日	堅紙・1通	え4999
--	------------	-------	-------

1.4.6. 鉄治郎金井家養子入り

(袋) * (袋上書)「文久元年辛酉三月中より之来簡入 同五月初旬迄 澹菴」澹菴(八田慎蔵)	文久元年	袋/(え4938-1~18は一綴)・1点	え4938-1
(書状、おとよ殿一条訴訟いたしたく叔母など申し諭すに付ほか) * (書状上書)「伊勢町様 松山丁」松山丁→伊勢町様	8日	横切継紙・1通	え4938-2
(書状、木町一件及びおとよどの一条に付相談したきに付) * (書状上書)「澹菴君 恕堂□」恕堂□→澹菴(八田慎蔵)君	8日	横切紙・1通	え4938-3
(書状、長しけにて舟とまりに付飯米1俵時貸し願いたきに付) * (書状上書)「八田様 佐久間」佐久間→八田様	29日	横切継紙・1通	え4938-4
(書状、高嶋表梶山の縁女一件決着に付ほか) 金井鉄次郎→御兄上(八田慎蔵)様	4月16日未下刻	横切継紙・1通	え4938-5
(書状、鉄治郎様よりの御差替金10円の内1円お送り下さるに付) * (書状上書)「慎蔵様御書□ 恭治」恭治→(八田)慎蔵様	4月13日	横切継紙・1通	え4938-6
(書状、借金60両の内縁女結納のため50両出金しその他時借も致し返金不能に付ほか) (金井)鉄次郎→御兄上(八田慎蔵)様	4月26日	横切継紙・1通	え4938-7
(書状、両3日の間200疋借りたきに付) * (書状上書)「おこふさま 弥右衛門」弥右衛門→おこふさま	8日	横切継紙・1通	え4938-8
(鬼無里・善光寺両所より麻などの振荷として172文ほか取り渡すに付)		横切継紙・1通	え4938-9
(呉服荷の分250文ほか荷駄賃の事笑止千万にて取り渡すに付)		横切紙・1通	え4938-10
(書状、祖母不快落着の事並びに愚妻一件諸方穿鑿の事ほか) (金井)鉄次郎→御兄上(八田慎蔵)様	正月29日	横切継紙・1通	え4938-11
(書状、離縁一件・鉄次郎病気ほかにより借入金返済引に付) (金井)鉄次郎→御兄上(八田慎蔵)様	3月9日	横切継紙・1通	え4938-12
(書状、母上様・姉上様へ手紙差し上げざることご用捨くだされたきに付)		縦切紙・1通	え4938-13
(松木へ半紙・風呂ほか贈答品書付)		横切継紙・1通	え4938-14
(書状、離縁一条に付養父への御手状の返書を申請う事及び長刀不用の事ほか)		横切継紙・1通	え4938-15
(書状、借入金の内10両及び利息分1両10月中までに返金に付ほか) 金井鉄次郎→八田御兄上(慎蔵)様	4月6日夜子刻認	横切継紙・1通	え4938-16
(書状、拙宅甥の妻行状よろしからざるにより離縁に付) * 後欠/(袋上書)「反古母上御望可被成候」(金井鉄次郎)		横切継紙/(袋共)・1通	え4938-17
(書状、200疋時借りの御礼に付) * (書状上書)「お鴻さま 弥右衛門」弥右衛門→お鴻さま	15日	横切紙・1通	え4938-18
(書状、湊川御覧も済んだならば申し上げかねるも御返却成し下される様願ひ奉るに付) * (書状上書)「鉄次郎様 嘉吉拜」嘉吉→鉄次郎様	9日	横切継紙/(え4737-1~68は紙縫一括)・1通	え4737-20

(書状、赤倉も善光寺開山仰寺の祭礼済み、帰りの人々等大勢来たり、芝居も大入りにて御祖父様も前日御見物あり御悦びに付) (金井)鉄治郎→御父上様	6月17日	横切紙/(え4744-1~5は括紐一括)/(え4744-1-1~30は巻込一括)・1通	え4744-1-25
金子借用証文之事(金5両入用に付借用申す処、返済の儀、当亥9月まで元利共返すべきに付) *(端裏書)「同年十二月十九日帰る 八田鉄次郎殿」 金井鉄次郎(印墨消)→関田莊助様	申年4月	縦紙・1通	え5124

1.4.7. 八田喜兵衛

乍恐以口上書奉願候御事(去12月中御恩借金65両など主人八田喜右衛門当8月中死去するにより返上仕りかねるに付) *(包紙上書)「竹内様証文下書右之通相認坂本氏ニ差出ス」 八田喜右衛門跡見世伴頭喜兵衛、(奥書)八田孫左衛門→竹内庄左衛門様御役人衆中	安永6酉年12月	切継紙/(え4722-1~9は紙縫一括)/(包紙共)・1通	え4722-9
(書状、訴訟に付、度々拙坊方へ罷り越し、前々の通り御出入仕りたく御聞き済み下さる様願うに付) *(外包紙上書)「五人扶持御加増之所養弟喜兵衛江配別家被成下候節より配当祝物多少之義付明音講寄合之上拙家へ出入致間敷与申合之由、然ル処芦原勾当より以前之通岩都致房江頼ニ付致承知候御長屋へ罷越為挨拶右紙面入置」/(外包紙裏書)「文政四巳年三月岩都も早速此方よりも為挨拶使忠七被差遣候」/(封紙上書)「八田嘉右衛門様 芦原勾当」 芦原勾当→八田嘉右衛門様	文政4(年)3月21日	折紙/(え4712-1~26は紙縫一括)/(包紙共)・1通	え4712-4
(包紙) *(包紙上書)「天保八酉年十二月廿五日 寺町御家統柄之訳合ニ而被仰渡候御奉書壺通御書付壺通並御差控御伺書案文共」	天保8年	包紙/(え4733-1~7は紙縫一括)/(え4733-7-2~6は紙縫・包紙一括)・1点	え4733-7-1
(喜兵衛家御立についてこれまで心得違などあるも八田長左衛門苗跡と心得る様仰出されに付奉書) *(包紙上書)「天保八酉年十二月廿五日被 仰付候 御奉書壺通御書付壺通」 →八田嘉右衛門・八田喜兵衛	天保8年12月25日	横切継紙/(包紙共)・1通	え4733-7-2
口上覚(先年より心得違不都東の申立て仕るにより差控あるべき哉八田嘉助をもって伺い奉るに付) *(包紙上書)「口上覚 八田喜兵衛」 八田喜兵衛→金児丈助様	天保8年12月25日	横切紙/(包紙共)・1通	え4733-7-3
(八田長左衛門苗跡心得違などあるも仰せ付けられに付書付) 八田嘉右衛門・八田喜兵衛	天保8年	横切紙・1通	え4733-7-4
(同苗喜兵衛養弟統柄について御流し下されるにより養弟は向後用いず相互叔父・甥の忌服たるべきに付申渡書) *(端裏書)「口達書取 八田嘉右衛門」	天保8年	横切継紙・1通	え4733-7-5
口上覚(先年より心得違不都東の申立て仕るにより差控あるべきや関田守之丞をもって伺い奉るに付) *(包紙上書)「口上覚 八田嘉右衛門」 八田嘉右衛門→金児丈助様	天保8年12月25日	横切継紙/(包紙共)・1通	え4733-7-6
借用一札之事(御給金並びに雑用の内より金1分2朱拝借に付) 奈良井村伊左衛門(印)→八田喜兵衛様	巳年9月27日	縦切紙/(え5084-1~2は旧封筒一括)・1通	え5084-1
一札之事(奉公人出入差止めにより暇につき内借・諸雑用など御手当に付)		縦紙・1通	え5084-2

1.4.8. 奉公人動向

差上申一札之事(私辰2月2日より寅2月2日迄年季御奉公に出るところ、南条村金蔵方へ縁付の約束に付) 松代荒町親屋主惣兵衛(印)・小嶋田村請人伊助(印)・同心町請人平蔵(印)→八田嘉助様	宝暦3酉9月	縦紙・1通	え5096
乍恐奉願候御事(手代儀兵衛を養弟にしたき願書の控、儀兵衛は出生勢州亀山東町茂□衛と申す者の弟に付) * (裏書)「表書願被 仰付 御奉行様へ御祝儀青銅□十疋宛御同心衆へ二十疋ツ、御年寄方名主へ十疋ツ、致□□候」 八田鉄次郎、(奥書)末書名主清十郎→御町年寄中沢半治郎殿・増田宗右衛門殿・小池五兵衛殿	宝暦6年子9月8日	縦紙/(虫損)・1通	え4969
済証文之事(不奉公の幸七を我々方へ御渡し下され、慥かに預かり置くに付) 上山田村置主親佐五七(印)・同村請人伊三郎(印)・同断幸之助(印)→八田孫左衛門殿	宝暦11年巳2月	縦紙・1通	え5058
役割覚(元方勝之助・吟味役和七・伝兵衛銘目七など八田家役割分担書付) * (端鉛筆書)「天保七年」/(端貼紙書)「スミ」	天保7申4月	横切継紙・1通	え5142
以書取奉申上候(小布施村より親類栄八抱えにて同居のうえ奉公稼ぎのところ、栄八鍛冶町へ転宅にて別居の旨内談に付) * (端裏書)「子二月八日友吉差出書」 友吉	嘉永5年子閏2月	縦紙・1通	え4927
(書状追伸、両店支配の者より差し出させた書面について何うに付)		小切紙/(え4727-1~23は括紐一括)/(え4727-22-1~23は巻込一括)・1通	え4727-22-6
(書状、おそなについて昨日願いの通り永の御暇下され以来御出入仰せ付けられ有難きに付) * (書状上書)「御あね上様 治部右衛門」	13日	横切継紙/(え4737-1~68は紙縫一括)・1通	え4737-5
(その方儀、仕入向きの儀厚く心配取計らい、その上心掛け宜しく出精勤め、一段事存ずるに付) * (抹消)		小切紙/(え4744-1~5は括紐一括)/(え4744-1-1~30は巻込一括)・1通	え4744-1-13
(伊勢町傳兵衛手代友吉、女房もと並びに梅寿院に手疵を負わせたことに付、調書一括)		旧封筒一括/(え4947-1~2は旧封筒一括)	え4947
(八田慎蔵役代伊勢町傳兵衛手代友吉、女房もと並びに梅寿院へ手疵を負わせ、傳兵衛店へ引取に付、調書) * 下書		縦紙・1通	え4947-1
(伊勢町傳兵衛手代友吉女房もと並びに梅寿院へ手疵を負わせ、和談内済申すに付、調書) * 下書		縦紙・1通	え4947-2
(召括杜氏が帰宅次第早速造入手始に付伺書、並びに和七は老年のため酒造方重立をはずし帳場御用代としたき伺書) * (史料目録その16下)店方/酒造方/仕法にも重出 勝之助	9月	横切継紙・1通	え4948
(小嶋田村浄圓寺旦那八田慎蔵借家商岸田傳兵衛家内など人名書付)	(明治初年)	横切継紙/(え5197-1~5は紙縫一括)/(え5197-1-1~2は巻込一括)・1通	え5197-1-1

(小嶋田村浄圓寺旦那八田慎蔵役代岸田傳兵衛、梅屋大治郎宅にて宗判に付書付)	(明治初年)	小切紙・1通	え5197-1-2
---------------------------------------	--------	--------	-----------

1.4.9. 奉公人給金

乍恐以書付御答奉申上候(当時浅草寺地中妙徳院地内茂兵衛店平兵衛、松代八田奉公中の給金・諸勘定に付、江戸御屋敷様へ願ひ出た件への返答書) *案文 伊勢町傳兵衛、(奥書)名主伴之助→御町御奉行所	天保13寅年10月	縦紙/(え4747-1~16は巻込一括)・1通(4枚)	え4747-16
治左衛門被下方調(2月~12月分塩噌代・髪結湯銭・給金ほかメ4両1分310文)		横切継紙/(え4740-1~31は紙縫一括)・1通	え4740-25

1.4.10. 貸付金

(八田競・鍵之助金子借用関係文書一括)		綴/(え5085-1~11は一綴)・1綴	え5085
覚(別紙の通り鎧1領差し出し金7両借用に付) 八田競(印)	寛政2戌12月	横切紙・1通	え5085-1
覚(鎧1領・兜・小手・陣羽織1つ・袴など書付) (八田競)		横切継紙・1通	え5085-2
御借用申置候金子当暮調覚(去る未年金26両1分など御借用の旨御承知に付) (八田)競→(八田)孫左衛門様	寛政2戌12月29日	横切継紙・1通	え5085-3
覚(出府により、出立の節金3両、並びに10月中頃金7両御送りにて御借用に付) 八田競(印)→八田孫左衛門殿	天明7年末7月	横切継紙・1通	え5085-4
覚(御代参にて金2両拝借に付) 八田競(印)→八田孫左衛門殿	子4月29日	横切紙・1通	え5085-5
(書状、金1両御借用仕りたきに付) * (書状上書)「孫左衛門様 鍵之助 七月十二日 手紙」 (八田)鍵之助→(八田)孫左衛門	7月12日	横切紙・1通	え5085-6
覚(金3両たしかに御借用申すに付) (八田)競(印)→八田孫左衛門殿	寛政2戌5月2日	横切紙・1通	え5085-7
(書状、別紙のとおり金1両無心申すに付) * (書状上書)「孫左衛門様 競」 (八田)競→(八田)孫左衛門様	6月2日	横切紙・1通	え5085-8
(書状、品々作料など今晚払い申したき処、あり金足らざるにより金2両御借し下されたきに付) * (書状上書)「孫左衛門様 鍵之助」 (八田)鍵之助→(八田)孫左衛門様	5月4日	横切紙・1通	え5085-9
(書状、金子まずは5両拝借の上、入用次第申し上げるに付) * (書状上書)「孫左衛門様 鍵之助」/(端裏書)「四月廿四日」 (八田)鍵之助→(八田)孫左衛門様	4月24日	横切継紙・1通	え5085-10
(書状、昨晚申し上げの金2両2分、何分この者より拝借したきに付) * (書状上書)「八月七日金貳両貳分ニ手紙 孫左衛門様 鍵之助」 (八田)鍵之助→(八田)孫左衛門様	8月7日	横切紙・1通	え5085-11

1.4.11. 書状その他

(書状、同姓嘉助様について病気の所、気々差重させられるに付御知らせの旨) * (書状上書)「□□(墨消判読不可) 八田慎蔵」 八田慎蔵	11月24日	横切紙/(え4734-1~16は紙縫一括)/(え4734-8-1~8は巻込一括)・1通	え4734-8-7
---	--------	---	-----------

1. 内方/1.4. 家族・奉公人/1.4.12. 娘奉公上り

1.4.12. 娘奉公上り

(書状、御懸合一条については残念に存ずるに付) * (書状上書)「慎蔵様 正司」(大日方)正司→(八田)慎蔵様	11月21日	横切紙/(え4742-1~13は紙縫一括)・1通	え4742-3
(書状、御娘子様御奉公上り一条に付) * (書状上書)「御内用筋 八田慎蔵様 大日方正司」大日方正司→八田慎蔵様	11月20日	横切継紙・1通	え4742-4
(書状、娘の御奉公上り一条仰せ下されるに付、長女・二女に関する事情の説明) * (端裏書)「十一月廿一日」/下書	11月21日	横切紙/(別紙あり)・1通	え4742-5

1.5. 親類

1.5.1. 増田徳左衛門勝手向立直し

口上覚(私儀増田家家内で多年お引き立てのところで御不興を蒙るに付御宥免願ひ) 茂右衛門(印)→八田嘉右衛門様・御内	文政12丑年10月	縦継紙・1通	え4782
(増田徳左衛門実兄秀三郎を狂人の取扱として預けたことに関する事情説明書)		横切継紙/(え4742-13-1~15は紙縫一括)・1通	え4742-13-15

1.5.2. 八田本之進跡目

(包紙) * (包紙上書)「本之進近頃悪説風聞ニ付穿鑿書」/(慶応4年正月付の八田慎蔵より水野清左衛門宛金300両借用証文の反古を使用)		包紙/(え4725-1~14は紙縫一括)/(え4725-9-1~3は包紙一括)・1点	え4725-9-1
(「彼の人」の行状に関する諸風聞書上、徳兵衛という穀屋で米を盗んだ事件等)		横切継紙・1通	え4725-9-2
(「彼の人」に関する近辺の風聞の内密報告書、去未12月に多作方で餅つきに雇われていたおみき婆の家から綿入等が盗まれた事件ほか)		横切継紙・1通	え4725-9-3
(書状、是非共申し上げるだけ御繰り合わせの程御願に付) * (書状上書)「内願口上 本之進」(八田)本之進	9月4日	横切紙/(え4737-1~68は紙縫一括)・1通	え4737-4
(書状、慎蔵様へ御願成し下せるようしたき所、漬物代3分謹借用したく存じるに付) (八田)本之進	10月9日	横切紙・1通	え4737-7
(書状、金子について何分にも願ひ奉るも先日中も申し上げる次第にて困り入るにより歎願奉るに付) * (書状上書)「伊勢町様内願用申上 本之進」	8月21日	横切紙・1通	え4737-10
(段々歎願により金1両御借渡し下され落手仕る所、都合2両御恩借あるに付) * (上書)「御請申上 本之進」(八田)本之進	9月23日	横切紙・1通	え4737-44
(何卒格別の御厚情をもって先々よりの歎願致すにより向後は万事万端恐慎仕る心付に付) * (上書)「内歎願申上 本之進」(八田)本之進	9月6日	横切紙・1通	え4737-45
(先達中より歎願奉る儀について困り入るにより御勘弁のうえ御聞済まし御恩借願ひ奉るに付) * (上書)「歎願用口上 本之進」(八田)本之進	9月13日	横切紙・1通	え4737-53

1. 内方/1.5. 親類/1.5.2. 八田本之進跡目

(書状、御取替え下された切手早速認め持参の所、手切差し上げるにより御落手下さるべきに付) * (表書)「御請申上 本之進」 (八田)本之進	11日	横切紙/(虫損)・1通	え4737-54
(書状、歎願奉る金子について何分にも御恩借仰せ付けられるようお願い上げ奉るに付) * (書状上書)「内願用申上 本之進」/後欠 (八田)本之進	3月3日	横切紙/(虫損)・1通	え4737-55
(書状、先日御恩借仕る切手御礼早速参るべき所、御出客様にて御取込にて差し控え恐れ入に付) * (書状上書)「御請申上 本之進」 (八田)本之進		横切紙・1通	え4737-56
(書状、仰せを蒙り有難き所、何卒御勘考御繰合成し下される様歎願奉る並びに金3両落手仕り御かげにて当間に合うに付) * (書状上書)「御答申上 本之進」 (八田)本之進	7月13日	横切継紙/(虫損)・1通	え4737-58
(書状、先日中歎願すること御勘弁御聞済み下される様願ひ上げる所、薪代払残り月替りならず催促致され差し困るに付) * (書状上書)「歎願口上 本之進」 (八田)本之進	7月29日	横切継紙・1通	え4737-64
(書状、切手認差し上げるにより御落手下されるべき御答申し上げる分前後仕り御免成し下さるべきに付)		小切紙・1通	え4737-65
(書状、御願申し上げた漬物代この者へ御渡し願ひに付並びに切手差し上げるにより御覧の上御落手下さるべきに付) * (書状上書)「口上 本之進」 (八田)本之進		横切紙/(虫損)・1通	え4737-66
(書状、何分にも御勘弁下され誠に困り入るにより少々御恩借仰せ付けられる様願ひ上げに付) * (書状上書)「御答申上 本之進」 (八田)本之進	5日	横切紙・1通	え4737-67
(書状、困窮にて飯米不足に付、家族一同御縋りしたきに付) * (書状上書)「清七様内当用 本之進」 (八田)本之進→清七様	3月3日	横切紙/(え4739-1~33は紙縫一括)・1通	え4739-2
(書状、困窮に付金5両お借りしたきに付嘆願) * (書状上書)「伊勢町様嘆願申上 本之進」 (八田)本之進→伊勢町様	1月29日	横切継紙・1通	え4739-3
(書状、金1両を借りたきに付歎願) * (書状上書)「歎願申上 本之進」/(端裏書)「八田様」 (八田)本之進	2月26日	横切紙・1通	え4739-9
(書状、金5両を繰り上げ借用したきに付歎願) * (書状上書)「伊勢町様歎願申上 本之進」 (八田)本之進→伊勢町様	1月25日	横切継紙・1通	え4739-17
(書状、金5両のうち4両拝借、残金1両を繰り上げ借用したきに付歎願) * (書状上書)「伊勢町様嘆願申上 本之進」 (八田)本之進→伊勢町様	1月30日	横切紙・1通	え4739-23
(繰り上げ分の金子2両2分を清七方から受取に付) (八田)本之進	31日	横切紙・1通	え4739-32
(昼飯に差し支えに付飯米願ひ上げの旨) * (書状上書)「口上願用申上 本之進」 (八田)本之進	8日	横切紙/(え4741-1~54は紙縫一括、内側から子番号付与)・1通	え4741-46
(八田本之進隠居跡目相統関係書類一括)		紙縫一括/(え4721-1~8は紙縫一括)/(え4721-2~8は包紙一括)	え4721

1. 内方/1.5. 親類/1.5.2. 八田本之進跡目

(包紙) *(包紙上書)「御書付」		包紙・1点	え4721-1
口上覚(八田本之進病症により如何しき所行あるため養父儀三郎娘に髡養子を選び隠居跡目願うに付) *(包紙上書)「御内密奉歎願候 八田本之進親類」 八田慎蔵・八田喜兵衛・水井忠治	8月	横切継紙/(包紙共)・1通	え4721-2
(書状、別紙の趣御勘弁に及ばれ難きに付御差戻しに成る趣御心得下されるべきに付) *(書状上書)「水井忠治様 山寺源太夫」 山寺源太夫→水井忠治様	閏8月25日	横切継紙・1通	え4721-3
(書状、御用あるにより今夕七時自宅へ罷り出られるべきに付) *(書状上書)「八田本之進殿 長谷川三郎兵衛」 長谷川三郎兵衛→八田本之進殿	12月9日	横切継紙・1通	え4721-4
(八田本之進常々心掛宜しからず不行跡聞こえ不埒至極により隠居の上慎仰せ付けらるに付通知書) →八田本之進	閏8月25日	横切継紙・1通	え4721-5
(八田本之進常々心掛宜しからず不行跡により隠居仰せ付けられる上跡目相応の者願う様申し付けに付通知書) →八田本之進親類	閏8月25日	横切継紙・1通	え4721-6
(八田本之進常々心掛宜しからず不行跡により隠居仰せ付けられる上跡目相応の者願う様申し付けに付通知書) →八田本之進親類	閏8月25日	横切継紙・1通	え4721-7
(八田本之進常々心掛宜しからず不行跡により隠居仰せ付けられる上、跡目相応の者願う様申し付くに付通知書) →八田本之進親類	閏8月25日	横切継紙・1通	え4721-8
(書状、本之進殿始末の儀に付御近親御評議に付) (八田)慎蔵→六左衛門様	8月3日	横切紙/(え4725-1~14は紙繕一括)/(え4725-4-1~3は紙繕一括)・1通	え4725-4-3
(差引勘定書 玄米48俵より扶持方分を引いた代金23両余の用途、竹内殿・田中殿返済・丁子屋・味噌仕入・盆入用等書) *(端裏書)「慶応四辰年八田本之進方御死許を以差引書」	(慶応4年)	横切紙/(え4742-1~13は紙繕一括)/(え4742-13-1~15は紙繕一括)・1通	え4742-13-12
請願書(兄知禮より分籍に付、借用住居並びに扶持米などは父本之進死亡後に返還御契約に付) 八田知之助(印「八田知」)→八田知道殿・八田彦次郎殿・(奥書)八田本之進(印)	明治19年5月	堅紙/赤色罫紙(10行)・1通	え4806

1.5.3. 書状

(書状、御忙しく恐れながら少々御目に懸かり御頼申したきことあるにより御出御頼み申したきに付) ちやう→御兄上様	12日	横切継紙/(え4737-1~68は紙繕一括)・1通	え4737-38
(書状、御着を遣わされたことへの御礼、おくめ様の回復をめたく存ずるに付ほか) きむ(シゲ)→はつた御母上様、御姉上様申上候	花見月28日	横切継紙/(え4739-1~33は紙繕一括)・1通	え4739-1
(書状、今日他出にて明後日にならなくては帰らざるに付) *(書状上書)「伊勢町様御内披 竹山町」 竹山町→伊勢町様	1月29日	横切紙・1通	え4739-4
(書状、御病人は御順快の由、お秀事も長々養生に付) 知徳→御兄上様	3月27日	横切継紙・1通	え4739-5

(書状、来月分も成丈早く金子を御贈り下されたきに付) (八田)知徳→御兄上様(八田慎蔵)	5月10日	横切紙・1通	え4739-8
(書状、お糸殿御病症ほか御様子を承りたきに付) (八田) 知徳→御兄上様(八田慎蔵)	1月28日	横切紙・1通	え4739-12
(書状、お糸殿と母上様の様子を尋ねるに付) 知徳→御 兄上様(八田慎蔵)	2月15日	横切紙・1通	え4739-14
(書状、病人の容体を尋ねるに付、並びに当方諸勘定にて 混乱致し居る旨) 知徳→御兄上様(八田慎蔵)	2月2日	横切継紙・1通	え4739-15
(書状、綿3貫500目と大根100本差し上げに付) きむ拝(シ ゲ)→坂本於秀様申上候	第3月28日	横切継紙・1通	え4739-16
(書状、追って拙者参上の節に利足金を差し上げることが 承知下されたきに付) (八田)知徳→御兄上様(八田慎蔵)	5月19日	横切紙・1通	え4739-21
(書状、「手がこ」御引き替えに付頼み申すに付) *(書状 上書)「御兄上様もふし上 ちやうより」 ちやうより(長)→ 御兄上様	12日	横切継紙・1通	え4739-22
(書状、上州より鈴五郎が参り御馳走になったこと、何よ りの御品下されありがたきに付ほか) きんより(シゲ) →御母上様申上	さ月けふ	横切継紙/(追伸 別紙あり)・1通 (2枚)	え4739-29
(書状、先般御願ひしていた金子をお送りくださされあり がたきに付) (八田)知徳→御兄上様(八田慎蔵)	4月8日	横切継紙・1通	え4739-30
おほへ(おくめさま御不快とのこと心配、よろしく御伝言 下されたきに付) きむ(シゲ)→おつる様申上候		横切継紙・1通	え4739-31
(書状、おくめ様の不具合を案ずるに付、みかんなどを送 る旨ほか) 秀より→八田御母上様人々御本へ		横切継紙・1通	え4739-33
(書状、寺町御同苗御隠居家督の儀に付伺い) *(書状上 書)「慎蔵様 五十司」 五十司→(八田)慎蔵様	9月26日	横切継紙/(え 4741-1~54は紙 縫一括、内側か ら子番号付与)・ 1通	え4741-54
(書状、今日は泉水替え仕り、泥貝勝負仕りて少々なが ら御覧に入れるに付) *(書状上書)「嘉右衛門様 熊三 郎」 熊三郎→(八田)嘉右衛門様	6月7日	横切紙/(え 4744-1~5は括 紐一括)/(え 4744-1-1~30は 巻込一括)・1通	え4744-1-6
(書状、御安否窺い、並びに栗田氏学子御尋ねに付) 茂一 郎→(八田)嘉右衛門様玉案几下	5月21日	横切継紙/(え 4744-1-7-1~2は 巻込一括)・1通	え4744-1-7-1
(書状、慶助殿御内咄あり、明日の御用意持参するに付) *(書状上書)「伊勢丁様 田丁拝」 田丁拝→伊勢丁様	3月10日	横切継紙/(え 4756-1~9は一 綴)・1通	え4756-9
(書状、先生も少々御見込もあるに付、参上の仰せを蒙った が、私義疝方にて出勤仕らず、彼是遅延成される処は 御高免願う旨ほか) *(書状上書)「御答 莊助」 (莊助)	24日	横切継紙/(え 4763-1~12は一 綴)・1通	え4763-12
(書状、田町御屋敷藤の花咲き状況内々御問合せに付) *(書状上書)「嘉助様 左吉」 左吉→(八田)嘉助様	4月26日	横切継紙/(え 4772-1~2は旧 封筒一括)/(え 4772-1-1~50は 一綴)・1通	え4772-1-29

1. 内方/1.5. 親類/1.5.3. 書状

(書状、藤花の義委細申し上げる処、明後日頃持入られる御様子に付) * (書状上書)「嘉助様 左吉」 左吉→(八田)嘉助様	4月26日	横切継紙・1通	え4772-1-38
--	-------	---------	------------

1.5.4. その他

(包紙) * (包紙上書)「荒神町致住居候助八儀矢代村へ柿崎源左衛門殿内々相頼為引越候意趣之趣表立此方ニ而ハ懸り合無之候」		包紙/(え5194-2~3)は包紙一括)・1点	え5194-1
(八田七右衛門家が絶家にいたる代々当主や妻の行状に付書上)		横切継紙・1通	え5194-2
(書状、当家親類八田七右衛門家4代目八助、飢渴におよび見捨てゆえ、此度柿崎源左衛門殿御頼み申し入れ、矢代村へ引越させ行状慎ませるに付) (八田)知義(花押)	享和4甲子歳正月29日	横切継紙・1通	え5194-3
添書御申請上候(文化の度、養父平左衛門、私家行立難きに付、御歎願仰せ立てられ、亡家御取立てられ、差し戻された家屋敷を沙汰申し上げず取り計らう旨の証書) * 下書 たれ・親類たれ・組合たれ、(奥書)八田嘉右衛門内長崎源吾→八田嘉右衛門様・御役人中様	天保13寅年2月	堅紙・1通	え5075
(「母方之叔母陽之助同断儀八郎実母方之叔父牧四郎父叔父儀三郎」親類書付)		横切紙/(虫損)/(え4734-1~16は紙縫一括)/(え4734-8-1~8は巻込一括)・1通	え4734-8-6
口上書取(おそよ様御片付けの儀など、御祭礼までにとり行うべきこと書付)	16日	半・1冊	え5174

1.6. 家政

(書状、御心意へ相背きけれども御立腹なく御一覽遊ばされたく、八田家の町在における風聞につき内々申し上げる旨) 西村孫兵衛→主君様貴下	10月7日	横切継紙/(え4715-1~16は紙縫一括)・1通	え4715-2
(書状、周蔵御咄し申し上げ中嶋御隠居御出向御穿鑿成し下され御一同竹山町へ御出で成し下されたきに付) * (表書)「辰三郎様 寺町より」	2月25日	横切継紙・1通	え4715-3

1.7. 藩への上納金・才覚金

(書状、恩田木工殿より御普請金才覚に付、この度きりにて頼み入るに付) * (書状上書)「八田孫左衛門殿 原半兵衛」/(端裏貼紙)「原半兵衛殿より御用金才覚二付来状式通」/(端裏貼紙に貼紙)「八 式通」 原半兵衛→八田孫左衛門殿	6月20日	横切継紙/(え4811-2~18は袋・紙縫一括)/(え4810-4~16は括紐一括)・1通	え4811-15
(書状、孫左衛門才覚にて御普請金残り今晚明朝までに御納戸へ差し出さるべきに付) * (書状上書)「原半兵衛殿 恩田木工」 恩(恩田)木工→原半兵衛殿	6月20日	横切紙・1通	え4811-16
(来たる15日御城御囃子の見物仰せ付けらるに付、麻上下着用にて登城の旨) * (書状上書)「八田孫左衛門殿 小平太夫」 小平太夫→八田孫左衛門	(享保16年)12月12日	横切紙/(え4810-17・18は紙縫一括)・1通	え4811-17
(明29日御城において御囃子に付、見物許される旨) * (書状上書)「八田孫左衛門殿 恩木工」、「享保十六年亥年」/(端裏貼紙)「六 式通」 恩木工→八田孫左衛門殿	(享保16年)6月28日	横切紙・1通	え4811-18

(江戸表上屋敷焼失に付、八田嘉右衛門上納金25両ほかを御用日記方へ書き載せ置くべきに付)		横切紙/(え4724-1~34は紙縫一括)・1通	え4724-22
覚(辰年上納金書上、金35両140メ文)		横切紙/(え4725-1~14は紙縫一括)/(え4725-5-1~2は紙縫一括)・1通	え4725-5-1
(辰年上納金書上、金35両140メ文)		横切紙・1通	え4725-5-2
覚(子年より寅年まで上納金書上、分金72両2分1朱余より上納口45両1朱余を差引)		折紙/(え4725-11-1~7は紙縫一括)・1通	え4725-11-2
覚(金8両1分280文上納に付)	12月29日	横切紙/(え4740-1~31は紙縫一括)・1通	え4740-22
極御内々御嘶申上候趣(この度河浚御手伝の金子献上奉るに付) *下書カ		横長半/(貼紙多数あり)・1冊	え5078

1.8. 藩関係

1.8.1. 御目見・拝領・御入

(袋) * (袋上書)「寛保二戌年八月大満水ニ付、殿様若殿様其外御奥向開善寺江御立退之節品々御用向相弁候由御目録五百疋拝領仕候」	寛保2戌年8月	袋/(え5200-2~4は袋一括)・1点	え5200-1
(包紙) * (包紙上書)「満水之節殿様より拝領仕候御目録之文カ」/(包紙裏書)「寛保二年戌八月日」	寛保2戌年8月	包紙/(え5200-3~4は包紙一括)・1点	え5200-2
(目録、五百疋)		縦紙・1通(2枚)	え5200-3
(熨斗袋)		熨斗袋・1点	え5200-4
寛政四年子七月十三日若君様御誕生御胞刀御用無御滞被為濟同十九日御拝領御品之写	寛政4年	横切紙/(え4748-1~67は一綴)・1通	え4748-33
(包紙) * (包紙上書)「文化七午年十二月廿五日拝領御上下巻物包紙御熨斗入 八田知義」	文化7年	包紙/(え5088-2~3は包紙一括)・1点	え5088-1
(包紙) * (包紙上書)「御上下」		包紙・1点	え5088-2
(熨斗)		1点	え5088-3
(包紙) * (包紙上書)「文正四巳三月廿五日 殿様御入ニ付内密書」	文政4年	包紙/(え5131-2~5は包紙一括)・1点	え5131-1
(書状、殿様酒造御覧の内密相談に付) 知蔵	(文政4年)3月	横切紙・1通	え5131-2
(延宝6年の祭礼など殿様御覧の前例書付)	(文政4年)	横切紙・1通	え5131-3
(書状、鍛冶町長国寺入口小路より東側家屋敷の殿様御入りに関する申し伝えに付)	(文政4年)	横切紙・1通	え5131-4
(書状、殿様御入り後に町役免除となった屋敷のその後の経過に付) * (明和4亥年の台帳下札2点貼付)	(文政4年)	縦紙/(貼紙2点あり)・1通	え5131-5

1. 内方/1.8. 藩関係/1.8.1. 御目見・拝領・御入

(「松ノ御土器」の伝来書付、金勝院様が安永5年4月に將軍日光社参の供を務め、東叡山に帰館の際に拝領の品)		折紙(非定型) /(紙を三つ折して最上段のみに記載)/(え4725-1~14は紙縫一括)・1通	え4725-1
(立田玄道老の頼みを受けて花活を大殿様へ献上したところ、御3幅対のうち壹幅伊川院栄信筆の絵の拝領をうけた顛末書付)	(文政9年4月)	横切継紙・1通	え4725-2
(袋) * (袋上書)「天保二年三月五日同苗慶介殿を以 来十一日田町屋敷御野懸被為入候段被仰出 早速歩行付嘉介を以御申請上候 右ニ付入用書類上」	天保2年	袋/(え4756-1~9は一綴)・1点	え4756-1
(書状、田町御下屋敷へ入らせる趣、今朝罷り出る心底のところ、莊藏方にあり失念御延引になり致し方もなきに付) * (書状上書)「嘉右衛門様当用 慶助」 慶助→(八田)嘉右衛門様当用	3月5日	横切継紙・1通	え4756-2
覚(御次20人・御茶道ほか人数書上)		横切紙・1通	え4756-3
(御口取の献立書付)		小切紙・1通	え4756-4
(書状、明後の御献立河原氏へ申し遣わした処、栄治殿へ申談ずる由、同人より注文の趣申し来たり、此方へ御尋ねしたきに付) * (書状上書)「嘉右衛門様 馬場丁より」 馬場丁より→(八田)嘉右衛門様	3月9日	横切継紙・1通	え4756-5
(書状、何よりの両種御恵投下され忝きに付) * (書状上書)「嘉右衛門様 理助」 (河原)理助→(八田)嘉右衛門様	2月12日	横切紙・1通	え4756-6
(書状、此品封の俣、御多大になる処に差し置く様致さるべきに付) * (書状上書)「大木伊左衛門殿 河原理助」 河原理助→大木伊左衛門殿	3月11日	横切継紙・1通	え4756-7
(11日の御献立)		横切継紙・1通	え4756-8
(書状、来る11日に田町下屋敷へ内々入らせられる御沙汰に付) * (書状上書)「嘉右衛門様 理助」 理助→(八田)嘉右衛門様	4月2日	横切継紙/(え4724-1~34は紙縫一括)・1通	え4724-17
(書状、明日下午屋敷へ御入りの御沙汰のところ延引に付) * (書状上書)「嘉右衛門様り理助」 理助→(八田)嘉右衛門様	3月27日	横切紙・1通	え4724-20
覚(御用達独礼、御紋付御上下御拝領、3人御扶持牧野莊右衛門ほか牧野家15人名書上)		横切継紙・1通	え4981

1.8.2. 勤務

(八田孫右衛門持病の腰痛・健忘に付快気次第勤務並びに病中は嘉助名代の旨申し渡すに付) * (包紙上書)「一 孫左衛門病氣之節者嘉助名代罷出相勤候様御書附」 →八田孫左衛門	6月28日	横切紙/(包紙共)/(え4811-2~18は袋・紙縫一括)・1通	え4811-14
(包紙) * (端裏書)「天明二寅十二月廿五日御奉行所より孫左衛門病氣ニ付御用之儀在之候間名代ニ悴差出候様宇佐美件被申来候ニ付鐵治郎差出候所此以御書付被 仰付候即請書差出候様御差図ニ付扣之通差出ス即刻差扣之伺同役検断を以申上候ニ付大戸口店葺不残おろし慎罷在候同日暮時過差扣ニ不及候旨被 仰付候」	天明2(年)	包紙/(え4719-1~23は括紐一括)/(え4719-12-2~3は包紙一括)/(え4719-12-2-1~2は巻込一括)・1点	え4719-12-1

差上申御請一札之御事(取計方いかがわしき筋相聞こえ、御情けを以て今度は一々吟味及ばず、この末万端慎み相勤め申すべき趣畏み奉るに付) *下書	天明2寅年12月25日	豎紙・1通	え4719-12-2-1
差上申御請一札之御事(右御書附を以て仰渡された趣畏み奉るに付) *下書 八田孫左衛門→御奉行所	(天明2年)12月日	小切紙・1通	え4719-12-2-2
(書状、この度岩村田藩士御預けに罷り成る所 休息所など詮議仕るも差支え当惑罷り在る旨粗末の屏風2双拝借願) *(表書)「八田慎蔵様 小林太一郎」 小林太一郎→八田慎蔵様	(慶応4年)11月27日	横切継紙/(え4737-1~68は紙縫一括)・1通	え4737-26
(書状、取計方いかがわしき筋相聞こえ、御情けを以て今度は一々吟味及ばず、この末万端慎み相勤め申すべきに付) →八田孫左衛門	12月25日	横切紙/(え4719-1~23は括紐一括)/(え4719-12-2~3は包紙一括)・1通	え4719-12-3
(差合いに付入来り過分の事に付感状) 望主水→八田嘉右衛門殿	6月	横切紙/(え4748-1~67は一綴)・1通	え4748-14
乍恐以書付御内々奉願候(役人増七帰らず増七が許されるまで代わりをする様仰せ付けられたきに付) →御取次中様	9月晦日	豎継紙・1通	え5116

1.8.3. 献上

(包紙) *(包紙上書)「江戸御屋敷御類焼付大手御屏焼失二付内献上仕度旨内願之趣御聞届画之義三村養益申認方相願候付音物并礼状下案入」		包紙/(え4712-1~26は紙縫一括)/(え4712-5-2~5は包紙一括)・1点	え4712-5-1
(八丈島1反ほか2月25日遣わずに付)		札・1点	え4712-5-2
(書状、献上の品御懸りの品御深切の御心配成し下さり出来方御意に叶い冥加至極に付) *(端裏書)「嘉右衛門様之方」		横切継紙・1通	え4712-5-3
(書状、大手御屏風一式内献上仕るに付御勞煩成し下され滞りなく相済に付) *(端裏書)「高山公下案」 八田嘉右衛門→高山内蔵進様参人々御中	2月22日	横切継紙・1通	え4712-5-4
(書状、大手御屏風一色内献上仕るに付御画の儀相願ひ御認め下さり有難き旨) *(端裏書)「三村氏下案」 八田嘉右衛門→三村養益様人々御中	2月23日	横切継紙・1通	え4712-5-5

1.8.4. 藩士との交際

(書状、此表御勘定向等が済み次第江戸より国元へ帰りたきに付、1ヶ年の在府は退屈していないが宅にて不都合がある旨) *(包紙上書)「八田嘉右衛門様 堀内与一右衛門」/(端裏書)「嘉右衛門様」 (堀内)与一右衛門→(八田)嘉右衛門様	正月6日	横切継紙/(包紙共)/(え4729-1~19は紙縫一括)・1通	え4729-19
(書状、高山内蔵殿へ諸々仰せ付けられる所、出役仕り何れ共罷り出で差し廻し相伺い申すべきに付) *(書状上書)「御答 左太夫」 左太夫	27日	横切継紙/(え4732-1~21は紙縫一括)/(包紙共)・1通	え4732-6

1. 内方/1.8. 藩関係/1.8.4. 藩士との交際

(書状、同姓(カ)木工儀、病気のところ養生相叶わず死去致すに付) * (表書)「八田嘉右衛門様 八田嘉助様 恩田頼母」 恩田頼母→八田嘉右衛門様・八田嘉助様	6月3日	横切紙/(虫損)/(え4744-1~5は括紐一括)/(え4744-1-1~30は巻込一括)・1通	え4744-1-10
(書状、昨晩は寺を預け、御名代忝く存じ、右御詫び申達するに付) * (書状上書)「八田嘉右衛門様」 恩田頼母→八田嘉右衛門様	5月5日	横切紙・1通	え4744-1-12
(書状、昨晩は寺まで預り甚だ以て忝く存じ、右御礼申達するに付) * (書状上書)「八田嘉助様」 恩田頼母→八田嘉助様	6月5日	横切紙・1通	え4744-1-22
(此程の嘉義入り来り傾聴の至りに付) 恩(恩田)空→八田孫左衛門殿	10月	横切紙/(え4748-1~67は一綴)・1通	え4748-6
(書状、少々御咄申したき義あり御手透の節御出で下さるべきに付) * (書状上書)「嘉右衛門様 主膳」 主膳→(八田)嘉右衛門様	閏林鐘12日	横切継紙/(え4750-1~47は一綴)・1通	え4750-43

1.8.5. 藩政

覚(黄金1枚ほか京都より到来のメ4筆請取、御納戸へ預け置くに付) 原準之丞(印)、(奥書)原又左衛門(印)・金井久馬(印)→八田孫左衛門殿	明和9辰年8月29日	横切紙/(え4748-1~67は一綴)・1通	え4748-51
一札証文之事(我等病身のため奉公勤め難く願いの通り養子仰せ付けられ御目見えも無事済むにより礼金として金26両受取に付) 玉井忠左衛門(印)・立合南沢伊野助(印)・柳沢佐兵衛(印)・大日方甚蔵(印)・竹内亀治郎(印)・斉藤弥惣治(印)・半田幸三郎(印)・北沢文右衛門(印)・安在幸吉(印)、(奥書)小林善蔵(印)→村田寅之助殿	寛政2戌年2月	堅継紙/(虫損)・1通	え5106
(増沢健助・富岡良右衛門ほか22名の人名書上)		横切継紙/(え4712-1~26は紙継一括)・1通	え4712-10
(宝暦~天明期頃の幕府老中・若年寄名前書上、松平右近将監殿ほか)		横切紙/(え4723-1~11は紙継一括)・1通	え4723-2
口上書取(御用座詰番仰せ付けられ勝手向難渋のため御手充・下され物の願に付) * 下書 →矢野倉様	5月	横切紙/(え4724-1~34は紙継一括)・1通	え4724-23
(書状、その節お話の御徒士目付より御用番へ申されるところ寺内警固については寺院の持前に付) * 下書		横切継紙/(え4732-1~21は紙継一括)・1通	え4732-20
(松代藩家臣役職就任通知一括)		巻込一括/(え4734-1~16は紙継一括)/(え4734-8-1~8は巻込一括)	え4734-8
(書状、私御役替御代官仰せつけられ有り難きに付) * (書状上書)「八田嘉助様八田慎蔵様 小林友之丞」 小林友之丞→八田嘉助様・八田慎蔵様	11月8日	横切紙/(虫損)・1通	え4734-8-1
(書状、私寺社奉行・郡奉行・御勝手元メ兼帯仰せつけられ御宛行3人扶持など下し置かれるに付御知らせに付) * (書状上書)「八田嘉助様 菅沼九兵衛」 菅沼九兵衛→八田嘉助様	11月8日	横切紙/(虫損)・1通	え4734-8-2

(書状、私御役替御側頭取仰せ付けられる所、数十年来出精相勤御殿斗拝領仕るに付御知らせに付) * (書状上書)「八田嘉助様 岡嶋莊藏」 岡嶋莊藏→八田嘉助様	11月8日	横切紙/(虫損)・1通	え4734-8-3
(書状、私御役儀御預所・郡奉行・御側役兼帯仰せ付けられ御役料などそのまま下され有り難きに付御知らせ) * (書状上書)「八田嘉助様 磯田音門」 磯田音門→八田嘉助様	11月8日	横切紙/(虫損)・1通	え4734-8-4
(書状、私御役替御側頭取仰せ付けられ御役料もそのまま下し置かれ有り難きに付御知らせ) * (書状上書)「八田嘉助様 寺内多宮」 寺内多宮→八田嘉助様	11月8日	横切紙/(虫損)・1通	え4734-8-5
(書状、昨日は遅々役所より引取る故余儀なく今日申し上げるにより別紙御披見成し下さるべきに付) * (書状上書)「慎藏様申上 軍治」 (西沢)軍治→(八田)慎藏様	14日	横切継紙/(え4738-1~33は巻込一括)・1通	え4738-7
(御勘定吟味役拝命通知の文言のみ)		断簡/(え4740-1~31は紙縫一括)・1通	え4740-23
(書状、去る7日殿様御辞職御願書指出され、13日御願いの通り仰せを蒙られるに付、酒井権七郎表御右筆組頭へ帰役仰付らる等申越す等に付) 郡司→大藏様・清十様	5月16日	横切継紙/(え4744-1~5は括紐一括)・1通	え4744-5
(親類に不行跡の者がいる場合の心掛けに付御家中への演説書)	9月	横切継紙/(え4748-1~67は一綴)・1通	え4748-28
覚(恩田壱・河合舎人等への褒賞書上)		横切継紙・1通	え4748-29
(書状、此の品持参に付、伊勢町へ御廻し下さるべきに付) * (裏貼紙)「御家老職被仰付候 鎌原司馬殿御手帖大瀬登殿江」/(書状上書)「指里君 帆高」 帆高→指里君	10月16日	横切継紙・1通	え4748-40
(近江彦根井伊掃部頭様・勢州桑名松平下総守様ほか36名の石高ノ11万1608石余の書上)	卯12月	横切継紙・1通	え4748-41
(書状、7日、抛無き故障出来し参り難く主税方まで断り申し遣わずに付) * (書状上書)「八田嘉右衛門様 矢沢将監」 矢沢将監→八田嘉右衛門様	2月4日	横切継紙/(え4750-1~47は一綴)・1通	え4750-21
松代大火(享保2年2月29日出火後類焼家臣名一覧ならびに城附武器・御城米焼失・焼失家数を幕府に報告した口上覚の写) * (付箋朱書)「スミ」 御名→井上河内守様	2月晦日	横切継紙/(虫損)・1通	え4865
(屋敷絵図一括)		旧封筒一括/(え4907-1~2は旧封筒一括)	え4907
(伝兵衛屋敷絵図) * (端裏書)「伝兵衛」		61.5×31.5・1鋪	え4907-1
(屋敷絵図) * 「御居間」「御徒士頭」などの貼紙多数		72.5×39.3・1鋪	え4907-2

1.9. 給人格取立・扶持加増

(袋) * (袋上書)「一享保十二年十二月廿三日御扶持方三拾人御扶持被下置候御書附」ほか12通同封文書目録書上		袋/(え4811-2~18は袋・紙縫一括)・1点	え4811-1
(八田孫左衛門、年々の御用金才覚に付30人扶持下し置かれるに付) * (包紙上書)「享保十二年未極月廿三日御扶持方三拾人御扶持被下置候御書付一通」/(包紙貼紙)「宍」/(端裏貼紙)「享保十二年未極月廿三日」/(付箋朱書)「スミ」	享保12年12月23日	横切紙/(包紙共)・1通	え4811-2

1. 内方/1.9. 給人格取立・扶持加増

(書状、御扶持方目録の通り20疋私宅へ入来にて給わりし旨お礼) * (包紙上書)「八田孫左衛門殿 赤助之進」 赤助之進(花押)→八田孫左衛門殿	正月29日	折紙/(包紙共)・1通	え4811-3
(書状、蕎麦切・兩種献上に付披露遂げた旨お礼) * (書状上書)「八田孫左衛門殿 恩木工」/(端裏貼紙)「七 四通」 恩(恩田)木工→八田孫左衛門殿	7月23日	横切紙・1通	え4811-4
(書状、兩種1樽献上に付首尾よく披露遂げた旨お礼) * (書状上書)「八田孫左衛門殿 恩木工」 恩(恩田)木工→八田孫左衛門殿	12月15日	横切紙・1通	え4811-5
(書状、鮮鱒献上に付首尾よく披露遂げた旨お礼) * (書状上書)「八田孫左衛門殿 恩木工」 恩(恩田)木工→八田孫左衛門殿	8月21日	横切紙・1通	え4811-6
(書状、蕎麦切・御肴1種・酒1樽・大銀1枚差し上げに付首尾よく披露遂げた旨お礼) * (書状上書)「八田孫左衛門殿 赤助之進」 赤助之進→八田孫左衛門殿	8月7日	横切紙・1通	え4811-7
(八田孫左衛門、病身により町年寄役勤め難きところ願いの通り赦免に付) * (端裏貼紙)「二 榮久様御役 御免被仰付候御書付」 →小野喜平太殿・山越嘉膳殿	7月	横切紙・1通	え4811-8
(八田孫左衛門、殿様入部に付御悦びとして来る9日五時御城にてお目見え申し付けに付) * (端裏貼紙)「五」/(端裏書)「町御奉行」	8月5日	横切紙・1通	え4811-9
(書状、元日年頭の御礼並びに3日御腕頂戴のため八田孫左衛門へ登城申し付るべきに付) * (書状上書)「池村与兵衛殿 望月治部左衛門」/(端裏貼紙)「四」/(端裏貼紙)「享保十三年申極月廿九日」 (望月治部左衛門)→(池村与兵衛殿)	(享保13年)申12月29日	横切紙・1通	え4811-10
(八田孫左衛門、御扶持方下さるに付殿様へ御肴代20疋並びに若殿様へ同断50疋差し出す旨申渡し) * (端裏貼紙)「弍」	正月3日	横切紙・1通	え4811-11
(書状、御扶持方戴くにより殿様へ御肴代20疋並びに若殿様へ同様50疋献上披露遂げた旨、八田孫左衛門方へ申し付けるべきに付) * (書状上書)「恩田嘉兵衛殿 恩田木工」/(端裏貼紙)「三」 恩田木工→恩田嘉兵衛殿	正月16日	横切紙・1通	え4811-12
(書状、明日入来、目録の通り増給に付お礼として詞書を呈す旨) * (書状上書)「八田孫左衛門殿 矢刑部左衛門」 矢(矢沢)刑部左衛門→八田孫左衛門殿	正月20日	横切紙・1通	え4811-13
(八田嘉右衛門御給格任命により町人別除帳処理関係書状一括)	享和3年	包紙一括/(え4733-1~7は紙縫一括)/(え4733-5-2~3は包紙一括)	え4733-5
(包紙) * (包紙上書)「享和三亥年三月十九日名主元江差出候下案 覚」	享和3年	包紙・1点	え4733-5-1
(書状、私去冬御給格仰せ付けられ御町人別除帳により所持屋敷の役代に伝兵衛を差出したきに付) 八田嘉右衛門→伊勢町名主甚三郎殿	享和3亥年3月	横切紙・1通	え4733-5-2
(書状、私去冬御給格仰せ付けられ御町人別除帳により所持の屋敷役代伝兵衛を差出したきに付) 八田嘉右衛門印→伊勢町名主甚三郎殿	享和3亥年3月	横切紙・1通	え4733-5-3

(包紙) * (包紙上書)「享和三癸亥二月九日家督被仰候節 家督被仰候御書付 給人格被成下御取立候御書附 御郡方より御渡被成下候御書附 真田志摩殿より御奉書」	享和3年	包紙/(え4733-6-2~10は包紙一括)・1点	え4733-6-1
(嘉右衛門給人格仰せにより御町役代相立願書下書並びに名主元より伝兵衛身元受合印書控に付札書)	享和3年	札・1点	え4733-6-2
(八田嘉右衛門家督相続により給人格御勝手御用役出精御用達専一相心掛けるに付申し渡さるべきに付申渡書) * (端裏貼紙)「嘉右衛門家督被 仰出候節御郡方江被仰渡候御書写」 郡奉行中→八田嘉右衛門	享和3年2月9日	横切継紙・1通	え4733-6-3
(八田嘉右衛門家督相続により給人格御勝手御用役出精御用達専一相心掛けるに付申し渡さるべきに付申渡書) 郡奉行中→八田嘉右衛門	享和3年2月9日	横切継紙・1通	え4733-6-4
(八田嘉右衛門家督相続御札登城関係書類一括)	享和3年	包紙一括/(え4733-6-5-2~3は包紙一括)	え4733-6-5
(包紙) * (包紙上書)「享和三亥年二月十四日明十五日麻上下着用登城可仕旨御用番真田志摩殿より御奉書」	享和3年	包紙・1点	え4733-6-5-1
(八田嘉右衛門家督相続御礼のため明日4時麻上下着用にて登城すべきに付奉書) * (書状上書)「八田嘉右衛門殿 真田志摩」 真田志摩→八田嘉右衛門殿	享和3年2月14日	横切継紙・1通	え4733-6-5-2
覚(献上御肴代20疋受取に付) 高橋牧右衛門(印)	享和3年2月16日	横切継紙・1通	え4733-6-5-3
(八田嘉右衛門父孫左衛門病死するも心掛宜しき趣相聞こえるにより給人格御勝手御用役仰付けらるるに付申渡書) →八田嘉右衛門	享和3年2月9日	横切継紙・1通	え4733-6-6
(御用あるにより忌御免仰付けらるるに付申渡書) * (書状上書)「八田嘉右衛門殿 金井甚五左衛門」 金井甚五左衛門→八田嘉右衛門殿	享和3年7月13日	横切紙・1通	え4733-6-7
(御用あるにより明日4時親類1人同道にて登城あるべきに付呼出状) * (書状上書)「八田嘉右衛門殿 真田志摩」 真田志摩→八田嘉右衛門殿	享和3年2月8日	横切紙・1通	え4733-6-8
(書状、その方について給人格仰付けられるるにより御肴代20疋献上について首尾良く披露を遂げるに付) * (書状上書)「八田嘉右衛門殿 真田志摩」 真田志摩→八田嘉右衛門殿	享和3年2月15日	横切紙・1通	え4733-6-9
(八田嘉右衛門亡父孫左衛門願の通り30人御扶持下付により家督相続相違なく仰付けられるるに付申渡書) →八田嘉右衛門	享和3年2月9日	横切紙・1通	え4733-6-10
口上覚(御家督相違なく仰せ付けられ御歎びの所、月番付申し達したきに付) 真田志摩→八田嘉右衛門様	(享和3年)2月9日	横切継紙/(え4748-1~67は一綴)・1通	え4748-32
(孫左衛門聞書、並びに関係文書一括)		包紙一括/(え5173-2~3は包紙一括)	え5173
(包紙) * (包紙上書)「忠崇泰全様御聞書共入諸本入」		包紙・1点	え5173-1
(孫左衛門聞書、御用金300両上納により孫左衛門に給人格申付の経緯に付) * (端裏書)「北沢平藏江及内話御勝手方様江右之趣当人存寄ニ而相認入御覽候由被申呉候ニ付右書面留置候」		折紙・1通	え5173-2

1. 内方/1.9. 給人格取立・扶持加増

(測量並びに漢詩・軍備・将棋関係文書一括)		巻込一括/(え5173-3-1~12は巻込一括)	え5173-3
(杜審言漢詩書付)		折紙・1通	え5173-3-1
周(軍備配置書付)		縦紙/方眼紙・1通	え5173-3-2
(尺貫法・数理関係書付一括)		巻込一括/(え5173-3-3-1~3は巻込一括)	え5173-3-3
(距離の単位に付書付)		折紙・1通	え5173-3-3-1
別伝(「旧器之号」他測量技法に付書付)		折紙・1通(2枚)	え5173-3-3-2
(「凡例之格」他測量技法に付書付)		折紙・1通	え5173-3-3-3
はんの積を量れハ間数を知事尤尖也 口伝(「斜左右進退之事」他、距離の計測方法に付書付)		折紙・1通	え5173-3-4
(間棹・繩張他、大工仕事に付書付)		折紙/一部破損・1通	え5173-3-5
(磁石・北極他、数理の規矩に付書付)		折紙・1通	え5173-3-6
(見通のわさに付書付)		折紙・1通	え5173-3-7
(距離計測における誤差の許容範囲に付書付)		折紙・1通	え5173-3-8
(中将棋における駒の初期配置図)		42.8×31.2・1鋪	え5173-3-9
(たくみ道具7種の説明書付)		横切紙・1通(4枚)	え5173-3-10
(度量ほか測量技法に付、書付)		横切紙・1通(9枚)	え5173-3-11
(測量技法に付、書付)		折紙/一部破損・1通	え5173-3-12
(包紙) * (包紙上書)「文政七申年閏八月十一日 給人格被仰付御書付」	文政7年	包紙/(え4892-2~3は包紙一括)・1点	え4892-1
(御用のため明日四時登城すべしに付下知状) * (書状上書)「八田嘉右衛門殿 小山田采女」	(文政7年)閏8月10日	横切紙・1通	え4892-2
(数代御用勤めに付、給人格御勝手御用役仰せ付けらるるに付申渡し状) →八田嘉右衛門	(文政7年)閏8月11日	横切紙・1通	え4892-3
(書状、私儀一代給人格御勝手御用役仰せ付けられるに付御知らせに付) * (書状上書)「八田嘉助様 八田慎蔵様 山崎内蔵丞」 山崎内蔵丞→八田嘉助様・八田慎蔵様	11月13日	横切紙/(え4730-1~18は紙縫・包紙一括)・1通	え4730-16

1.10. 土地経営

1.10.1. 持地

覚(初10表代金、畑年貢など畑上納差引金3両3分余り差し上げに付) 十八町→かし町様	巳12月21日	横切紙/(え4734-1~16は紙縫一括)・1通	え4734-16
--	---------	--------------------------	----------

1.10.2. 借家・借地経営

(包紙) * (包紙上書)「覚 関田庄助」 関田庄助		包紙/(え4724-1 ~34は紙縫一 括)/(え4724-2 ~3は包紙一括) ・1点	え4724-2-1
覚(私居宅である三高院地中借地にある立家・土蔵・長屋・ 門口等を代金9両にて貴様方へ譲るに付) 関田庄助 (印)→増田惣右衛門殿	安永5年申3月	縦紙・1通	え4724-2-2
覚(本家・土蔵・長屋・門等の尺寸や建具等の詳細書上、代 金9両にて買い取り下されたき旨の裏書)	2月16日	横切紙・1通	え4724-2-3
(小松軍左衛門御厄介女むつ別宅関係一括)		包紙一括/(え 5026-2~3は包 紙一括)	え5026
(包紙) * (包紙上書)「覚 小松軍左衛門内権田覚右衛門 文 化五戊辰年」		包紙・1点	え5026-1
覚(借地証文出来にて差出し並びに改めの節は借家証文 差し出すべきに付) 小松軍左衛門→八田嘉右衛門殿御下 屋敷役代中	(文化5年)辰5月11日	横切紙・1通	え5026-2
一札之事(軍左衛門厄介むつ、嘉右衛門様御下屋敷添え 地内にて別宅いたしたきに付、年貢糶子1表4斗差し出 すべき旨) * (端裏貼紙書)「文化五戊辰五月十一日小松軍 左衛門殿御厄介女むつ借屋差置右御同人御内権田覚右衛門 より田町役代伊惣次方へ印書」 小松軍左衛門内権田覚右 衛門(印)・(奥書)小松軍左衛門(印)→八田嘉右衛門様御下 屋敷御役代伊惣治殿	文化5辰年5月11日	縦紙・1通	え5026-3
御請一札之事(これまで拝借の御建屋そのまま下し置く に付) 外田町御屋敷御役代平作(印)・親類栄助(印)→長 崎源吾様	天保15辰年6月	縦紙・1通	え4909
一札之事(私祖父半兵衛の頃より御借地の御抱屋舗の 事、去る申年の事により貴殿へ譲渡し太田藤右衛門殿 へ売り渡さると雖も、約定あるにより是迄の通り御借 地したきに付) 御抱屋舗半二(印)・親類恒作(印)→八田 慎蔵様御役代傳兵衛殿	嘉永7寅正月	縦紙・1通	え5057
口上覚(居宅手狭に付抱町屋舗長屋へ継足普請をした きに付) * 下書 八田嘉右衛門→綿貫五郎兵衛様		横切紙/(付箋 修正あり)/(え 4723-1~11は紙 縫一括)・1通	え4723-6
以上上書奉願候御事(私拝借の借家今般御入用に付土 蔵等売り払い家賃滞納分など返済に足らざるため当 人奉公仕り家賃上納したきに付) 鏡屋町大治郎(印) →嶺村吉兵衛様	申2月	縦紙・1通	え5056
借地証文事(埴科郡松代町字鏡屋町第344番地を地代金 1ヶ年に付金3円で借用並びに家作仕りたきに付) 右 地借主松本万作(印)・受人中嶋榮作(印)→八田知道殿	明治20年1月14日	半/赤色罫紙(12 行)・1通	え4882

1.10.3. 持地・抱屋敷絵図

(村境地所図面)		106.0×47.5/(え 4743-1~12は紙 縫一括)・1舗	え4743-12
----------	--	---	----------

1. 内方/1.10. 土地経営/1.10.3. 持地・抱屋敷絵図

(坪付図等一括)	綴/(え5162-1～6は一綴)・1綴	え5162
(443俵4合、此小作5表4斗6升6合書上)	横切紙・1通	え5162-1
(御霊屋裏田畑坪付図)	50.3×25.8・1鋪	え5162-2
(成本栄助屋敷建屋・田畑坪付図)	25.2×21.4・1鋪	え5162-3
(十人町付近の長屋建家・田畑坪付図)	30.8×25.8・1鋪	え5162-4
(恣水園・十人町付近の田畑・作人坪付図)	95.3×25.8・1鋪	え5162-5
(恣水園西北の長屋・田畑・作人坪付図)	47.8×25.8・1鋪	え5162-6
(屋敷平面図)	27.5×38.5/(え5197-1～5は紙縫一括)・1鋪	え5197-2

1.10.4. 買取・質取

譲渡申田地証文之事(名判横込町、高1石6合並びに高2石4斗7升、嘉左衛門分の田地を、金13両にて譲り渡すに付) * (端裏貼紙)「寛政二戌年四月中町与惣治より田地買入証文此田地売払当時不用証文」 中町譲主与惣治(印)・立合惣治(印)・役代伊兵衛(印)・名主重右衛門(印)・組頭臺藏(印)・長百姓弥惣治(印)→伊セ町傳兵衛殿	寛政2戌年4月	堅継紙・1通	え4827
乍恐以口上書奉願候御事(一昨日御屋敷様御目代御出田地御引分けの儀、人別難渋に付譲渡し証文延引し、右人別願ひ御赦成し下され、譲渡証文差し上げたきに付) 大口村名主吉左衛門・組頭三郎右衛門・同断幸吉・長百姓又三郎→八田嘉右衛門様御内	文化7午年4月	堅紙・1通	え4984
(包紙) * (包紙上書)「松代御家中八田嘉右衛門様平安用 堀家中壕内樹一郎[印]」		包紙/(え4726-1～4は紙縫一括)・1点	え4726-3-1
(書状、内願の件に付別紙差し上げ、この済まし方は地所にて御引取の積りにお含み置かれたきに付) (壕内)樹一郎→(八田)嘉右衛門様・嘉助様玉机下	7月6日	横切継紙/(別紙あり)/(え4726-3-2～3は巻込一括)・1通(2枚)	え4726-3-2
(金300両の1割の利分済みに付) (壕内樹一郎)→(八田嘉右衛門・嘉助)	天保8年	横切紙・1通	え4726-3-3
極月廿日瀧沢氏江下屋敷一条答覚(先方にて余人へ譲渡苦しからずに付ほか)		横切継紙/(え4712-1～26は紙縫一括)・1通	え4712-24
口上覚(八田孫左衛門への借金片付けとして家屋敷などお渡しに付) 卯右衛門→馬場平作様	3月	折紙・1通(3枚)	え4989

1.10.5. 売渡

譲渡申田地証文之事(志川村本田御高辻の内、上納金差し詰め代金8両2分受取に付、田地その元へ譲り申す旨) 郡村入作譲主権七(印)・同村受人権三郎(印)・同断重五郎(印)、(奥書)志川村名主喜左衛門(印)・長百姓金十郎(印)→八左衛門殿	寛政2戌年12月	堅紙・1通	え5127
御請書一札之事(今般伊勢町御抱屋敷御町役1軒前の処建家共、この度頂戴仕るに付) 数右衛門(印)・親類惣代平藏(印)・同断惣藏(印)→八田嘉右衛門様・御役人中様	天保12丑年8月	堅紙・1通	え5161

(柿崎源左衛門地所譲渡し関係文書一括)		貼継文書/(え5165-1~4は貼継一括)・1点	え5165
一札之事(私屋敷続の地所他へ譲り渡せば私御役勤かねるに付私御貫い請けたく、右御手充地譲り渡すに付) *柿崎源左衛門(印)、(奥書)深見寿一郎→八田嘉右衛門様	天保15辰年5月	縦継紙・1通	え5165-1
譲渡申証文之事(矢代村のうち私持来る免役御手充地のうち8筆を代金474両で譲渡すに付) 矢代村讓主柿崎源左衛門印・親類受合平九郎印・同断直八印・口入弥五右衛門印、(奥書)矢代村名主・組頭・長百姓、柿崎源左衛門→八田孫左衛門殿	享和元年酉12月	縦継紙・1通	え5165-2
覚(先年当屋敷へ譲り渡し置かれた地所役代勤めている地所の内高7石余分の代金270両3分銀11匁5分8厘受取り返地に付) 八田嘉右衛門内浦野忠七(印)・笠井和七(印)→柿崎源左衛門殿	文政9戌年12月	縦継紙・1通	え5165-3
覚(先年町田源左衛門殿より金5両返上し、右の筋の請取印書この度返上仕るべきに付) 柿崎源左衛門(印)→八田嘉右衛門様	天保15辰年5月	縦継紙・1通	え5165-4
済証文之事(小野通安老より引き請けの名所中やち畑代並びに水道普請代などメ金20両余り、今般代金受取り内証に付) *(端裏書)「弘化五申二月廿三日十人町江差出請取之与」 かち町多七、(奥書)東条村北組役本市郎右衛門→玉井忠治殿	弘化5戌申年2月23日	縦紙・1通	え5025

1.10.6. 家賃取立

一札之事(拙者御屋賃正月中まで延引願いに付) 借主藤右衛門(印)・請人小七(印)→傳兵衛様	宝暦13年未極月大晦日	縦紙・1通	え4841
---	-------------	-------	-------

1.10.7. 年貢諸役上納

1.10.7.1. 年貢・小役勘定目録等

一札(卯年より亥年までの御年貢未進に付、メ金67両1分銀3貫2匁2分2厘のところこ8ヶ年賦にて返済お引き受けに付控) 中村肝煎彦之丞印・新右衛門印・市左衛門印・武兵衛印・市右衛門印・三郎左衛門印・市三郎印・彦三郎印・市郎右衛門印・権四郎印・助右衛門印・茂左衛門印・佐五左衛門印・四郎兵衛印・彦兵衛印・九兵衛印・惣四郎印→廣田直之進様	享保18年丑ノ5月26日	縦継紙・1通	え4912
(年貢・小役勘定目録一括)		綴/(え4757-1~10は一綴)・1綴	え4757
申御小役御勘定目録 *(端裏書)「安永五」 南堀村御蔵本平左衛門(印)→友野八三郎様	安永5年申12月	縦継紙・1通	え4757-1
申御年貢御勘定御目録 *(端裏書)「安永五」 南堀村御蔵本平左衛門(印)→友野八三郎様	安永5年申12月	縦紙・1通	え4757-2
酉之御年貢御勘定目録 *(端裏書)「安永六西 南堀村」 南堀村御蔵本平左衛門(印)→友野富右衛門様御隠居様	安永6年酉12月	縦紙・1通	え4757-3
酉御小役御勘定目録 *(端裏書)「安永六西 南堀村」 南堀村御蔵本平左衛門(印)→友野留(富)右衛門様御隠居様	安永6年酉11月	縦継紙・1通	え4757-4
戌御年貢御勘定目録 *(端裏書)「安永七戌 南堀村」 南堀村御蔵本平左衛門→御隠居様	安永7戌12月	縦紙・1通	え4757-5

1. 内方/1.10. 土地経営/1.10.7. 年貢諸役上納/1.10.7.1. 年貢・小役勘定目録等

戌御小役御勘定目録 * (端裏書)「安永七戌 南堀村」 南堀村御蔵本平左衛門→御隠居様	安永7戌12月	豎継紙・1通	え4757-6
亥御年貢御勘定目録 南堀村御蔵本平左衛門(印)→友野富右衛門様御内御隠居様	安永8亥12月	豎継紙・1通	え4757-7
亥御小役御勘定目録 南堀村御蔵本平左衛門(印)→友野富右衛門様御内御隠居様	安永8亥12月	豎継紙・1通	え4757-8
子納御年貢御勘定目録 南堀村御蔵本平左衛門(印)→友野富右衛門様御内御隠居様	安永9子12月	豎紙・1通	え4757-9
子御小役御勘定目録 南堀村御蔵本平左衛門(印)→友野富右衛門様御内御隠居様	安永9子12月	豎継紙・1通	え4757-10
御蔵入初懸り覚(初書上並びに運び代他金銭書上)		折紙/(貼紙あり)・1通	え4884
(金62両、申年御年貢金上納に付、金銭書上)		豎切紙/(虫損)・1通	え4966

1.10.7.2. 御飯米一紙目録等

指上申一札之事(丑の御飯米2石5斗未進のところ、厳しき御取立により来月5日より15日までに御上納仕るべきに付) 三輪村払主磯右衛門(印)→佐藤与七様・原孫右衛門様	宝暦9年卯ノ10月28日	豎紙・1通	え5144
(包紙) * (包紙上書)「宝暦四未年より天明六午年迄ノ御飯米一紙目録拾貳通」		包紙/(え4904-2~11は包紙一括)・1点	え4904-1
(安永3~5年御飯米一紙目録綴)		綴/(え4904-11-1~8は一綴)・1綴	え4904-11
覚(27駄代金18両9匁2歩9厘、午納江戸出御飯米上納小切手引合相違なく、皆済に付) 上原権平(印)→田野口村	安永4年未5月	横切継紙・1通	え4904-11-1
覚(10駄代銀14匁6歩3厘、午納御在所御飯米上納小切手引合相違なく、皆済に付) 上原権平(印)→田野口村	安永4年未10月	横切継紙・1通	え4904-11-2
覚(2表代金1分11匁2歩5厘、午納江戸出御用大豆上納小切手引合相違なく、皆済に付) 上原権平(印)→田野口村	安永4年未8月	横切紙・1通	え4904-11-3
覚(27駄代金17両1分4匁7歩7厘、未納江戸出御飯米上納小切手引合相違なく、皆済に付) 上原権平(印)→田野口村	安永5年申8月	横切継紙・1通	え4904-11-4
覚(10駄、未納御在所御飯米代金上納小切手引合相違なく、皆済に付) 上原権平(印)→田野口村	安永5年申8月	横切継紙・1通	え4904-11-5
覚(2表代金1分銀9匁、未納江戸出御用大豆代金上納小切手引合相違なく、皆済に付) 上原権平(印)→田野口村	安永5年申8月	横切継紙・1通	え4904-11-6
(銭288文他ノ334文、未納江戸出御飯米小太賃並びに荷菰代請取に付) 上原権平(印)→田野口村	安永4年未壬12月	横切紙・1通	え4904-11-7
(銭288文・同42文、午納江戸出御飯米小駄賃並びに荷菰代受取に付) 上原権平(印)→田野口村	安永3年午3月	横切紙・1通	え4904-11-8
(安永6年御飯米一紙目録一括)		包紙一括/(え4904-2~11は包紙一括)/(え4904-8-1~3は巻込一括)	え4904-8

覚(27駄代金20両2分6匁4歩9厘、申納江戸出御飯米代金上納小切手引合相違なく、皆済に付) 上原権平(印)→田之口村	安永6年酉8月	横切継紙・1通	え4904-8-1
覚(10駄代金7両14匁2歩1厘、申納御在所御飯米代金上納小切手引合相違なく、皆済に付) 上原権平(印)→田之口村	安永6年酉9月	横切継紙・1通	え4904-8-2
覚(2表代金1分4匁5歩3厘、申納江戸出御用大豆代金上納小切手引合相違なく、皆済に付) 上原権平(印)→田之口村	安永6年酉7月	横切紙・1通	え4904-8-3
(安永7年上納関係文書一括)		包紙一括/(え4904-6-1~3は巻込一括)	え4904-6
覚(10駄、代金2分1匁2歩5厘、西納御在所御飯米上納小切手引合相違なく、皆済に付) 上原権平(印)→田野口村	安永7戌7月	横切継紙・1通	え4904-6-1
覚(2表代金1分9匁7歩1厘、西納江戸出御用大豆小切手引合上納相違なく、皆済に付) 上原権平(印)→田之口村	安永7戌5月	横切継紙・1通	え4904-6-2
覚(27駄代金21両2分2匁5歩5厘、西納江戸出御飯米小切手引合上納相違なく、皆済に付) 上原権平(印)→田之口村	安永7戌7月	横切紙・1通	え4904-6-3
(安永8年御飯米・御用大豆文書一括)		巻込一括/(え4904-7-1~3は巻込一括)	え4904-7
覚(27駄代金23両2分2匁7歩9厘、戌納江戸出御飯米代金上納小切手引合相違なく、皆済に付) 上原権平(印)→田野口村	安永8亥8月	横切継紙・1通	え4904-7-1
覚(1表代銀12匁7歩3厘、戌納江戸出御用大豆代金上納小切手引合相違なく、皆済に付) 上原権平(印)→田之口村	安永8亥8月	横切継紙・1通	え4904-7-2
覚(10駄、戌納御在所御飯米御蔵入通引合上納相違なく、皆済に付) 上原権平(印)→田野口村	安永8亥9月	横切継紙・1通	え4904-7-3
覚(27駄代金23両2分2匁7歩9厘、亥納江戸出御飯米代金上納小切手引合相違なく、皆済に付) 上原権平(印)→田之口村	安永9子9月	横切継紙/(え4904-2~11は包紙一括)・1通	え4904-4
覚(1表代銀12匁3歩5厘、亥納江戸出御用大豆代金上納小切手引合相違なく、皆済に付) 上原権平(印)→田野口村	安永9子8月	横切継紙/(え4904-5-1~2は巻込一括)・1通	え4904-5-1
覚(10駄、亥納御在所御飯米御蔵入通帳引合上納相違なく、皆済に付) 上原権平(印)→田之口村	安永9子8月	横切継紙/(開披不可)・1通	え4904-5-2
(天明元年御飯米一紙目録一括)		巻込一括/(え4904-2-1~3は巻込一括)	え4904-2
覚(27駄代金24両6匁4歩3厘、子納江戸出御飯米代金上納小切手引合相違なく、皆済に付) 上原権平(印)→田之口村	天明元年丑9月	横切継紙・1通	え4904-2-1
覚(1表代銀13匁5歩5厘、子納江戸出御用大豆代金上納小切手引合相違なく、皆済に付) 上原権平(印)→田之口村	天明元年丑9月	横切継紙・1通	え4904-2-2
覚(10駄、子納御在所御飯米御蔵入通引合上納相違なく、皆済に付) 上原権平(印)→田之口村	天明元年丑8月	横切継紙・1通	え4904-2-3

1. 内方/1.10. 土地経営/1.10.7. 年貢諸役上納/1.10.7.2. 御飯米一紙目録等

(天明2年御飯米一紙目録など一括)		卷込一括/(え4904-10-1~4は卷込一括)	え4904-10
覚(26駄代金22両2分余、寅納江戸出御飯米代金月割上納すべしに付) 上原権平→田野口村	天明2年寅5月	横切継紙/(貼紙あり)・1通	え4904-10-1
覚(9駄2表、丑納御在所御飯米御蔵入通引合上納相違なく、皆済に付) 上原権平(印)→田之口村	天明2年寅9月	横切継紙・1通	え4904-10-2
覚(1表代銀11匁3歩5厘、丑納江戸出大豆代金上納小切手引合相違なく、皆済に付) 上原権平(印)→田之口村	天明2年寅9月	横切継紙・1通	え4904-10-3
覚(26駄代金23両12匁8歩6厘、丑納江戸出御飯米代金上納小切手引合相違なく、皆済に付) 上原権平(印)→田之口村	天明2年寅9月	横切継紙・1通	え4904-10-4
覚(26駄代金23両2分12匁4歩4厘、寅納江戸出御飯米代金上納小切手引合相違なく、皆済に付) 上原権平(印)→田野口村	天明3年卯8月	横切継紙/(一部破損)/(え4904-3-1~2は卷込一括)・1通	え4904-3-1
覚(9駄2表、寅納御在所御飯米御蔵入通引合上納相違なく、皆済に付) 上原権平(印)→田之口村	天明3年卯9月	横切継紙/(一部破損)・1通	え4904-3-2
覚(17駄2表、卯納江戸出御飯米御蔵入通引合上納相違なく、皆済に付) 上原権平(印)→田野口村	天明4年辰10月	横切紙/(え4904-10-1~7は卷込一括)・1通	え4904-10-5
覚(26駄代金17両2分4匁5厘、辰納江戸出御飯米代金上納小切手並びに御蔵入通相違なく、皆済に付) 上原権平(印)→田野口村	天明5年巳10月	横切継紙・1通	え4904-10-6
覚(9駄2表、辰納御在所御飯米御蔵入通引合上納相違なく、皆済に付) 上原権平(印)→田野口村	天明5年巳11月	横切紙・1通	え4904-10-7
(天明6年御飯米上納関係文書一括)		卷込一括/(え4904-9-1~4は卷込一括)	え4904-9
覚(26駄代金15両1分、巳納江戸出御飯米代金上納小切手引合相違なく、皆済に付) 上原権平(印)→田野口村	天明6年午2月	横切継紙・1通	え4904-9-1
覚(9駄2表、巳納御在所御飯米御蔵入通引合相違なく、皆済に付) 上原権平(印)→田野口村	天明6年午2月	横切継紙・1通	え4904-9-2
(金3分、巳納江戸出御飯米代金請取書) 水井友右衛門(印)→田野口村	天明6年午2月20日	横切紙・1通	え4904-9-3
(金1両6匁3歩2厘、巳納江戸出御飯米代金請取に付) 水井友右衛門(印)→田野口村	天明6年午3月	横切紙・1通	え4904-9-4

1.10.7.3. 配符など

申御年貢皆済之事(ノ9俵3斗7歩3合、159匁1分皆済に付) 名主和左衛門→八田様方与三郎殿	文政7申年12月	横切継紙/(え5014-1~2は卷込一括)・1通	え5014-1
戌御年貢皆済之事(ノ2俵4斗3歩2合7夕、86匁3分5厘皆済に付) 土口村名主茂平→八田様方与三郎殿	文政9戌年	横切継紙・1通	え5014-2
一札之事(当村御分地の内名所算水沢山御年貢粉4斗7升御引き受け下さるに付) 平林村名主伊宗太(印)・組頭専左衛門(印)・長百姓弥市右衛門(印)・村惣代和左衛門(印)→伊勢町傳兵衛殿	文政11子年11月	堅紙・1通	え4956

(東寺尾村小作地年貢関係)		巻込一括/(え4853-1~5は巻込一括)/(え4835-3~5は紙縫一括)	え4853
午御年貢(御年貢高1石2斗6升8合などメ代金2分銀12匁9合5厘、万御小役夫銀など請取に付) 東寺尾村名主喜左衛門(印)→いせ町傳兵衛殿	天保5年12月	横切継紙・1通	え4853-1
午御年貢(御年貢高8斗5升などメ代金1両2分銀3匁2分7厘、万御小役夫銀メ金1両3分銀4匁3分1厘など請取に付) 東寺尾村名主喜左衛門(印)→いせ町傳兵衛殿	天保5年12月	横切継紙・1通	え4853-2
巳御年貢(御年貢高朮2表2升6合3匁などメ代金差し引き金3分銀12匁2分7厘請取に付) 東寺尾村名主喜左衛門(印)→傳兵衛殿	天保4年巳12月	横切継紙/(え4853-3-1~3は一綴)・1通	え4853-3-1
巳御年貢(御年貢高8升甚左衛門分などメ代金差し引き金1分銀10匁1分8厘御請取に付) 東寺尾村名主喜左衛門(印)→傳兵衛殿	天保4年巳12月	横切継紙・1通	え4853-3-2
巳御年貢(御年貢高8斗5升甚五郎左衛門分などメ代金差し引き金2両銀5匁2分7厘請取に付) 東寺尾村名主喜左衛門(印)→傳兵衛殿	天保4年巳12月	横切継紙・1通	え4853-3-3
(天保11年年貢配符関係文書一括)		包紙一括/(え5070-1~2はえ5070-3~15の包紙)/(え5070-5-1~4は巻込一括)	え5070
(包紙) * (包紙上書)「天保十一子年配府入」/紙背文書使用/(紙背文書表題)「拝借金年賦証文之事」天保12年12月付下書		包紙・1点	え5070-1
(包紙) * (包紙上書)「子暮配符入」	(天保11年)子	包紙・1点	え5070-2
子御年貢(御年貢並びに御万御小役夫銀皆済に付) 東寺尾村名主團右衛門(印)→伊勢町傳兵衛殿	天保11子年12月	横切継紙・1通	え5070-3
子御年貢目録(御年貢御小役並びに役元年中品々夫銀皆済に付) 荒町村名主洵治(印)→伊勢町傳兵衛殿	天保11子年12月	横切継紙・1通	え5070-4
(去巳年御手伝御用金銀3分2毛請取に付) 依田甚兵衛(印)・伊勢町傳兵衛	天保11子年8月	小切紙/(え5070-5-1~4は巻込一括)・1通	え5070-5-1
(去巳年御手伝御用付高懸金銀2匁5厘受取に付) 依田甚兵衛(印)・伊勢町傳兵衛	天保11子年8月	小切紙・1通	え5070-5-2
(去巳年御手伝御用付高掛金銀1匁6分2厘受取に付) 依田甚兵衛(印)・伊勢町傳兵衛	天保11子年8月	小切紙・1通	え5070-5-3
(去巳年御手伝高懸り銀1分2厘受取に付) 依田甚兵衛(印)・伊勢町傳兵衛	天保11子年8月	小切紙・1通	え5070-5-4
子御年貢配府(御年貢諸御小役皆済に付) 東福寺村名主長藏(印)→いせ町傳兵衛殿	天保11子年12月	横切継紙/(え5070-6-1~3は挟込一括)・1通	え5070-6-1
子御勘定配府(矢嶋源左衛門様御分夫銀皆済に付) 東福寺村御藏出彦太夫(印)→いせ町傳兵衛殿	天保11子年12月	小切紙・1通	え5070-6-2
覚(菅越太郎様御分御借高ほか受取に付) 東福寺村御藏出嘉平治(印)→伊勢町傳兵衛殿	天保11子年12月	小切紙・1通	え5070-6-3

1. 内方/1.10. 土地経営/1.10.7. 年貢諸役上納/1.10.7.3. 配符など

(明屋敷御年貢受取に付) * (朱書)「は」 依田甚兵衛(印)→八田嘉右衛門殿役代惣兵衛	天保11子年	小切紙・1通	え5070-7
子御年貢皆済目録(御年貢万御小役夫銀皆済に付) 田中村名主久兵衛(印)→伊勢町傳兵衛殿	天保11子年12月	横切継紙・1通	え5070-8
子御年貢目録(御年貢御小役並びに役元年中品々夫銀皆済に付) 町分名主平右衛門(印)→伊勢町傳兵衛殿	天保11子年12月	横切継紙・1通	え5070-9
(揚物代金1分受取に付) 野中八大夫・堀内太一郎(印)・宮原莊左衛門・伊勢町通船揚場江出売傳兵衛	天保11子年12月	小切紙・1通	え5070-10
(本口粃1表3斗2升4合ほか役粃・山年貢書付) 田中村名主		小切紙・1通	え5070-11
子御年貢目録(御年貢諸御役夫銀皆済に付) 東条村南組名主治五右衛門(印)→いせ町傳兵衛殿	天保11子年12月	横切継紙・1通	え5070-12
子御年貢目録(御年貢諸御役夫銀皆済に付) 東條村北組名主勘之丞(印)→いせ町傳兵衛殿	天保11子年12月	横切継紙・1通	え5070-13
河原新田御年貢(粃2表3斗3升9合代金受取に付) * (朱書)「い」 依田甚兵衛(印)・伊勢町傳兵衛	天保11子年12月	小切紙/(え5070-14-1~5は巻込一括)・1通	え5070-14-1
(明屋敷御年貢3斗16升6合4勺代銀受取に付) * (朱書)「に」 依田甚兵衛(印)・伊勢町傳兵衛	天保11子年	小切紙・1通	え5070-14-2
(明屋敷御年貢2表3斗5升5合5勺代金受取に付) 依田甚兵衛(印)・伊勢町傳兵衛	天保11子年12月	小切紙/(貼紙あり)「五升」・1通	え5070-14-3
御小作御年貢(粃2表1斗8合3勺代金受取に付) 依田甚兵衛(印)・伊勢町傳兵衛	天保11子年12月	小切紙・1通	え5070-14-4
明屋敷御年貢(8升2合4勺代銀受取に付) 依田甚兵衛(印)・八田嘉右衛門様役代傳兵衛	天保11子年12月	小切紙/(貼紙あり)「明屋敷 御年」・1通	え5070-14-5
明屋敷御年貢(8表3斗5升4合1勺代金受取に付) 依田甚兵衛(印)・光徳院役代傳兵衛	天保11子年12月	小切紙/(貼紙あり)「院役代」拾三匁」・1通	え5070-15
(明屋敷御年貢銀3匁1分9厘請取に付) 中島渡浪(印)→八田喜兵衛殿・内田村久蔵殿	安政4巳年12月	小切紙・1通	え4965-2-1
(明屋敷御年貢金2両銀10匁7分1厘受取に付) 中島渡浪(印)・八田慎蔵殿役代傳兵衛	安政4巳年12月	小切紙・1通	え4965-2-2
(明屋敷御年貢銀3匁9分6厘受取に付) 中島渡浪(印)→八田慎蔵殿役代傳兵衛	万延元年12月	小切紙/(え4965-1-1~2は巻込一括)・1通	え4965-1-1
(明屋敷御年貢金2分銀2分6厘受取に付) 中島渡浪(印)→伊勢町傳兵衛	万延元年12月	小切紙・1通	え4965-1-2
文久四亥年拝借地並びに田畑年貢取調(粃30表2斗5升2合5勺などメ代金差し引き金18両銀14匁1分5厘亥年勘定書付) * (端裏書)「亥年」 悦作	文久4年	横切継紙/(付箋多数あり)・1通	え4908

1.10.7.4. 明治初年ほか

(町分高4石余に賦課された申西上納金2円51銭8余の書上)	明治初年	横切紙/(え4783-1~26は一綴)・1通	え4783-1
(町分屋敷並びに畑絵図面)		31.7×85.5・1鋪	え4783-2

1. 内方/1.10. 土地経営/1.10.7. 年貢諸役上納/1.10.7.4. 明治初年ほか

覚(役元1両1分ほか金銭書上)		折紙/(反故紙)・1通	え4783-3
(岩田・酒井・同人南之方・安川・神戸の土地寸法書上)		折紙・1通	え4783-4
(町分にある皆吉・平蔵の土地絵図)		39.0×15.0/(反故紙利用)・1鋪	え4783-5
(八田知道・八田知礼持地絵図面、水帳間数を役元へ朱筆で書き出した図面) 八田知道・八田知禮	壬申11月	38.0×13.5/(貼紙あり)・1鋪	え4783-8
譲渡畑証文事(上畑3畝12歩、御水帳定助分、地代金69円受取に付) *写 譲主八田知道・受人瀧澤平作、(奥書)町分戸長依田民治・副戸長瀧澤清兵衛・百姓代宮下辰之助→玉井龍太郎殿	明治5壬申年2月	横切継紙・1通	え4783-9
(町分・喜吉・佐忠二・利兵衛・玉井の土地を朱筆で役元に渡す絵図面)		32.3×14.6・1鋪	え4783-11
(町分・荒町他、土地絵図)	明治5年10月16日	86.8×27.0/(反故紙利用)・1鋪	え4783-12
地券取扱規則 長野県、(奥書)出板所長野大門町上堀花川眞助[印][印]		縦紙・1通(木版刷)	え4783-13
記(当時上納55両他、ノ250両2分2朱140文、金銭書上)		横切継紙・1通	え4783-14
(村上・神戸・安川他土地絵図)		93.8×16.1・1鋪	え4783-15
(荒町村御高辻の内、分米4斗内訳書上)		横切紙・1通	え4783-16
(町分御高辻の内、分米内訳(関田・酒井・安川など)書上)		横切継紙・1通	え4783-17
覚(屋敷高9斗6升並びに上畑9斗3升2合、内訳(関田・酒井・安川)書上)		折紙・1通	え4783-18
(酒井・安川・神戸などの屋敷並びに田畑高内訳書上)		横切紙/(貼紙あり)・1通	え4783-19
(皆吉分並びに兵藏分の分米書入願) 町分役元	10月	横切紙・1通	え4783-20
(町分・荒町他土地絵図)		38.3×13.6・1鋪	え4783-21
(田中村分、伊勢町伝兵衛分、高4斗4合、土地絵図)	明治5年9月8日	38.4×14.1・1鋪	え4783-22
覚(榮左衛門8俵2斗5升代金127両2分他9件、代金合計539両、金銭書上)		折紙・1通	え4783-23
(玉井忠次殿金65両他5件、金銭書上)		折紙・1通	え4783-24
(地代金69両余他、金銭書上)		横切紙・1通	え4783-25
覚(玉井忠治金72両他、ノ金117両3分と26匁4歩4厘、金銭書上)		横切継紙・1通	え4783-26

1.10.8. 下屋敷

覚(下屋舗之調、御扶持渡高より借入金分等差引計算書、ノ39両1分5匁2分1厘、丑春借財取調とも) *(端裏書)「慶應元丑閏五月 下屋舗之調」	慶應元丑閏5月	折紙/(え4742-1~13は紙繕一括)/(え4742-13-1~15は紙繕一括)・1通	え4742-13-3
--	---------	--	------------

1.10.9. 抱屋敷

口上覚(地年貢銀2枚4匁7分7厘上納延引に付) 御抱屋敷 政平(印)→八田嘉右衛門様御内浦野忠七殿	戊正月	堅切紙・1通	え4931
--	-----	--------	-------

1.10.10. 小作

指上申一札之事(糊6表戌の納の内御未進慥かに預るに 付) 大里村九郎左衛門(印)→孫左衛門様・与七様	宝暦9年卯10月27日	堅紙・1通	え5097
居村両上下小作 *(小作帳の一部カ)	明和2酉年	折紙/(虫損あり) /(帳崩れカ)・4点	え5019
(証文8通分の新右衛門など計6人ノ高25石5斗4升6歩7 合7勺、この小作入り糊132俵代金219兩の地代金、糊に て取立て差し上に付) 岡川左十郎役代与三郎、(奥書) 岡川左十郎→八田嘉右衛門様御役代傳兵衛殿	文化7庚午年4月	堅継紙・1通	え4846
乍恐奉願口上之覚(質地・作徳滞りにて、静間村・蓮村両 村名前の者へ濟方仕らせるべきに付) 松代伊勢町願 人傳兵衛煩に付代平兵衛(印)・差添人長左衛門(印)→御役 人中様	文政13寅年6月15日	堅継紙・1通	え4906
(書状、小作入揚米代金受取に付拙者出府留守中に不実 の御取計いになった件に関する説明) *(端裏書)「池 田源助より天保十亥十二月貳百五拾俵破損挨拶之手紙写」 池田源助→喜久屋傳兵衛様	天保10年12月20日	横切継紙/(え 4740-1~31は紙 縫一括)・1通	え4740-6
(書状、祝儀申し上げたき処、今年は豊作ゆえ小作方地所 多く返地に成り農事繁多無人にて延引の段御高免成 し下さるべきに付)	9月21日	横切紙/(え 4718-1~22は紙 縫一括)・1通	え4718-6
(小作関係書類一括)		紙縫・包紙一括/ (え4730-1~18は 紙縫・包紙一括)	え4730
(包紙)		包紙・1点	え4730-1
(手作地・小作人耕作地・物置などの図)		30.7×41.7・1鋪	え4730-2
(下々畑2斗1升6合など入上糊1俵4斗8升3合3勺代金2兩2 分2朱など書付)		横切紙・1通	え4730-3-1
(下畑3斗2升など入上糊2俵3斗5升7合4勺代金3兩2分2朱 など書付)		横切紙・1通	え4730-3-2
(下畑1石3斗7升3合など入上糊7俵3斗3升5合3勺代金10 兩など書付)		横切紙・1通	え4730-3-3
(東条分中畑6斗8升3合など入上糊3俵2斗7升5合3勺代金 4兩2分など書付)		横切紙・1通	え4730-3-4
(下畑3斗2升小作入糊3俵2斗5升など小作入糊勘定書付)		横切継紙・1通	え4730-4
(拝殿分米9斗3升2合など石高・山年貢書付)		横切紙・1通	え4730-5
(荒町分免4ツ5分御蔵本払などノ2斗9升6合3夕諸役ノ 3斗など書付)		小切紙/(え 4730-5に巻込) ・1通	え4730-6
(般若寺18俵米数内訳書付)		横切継紙・1通	え4730-7
(田数8枚坪数857坪糊数ノ糊15俵2斗9升など勘定書付)		横切継紙・1通	え4730-8

(1番から5番までの区画図)		26.4×34.3・1鋪	え4730-9
(1番から5番までの坪付図)		19.0×27.7・1鋪	え4730-10
(耕地3筆の坪付図) *忠右衛門より八田嘉三郎様あて正月2日付け年賀状反古紙利用		折紙・1通	え4730-11
(寸法図)		26.6×39.0・1鋪	え4730-12
(般若寺屋敷坪付図)		30.7×42.0・1鋪	え4730-13
(土地図、名所つくだ平林村分山高6升にて3俵地代金9両にて相調うに付、大嶋彦市様より 世話人平林村三郎右衛門殿)	寛政12申閏4月	豎紙・1通	え4730-14
(総坪数メ533坪代金12両にて裏町喜右衛門新田いたすに付坪付図)		25.4×32.3・1鋪	え4730-15
(1番から5番までの坪付図)		18.8×27.6・1鋪	え4730-17
(耕地4筆の坪付図) *布屋利兵衛より八田伝兵衛様・伊七様あて正月2日付け年賀挨拶状反古紙利用		豎紙・1通	え4730-18
(その方儀作方米一段の事に付) *下書/抹消		横切紙/(え4744-1~5は括紐一括)/(え4744-1-1~30は巻込一括)・1通	え4744-1-16
(小作から手作りへ切り替えの儀は御聞済のところ、今年違作にて小作人の引き上げは早春に申し渡す旨伺い) *(端裏書)「田方取計申上 四月廿七日御聞済」	4月	横切継紙・1通	え4952
直小作請負証文之事(字久保田の上田1反歩・字嶋堀の下畑7畝歩の小作請負に付) *下書/後欠		横切継紙・1通	え5119

1.10.11. 土口村

一札之御事(今度田地御渡し申上により、本証文並びに絵図面相添差し上げに付) 土口村奥右衛門(印)→大瀬登様御役人中様	寛政6寅年閏11月	豎紙・1通	え5163
指上申一札之事(当村新右衛門今まで持ち来たりの御田地御高7石5斗7升1合5夕、此度御勝手御譲渡仕るに付) 土口村世話人又左衛門(印)・同断仁左衛門(印)・親類幸吉(印)・同断卯之助(印)・同断善兵衛(印)・同断治兵衛(印)・同断五郎兵衛(印)・同断儀右衛門(印)・同断儀左衛門(印)・同村名主瀬左衛門(印)・組頭卯之助(印)・同断喜兵次(印)・長百姓又左衛門(印)→八田嘉右衛門様御内中村金七殿	享和3亥年4月	豎紙・1通	え5157
乍恐以口上書奉願候御事(当村伴七不作・満水にて難渋のため利下げ願いに付) *(包紙上書)「上 土口村」土口村御借主伴七(印)・名主彦五郎(印)・組頭喜平次(印)・同断吉右衛門(印)・長百姓卯三郎(印)→八田嘉右衛門様・中村金七殿	文化元子年11月	豎紙・1通	え5150
乍恐以口上書奉願候御事(勝手向難渋のため別紙御年貢小作入上積り願いに付) 土口村願人助左衛門(印)・親類惣代彦右衛門(印)・同断善藏(印)・同断松右衛門(印)→八田嘉右衛門様御内御役人中様	文化3寅年12月	豎継紙・1通	え4986

1. 内方/1.10. 土地経営/1.10.11. 土口村

差上仕年越御差取延一札御事(当年不作難洪至極のため、来亥3月中旬迄「御年賦御借立人別」を御取延し下され有難きに付) 土口村名主仁左衛門・組頭庄三郎・同断喜惣次・長百姓藤治郎→八田嘉右衛門様御内久保栄治郎様	文化11戌年12月	縦紙・1通	え5033
以口上書奉願候御事(当年実入不立により御割合御上納の分1ヶ年取り延べ下されたきに付) 土口村又治郎(印)→八田嘉右衛門様御取次中様	天保4年巳11月	縦紙・1通	え5055
(書状、土口村又次郎この方より金子貸付あるも引当不相当の高貸にて田地残らずこの方へ引き受けに成るに付)	丑7月	横切継紙/(え4734-1~16は紙縫一括)・1通	え4734-10

1.10.12. 矢代村

一札之事(粃113俵5升の内残り粃93俵4斗7升6合8勺他、粃100俵1斗5升6合5勺、御持地私役代仕り度に付、年々小作入開間違いなきよう取り扱いに付) 矢代村(印)御役代柿崎源左衛門(印)・同断源五右衛門(印)→八田孫左衛門殿	享和元酉12月	縦継紙・1通	え5128
--	---------	--------	-------

1.10.13. 生萱村小作

乍恐以口上書奉願候御事(寛政7卯年奉行当村御番辻の内御本田御高12石5斗譲渡しの田地、私へ頂戴仰せ付けられたきに付) 生萱村惣左衛門(印)・悴佐伊吉(印)→八田嘉右衛門様御内	文化5年辰2月	縦紙/(え5098-1~5は旧封筒一括)・1通	え5098-1
覚(御屋敷様より役元諸上納成し下され置く役代勤方に付御役粃計上) 生萱村惣左衛門(印)→八田嘉右衛門様御内	文化5年辰3月	縦継紙・1通	え5098-2
差上申一札之御事(惣左衛門へ役代立帰り仰せ付けられたきに付) 生萱村御役代惣左衛門(印)・同村親類幸右衛門(印)・同村同断忠右衛門(印)・倉科村親類忠右衛門(印)→八田嘉右衛門様御内	文化5辰年4月	縦継紙・1通	え5098-3
覚(村並びに御役代本役勤方、粃1表1斗宛前々より御役の者御役粃請取に付) 生萱村惣左衛門(印)→八田嘉右衛門様御内	文化5年辰3月	縦継紙・1通	え5098-4
差上申一札之御事(惣左衛門へ役代立帰り仰せ付けられたきに付) *下書カ 生萱村御役代惣左衛門・親類たれ・何村親類たれ・何村親類たれ	3月	縦継紙・1通	え5098-5

1.10.14. 長岡助右衛門小作

覚(金10両、当辰年御取集め金の内受取に付) *(端裏書)「巳二月十三日済」/全文抹消 八田嘉助(印)→長岡助右衛門殿	天保3辰年12月晦日	横切紙/(え4714-1~18は紙縫一括)・1通	え4714-12
覚(金10両、御取集め金の内請取り御預け置くに付) *(端裏書)「御引替済 八田嘉右衛門殿切手」 八田嘉右衛門→長岡助右衛門殿	天保5午年12月29日	横切継紙・1通	え4714-11

1.10.15. 小作米日延

日切証文之事(入作米残り12俵余り今正月20日切りに大嶋出しにより催促は御免下されたきに付) *後欠 □ 太村日切主喜兵衛(印)・同村受合吉五郎(印)→角間川所本郷吉右衛門殿	文政元年寅12月30日	堅切紙・1通	え4930
御日延書一札之事(文政7年入上初代金40両の内金25両の返納を20日迄御日延に付) 上丸子村名主組頭百姓代組頭伴右衛門(印)→松代町傳兵衛殿	文政9戌年12月朔日	堅継紙/(え5048-1~5は巻込一括)・1通	え5048-1
日延一札之事(御田地入上米代金上納を7月20日迄御日延に付) *(端裏貼紙)「文政九戌四月十七日より来七月廿日迄御嶽堂村忠五郎請人傳五郎日延証文 可返証文」 御嶽堂村小作人忠五郎(印)・受人傳五郎(印)・名主周助(印)→松代伊勢町茶屋傳兵衛殿	文政9年戌4月17日	堅紙・1通	え5048-2
御日延書一札之事(去酉年に納めるべき入上初代金40両の皆納を20日迄御日延に付) 上丸子村名主組頭百姓代組頭伴右衛門(印)→松代町傳兵衛殿	文政9戌年12月朔日	堅継紙・1通	え5048-3
御日延書一札之事(去酉年に納めるべき入上初代金40両の皆納を20日迄御日延に付) 飯沼村名主組頭百姓代組頭久米藏(印)→松代町傳兵衛殿	文政9戌年12月朔日	堅紙・1通	え5048-4
御日延書一札之事(去酉年に納めるべき入上初代金53両の皆納を20日迄御日延に付) 御嶽堂村名主組頭百姓代組頭七藏(印)→松代町傳兵衛殿	文政9戌年12月朔日	堅紙・1通	え5048-5

1.10.16. 東寺尾村

乍恐以書付和談済口奉申上候(諸懸夫銀割合多く入増し一統当惑罷在り、東寺尾村分地出訴人別より今般惣代17人を以て願ひ奉るに付)		堅継紙/(え5024-1~3は旧封筒一括)・1通	え5024-1
和談規定之事(此度願人17人一同にて本郷住居行跡儘かなる人見立て入札など取極めに付) 東寺尾村出作人惣代馬喰町式之丞・同町庄右衛門・本町金作、いせ町伝兵衛、中町名右衛門・同町善兵衛、荒神町惣吉・同町作吉・同町栄左衛門、肴町市十郎・同町直左衛門、西寺尾村藤左衛門・同町治右衛門・同町宇左衛門、柴村孫十郎・同村軍藏、海沼氏役代源十郎	天保8酉年8月	堅継紙・1通	え5024-2
口上覚(近年諸夫銀など多く入増し出作人別難渋、私共へ惣代願に付) 出作惣代馬喰町式之丞・荘右衛門、本町金作、伊勢町伝兵衛、中町名右衛門・弥十郎、荒神町惣吉・佐吉・栄左衛門、肴町市十郎・直左衛門・柴村弥十郎・軍藏、西寺尾村藤左衛門・治右衛門・宇左衛門、杵淵村海沼氏役代源重郎→東寺尾村御役人衆中	天保7申年12月	半・1冊	え5024-3
一札之事(戌年御年貢上納せず、御日切の証文一札差し上げに付) 東寺尾村借主久右衛門・同村請人長藏→孫七様	正月	堅紙・1通	え5034

1.10.17. 田野口村

覚(申年入上初代金20両受取に付) 松代町傳兵衛(印)→田之口村又右衛門殿・瀬左衛門殿	文政8酉年正月	横切継紙/(え4740-1~31は紙縫一括)・1通	え4740-14
---	---------	---------------------------	----------

1.10.18. 清野村

一札之事(貴殿所持、当村本田並びに新田皆払い御譲り渡したきところ、5升2合8勺にあたる新田2か所以外はお構いなきに付) 清野村名主伴右衛門(印)→八田嘉右衛門様御役代傳兵衛殿	天保4巳年2月	豎紙・1通	え4840
---	---------	-------	-------

1.10.19. 東条村

引渡申田畑証文之事(御借用金御返済滞りのため、小川弥忠様御役代藤兵衛所持田畑引渡しに付) 東条村北組名主仁左衛門(印)・組頭与左衛門(印)・長百姓常右衛門(印)→平林縫殿進様御役代幸藏殿	寛政11年未正月	豎継紙・1通	え4844
引渡申畑地証文之事(御借用金御返済滞りのため、小川弥惣様御役代藤兵衛所持の分米合1石8斗4升4合の畑を引き渡すに付) 東条村南組名主徳之丞(印)・組頭佐全治(印)・長百姓甚兵衛(印)→平林縫殿進様御役代幸藏殿	寛政11年未正月	豎継紙・1通	え5063
覚(東条村南組名所表坂粉1斗1升3合などメ山質地に差し入れ代金120両借用に付) * (端裏書)「菊屋傳兵衛」借用人伊勢町傳兵衛(印墨消)・同町傳右衛門(印墨消)、(奥書)八田嘉助(印墨消)→嶋田大藏殿	嘉永3戌年6月	豎継紙・1通	え4860

1.10.20. 平林村

書付を以御纏り申上候(八田嘉右衛門様御所持の山にて青石頂戴の後片付け等閑し細工石取拵えの事、当惑のため貴寺様より御屋敷様へ訴訟願いたきに付) 鍛冶町石工治兵衛(印)、(奥書)平林村万行寺[印]→万行寺様、(奥書)八田嘉右衛門様御山見弥右衛門様	天保12丑8月	豎紙・1通	え5053
---	---------	-------	-------

1.10.21. 田中村

覚(田中村名所五反田にある庄三郎所持高8石9斗8升にかかる引高の書付) * (端裏貼紙)「文化五辰二月廿三日田中村役出名寄合」	文化5年2月23日	横切継紙/(え4724-1~34は紙縫一括)・1通	え4724-33
---	-----------	---------------------------	----------

1.10.22. 木町

(袋) * (袋上書)「文化十四丑年八月 金式百貳拾七両貳歩木町御用地頂戴仕度内願ニ付冥加金上納御請取書右御絵図面一枚 同断金五拾貳両貳歩金井市之丞殿江屋鋪引替之義ニ付内々指出金請取印書 文化十四丑年十二月木町屋鋪添地面頂戴仕候付金式貳式歩上納御請取并右御絵図面一枚 伊勢町傳兵衛」 伊勢町傳兵衛	文化14丑年8月	袋/(え4770-1~2は旧封筒一括)/(え4770-1-1~8は一綴)・1点	え4770-1-1
(包紙) * (包紙上書)「西木町金井市之丞様御屋鋪并川手添地冥加金差上持地ニ奉願候通被仰付役銀五拾八匁四分六厘宛年々上納仕来り候所此度町屋敷ニ被仰付御郡方様より御引渡ニ罷成坪数御改之上 御町方様より御渡し之御裏書御絵図面入 文政七申年正月 伊勢町傳兵衛」 伊勢町傳兵衛	文政7申年正月	包紙・1点	え4770-1-2
(西木町伊勢町傳兵衛屋敷地絵図面、御郡方より引渡しに付坪数改めの上相渡す旨の裏書) 立帰出府付無印金左源太・片主計(印)	文政7申年正月	豎紙・1通	え4770-1-3

覚(金227両2分、木町御用地頂戴仕りたく内願に付、冥加金上納請取申す旨) 梯崎喜作(印)・片岡嘉兵衛(印)、(裏書)菅九左衛門(印)・鹿外守(印)・片主計(印)→伊勢町傳兵衛	文化14丑年8月	豎紙・1通	え4770-1-4
覚(金2両2分、木町屋敷添地頂戴仕りたく内願冥加金上納請取に付) 梯崎喜作(印)・片岡嘉兵衛(印)、(裏書)菅九左衛門(印)・鹿外守(印)→木町傳兵衛	文化14丑年12月	豎紙・1通	え4770-1-5
(包紙) *(包紙上書)「絵図面」		包紙・1点	え4770-1-6
(絵図面、願いの上冥加金上納頂戴の地所へ繕入役銀増し都合58匁4分6厘ずつ上納に付御郡方御指図を以て地所引き渡す旨の裏書) 吉沢民右衛門印・古岩彦作印・立会竹花勘兵衛印→伊勢町傳兵衛	文化14丑年11月	豎紙・1通	え4770-1-7
(絵図面、願いの上冥加金227両2分上納地所頂戴仕り役銀54匁3分8厘ずつ上納に付御郡方御指図を以て地所引渡す旨の裏書) 吉沢民右衛門印・古岩彦作印・立会片岡戸六印→伊勢町傳兵衛	文化14丑年8月	豎紙・1通	え4770-1-8
覚(金52両2分、屋敷地引替えの儀願い、跡屋敷其方へ下さるに付、内証の金高の内御上より下さる金残りの分請取るに付) 金市之丞(印)→いせ丁傳兵衛殿	文化14丑年8月	豎紙・1通	え4770-2
(木町長屋関係金銭書上綴)		綴/(え4714-1~18は紙繕一括) /(え4714-2-1~2は一綴)・1綴	え4714-2
覚(木町長屋入用金4両2分他、金5両2朱と741文六右衛門へ渡すに付)		横切継紙・1通	え4714-2-1
覚(柵板10たん他木材代、金7両2分書上) やねや佐吉	9月12日	横切継紙・1通	え4714-2-2
(町家・木町弥左衛門頂戴地・此度頂戴地絵図)		28.2×38.6・1鋪	え4714-16

1.10.23. 西条村

奉差上内済証文之事(水内郡西条村の内福岡新田葉藏院より坂原兵左衛門へ懸る飯綱社をめぐる御訴訟に付) *下書	文政2卯6月	豎継紙/(え4718-1~22は紙繕一括)・1通	え4718-15
指上申証文之事(当所御持地の内私拝借仕り、右名目にて抱え居り当戌年より御年貢年々2俵ずつ返上納め仕るに付) 西條村之内新御安口御借主茂兵衛(印)・組合惣代五左衛門→伊勢町傳兵衛殿	文政9戌年12月	豎紙・1通	え5160

1.10.24. 荒町

(荒町御高4斗代金65両2分9匁、町分御高6斗代金86両1分2朱3匁の各内訳書上)		横切紙/(え4783-1~26は一綴)・1通	え4783-10
---	--	------------------------	----------

1.11. 小作年貢滞出入一件

1.11.1. 田野口村小作年貢滞一件

<p>(袋、田野口村質地一件) *(袋上書)「子年迄拾ヶ年季約束質地証文小作証文御年貢夫銀請取書 田野口村名主預り書付 右天保六未年四月元帳江写相済」/(袋裏書)「文政二卯五月箕輪新八瀬下七左衛門高五拾式石八斗壹升八合 壹間式百拾坪 但壹升蒔平均九拾八坪余質地代金式百八拾六兩二相極請取申候 尤金三百兩去寅五月中借附金差滞ニ付若□新規定ニ相成候 尤壹割式分元金之内五拾兩懸金有之 仍而若斯新八罷越候而此方懸合向群神山御院主御取計被下候内請取通帳下案等入」/(袋貼紙)「天保十亥年九月内済和談ニ而金子百兩請取印書差戻事済之書類」</p>		<p>袋/(え4761-1~12は一綴)・1点</p>	<p>え4761-1</p>
<p>(書状、初秋御引合せ申し上げる儀延引に付、書状差し上げ御承知成し下さるべく、八田嘉右衛門様へ御伝え成し下されたき旨) 箕輪新八→和合院様</p>	<p>9月25日</p>	<p>横切継紙・1通</p>	<p>え4761-2</p>
<p>(書状、小作証文メ7本遣わされ委細は紙上の趣承知致し、御印証落手致すに付) *(端裏書)「箕輪へ遣候下案」 和合院→一</p>	<p>9月27日</p>	<p>横切紙・1通</p>	<p>え4761-3</p>
<p>(書状、去年中御引合せ申し上げる御恩借金利分延引に付、此節罷り帰るので金20兩永20文差し上げ御改め御請取り成し下され和合院様へも貴様頼み入る旨) 箕輪新八・瀬下七左衛門→八田嘉右衛門様尊下</p>	<p>5月28日</p>	<p>横切継紙・1通</p>	<p>え4761-4</p>
<p>覚(座間百人様ほか2名江戸御留守居中へ田野口村質地本証文ほか23品書類御預り出立仕り、江戸より帰国の節御返上申し上げるべきに付) 福嶋村(花井)沖八(印)・(丸沢)栄八(印)→松代伊勢町傳兵衛様</p>	<p>天保10亥8月17日</p>	<p>横切継紙・1通</p>	<p>え4761-5</p>
<p>(書状下書、割合金の儀仰せ越され承知仕るが持病に付、金子御返事仕るべく御月延願うに付) *(書状表書)「岩村田宿ニ而 笠井和七様 貴下 田野口村瀬左衛門」</p>	<p>8月13日</p>	<p>横切継紙・1通</p>	<p>え4761-6</p>
<p>(書状、御状到来落手致し御返書の儀は評儀致し幸便の節申し越すべきに付) 長崎源吾・菊屋傳兵衛・玉井勝之助→花井沖八様・丸澤栄八様</p>	<p>8月28日五ツ時認</p>	<p>横切紙・1通</p>	<p>え4761-7</p>
<p>(当5日取り計らうべきところ込入り引替えに付、6日の差引片付き、7日朝出立勝之助・沖八義8日帰郷仕る旨)</p>		<p>小切紙・1通</p>	<p>え4761-8</p>
<p>(書状、松平石見守様御領分三塚村田野口村質地流地極め申さず作徳初滞る儀片付き申さざるに付、傳兵衛より町方へ申し立て傳兵衛病氣に付、代沖八・栄八差し出され指図承知仕る旨) 座間(百人)→八田様</p>	<p>9月23日</p>	<p>横切継紙・1通</p>	<p>え4761-9</p>
<p>乍恐以書付奉申上候(佐久郡田野口村へ懸り作徳滞一件に付、江戸へ御差出し願ひ奉り御添簡頂戴仕り出立したところ、追分宿にて嘸方あり、江戸御留守居様へ御添簡数日延着の段御訴訟申し上げに付) いせ町傳兵衛→御奉行所</p>	<p>8月24日</p>	<p>横切継紙・1通</p>	<p>え4761-10</p>
<p>(書状、御取成しを以て一件落着の段忝く、御証・小作証文差し上げるべきところ、延引におよび恐れ入るに付) 箕輪新八→和合院様</p>	<p>9月19日</p>	<p>横切継紙・1通</p>	<p>え4761-11</p>

1. 内方/1.11. 小作年貢滯出入一件/1.11.1. 田野口村小作年貢滯一件

乍恐以口上書奉申上候(私共儀伊勢町傳兵衛より田野口村へ掛る一件懸り合頼まれ、御添簡御用状預り出立のところ、追分宿にて田野口村懸り合の者から内済を頼まれ、御府内延着の儀御役頭様へ貴君様御含みを以て御内々仰せ上げ下されたきに付) 松代伊勢町傳兵衛代(花井)沖八・(丸沢)榮八→座間百人様御役所北澤彦太夫様	天保10亥年8月21日	豎継紙・1通	え4761-12
--	-------------	--------	----------

1.11.2. 中野質地一件

覚(中野村出入のため正月27日より3月8日まで江戸出府入用書上帳)	(文政12年カ)丑3月	横長半/(え5054-2~8は包紙一括)・1冊	え5054-3
-----------------------------------	-------------	-------------------------	---------

1.12. 材木方

指出シ申一札之事(伐木藤右衛門分5寸角長2間4丁など来たる亥年正月20日までに渡すに付) 米子村伐木預り主友右衛門(印)・同村同断彦次郎(印)・同村同断又四郎(印)→久兵衛殿	宝暦4年戌極月18日	豎紙・1通	え4913
売渡申立木之事(口入立ち合い木山代金4兩1分にて売り渡し、勝手次第に御伐り取りなさるべきに付一札) 東条村売主佐五右衛門(印)・口入平助(印)→八田孫左衛門殿御内衆中 (数右衛門関係書類一括)	明和3年戌3月	豎切紙・1通	え4812
乍恐口上書ヲ以奉願上候御事(妻科村才薪仕出しの節、御上様御取り調べ関田守之丞への帳面差出し不調法にて御勘弁願に付) 数右衛門→上	天保11子年11月	豎継紙・1通	え5147-1
覚(御預け置き金の金4両受取に付) 数右衛門(印)→長崎源吾様	天保12丑年7月	豎紙・1通	え5147-2
		旧封筒一括/(え5147-1~2は旧封筒一括)	え5147

1.13. 金融

1.13.1. 借入金・預り金

借入金証文之御事(商売仕入れ不都合にて、江戸浅草一乗院様諸堂建立金より金100両借用に付) 借り主菊屋小七(印墨消)・請人菊屋平助(印墨消)・請人菊屋儀兵衛(印墨消)、(奥書)八田孫左衛門(印)→江府浅草一乗院様・和田斉磨様・御口入竹内三太夫右衛門様 (包紙) *(包紙上書)「八田孫左衛門様 斎藤善蔵」	明和6年丑3月	豎継紙・1通	え5028
(書状、小幡の一件御談事済むにより彼証文下書差遣わし金子御受取り成られるべきに付)	12月7日	横切紙・1通	え4722-1-2
御内借仕候金子年賦証文之事(よんどころなき要用により御願い申し上げ金135両無利息年賦にて内借仕り有難きに付) 何村御借り主たれ、御請合三役人→小幡内膳様御内野口金兵衛殿	安永7戌年11月	豎紙・1通	え4722-1-3
		包紙/(え4722-1~9は紙綴一括)/(え4722-1-2~3は包紙一括)・1点	え4722-1-1

1. 内方/1.13. 金融/1.13.1. 借入金・預り金

借用仕金子之事(金16両2分御無心申し上げたところ、無利足・無年賦にて借用仕るに付) *控 伊勢町傳兵衛→片岡平十郎様御内	天明2寅年5月	縦紙/(え4747-1~16は巻込一括)・1通	え4747-5
覚(金15両受取り預け申すにより利息は年1割5分にて差し上げに付) 八田孫左衛門(印)→草間一路様	天明4辰年正月	縦紙・1通	え4878
覚(御内々御頼み遊ばされるに付、金17両慥かに請取、御預かり置くに付) 水井平之丞(印)→大瀬登様御奥様御内	寛政元酉年2月	縦紙・1通	え5061
奉預候御金之事(九條様三所春日御鎮守御修理金の内、且那要用に付、書面の金お預かりに付) *下書/金額未記入 御名内徳高甚蔵・大嶋多吉、(奥書)渡邊友右衛門・綿貫五郎兵衛・菅沼九左衛門→九條様御役人中御口入市村安左衛門殿	年号月	縦紙/(え5191-1~4は旧封筒一括)・1通	え5191-3
覚(金150両御預かりの所、来月中御渡し申すべきに付) 片桐重之助(印)→八田慎蔵殿	寛政9月10日	横切紙/(え5141-1~4は袋一括)・1通	え5141-3
覚(金116両2分2朱永37文預かり利潤加え来暮返済に付) * (端裏貼紙)「法華堂より元金百拾六両貳分式朱元利ノ百貳拾八両貳分式百四〇(虫損)文政七甲申十一月差引済印証文取戻」 八田嘉右衛門(印墨消)→法華堂御坊	文政6未年11月	縦紙/(虫損)・1通	え5151
覚(よんどころなき儀により、金12両借用申す付) 八田嘉右衛門内笠井和七(印)・受人小川録兵衛・八田嘉右衛門内松澤萬吉→小出仁右衛門殿	文政8酉年6月	縦紙・1通	え4995
一札事(金30両御手当有難く頂戴するにより御厚恩忘却仕らず出精の上中川家相続仕るに付) 中川助弥(印)→八田嘉右衛門様	文政9戌年2月	横切紙/(え4871-1~2は封筒一括)・1通	え4871-1
一札事(金100両御預け金御積立下され頂戴有難きに付) 中川助弥(印)→八田嘉右衛門様	文政9戌年2月	横切紙・1通	え4871-2
覚(金4両慥かに御預り置申候に付) 八田鉄之助(印)→山越恒五郎殿	文政9丙戌年12月23日	横切紙・1通	え5164
覚(当戌利分金15両落手に付) 車や五郎左衛門(印)→八田嘉右衛門様	文政9戌年12月28日	横切紙/(え4723-1~11は紙縫一括)・1通	え4723-9
覚(小林量吉跡式御預金32両の内、御下金16両請取に付) 長岡助右衛門(印)→八田嘉右衛門殿	天保3辰年12月	縦紙・1通	え4899
覚(上京に付利足金5両受取) 関口勝馬(印)→八田嘉助殿	天保10亥12月21日	縦紙・1通	え4831
①覚(御頼みにより金15両受取り預り置くに付) * (端裏書)「善吉おてるより預り金皆済相渡り返り証文 天保十三寅八月」/紙背に②御預け金返し受取証文 ①八田嘉右衛門内長崎源吾(印)→善光寺町おてる殿・清水谷三右衛門殿、②善光寺てる・代印東木町佐七	①天保10亥年12月、②天保13寅年8月29日	縦紙・1通	え5149
質置申山地証文之事(東條南組名所前山、山高初1表3斗2升8合他、傳兵衛山地質入、金100両借用に付) 伊勢町傳兵衛(印)・受人組合傳右衛門(印)、(奥書)八田嘉助(印)→島田大蔵殿、(貼紙)西寺尾村久右衛門殿	嘉永3戌年10月22日	縦紙/(貼紙あり)/(一部破損)・1通	え4828
拝借金証文之事(金10両を拝借、正月2日返済に付) 菊屋市兵衛(印墨消)→高野覺之進様御内	嘉永4亥年8月	縦紙・1通	え4976
覚(金350両、酉年の為替金280両の元利請取に付、金銭書上) 島田大蔵(印)→八田慎蔵様	嘉永4年亥12月	縦切紙・1通	え5123

1. 内方/1.13. 金融/1.13.1. 借入金・預り金

覚(要用に付御無心申入れ、金15両御取替え下され忝きに付) *水井忠蔵による奥書 八田慎蔵(印)、(奥書)水井忠蔵(印墨消)→色部義太夫殿	安政4巳年7月	縦紙・1通	え5006
覚(金75両、要用の儀に付無心に及び御承知下され受取り借入仕るに付) *全文墨消		縦紙/(え4713-1~14は紙繕一括)・1通	え4713-9
覚(金75両、要用の儀に付御無心に及び御承知下され受取り借入仕るに付) *全文墨消		縦紙・1通	え4713-10
覚(丑元金2740両1分余借財辻の割合に付) * (端裏書)「惣割合」		横切継紙/(え4716-1~8は紙繕一括)/(え4716-8-1~8は紙繕一括)・1通	え4716-8-6
(書状、預金390両に付御手元を御調べ下されたきに付) * (書状上書)「八田嘉右衛門様 大嶋磯右衛門」 大嶋磯右衛門→八田嘉右衛門様	10月26日	横切継紙/(え4724-1~34は紙繕一括)・1通	え4724-28
(山質地差入金130両借用証文の写し) *写 伊勢町傳兵衛		小切紙/(え4727-1~23は括紐一括)/(え4727-20-1~10は巻込一括)・1通	え4727-20-2
覚(先だって御預り金・大菊式口拝借ほか、352両1分1匁5分を御役御蔵入れに付)	正月26日	横切紙/(え4740-1~31は紙繕一括)・1通	え4740-20
拝借金証文之事(入金差支えにより金50両拝借受取に付) * (端裏書)「子十一月水井儀之御用金証文下案」 いせ町傳兵衛、(奥書)御店カ→水井忠蔵様御内	11月	縦紙・1通	え4902
郷証文之事(領主要用の為貴寺方より金1000両借用致し、返済差支えれば私共村方未戌物成粉6000俵急度お渡し申すに付証文) * 雛形/(端裏貼紙)「是迄御上御借入証文写不用之物ニ候得共残置候」		縦継紙・1通	え5016-1
借入金一札之事(旦那撫無き入用の為金1000両借用、来戌11月25日を限り元利共急度返済すべき旨並びに金子差し滞りの節は粉子渡すべきに付) * 雛形		縦継紙・1通	え5016-2
覚(金60両御預りに付) * (端裏書)「六月十九日帰り候事」 八田慎蔵(印墨消)→岡野弥右衛門殿	明治2巳年2月	横切継紙・1通	え5185
記(金110円御預りに付) * (端裏書)「明治七甲戌年十一月廿日返候 善次持参」 八田知道(印墨消)→村上松園殿	明治6年3月	縦紙/(え4903-1~4は一綴)・1通	え4903-3
(本証文の内、金55円請取、残金55円当7月御引き渡しの節本証文御渡しに付) 村上松園(印)→八田知道殿	明治7甲戌年1月9日	縦紙・1通	え4903-4
覚(金25両時貸に付借用書) 松本嘉十郎・八田嘉助→長崎や新三郎殿	11月23日	断簡/(え4727-1~23は括紐一括)/(え4727-22-1~23は巻込一括)・7点(1通)	え4727-22-15
(宮沢恒右衛門よりの借入関係書状一括)		綴一括/(え5130-1~6は一綴)	え5130
(書状、稲府町徳兵衛殿を以て入金の際に付、為替証文認めに付) 宮沢恒右衛門吉伯(花押)→八田孫左衛門様御報	9月13日	折紙・1通	え5130-1

1. 内方/1.13. 金融/1.13.1. 借入金・預り金

(書状、去年中口入申候金子返済受取り相済に付) 宮沢恒右衛門→八田孫左衛門様御報	4月24日	折紙・1通	え5130-2
(書状、去年中口入申す金子、元金已4月まで御借りなされたきに付、承知の旨) 宮沢恒右衛門→八田孫左衛門様	5月25日	横切継紙・1通	え5130-3
(書状、口入申す証文、御受取り下さるべきに付) 宮沢津摩→八田孫左衛門様御報	5月29日	折紙・1通	え5130-4
(書状、口入申す金子滞りなく当朔日御受取なされ候趣に付) 宮沢恒右衛門吉伯(花押)→八田孫左衛門様御報	10月4日	折紙・1通	え5130-5
(書状、稲府山慎兵衛殿御頼、本証文認め差出申すに付) 八田孫左衛門以親(花押)→宮沢恒右衛門様	9月12日	横切紙・1通	え5130-6

1.13.2. 貸付金

一札之事(午年お預かりの金子困窮により来る丑年5月まで延引の旨承引下さるに付) 小川原村預り主平左衛門[印]・同断七右衛門(印)・同断十左衛門(印)・同断与左衛門(印)・同断五郎右衛門(印)・同断三右衛門(印)・同断忠兵衛(印)・同断源之丞(印)→八田孫左衛門殿	宝永5年子ノ11月13日	堅紙・1通	え4796
しち入覚(旦那入用に付、金屏風・小袖など質入仕り、小形金25両請取に付) * (裏書)「表書之通金子調不申候間何方へ被払候共少も構無御座候 以上 子霜月八日 新木久兵衛(印) 正作殿」 青原助八・新木久兵衛(印)→伊勢吉平殿・口入正作殿	享保4年亥6月朔日	堅紙/(虫損)・1通	え4787
覚(具足一両など質入れいたし金3両借用に付) 木村甚五郎内借主中村岐助(印)・請人吉村勝右衛門(印)→木町正作殿	享保5年子ノ12月12日	堅紙・1通	え5086
覚(金10両預かり置き、来る5月2日に返金仕るに付) * (端裏貼紙)「清水唯右衛門殿古キ証文一通当時赤沢唯右衛門殿」 清水唯右衛門(印)→中川空三郎殿	元文5年申4月14日	堅切紙・1通	え4883
添手形之事(預り主遅滞にては家々立ち合いかねたく済ますべくに付) 菊屋太助[印「菊屋」]・幸八[印「菊屋」]・甚右衛門[印「菊屋」]→梅子様	元文5年申7月	堅切紙・1通	え5148
御借り申金子之事(金2両2分は田地調えに付御取替え下され、来卯の6月中に本利とも御返済申すべくに付) 西ノ尾村借り主久左衛門(印)・請人宇兵衛(印)→菊屋清六殿	延享3年寅12月	堅切紙/(え4747-1~16は巻込一括)・1通	え4747-3
御借り申証文之事(金5両2分余未納により八田嘉助殿へ御渡り申すところ、御用初代金に御口合により月2割の利息で返済仕るべきに付) 雨宮村新町借り主彦右衛門(印)・肝煎小左衛門(印)・組頭貞右衛門(印)・長百姓惣右衛門(印)→御口合松本金右衛門殿	宝暦2年申ノ2月	堅紙・1通	え5143
覚(初295表子年御年貢次御証文御渡し下されるところ、確かに受取に付) * (端裏書)「未ノ春改 方々証文」 八田鐵次郎(印墨消)→山岸文太夫様・奥村弥一左衛門様・藤田右仲様	宝暦7年丑正月	堅紙・1通	え5092
覚(金1両、御時借申し受取り申すに付) 堀田新助(印)→八田孫左衛門殿	安永4未年9月2日	横切紙/(え4748-1~67は一綴)・1通	え4748-64
覚(金2分7匁5分借用に付、来卯12月上旬元利御勘定申すべく、引当として新木勘十郎名弓1丁御預け置くに付) 樋口一角(印)→八田孫左衛門殿	天明2寅年10月	横切継紙・1通	え4748-61

口上覚(当暮払いの金6両、金子出来かね来たる未年2月15日に改めるに付) 十河式部内今井吉郎次(印)、(奥書) 斎藤善藏(印)→菊屋傳兵衛殿	天明6年午12月	横切紙/(え4820-1~8は旧封筒一括)・1通	え4820-1
(包紙) * (包紙上書)「又治郎方指引書入」/反故紙使用		包紙/(え5099-2~3は包紙一括)・1点	え5099-1
覚(又次郎方へ渡し申す金21両2朱内訳書付)	寛政元酉6月25日	横切継紙・1通	え5099-2
覚(又治郎年賦金返済及び遅滞に付私共取り扱いの金1両2分2朱請取、追って又治郎家屋敷売払いの節に惣右衛門らに返済に付) いせ町伊兵衛(印)・同所徳兵衛(印)→八田孫左衛門殿	天明6年午3月26日	横切継紙/(え5099-3はえ5099-2に折込)・1通	え5099-3
一札之事(私ども十河式部様御金5両受け合いのところ、ただ今御屋敷様埒明かざるにより、同人より受取べきに付) * 下書 真嶋村惣三郎・要八→八田友吉殿	寛政元年酉12月	堅紙/(え4820-1~8は旧封筒一括)・1通	え4820-2
一札之事(私ども十河式部様御金5両受け合いのところ、ただ今御屋敷様埒明かざるにより、同人より受取べきに付) 真嶋村惣三郎・要八→八田友吉殿	寛政元年酉12月	堅紙・1通	え4820-3
一札之事(私ども御地頭十河式部様御借りの金子私ども引き請けのところ、ただ今埒明かざるにより、来たる正月20日御屋敷にて寄合、その節そこ元様も御出で下されば半金返済に付) * 下書 惣三郎印・要八印→松代菊屋友吉殿	天明8年申3月	堅切紙・1通	え4820-4
一札之事(御地頭十河式部様御借りの金子私ども引き請けのところ一向に埒明かざるにより、来たる正月20日御屋敷にて寄合、その節そこ元様も御出で下されば半金返済に付) * 下書 惣三郎印・要八印→松代菊屋友吉殿	天明8年申12月30日	堅紙・1通	え4820-5
(書状、御屋敷様御金の義、同人難渋並びに私ども洪水に付) * (書状上書)「八田友吉様 要八 惣三郎」 要八・惣三郎→八田友吉様	12月29日	堅継紙・1通	え4820-6
一札之事(御地頭十河式部様御借りの金子私ども引き請けのところ一向に埒明かざるにより、来たる正月20日御屋敷にて寄合、その節その元様も御出で下されば半金返済に付) 惣三郎(印)・要八(印)→松代菊屋友吉殿	天明8年申12月30日	堅切紙・1通	え4820-7
一札之事(私ども御地頭十河式部様御借りのところ、ただ今埒明かざるにより、来たる正月20日御屋敷にて寄合、その節そこ元様も御出で下されば半金返済に付) 真嶋村勇八印・同村惣三郎印→菊屋傳兵衛殿	天明8年申3月	堅紙・1通	え4820-8
(借用証文ほか一括)		綴/(え4898-1~3は一綴)・1綴	え4898
覚(金5両久保源左衛門殿他、金銭並びに人名書上)		横切継紙・1通	え4898-1
覚(金2両新町村常八証文他、証文があるか御見調べ下さるべきに付)		横切継紙・1通	え4898-2
御借用金証文之事(御上納金差詰り、引当として地所差し出し、金3両2分借用に付) 今井政吉役代御借り主梅吉(印)・出作分世話役請人十八(印)・名主祖兵衛(印)・組頭孝左衛門(印)・長百姓喜四郎(印)→坂本常左衛門殿	寛政6寅年12月	堅紙・1通	え4898-3
借用金証文之事(御急借御願ひにて金3両借用に付) 福岡村借主長藏(印)、(奥書)坂原兵助(印)→松坂屋善五郎殿	寛政6寅之年12月	堅紙・1通	え5027
日延御証文替願之事(私借用金の御証文替え来午年まで日延に付) 河内屋義兵衛(印)→但嶋屋太右衛門殿	寛政9巳年12月晦日	堅紙・1通	え5039

1. 内方/1.13. 金融/1.13.2. 貸付金

御借用申金子之事(御借り主持ち分名所中沢西を引当として、金3兩借用に付) 北長池村御借り主御蔵元金蔵(印)・請人利惣次(印)→樋口民衛様	寛政10年末12月	縦紙・1通	え5065
(中町政五郎借用金返済滞りのところ御情けにて御証文御下げ関係一括)		旧封筒一括/(え5031-1~2は旧封筒一括)	え5031
差上申一札之御事(私親新五郎借用の金子残り15兩余り、私返済難渋により住居引き渡しのところ、母病身にて居住したきに付) * (端裏貼紙)「中町政五郎馬場丁名前ニ而貸置候金子滞候付 右片付方願紙面式通 差当不用候得共印書ニ付残置申候」 中町政五郎(印)、(奥書)五人組七郎治(印)・金弥(印)→園右衛門様	寛政11年末12月	縦継紙・1通	え5031-1
指上申一札之御事(金15兩返済滞りにて住居引き渡しのところ、御情けをもって金9兩御差し上げにて御金証文御下げなし下さるに付) 中町政五郎(印)、(奥書)五人組七郎治(印)・金弥(印)→八田競様御役人中様	寛政11年末12月	縦継紙・1通	え5031-2
寛(親伊右衛門儀御内借金の内4兩2分御返上に付、手形御引替仕るべき所早速見え兼ね見出す迄御用捨成し下さるべきに付) 新田川合村武右衛門(印)→八田嘉右衛門様御内	享和3亥1月	横切継紙/(え4715-1~16は紙縫一括)・1通	え4715-5
寛(先達て借用金22兩、お心入れによりお礼銀を減じなされ、今日都合23兩2分上納に付) * (端裏貼紙)「金式拾式兩利分鍵屋七郎平方へ致助成候ニ付右請印書関田氏より到来」 七郎平(印)→関田庄助様	文化2丑年6月晦日	堅切紙・1通	え4801
差上申一札之事(私夫久左衛門先年金2兩2分御借用するも病死するにより証文御下げ願うところ、御下げ下され有難きに付) 兩宮村久左衛門後家(印)・親類惣代平右衛門(印)、(奥書)名主幸三郎(印)・組頭兵左衛門(印)・長百姓嘉平太(印)・立合頭立清右衛門(印)→八田嘉右衛門様御内衆中	文化2年丑3月	縦継紙・1通	え4876
差上申御請一札之御事(当村御借用の金子別紙をもって無利息15ヶ年賦御返済御許容有難きに付) * (端裏貼紙)「文化六巳十二月平林村添証文」 平林村名主万五郎(印)・組頭要左衛門(印)・長百姓宇左衛門(印)→八田嘉右衛門様御内御役人中様	文化6年巳12月	縦紙・1通	え5091
口述控(貴家の儀前々より祐善様引続き衰廢に付上田御城下斎藤佐五兵衛方へ借付金200兩譲り年々16兩利潤請取り御渡し申すべきに付) * (包紙上書)「口述控 文化七庚午四月一日式百兩金相渡候付右印書取戻為心得此書面紛乱致間敷事」 (八田)嘉右衛門(印)→徳左衛門殿・お浪殿	12月9日	横切継紙/(え4712-1~26は紙縫一括)/(包紙共)・1通	え4712-1
預り申証文之事(金200兩借用に付一札) 甲田勝太郎(印)・同繁太郎(印)→藤田傳左衛門殿	文化7年午11月13日	縦継紙・1通	え4780
(金子借用関係一括)		旧封筒一括/(え5152-1~2は旧封筒一括)/(え5152-2-1~3は一綴)	え5152
借用金証文之事(金10兩請取り来戌11月返済に付) * (端裏書)「布施五明村勇左衛門」 布施五明村御借主勇左衛門(印)・請人惣左衛門(印)→小林小助様	文化10酉年11月	縦紙・1通	え5152-1

(大原村・小出惣吉・上山田村へ小野齋二発起無尽懸戻引当貸付金遣わずに付) 小林小助(印)→小野齋二殿・終会御取番八田嘉右衛門殿	文化9申年12月	縦紙・1通	え5152-2-1
借入金証文之御事(金15両請取り来申11月15日限返済に付) *(端裏書)「大原村磯吉」大原村御借主磯吉(印)・名主重左衛門(印)・組頭伴右衛門(印)・長百姓八右衛門(印)・頭立太兵衛(印)→小林小助様	文化8未年12月	縦継紙・1通	え5152-2-2
借入金証文之事(金6両御内借に付来酉11月中旬返上に付) *(端裏書)「上山田村善治郎」上山田村御借主善治郎(印)・請人彦左衛門(印)・名主右右衛門(印)・長百姓秀蔵(印)→小林小助様	文化9申年11月	縦紙・1通	え5152-2-3
覚(殿町へ御取替金11両二分余などノ金18両二分確かに受取に付) 小林五助(印)→八田嘉右衛門殿	文化10酉年12月	横切継紙/(え5093-1~2は旧封筒一括)/(え5093-1-1~4は一綴)・1通	え5093-1-4
借用申金子之事(金400両、辛戌年先納金出来かねるため、右金子借用に付) 御名領分高井郡小河原村名主又右衛門・組頭四郎左衛門・長百姓重治郎他5名、(奥書)徳嵩甚蔵・関田庄助、(奥書)御郡方三人→高井郡小布施村市村安左衛門殿	文化10酉年閏11月	縦継紙/(え5191-1~4は旧封筒一括)・1通	え5191-1
借用申金子之事(金400両、辛戌年先納金出来かねるため、右金子借用に付) 御名領分高井郡小河原村三役人、(奥書)関田庄助・徳嵩甚蔵、(奥書)御郡方三人→高井郡小布施村市村安左衛門殿		縦継紙・1通	え5191-4
御借用申金子証文之事(社地の内加判の者屋敷地小作入初5表を引当として、金5両御借用に付) *(端裏貼紙)「文化十一戌年十二月金五両 安藤常陸輔 増田茂右衛門名前 (朱筆)本書天保十四年写 卯九月廿九日返ス」離山御借主安藤常陸・社地之内受人加判富右衛門・右同断岩之丞→御口合茂右衛門殿	文化11戌年12月	縦紙・1通	え4889
(包紙) *(包紙上書)「地所買入証文壺通添証文壺通」/(包紙貼紙)「文化十一戌年十二月金六両三分年賦証文宮澤長四郎殿」	文化11戌年12月	包紙/(え5047-1~2は旧封筒一括)/(え5047-1-2~3は包紙一括)・1点	え5047-1-1
売渡申田地証文之事(名所綿内境、御地頭様御上納金差し詰まり永代売り渡しに付) 牛嶋村売主佐源太(印)・請人武左衛門(印)、(奥書)名主茂右衛門(印)→綿内村長四郎殿	文化11戌12月	縦紙・1通	え5047-1-2
添証文之事(手作十分の出精も出来兼ねるため、此度牛嶋村分地字綿内村境買入れたくも金子才覚出来兼ねる処、1ヶ年金2歩宛無利足にて借用に付) 綿内村御借用人宮沢長四郎(印)・宮沢彦三郎(印)→八田嘉右衛門殿	文化11戌年12月	縦紙・1通	え5047-1-3
借入金一札之事(別紙証文の通りの引当にて金200両借用に付) 借用主手塚村山極八郎右衛門(印)・同断五加村甲田十左衛門(印)・同断別処村倉沢愛之助(印)、(奥書)松平伊賀守領塩田組五加村庄屋甲田清右衛門(印)・同組手塚村庄屋曲尾市之丞(印)・同組別処村庄屋兵右衛門(印)→松代伊勢町傳兵衛殿	文化12年亥霜月	縦紙/(虫損)・1通	え5059

1. 内方/1.13. 金融/1.13.2. 貸付金

(金見左助金子借用関係書類一括)		紙繕一括/(え4723-1~11は紙繕一括)/(え4723-10-1~3は紙繕一括)	え4723-10
覚(金15両借用仮証文) *(端裏貼紙)「文化十五寅正月 金拾五両 金見丈助殿」 金見丈助(印)→八田嘉右衛門殿	文化15年寅正月	横切紙・1通	え4723-10-1
(書状、此程丈助をもって御頼みの儀御承知下され忝きに付、大塚村100両のうち50両返済の件ほか) *別紙あり「二白、上山田…」/(書状上書)「嘉右衛門様 膳左衛門 金子証文添」 膳左衛門→(八田)嘉右衛門様	12月21日	横切紙・1通	え4723-10-2
(年賀状、相願候一件御承諾なし下され有り難き旨の礼状を兼ねる) 丈助→(八田)嘉右衛門様	正月初七	横切紙・1通	え4723-10-3
(池田源助・後閑元吉御借付金の元利返済に付) 内藤豊後守内後閑彦三(印)・望月左太夫(印)→八田嘉右衛門殿	文政2年卯正月	縦紙・1通	え4859
御借入金証文之御事(金240両、無利足来る辰より丑まで10ヵ年賦、1ヵ年金24両宛御返済の定) 兩宮村御借主七助(印)・御請合加判人藤藏(印)・伴右衛門(印)・名主八郎治(印)・組頭利左衛門(印)・長百姓友藏(印)→片岡主計様御内堀内治郎右衛門様	文政2卯年12月	縦紙・1通	え5074
覚(金5両借金証文、同姓十右衛門江戸表にて引負金調達し兼ね御無心申す処請取に付、当已12月中に返済すべき旨) 古岩彦作(印)・加判小野友作(印)→玉井治助殿	文政4巳年8月	縦紙・1通	え4897
借入金証文之事(金21両2朱借用に付証文) 西條村之内新御安口御借主與五郎(印)・組合加判茂右衛門(印)→万吉殿	文政7申年2月	縦紙・1通	え4781
乍恐以口上書奉願候御事(去る子年御内借成し下しのところ、返済難渋に付来春まで御日延べ願ひ) 中町重左衛門(印)・東寺尾村甚三郎(印)・同武左衛門(印)→八田嘉右衛門様御役人中様	文政7申年12月	縦紙・1通	え4854
覚(当亥年助情金3両受取) 兵助→(八田)嘉右衛門様	文政10亥4月16日	横切紙/(え4724-1~34は紙繕一括)・1通	え4724-11
口上覚(淀鯛調立て入用金御内借にて調えの処返上滞り、御情けをもって拝借金として年賦割に仕るに付) 小網新田村吾妻銀右衛門(印)→中嶋三右衛門殿	文政10亥年9月	縦紙・1通	え5137
覚(金6匁時借、返済は来子2月迄に付) 新田町人宿左惣治(印)・荒神町喜左衛門→六右衛門殿	文政10亥12月	横切紙・1通	え5043
覚(願金39両たしかに御上納請取に付) 入安兵衛・大嶋儀右衛門(印)→八田嘉右衛門殿	文政13寅年12月	横切紙・1通	え5029
覚(先年要用にて金24両借用の処、長谷川藤五郎殿発起1人前金3両の無尽に年々懸け出すにより借用分は返上済切りに付) 中山有之助(印)・加判平林縫殿進(印)→八田嘉右衛門殿	文政13寅年3月	縦紙・1通	え5182
一札之事(年賦金滞り返納できない事に付、地所へ未正月15日限り金子御上納に付) 久保寺村差出組地主藤兵衛(印)・証人吉之丞(印)→八田嘉右衛門様御内忠助様	天保4巳年12月	縦紙・1通	え5126

(書状、御無尽にて御預りの9両余を借用仕りたきに付) *(包紙上書)「天保七申年八月廿九日佐久間啓之助殿御預り 金操廻方之義ニ付書状差遣候処承知之趣書入ニ而挨拶申来 候 未九月廿三日預り正金之分金九両壹朱七分四り也」/(書 状上書)「啓之助様 嘉助」/下書 (八田)嘉助→啓之助様	天保7年8月29日	横切継紙/(包紙 共)・1通	え5120
差出し申日延一札之事(借用金子の件、源助が出府留守 中にて帰宅せざるゆえ、日延べに付) 源助惇源太郎(印) →松代傳兵衛殿御内良右衛門殿	天保8酉年10月19日	縦継紙/(虫損)・ 1通	え4830
覚(年賦金内受取印書を御戻し申すべき処、御戻しを来 春迄御延ばしに付、証文) 佐藤傳次(印)→平野彦兵衛 殿・松代町戸作殿	天保9年戌12月	縦紙・1通	え5113
借用申金子証文之事(借金証文の雛型) *下書/(端裏書) 「多年借用証文下書此下書証文江添御返し可被下候」何郡 何村借り主誰印・同村請人誰印・同村親類誰印・同村組合誰 印、(奥書)右村三役人印→埴科郡杭瀬下村儀太夫殿	天保10年亥11月	縦継紙・1通	え5077
(升七・加兵衛関係文書一括)		綴・1綴	え4890
入置申一札之事(金8両借用に付) *(端裏書)「天保十四卯 年九月」 升七(印)・加兵衛(印)→榮八様	(天保14年)9月11日	横切紙/(え 4890-1~3は一 綴)・1通	え4890-1
覚(引当の品々に付、御脇差を取り戻す迄、御預かり下さ れる様、願に付) *(端裏書)「天保十四卯年九月」 升七 (印)・加兵衛(印)→榮八様	(天保14年)9月11日	横切継紙・1通	え4890-2
口上書を以奉願候(行平御身売捌き不行届に付、金20両 上納に取り成し下されたき願に付) *(端裏書)「天保 十四卯年九月」 升七(印)・加兵衛(印)→榮八様	(天保14年)9月11日	縦紙・1通	え4890-3
奉差上御請書之事(亡父数右衛門親同然により相続仕 り、御手元金5両下し置かれ受取に付) 善光寺西町佐七 (印)・木町弟仙吉(印)→八田嘉右衛門様・八田嘉助様御取次 中様	弘化元辰年12月29日	縦紙・1通	え5146
覚(徳左衛門在命中より度々御借金の総額314両1分2 朱余りのうち金43両にて山田地買入置くに付) *(端裏 書)「在所下案」 宮之前村まさ・きち・儀助、(奥書)宮之前村友 之助・同弥惣兵衛→菊屋多七殿	弘化2巳年9月	縦継紙・1通	え5035
(鍛冶町多七借用証文一括)		旧封筒一括/(え 5037-1~3は旧 封筒一括)	え5037
御内借金証文之事(差掛無抛入用之儀出来仕り、金子借 用致すに付) かし町多七・親類誰→一様御内		縦紙・1通	え5037-1
御内借金証文之事(差掛無抛入用之儀出来仕り、金10両 借用致すに付) *(端裏書)「下案」 鍛冶町多七(印)、(奥 書)中村周作(印)→菊地孝助様御内	弘化3丙午年9月	縦継紙・1通	え5037-2
御時借証之事(今般無抛要用之儀に付、正金10両請取り 有難きに付) *(端裏書)「かし町多七殿」 鍛冶町多七(印 墨消)→田中万作様御内	弘化3丙午年12月	縦継紙・1通	え5037-3
覚(金6両1分受取、当12月中旬に元利共御返済に付) 八 田嘉助(印墨消)→水野清右衛門殿	弘化4未年2月10日	縦紙・1通	え4864
御借金証文之事(要用に付金10両借金、当7月中元利共相 違なく上納仕るべきに付) 東木町市兵衛(印墨消)→高 野覚之進様御内	嘉永4亥年5月	縦紙・1通	え4926

1. 内方/1.13. 金融/1.13.2. 貸付金

借入金手形之事(御礼金付20両出府に付恩借下され受取に付) 甲田秀碩(印)→八田嘉助殿	嘉永4亥10月	豎紙・1通	え5079
借入金金子之事(金8両、源氏田と申す処を質物として、借用に付) 借用主傳左衛門(印)・五人組受人伊三郎(印)・同断与左衛門(印)、(奥書)庄屋喜左衛門(印)→吉川祐四郎殿	嘉永5子閏2月	豎紙・1通	え5108
(大木伊右衛門借用関係書類一括)		綴/(え4794-1~3は一綴)	え4794
借入金子証文之事(勤用のため無心のところ金5両拝借に付借用証文) 親類加判古川壽助(印)・大木伊左衛門(印)→菊地浪治殿	嘉永元戊申年8月	豎紙・1通	え4794-1
口上覚(菊地浪治殿へ内々の差引に付、私御扶持方より3俵同人へお渡しに付) 親類加判古川壽助(印)・大木伊左衛門(印)→御賄所	嘉永元年申8月	横切紙・1通	え4794-2
(別紙の通り大木方へ遣わす金5両慥かに落手に付添書) 菊池浪治(印)→八田嘉助殿	嘉永元申年9月	豎継紙・1通	え4794-3
覚(金367両2分借用に付) *写 中俣佐吉・中俣一平・加判高久専之介→石川村南沢源之助殿	安政2卯年12月	豎紙・1通	え4829
覚(当卯高掛借入金2両受取) 町分名主傳兵衛(印)→伊勢町伝兵衛殿	慶応3卯年11月21日	横切紙/(え4728-1~6は紙縫一括)/(え4728-5-1~7は紙縫一括)・1通	え4728-5-3
(金99両9匁8分4厘より寅・卯年利分等差引) * (端裏書) 「慶応三卯年十二月水井差引書」/4742-13-6と関連	慶応3卯年12月	横切紙/(え4742-1~13は紙縫一括)/(え4742-13-1~15は紙縫一括)・1通	え4742-13-9
覚(金65両並びに利金20両とも口合金の内より本書証文をもって引替えるべきに付) 水井収之助・渡辺承之助(印)→伊勢町傳兵衛殿	慶応4辰年2月6日	切継紙・1通	え4800
(書状、利足金の内30両は願い、残り金の分御繰り合わせ願うに付) * (書状上書)「慎蔵様 斎助」 斎助→慎蔵様	12月24日	横切継紙/(え4712-1~26は紙縫一括)・1通	え4712-17
(包紙) * (包紙上書)「山地質入証文一通 伊勢町傳兵衛」		包紙/(え4713-1~14は紙縫一括)・1点	え4713-5
(金365両1分ほか年賦金など書上)		折紙・1通	え4713-6
(書状、御預り金の儀委細仰せ付けられ、岡島へ申し談ずべく貴公宅より和田へ頼み同所にて延引に付片桐氏へ願い奉るに付ほか) * (包紙上書)「八田嘉右衛門様 中島三右衛門」 中島→書鳩様(八田嘉右衛門)	2月晦日	横切継紙/(え4716-1~8は紙縫一括)/(包紙共)・1通	え4716-1
(包紙) * (包紙上書)「松城御下八田嘉右衛門様 御持中玉床下 行松本」/(包紙裏書)「二子村観光寺」		包紙/(え4719-1~23は括紐一括)/(え4719-17-2~3は包紙一括)・1点	え4719-17-1
(書状、本寺代替りのところ延引となり、金主障りなる哉も知れず、この度飛脚を以て右の段申し上げに付) 観光寺(印)・全碩(印)→八田嘉右衛門様御持中	4月3日認メ	折紙・1通	え4719-17-2

(白紙)		折紙・1通	え4719-17-3
(書状、当暮御利足御印書送り下され落手に付) * (書状上書)「嘉右衛門様 善左衛門」 善左衛門→(八田)嘉右衛門様	11月29日	横切紙/(え4724-1~34は紙縫一括)・1通	え4724-7
(書状、重左衛門を借主に加えて屋敷書き入れをさせる件に付、小林氏への証文ほかに付) * (表書)「御答 馬場丁」	6日	横切紙/(追加別紙あり)・1通	え4724-25
(元金30兩余の利足金2分6匁5分3厘のうち残金計算書)	11月3日	横切紙/(え4725-1~14は紙縫一括)/(え4725-10-1~4は紙縫一括)・1通	え4725-10-2
覚(借入金残金2兩2分2朱余受取書) 荒町村名主郡兵衛(印)→いせ町伝兵衛殿	卯12月15日	横切紙/(え4728-1~6は紙縫一括)/(え4728-5-1~7は紙縫一括)/(え4728-5-2-1~2は巻込一括)・1通	え4728-5-2-1
(御借入金2兩上納受取書) 荒町村名主郡兵衛(印)→いせ町伝兵衛殿	卯11月	横切紙・1通	え4728-5-2-2
(御借入金1兩2分ト銭290文受取書) 田中村名主久兵衛(印)→伊せ町伝兵衛殿	卯12月朔日	横切紙・1通	え4728-5-4
(書状、当暮の金銭面での仕舞方に難渋のため拝借願) * (書状上書)「八田嘉右衛門様 佐々木友三」 佐々木友三→八田嘉右衛門様	大晦日	横切紙・1通	え4729-17
覚(辰7月10日宗左衛門金40兩利金24匁など、70兩2分2朱余り上納に付)	8月4日	横切紙/(え4732-1~21は紙縫一括)・1通	え4732-19
(書状、拝借仰せ付けられ有り難き所、態々外さまより御借寄下されるに付重々恐れ入り有り難きに付) (関田) 莊助	霜月7日	横切紙/(え4734-1~16は紙縫一括)・1通	え4734-7
覚(戌年利揚帳並びに流物利潤の高金129兩1分余など差引金92兩1分2朱余勘定書付) * (端裏書)「亥春」	亥2月	横切紙・1通	え4734-13
(書状、御恩借なし下され有り難きに付) * (書状上書)「いせ町様 寺町」 寺町→いせ町様	25日	横切紙/(え4738-1~33は巻込一括)・1通	え4738-28
(書状、毎度申し上げ兼ねるも御繰り合わせになれば14日まで扱人分拝借願いたきに付) * (書状上書)「慎蔵様内用 道下」 道下→(八田)慎蔵様	12日	横切紙・1通	え4738-30
(高野覚之進・片桐重之助の申~子年の御元残金書上)		縦紙/(え4747-1~16は巻込一括)・1通	え4747-12
覚(引越に付、金2分、御時借成し下され受取り申すに付) 片岡源左衛門(印)→八田孫左衛門殿	巳2月17日	横切紙/(え4748-1~67は一綴)・1通	え4748-44
覚(金1兩、御時借仕り来月16日までに返上仕るべきに付) 小林藤太(印)→八田孫左衛門殿	4月26日	横切紙・1通	え4748-56
覚(金2分御時借仕り、当月28、29日迄に返上仕るべきに付) 小林藤太(印)→八田孫左衛門殿	3月8日	横切紙・1通	え4748-57

1. 内方/1.13. 金融/1.13.2. 貸付金

覚(金1両1分、借用致す処、返済の儀は造木払料の内を以て元利御返済申すべきに付) 樋口民衛(印)→八田孫左衛門殿	巳9月8日	横切紙・1通	え4748-58
覚(金8両、当3月15日迄御借用仕るに付) 坂原兵助(印)→八田孫左衛門殿	子2月28日	横切紙・1通	え4748-62
覚(金8両3分、極月迄御かし下さるべく願ひ上げ御借し下さるに付) 喜和→(八田)孫左衛門様	9月28日	横切継紙・1通	え4748-63
(金子1両御借り仕るに付証文) 佐々木玄友(印)→八田孫左衛門様	8月26日	横切紙・1通	え4748-66
差引書(金20兩時貸金差引勘定に付)	5月2日改	横切継紙/(え4772-1~2は旧封筒一括)/(え4772-1-1~50は一綴)・1通	え4772-1-4
御借用証文之事(金5兩の借用証文) 玉井忠治(印)→伊勢町伝兵衛殿	卯12月	横切紙/(え4783-1~26は一綴)・1通	え4783-6
(卯年より酉年迄7ヶ年上納取替金12兩他、金銭書上)		横切紙・1通	え4783-7
覚(元利金300兩並びに利金15兩、計315兩残らず請取に付) 塩尾彦九郎→八田平助殿	寅6月	横切紙・1通	え4797
乍恐辞世を以奉願上一札之事(私此度死去の際は上納滞り分並びに借入金など酒屋八兵衛方へ御頼みに付)* (書状上書)「八田江」 七右衛門(印)→八田孫左衛門様・嘉右衛門様		縦継紙・1通	え4866
以口上書御内願仕候御事(喜右衛門去酉の8月死去仕り、喜右衛門の借金100兩引負に付)* (端裏書)「戌正月廿四日勘左衛門様江調上候」 八田孫左衛門→成沢勘左衛門様御役人中	戌正月	縦継紙・1通	え4997
口演(拙家近来難洪の仕合、隠居暮方、隠居分と申す名目、右の品へ金子を添えて譲り置きたきに付、金子拝借願) 空楽	6月	横長半・1冊	え5050
(金子借用証文雛形並びに「文政3辰年差引書」)	文政3辰年	縦紙・1通	え5121
覚(扇売り仕入れ金として金10兩借用にて、引当ての儀はいせ町千治郎殿土蔵を借り穀物入れ置くに付)* (端裏貼紙)「巳十月 金拾兩 吉野や喜三郎」/(端裏貼紙)「右者古借差引ニ相立家屋敷引取候付不残帳消右証文当戌不用之品ニ候」 よしの屋喜三郎(印)→坂本常左衛門様	巳10月	縦紙・1通	え5135
覚(金銭借用証文雛型) 何之誰印→何之誰殿		縦紙・1通	え5155
覚(御借入金返上日延下され14年目より別紙証文の通り私所村方長井村・小森村・妻科村より返上すべきに付) 松兵衛→上		縦紙・1通	え5168
(剥離した小掛札、「金三兩式歩 五反田組梅吉 済切証文」(全文字))		掛札・1点	え5201

1.13.3. 他家借財片付

一札之事(金10両坂原兵助殿勝手不如意により御無心の所、当寺へ御預け下され忝きに付) *(端裏貼紙)「寛政十午十二月金拾両坂原氏江助成金上松村昌禪寺より請取印書」 昌禪寺(印)→八田孫左衛門殿	寛政10年午12月	豎紙/(え4874-1~2は旧封筒一括)・1通	え4874-1
預り申金子之事(金10両受納する所、後日のため金子預け印書一札に付) 上松村昌禪寺(印)→八田嘉右衛門様	寛政11年末12月	豎切紙・1通	え4874-2
(書状、坂原家浮沈一件に付当寺へ寄合下されたきに付) * (書状上書)「八田嘉右衛門様 昌禪寺」 昌禪寺→八田嘉右衛門様	3月5日	横切継紙/(え4724-1~34は紙縫一括)・1通	え4724-19
以上上書御答申上候(私儀中川家相続仰せ付けられ、諸入用並びに家内暮方御損毛に成り借財したところ、このような始末では相続方覚束なく思し召されるに付) 中川助弥、(奥書)増田徳左衛門→八田嘉右衛門様	文政9戌年2月	横切継紙・1通	え4923

1.13.4. 無尽

(包紙) *(包紙上書)「安永二巳閏三月八日無尽二会目献立並肴注文諸入用書付」/反故紙利用	安永2年巳閏3月8日	包紙/(え4758-2~11は包紙一括)・1点	え4758-1
(諸献立書付) *反故紙利用		折紙・1通	え4758-2
覚(諸食材代金領収書、大鯰3本同中28本代金2貫350文他ノ6貫445文受取に付) 井崎八右衛門(印)「越後高田下田端町井崎」→まつ城肴町大久保作左衛門殿・子年巻御代惣三郎殿	子3月29日	横切継紙・1通	え4758-3
座敷(諸調度品書付)		横切継紙・1通	え4758-4
子四月五日献立(諸献立書付)	子4月5日	横長半・1冊	え4758-5
覚(勘定書付) 津保屋作左衛門→増田御隠居様		横切継紙・1通	え4758-6
(書状、惣三郎殿お越しのため肴の事に付) *(書状上書)「まつ城大久保作左衛門様返書尊下 従高城」/(書状裏書)「井崎葉知右衛門」 いさき八右衛門→大久保作左衛門様人々御中	3月晦日	横切継紙・1通	え4758-7
四月廿九日献立(諸献立書付)		横長半・1冊	え4758-8-1
四月廿九日鋸附(諸調度品書付)		折紙・1通	え4758-8-2
安永七年戌四月十一日献立	安永7年戌4月11日	横長半・1冊	え4758-9
安永八年亥三月廿五日献立 *反故紙利用	安永8年亥3月25日	横長半・1冊	え4758-10
(献立食材関係書付一括)		綴/(え4758-11-1~5は一綴)・1綴	え4758-11
表分(食材代金書付、ひらめ6枚代金2貫242文他ノ1両1分473文、金銭書上)		横切継紙・1通	え4758-11-1
(諸食材書付)		折紙・1通	え4758-11-2
田畑無尽肴代(勘定書付・肴注文書付)		折紙・1通	え4758-11-3
(諸献立書付)		折紙・1通(3枚)	え4758-11-4

1. 内方/1.13. 金融/1.13.4. 無尽

覚(諸食材代金領取書、大平め8枚代金3貫600文他、金1分17貫452文受取に付) 高田御肴や善左衛門茂吉(花押)→八田兵助様	閏3月21日	横切継紙・1通	え4758-11-5
(伴三郎右衛門無尽関係証文一括)		綴/(え4837-1~4は一綴)・1綴	え4837
御預り申金子証文之事(無尽掛金6年分8両1分預りに付) 中町鶯屋六之丞(印)・同所請人新之丞(印)→伴三郎右衛門殿 発当無尽御連衆中	天明4年辰2月25日	堅紙/(虫損)・1通	え4837-1
一札之事(不調法の件御預を以て御免蒙り、これにより先達て御差し押さえ置かれた落物の請取に付) 酒師久兵衛(印)→平八殿・元中町久兵衛殿	(天明4年)4月朔日	堅紙・1通	え4837-2
御預り申金子証文之事(無尽掛金6年分8両1分預りに付) 中町かしわ屋傳三郎(印)・請人幸右衛門(印)→伴三郎右衛門殿 発当無尽御連衆中	天明4年辰2月25日	堅紙・1通	え4837-3
御預り申金子証文之事(金16両2歩預り6年間の無尽立合にて差戻しに付) 嶽夫名代預り主喜左衛門(印)・請人惣左衛門(印)→伴三郎右衛門殿 発頭無尽御連衆中	天明4年辰2月	堅紙・1通	え4837-4
①一札之事(去る巳年御発起無尽掛け戻金2両1分出来の処、私難渋にて御日延に付)、②(本文の通りに付、又次郎懸け不足の際は自分方より返済に付) * (包紙上書)「上 いせ町又次郎 此証文ヲ以重左衛門様より段々御難渋之趣御頼ニ付金子取替在之」 ①い勢町御借主又次郎(印)、②小野重左衛門(印)→①小野重左衛門様御内衆中、②八田孫左衛門殿	①天明6年午12月、②天明6年午ノ12月	①堅紙、②堅紙/(包紙共)・1通	え5089
(複数の無尽関係書類一括)		旧封筒一括/(え5129-1~6は旧封筒一括)	え5129
文政五年十二月初会正掛出(金50両他、無尽勘定書付)	文政5年12月	折紙・1通	え5129-1
(午3月29日付けの口々利潤書上)		横切紙/(え5129-2-1~3は一綴)・1通	え5129-2-1
覚(午正月5日、金2分他、金銭書上) * (端裏貼紙)「申三月十日改入用紙面」		横切継紙・1通	え5129-2-2
(午3月11日、金11両3分2里5文内他、金銭内訳書上) * (端裏書)「申三月十七日写済」		横切継紙・1通	え5129-2-3
(未3月28日、金16両1分内他、口々取集め金書上) * 帳外れカ		折紙・1通	え5129-3
(未正月20日、金17両内他、金銭内訳書上)		折紙横切紙貼付文書・1通	え5129-4
覚(金10両請取に付) 伊勢町傳兵衛(印墨消)→夏和村甚右衛門殿	寛政10年午5月	小切紙・1通	え5129-5
覚(金3両、右の入金・利金請取に付) 野村忠蔵(印墨消)→西京村直左衛門殿	寛政9巳年12月	小切紙・1通	え5129-6
(木町太右衛門発起無尽関係文書一括)		旧封筒一括/(え4819-1~4は旧封筒一括)	え4819
御預り金証文之事(木町太右衛門発起無尽により金2両2分お預かりに付) 伊勢町惣蔵(印)→菊屋傳兵衛殿	享和元年酉12月	堅紙・1通	え4819-1

御預り金証文之事(木町太右衛門発起無尽により宗蔵1両1分などメ金3両3分お預かりに付) *(端裏貼紙「右者木町多右衛門発起頼母敷発当懸戻引当金連中江割合預り金証文 終会之節入用証文」 宗蔵(印)・友吉(印)・銀右衛門・仁左衛門(印)・仙助代印→菊屋傳兵衛殿	享和元年酉12月	豎紙・1通	え4819-2
御預り金証文之事(木町太右衛門発起無尽により金3両3分お預かりに付) 菊屋己之作(印)→菊屋傳兵衛殿	享和元年酉12月	豎紙・1通	え4819-3
覚(金2両、来たる27日返済に付) いせ町惣蔵(印)→木町太右衛門殿	享和元年酉12月24日	横切紙・1通	え4819-4
(包紙) *(包紙上書)「十二月廿八日宮下八郎左衛門殿無尽受取調書」	12月28日	包紙/(え4715-1~16は紙繕一括)/(え4715-8-2~3は包紙一括)・1点	え4715-8-1
覚(金30両宮下無尽御取金、発当内々相願い取り集め差し遣わし申すに付) 友右衛門→(八田)嘉右衛門様	12月28日	横切紙・1通	え4715-8-2
(宮下八郎左衛門殿御発起11日目金御故障あるに付御取集め御渡し成し下され受取り申すに付) 八田嘉右衛門→渡邊友右衛門殿	文化4卯年3月28日	横切紙・1通	え4715-8-3
(平林縫殿進あて無尽取集金領収書一括)		綴/(え4968-1~6は一綴)・1綴	え4968
覚(諸々頼母敷懸出分金11両12匁1歩8厘他メ金40両3分銀4匁4歩8厘の御取集金御渡し下され、受取に付) 八田嘉右衛門(印)→平林縫殿進殿	文化8未年12月25日	横切紙・1通	え4968-1
覚(正金30両他メ金45両銀13匁7歩5厘受取に付) 八田嘉右衛門(印)→平林縫殿進殿	文化8未年12月19日	横切紙・1通	え4968-2
覚(上野村証文代金20両他メ金31両2分と銀12匁、御取集金の内御渡し下され、請取に付) 八田嘉右衛門(印)→平林縫殿進殿	文化8未年12月20日	横切紙・1通	え4968-3
覚(金31両3分4匁5歩、御取集の内御渡し下され、受取に付) 八田嘉右衛門(印)→平林縫殿進殿	文化9申年12月28日	横切紙・1通	え4968-4
覚(金67両1分10匁4歩9厘、当暮御取集金御渡し下され、受取に付) 八田嘉右衛門(印)→平林縫殿進殿	文化9申年12月24日	横切紙・1通	え4968-5
覚(金23両受取に付) 八田嘉右衛門(印)→平林縫殿進殿 (諸々発起無尽書類一括)	文化9申年3月5日	横切紙・1通	え4968-6
覚(金15両、拙寺発起無尽横倉村佐右衛門分、当村六右衛門引請けた処、同人江戸より帰り次第出金仕るべき様取り計らうべきに付) 湯田中村梅翁寺印・関田庄助印→八田嘉右衛門殿	文化11戌年12月	豎紙・1通	え4755-1
覚(金9両2分余、発起無尽発当2番共1ヶ年掛戻し金1歩2分12匁ずつ終会まで1割2分積金受取り預かり置くに付) 八田嘉右衛門(印)→紙屋町儀兵衛殿	文化13年子12月	豎紙・1通	え4755-2
覚(金20両、大井百助無尽御掛金請取に付) 出澤由次郎(印)→八田嘉右衛門様	午4月21日	豎切紙・1通	え4755-3

1. 内方/1.13. 金融/1.13.4. 無尽

覚(金4兩1分匁4分、私懸金不調達に付、御取延ばし下され忝く、返済遅滞の時は無尽御割合を以て御取立て下さるべきに付) * (端裏書)「磯八殿」 木町喜左衛門(印) →和合院様御発記御無尽御取番中	子12月12日	堅切紙・1通	え4755-4
一札之事(私内証向不都合に罷り成り、よんどころなく1人前金50両懸出し、連中12人にて都合600両の頼母子講を企てるに付、加入無心に付) * (端裏書)「下案」 →一殿	文化12年亥何月	横切継紙/(え4723-1~11は紙縫一括)・1通	え4723-4
(書状、妙儀様大々講差引目録を御目に懸けるに付、爰元米値段引き下がるも市に米が出てこない等の状況ほか) * (包紙上書)「午二月十六日 妙義大々講書付入」 若林庄兵衛→八(田)喜右衛門様・八(田)嘉介様	2月10日	横切継紙/(包紙共)・1通	え4723-5
(無尽関係書類一括)		包紙一括/(え5133-2~4は包紙一括)	え5133
(包紙) * (包紙上書)「口上覚」		包紙・1点	え5133-1
覚(式会目御取入金御渡申すに付、御懸戻之分差し引き、積金87兩3分4朱7文6厘御出金成るに付) * (端裏書)「文政三辰三月廿二日小林三郎左衛門へ渡 遺ス下案」 八田嘉右衛門→北嶋喜一殿・小林三郎左衛門殿	文政3辰年12月	横切継紙・1通	え5133-2
口上覚(元金87兩3分4匁7文6厘、当辰より無利息30ヵ年賦証文、御名所御庄所へ1通渡すに付) 小林三郎左衛門・北嶋喜一→八田嘉右衛門様	12月15日	横切継紙・1通	え5133-3
覚(87兩3分4匁7文6厘御出金辻成るに付、新町村名主九八郎へ御借付、無利息30ヵ年賦割合証文引き渡しに付) →北嶋喜一殿・小林三郎左衛門殿	文政3辰年12月	横切継紙・1通	え5133-4
覚(和合院様御発起無尽、当年満会に付金50両受取書) 木町平吉(印)・いせ町立合源左衛門(印)→八田嘉右衛門様御内	文政9戌年12月28日	横切継紙/(え4723-1~11は紙縫一括)・1通	え4723-7
覚(巳年取掛戻し金2兩1分9匁、不取分半口34匁5厘など書付)		横切紙・1通	え4723-8
覚(去酉之掛出金7兩2朱不調達に付、来亥の会合の節当戌年より無尽利加え急度返済致すべきに付) * (端裏書)「榎田氏」 榎源蔵(印)、(奥書)和佐尾村圓右衛門・儀兵衛	文政9戌年12月	堅紙・1通	え5007
覚(寶昌寺様並びに豊屋源五兵衛殿寄合無尽にて貴殿へ鬮金御頼み、金20両請取に付) 八田嘉右衛門役代傳兵衛(印墨消)、(奥書)八田嘉右衛門(印墨消)→善光寺豊屋茂助殿	文政11子年12月	堅紙・1通	え4910
(袋) * (袋上書)「吉原傳藏殿無尽積金連衆廻し割合書入」/(袋裏書)「上 中町平兵衛」		袋/(え4714-1~18は紙縫一括)/(え4714-15-1~6は袋一括)・1点	え4714-15-1
申上(吉原傳藏殿積金書類見出しに付差し上げに付) 金□	12月24日	小切紙・1通	え4714-15-2
(書状、吉原傳藏無尽去暮同人取入れに罷り成り手元も難しく御憐情を蒙り懸け戻し、懸戻し分無尽利を以て積金に願いたきに付)	3月26日	横切紙・1通	え4714-15-3
(書状、金子差し上げ願ひ上げ委細は別紙にて御承知成し下さるべきに付) * (書状上書)「申上 五十嵐拜上」	4月2日	横切継紙・1通	え4714-15-4

覚(つみ金辻・当正月分3ヵ月利金メ金29両2分差し上げ願うに付)	4月2日	横切紙・1通	え4714-15-5
覚(金28両3分余、来申より辰迄1ヶ年金5両宛懸け戻し9ヶ年分1割の利足を以て当未暮積金出入内訳)	天保6末年12月	折紙・1通	え4714-15-6
覚(金5両抛ろ無き入用により御内借願う、御口合下され有難きところ、発起5両無尽取入金にて返済に付) 御安口七右衛門(印)→中村原民様御内	天保10亥年12月	縦紙・1通<2枚>	え4870
覚(鬮金100両の差引勘定に付)	安政2年卯12月24日	横長半/(え5115-2はえ5115-1に折込)・1冊	え5115-1
品々御差引一紙(嘉永5子年暮、多野奥様発起無尽の勘定帳) * (裏表紙)「慎蔵様」	(嘉永5年～安政2年)	横長半・1冊	え5115-2
(佐久間義会関係文書一括)		紙綴一括/(え4725-1～14は紙綴一括)/(え4725-13-1～11は紙綴一括)/(え4725-13-1-1～2は巻込一括)	え4725-13
覚(伊東源太郎様分当寅掛金5両2分受取) 世話人甚右衛門→伊勢町様	寅12月29日	横切紙・1通	え4725-13-1-1
覚(伊東様分当寅8会目掛金5両2分の下金願いに付) 甚右衛門→八田様御内	12月22日	横切紙・1通	え4725-13-1-2
佐久間義会当丑之七会目小出謹三郎殿懸金(金2両3分14匁6厘、ほか伊藤武太郎・手前分の懸金書上)		横切継紙・1通	え4725-13-3
覚(当丑7会目掛金半口分5両3分13匁1分2厘に付連絡) * (端裏書)「慶応元丑年十二月佐久間無尽差引」 甚右衛門→伊藤様分	(慶応元年)12月20日	小切紙・1通	え4725-13-4
(割合金額書付、金6両3分9匁5分4厘ほか)		横切継紙・1通	え4725-13-5
(申2会目より子6会目までの懸金等書上、192両ほか)		横切継紙・1通	え4725-13-6
元治元甲子年六会目(佐久間無尽割合金書上、1口分金12両1分ほか)		横切継紙/(下札2点あり)・1通	え4725-13-7
(交の5会半口分掛金6両2分6匁ほか書付)		小切紙/(え4725-13-8-1～3は巻込一括)・1通	え4725-13-8-1
覚(戌4会目金6両3分2朱3匁4分の一部返上に付) 佐久間→伊東殿		小切紙・1通	え4725-13-8-2
(伊藤・小出兩人分メ金4両1分3朱7匁5厘ほか書付)		小切紙・1通	え4725-13-8-3
(無尽残金・利金等の差引計算書、残金192両より配分) * (端裏書)「伊藤小出当戌差引」		横切継紙・1通	え4725-13-9
(書状、佐久間先生儀会、伊藤源太郎の当卯の懸金について書入申すに付) * (書状上書)「口濱 伊勢町」 伊勢町	25日	横切紙/(え4728-1～6は紙綴一括)/(え4728-5-1～7は紙綴一括)・1通<2枚>	え4728-5-1

1. 内方/1.13. 金融/1.13.4. 無尽

(講関係渡し金の書上、佐久間先生儀会・駒村へ渡すべき分ほか、金7両6分銀8分8厘)		横切継紙・1通	え4728-5-6
(中島与一右衛門発起無尽関係書状一括)		/(え4716-1~8は紙縫一括)	え4716-5
(包紙) * (包紙上書)「嘉右衛門様 与一右衛門」		包紙/(え4716-5-2~3は包紙一括)・1点	え4716-5-1
(書状、50人の無尽企て堀内様へも御取持ち願いたく、いせ丁様へも申さぬばかりの趣に付、私よりも願う様申され、宜しく願い奉るに付) 中島→御両所様	3月朔日	横切継紙/(え4716-5-2-1~3は帯一括)・1通	え4716-5-2-1
(書状、定九郎一件、喜右衛門へも御内咄同人申す趣、此上の様子次第にて御取締御含みなど尊墨成し下され拝見仕るに付) 中島→堀内様	2月朔日認置	横切継紙・1通	え4716-5-2-2
(書状、当暮受取金一条押し寄せ安心仕るに付、及び実母対面内用向など一両日中出立に付ほか) 三右衛門→與一右衛門様・嘉右衛門様	2月朔日認置	横切継紙・1通	え4716-5-2-3
(書状、別紙到来仕り私よりの書状も御覧に入れ相分り兼ねる儀も兩人に御遣わす心得にて御認めるに付) * (表書)「嘉右衛門様 与一右衛門」	2月7日	横切継紙・1通	え4716-5-3
(書状、新十郎殿よりも申し聞かされた趣承知致し油断無く御出精成さるべし、おゆふ殿無尽などに付) 八田競→弥兵衛様	10月15日	横切継紙/(え4720-1~6は紙縫一括)・1通	え4720-2
(書状、喜右衛門分を手前に取り、喜右衛門殿を終わりに廻すに付) * (表書)「八田孫左衛門様用事 山口善介」 山口善介→八田孫左衛門様用事	12月5日	横長半/(え4722-1~9は紙縫一括)・1冊	え4722-2
(書状、淨福寺問題につき善蔵とも懸合うも落所不調法に付) * (表書)「八田孫左衛門様内用御報 山口善介」 山口善介→八田孫左衛門様内用御報	12月朔日	折紙・1通	え4722-3
(書状、先日の寄金下引受については山越にても殿様にもこの方にて目に懸けず御手前去年より理屈御申すに付) * (書状上書)「八田孫左衛門様用事 山口善介」 山口善介→八田孫左衛門様用事	12月4日	横切紙・1通	え4722-4
(書状、御出について無尽の事善蔵封主へ相渡すにより左様御心得御申談じあるべきに付) * (書状上書)「八田孫左衛門様用事 山口善介」 山口善介→八田孫左衛門様	12月3日	横切紙・1通	え4722-5
無尽之割合(午初会から巳12会までの掛金・鬮金等書上)		横切継紙/(え4724-1~34は紙縫一括)・1通	え4724-26
覚(無尽金52両2分より山越市之丞殿掛出金等を差引計算書)		横切紙・1通	え4724-30
(関田慶左衛門より差し出された無尽講6会目開催の案内状、並びに、八田慎蔵より関田慶左衛門宛の金35両借用証文の下書) * (端裏書)「慎蔵様」/下書 八田慎蔵→関田慶左衛門	年号月日	横切継紙/(え4725-1~14は紙縫一括)/(え4725-10-1~4は紙縫一括)・1通	え4725-10-1
(書状、金7両3分余を差し上げに付) * (書状上書)「嘉右衛門様 磯右衛門 金子入」 磯右衛門→(八田)嘉右衛門様	12月	横切紙/(虫損)/(え4726-1~4は紙縫一括)/(え4726-2-1~2は巻込一括)・1通	え4726-2-1

(無尽懸金に関する書付、酉懸不足金18両3分9匁5分6厘ほか)		横切紙/(虫損)・1通	え4726-2-2
(書状、御借りした無尽品々の書付を御返しするに付) *(書状上書)「孫左衛門様 武左衛門」 武左衛門→孫左衛門様	6月20日	横切継紙/(え4727-1~23は括紐一括)・1通	え4727-10
(書状別紙、寺町公の無尽寄合の催促に付)		横切紙/(え4727-22-1~23は巻込一括)・1通	え4727-22-5
(八田競関係の無尽・借用に関する書状一括)		紙縫一括/(え4735-1~32は紙縫一括)	え4735
(書状、同苗様御請合金の儀、近々連衆へ渡したく御借主へも御通達され御取立て御返済下さるべきに付ほか) *(包紙上書)「八田鉄五郎様 池田権左衛門」 池田権左衛門→八田鉄五郎様	正月9日	横切継紙/(包紙共)・1通	え4735-1
(書状、八田競様へ無尽願儀、140両御渡し下さる様大嶋御氏・水井御氏へ仰せ達され下さるべきに付) *(包紙上書)「八田儀兵衛様 大井祖助」 大井祖助→八田儀兵衛様	12月20日	横切継紙/(包紙共)・1通	え4735-2
(書状、此表より御渡し下さるべき金子、八田競様へ御引取成さる金子御請取り残り御渡し下さるべきに付) *(包紙上書)「八田儀兵衛様 大井祖助」 大井祖助→八田儀兵衛様	12月13日	横切継紙/(包紙共)・1通	え4735-3
(書状、仲間御借金の儀仰せ下され承知仕り、大嶋武左衛門殿・水井久太夫殿より御挨拶成さるべく御承知下さるべきに付) *(包紙上書)「池田権左衛門様 八田鉄治郎」 八田鉄次郎喜蔵(花押)→池田権左衛門様貴報	正月11日	折紙/(包紙共)・1通	え4735-4
(書状、鉄治郎方より江戸表競方まで差し遣わした飛脚[]帰り、競方より申し遣わす返札など儀兵衛方へも挨拶し御意を得るに付) *(書状上書)「小諸江之返事」	極月23日	横切継紙/(虫損大)・1通	え4735-5
(書状、私願いの儀、八田競様御不得心に付) *(包紙上書)「八田儀兵衛様 大井祖助」 大井祖助→八田儀兵衛様	12月2日	横切継紙/(包紙共)・1通	え4735-6
(書状、去春御口入連衆全御同名様御引請け御願いに付御口入仕るに付) *(包紙上書)「八田鉄次郎様 池田権左衛門」 池田権左衛門→八田鉄次郎様	12月24日	横切継紙/(包紙共)・1通	え4735-7
(書状、去年中松代表へ恩借致す140両来年迄御借り居り、当年・来年の取番など委細松代表八田鉄次郎名代儀兵衛へ申し遣わすに付ほか) 八田競→大井祖助様	10月23日	横切継紙/(え4735-1~32は紙縫一括)・1通	え4735-8
(書状、去年中御取替金の儀、両年配分仕らずに付、去暮催促迷惑仕るに付ほか) *(書状上書)「武左衛門様 権左衛門 正月廿八日付」 池田権左衛門→大嶋武左衛門様	正月28日	横切継紙・1通	え4735-9
(書状、此方連中御借金の儀、無尽競方取訳ヶ金の儀に付、委細の儀書状差越され宜しく御相談御極め下さるべきに付) 八田鉄次郎喜蔵(花押)・儀兵衛→大井祖助様人々御中	12月23日	折紙・1通	え4735-10
(書状、御無尽に付、江戸御返書参り差遣わす処、委細仰せ聞かされ承知仕るに付ほか)	11月28日	横切継紙・1通	え4735-11
(書状、八田競様御方へ願書空三郎殿御方迄差し出し宜しく頼むに付) 大井祖助→八田儀兵衛様	9月1日	折紙・1通	え4735-12

1. 内方/1.13. 金融/1.13.4. 無尽

覚(御発当分丑年御掛金・丑年御脇掛分の内、渡り方ほか差引勘定に付)		横長半・1冊	え4735-13
(書状、赤倉より書状一通りに申し来り丑年割取に極め参るに付)	11月	横切継紙・1通	え4735-14
(書状、無尽金の儀に付、大井祖助方の飛札・池田権左衛門殿の書状一覽致し、こまる事あり其元方御当惑気の毒に存ずるに付ほか) 競→新十郎様・儀兵衛殿	12月7日認置候	横切継紙・1通	え4735-15
預申金子手形之事(綿内名代当丑割合・同名代より合せ分メ62両2分請取に付、7年にて差し出し申すべきに付) * (端裏書)「丑年」 預主八田競・証人八田鉄次郎(墨消)・義兵衛		堅紙・1通	え4735-16
(書状、度々申し上げた金子の儀御聞済みの趣大慶に付、江戸糶町御屋敷より御難渋申し来り当年無尽御当番成されほか無尽是御懸金差引成さるべきに付ほか) * (書状上書)「文太夫様へ 権左衛門 正月廿九日付」 池田権左衛門→山岸文太夫様	正月29日	横切継紙・1通	え4735-17
(書状、八田競殿兩年御当番金割合証文下書き認め差し遣わし御認め成され下さるべきに付) * (包紙上書)「八田鉄次郎様儀兵衛様 池田権左衛門」 池田権左衛門→八田鉄次郎様・儀兵衛様	11月19日	横切継紙/(包紙共)・1通	え4735-18
(書状、連衆へ恩借致す金140両来年迄御借居に御取揃遣わされ下さるべきに付)		横切継紙・1通	え4735-19
(書状、御無尽の儀に付江戸表へ御願書遣わさる由、私方へも申し越され承知仕るに付ほか) * 下書		横切継紙・1通	え4735-20
(包紙) * (包紙上書)「御無尽後岩倉小諸へ被遣候書状下書入」		包紙/(え4735-21-2~3は包紙一括)・1点	え4735-21-1
(書状、貴所様御帰後より私気分勝れず平臥に付、延引罷り成り申し訳け無きに付) 八田嘉助(花押)→池田権左衛門様参人々御中	6月27日	横切継紙・1通	え4735-21-2
(書状、私気分勝れず平臥に付御無沙汰仕り、岩倉へも書中も申し上げず申し訳けも無きに付) 八田嘉助→大井祖助様御報	6月27日	折紙・1通	え4735-21-3
(包紙) * (包紙上書)「殿様御無尽定日極候ニ付池田権左衛門殿書状へ下書」		包紙/(え4735-22-2~4は包紙一括)・1点	え4735-22-1
(書状、内々空三郎御物語仕る通り28日御無尽会相極り場所の儀単宿問屋方普請中に付、私宅へ御出で下されたきに付ほか) * 下書 八田嘉助→大井祖助様人々御中	5月12日	横切継紙・1通	え4735-22-2
(書状、空三郎参上委細相談遂げられ御無尽の儀御手前様にも御世話下され、当年御会合の儀の場所、単宿普請片付き兼ね私宅へ御寄合下さるに付ほか) * 下書 八田嘉介→池田権左衛門様人々御中	月日	横切継紙・1通	え4735-22-3
(書状、飛札を以て申し上げたく貴報成し下され拝見仕り、委細競方より申し越され27日には早く競方へ御出で下さるべきに付) * 下書 八田嘉助→池田権左衛門様人々御中	5月15日	横切紙・1通	え4735-22-4

(書状、江戸松本の否申し上げたく延引御報せ成され御用捨下さるべく、無尽の儀も松本より返書到来仕り御左右申し入れるべきに付) * (包紙上書)「八田嘉助様 池田権左衛門」 池田権左衛門教金(花押)→八田嘉助様人々御中	6月28日	折紙/(包紙共)・1通	え4735-23
(書状、先月中は種々御懇意御饗応忝きに付) * (包紙上書)「八田嘉助様 大井祖助」 大井祖助→八田嘉助様	6月28日	折紙/(包紙共)・1通	え4735-24
(書状、八田競様へ御無尽の儀に付願書差し上げ思召しの段委細御答え仰せ下され承知仕り、取番仕りたく両品の儀仰せ下さるに付) * (包紙上書)「八田儀兵衛様 大井祖助」 大井祖助→八田儀兵衛様	11月24日	横切継紙/(包紙共)・1通	え4735-25
(書状、小諸大井祖助方へ返上嘉七に認め遣わされ下され添筆成さるに付、新十郎殿・三郎左衛門殿へも御相談の上遣わされたきに付ほか) * (包紙上書)「菊屋儀兵衛殿 八田競」/(端裏書)「儀兵衛殿」 競→儀兵衛様	11月13日	横切継紙/(包紙共)・1通	え4735-26
(書状、お慶儀男子出産大慶に付、各々御世話に預かり忝きに付) * (包紙上書)「菊屋儀兵衛殿同傳兵衛殿 八田競」 競→儀兵衛殿・傳兵衛殿	11月13日	横切継紙/(包紙共)・1通	え4735-27
(書状、八田嘉助殿・競殿御頼金御双方様御懇意・御疎意も下されまじく連衆へも内分にて御取替え申すに付ほか) * (書状上書)「三郎左衛門様 権左衛門 正月廿八日付」 池田権左衛門→中川三郎左衛門様	正月28日	横切継紙・1通	え4735-28
(書状、連中へ御取替金の儀に付中川三郎左衛門罷り越し御対談すべき処、三郎左衛門公用に付御日延下さるべきに付)		横切継紙/(虫損)・1通	え4735-29
(書状、連衆御取替金の儀武左衛門殿・久左衛門殿へ御尋ねの所、双方御間違いの筋あり承知仕るに付) * (書状上書)「文太夫様弥一左衛門様武左衛門様 権左衛門 正月十四日」 池田権左衛門→山岸文太夫様・奥村弥一左衛門様・大嶋武左衛門様	正月14日	横切継紙・1通	え4735-30
(書状、貴様御了簡を以て無尽御取立て下さる処、山中筋凶年にて金子操廻し悪く金子取立て御返進の筋片付かざるに付、御用捨下さるべきに付) * (書状上書)「池田氏江 山岸奥村 正月十五日」 奥村弥一左衛門・山岸文太夫→池田権左衛門様御報	正月15日	横切継紙・1通	え4735-31
池田権左衛門殿より御郡方様並びに大嶋武左衛門殿水井久太夫殿江參候書状写 口上(御発起御無尽此方御組御連衆当年御当番金を祖助が無心した処、近所一家共は得心したが橋本・岡両氏は遠国に付御相談落着致し兼ねるに付)		横長半/(虫損)・1冊	え4735-32
口上(井上宗兵衛殿御扶持米柴町世話いたし所、同人発起無尽致すも不足の分手前持に付) * (表書)「井上宗兵衛殿へ參御勅弁可被成下候 十月九日四通添申上 承之助」/後欠 承之助		横切紙/(え4737-1~68は紙縫一括)・1通	え4737-57
御差引書控(金3分字佐美殿無尽金残り)ほか金銭勘定書上)		横切継紙/(え4748-1~67は一綴)・1通	え4748-22
(無尽勘定関係書類一括)		綴/(え4790-1~2は旧封筒一括)/(え4790-2-1~3は一綴)・1綴	え4790-2

1. 内方/1.13. 金融/1.13.4. 無尽

手前差引(当会懸金など勘定書付)		横切継紙・1通	え4790-2-1
出金辻(喜兵衛様分などの勘定書付)		折紙・1通(2枚)	え4790-2-2
当春中調(別帳正金より出し分11両余の内訳)		折紙・1通	え4790-2-3
証文取引議定之事(無尽にて益金御請取に付) (会料関係勘定など一綴)		縦継紙・1通	え4818
覚(春秋元金537両1分ほか勘定書付)		綴/(え4832-1~3は一綴)・1綴	え4832
		折紙/(綴穴あり)/(一部破損)・1通	え4832-1
覚(金303両より会料金7両2分など差引)	子4月5日	横切紙・1通	え4832-2
覚(八田孫左衛門他メ金342両より会料差引) * (端裏書) 「十丑下書」	丑4月	縦紙・1通	え4832-3
田中氏無尽嘉右衛門手元切差引(金113両3分4文1厘元金、 巳年より未年まで3年分、元利1割2分で159両3分に付)		横長半・1冊	え5132
覚(田中村無尽懸金2両他メ金5両2分2朱、3ヶ所無尽懸金 に付、金銭書上)	3月	横切継紙/(え5169-1~8は一綴)・1通	え5169-2
覚(金1両と銀10匁5歩へ懸金引きて7歩5厘返り、座当春迪 無尽6会目懸金に付、金銭書上)	丑3月20日	横切継紙・1通	え5169-6

1.13.5. 伊勢山田御師広田筑後一件

御伊勢講[(破損)](御伊勢講の代参人並びに月御講名簿)	宝暦13年癸未正月吉日 (~戊(寛政2初))	半/(帳外れあり)/(虫損甚大)・1冊	え4764
乍恐奉申上口上(廣田筑後親類福井美作ほか4名、請人森 忠八・信州且中佐藤伊兵衛召出され御吟味の上諸事分 かる様金子滞りなく済む様仰せ付けられたきに付) 宮後西川原岩出六右衛門		縦継紙/(え4768-1~8は旧 封筒一括)/(え4768-3-1~16は 一綴)・1通	え4768-3-1
覚(材木代・勢州より松代まで飛脚日雇路金ほか、子年より 御取替金[]出来兼ねるに付、延引忝き旨) 御拝借 主佐藤伊兵衛・同断増田宗右衛門→花山院様御家本庄豊前守 様・一色治部様・御口入鈴木安兵衛殿	明和8年辛卯2月	縦継紙/(上部欠)・1通	え4768-3-2
奉御拝借金証文之事(金8両3分、花山院様御社金の内 拝借仕り、返済は鈴木安兵衛罷り越す節相済まし申 すべきに付) * (端裏書)「証文写し式印」 御拝借主和泉 屋伊兵衛・請人菊屋兵助→花山院様御家本庄豊前守様・一色 治部様	明和8辛卯年12月	縦継紙・1通	え4768-3-3
為取替申済口証文之事(廣田筑後元手代岩出六右衛門、筑 後居宅大破にて信州惣旦中よりの合力金を孫左衛門・善 右衛門方へ集めた処、金子差越さず、筑後より疑われ手代 職取放たれ難儀に付、駆込訴内済に付) * (包紙上書)「江戸 内済本書並びに済口差上候一札控」 訴訟方勢州度会郡山田 御師廣田筑後元手代岩出六右衛門、相手方真田伊豆守領分信州 埴科郡松代町年寄孫左衛門・同町伊兵衛・惣右衛門煩二付手 代惣八・右差添人名主茂兵衛・同和助、同白井吉之丞御代官所同 州高井郡中野町名主善右衛門・同町茂兵衛・同右差添人太七・同 宇右衛門、小伝馬町三丁目訴訟方宿扱人伊勢屋伊右衛門・神田 和泉橋通平川町代地相手方宿同庄内屋武左衛門→御奉行所様	明和9年辰11月	縦継紙/(包紙共)・1通	え4771

口上覚(岩出六右衛門儀金子出入、其上不都束の儀あり、主従不法の上筋違いの儀に付、江戸表へ御訴え申し上げた所、御裁許済みの段、御内々御聞き置き下されたき旨) 廣田筑後代吉村嘉右衛門(印)→町御奉行所	申3月	横長半/(え4768-1~8は旧封筒一括)・1冊	え4768-1
(仁田村安兵衛口入一件書類)		綴/(え4768-2-1~8は一綴)・1綴	え4768-2
(書状、下仁田村安兵衛殿、八田孫左衛門甥嘉太郎・八田孫左衛門代平助ほか2名へ口入金あり、安兵衛殿願いの趣承る様仰せ下され願ひ通り内見致し様子尋ねるに付) 伊勢町名主茂兵衛→勢州田丸三谷吉左衛門様	8月朔日	横切継紙・1通	え4768-2-1
(追啓、本文の通り安兵衛殿断り捨てに此表に御出立にて、町年寄・検断までも御願筋内分にて申しがたき儀に付) *4768-2-1の追て書		小切紙・1通	え4768-2-2
(勢州田丸三谷吉左衛門殿御添状を以て仁田村安兵衛殿願ひ、御役人清野兵助殿差添え願書御持参成され、吉左衛門殿御役筋・御格式等の儀兵助殿へ御尋ねの返答)		横切継紙・1通	え4768-2-3
(書状、下仁田村安兵衛殿、八田孫左衛門甥嘉太郎・八田孫左衛門代平助ほか2名へ口入金あり、安兵衛殿願いの趣承る様仰せ下され願ひ通り内見致し様子尋ねるに付) *4768-2-1と同内容/(端裏書)「右之通相認置候処八月十五日勢州田丸領一ノ瀬谷市場村下村吉郎大夫与申仁江相頼差遣申候」 いせ町名主茂兵衛→勢州田丸三谷吉左衛門様	8月朔日	横切継紙・1通	え4768-2-4
(花山院様御役人中様へ願書を差し出した処、この金子出入りは一方願ひでは御取計り成され難く、その外手前勝手なる致され方により御取上げあるまじきに付) *(端裏書)「此二通之心得を以安兵衛方江茂兵衛幸助卯右衛門相尋候様申請候 安永四未七月十一日」	未7月12日	横切継紙・1通	え4768-2-5
(書状、仁田村安兵衛、八田孫左衛門甥嘉太郎ほか3名へ金子口入れした処、返済滞り御役所へ願ひ出でに付、安兵衛遣わし、様子御聞届遣わされる様致したき旨) *(端裏書)「六月十九日付書状七月六日持参同日名主茂兵衛請取開封」 紀州領勢州田村三谷吉左衛門明莫(花押)→信州松代木町・伊勢町御役人衆中	6月19日	横切継紙・1通	え4768-2-6
(書状、仁田村安兵衛口入金儀、其御表へ出訴に付) 三谷吉郎治明喬(花押)→信州松代伊勢町名主茂兵衛様	□月15日	折紙/(上部欠)・1通	え4768-2-7
(書状、仁田村安兵衛方、御先役三谷吉左衛門殿御添簡にて出訴致したきに付) 名主茂兵衛判→三谷吉郎治様貴報	□月25日	横切継紙/(上部欠)・1通	え4768-2-8
口上覚(花山院様御貸付証文に付、信州御役所へ御添簡持参仕り御願ひ申すに付、願書御取次下さるべき旨) *(端裏書)「安永四年未七月十九日安兵衛差出候口上書控本書ハ御奉行所御留置被遊候」 安兵衛印→名主茂兵衛殿・幸助殿・卯右衛門殿	安永4年未ノ7月	堅継紙/(え4768-3-1~16は一綴)・1通	え4768-3-4
覚(元利合金308両2分余、佐藤伊兵衛・増田宗右衛門へ貸金元利書付) *(端裏書)「老印」 仁田村安兵衛印	(安永4年)未6月	堅継紙・1通	え4768-3-5
覚(元利合15両1分余、佐藤伊兵衛・菊屋兵助へ貸金書付) *(端裏書)「三印」 仁田村安兵衛印	(安永4年)未6月	堅継紙・1通	え4768-3-6
覚(元利合金15両3分余、和泉屋伊兵衛・菊屋兵助へ貸金書付) *(端裏書)「式印」 仁田村安兵衛印	(安永4年)未6月	堅継紙・1通	え4768-3-7

1. 内方/1.13. 金融/1.13.5. 伊勢山田御師広田筑後一件

<p>乍恐奉願候口上(八田孫左衛門甥嘉太郎ほか3人に頼まれ花山院様御社御修復金を口入れした処、返済滞り、また花山院様御修復金御入用にて元利返上するよう仰せつけられ難儀至極に付、別紙勘定書の通り返済する様貸元へ仰せつけられたき旨) * (端裏書)「安永四未七月廿六日安兵衛差出候願之趣一通証文写五通添本書ハ山越様御留置披遊候但願書ニハ無之書付ニ付此方より送り返シハ不申候先月より請取度相願候ハ、其節ハ詮義之上返事可申候」 紀州領伊勢多気郡仁田村安兵衛印</p>	<p>安永4未6月</p>	<p>豎継紙・1通</p>	<p>え4768-3-8</p>
<p>御借用申年賦証文之事(金10両3分御借用仕る処、無利足7ヶ年賦にて返上に付) * (端裏貼紙)「天明七未年 年賦証文 金拾両三分吉村氏」 廣田筑後手代御借主吉村嘉右衛門(印)・木町受人太右衛門(印)・伊勢町同断与兵衛(印)・鏡屋町同断吉九郎(印)→八田孫左衛門殿</p>	<p>天明7年未10月</p>	<p>豎継紙・1通</p>	<p>え4768-3-9</p>
<p>(貴殿私難洪の心底御察し下され、御取懸り元廣田御家へ懸り金30両御調達御渡し下され、諸書付文通等まで御世話を以て片付き忝きに付) * 前欠 紀州御領伊勢国多気郡仁田村安兵衛印・同国同郡同村付添改人瀬兵衛印・信州植科郡松代中町右兩人宿佐兵衛印→廣田筑後様御内吉村嘉右衛門殿</p>	<p>天明2壬寅年4月28日</p>	<p>豎切紙・1通</p>	<p>え4768-3-10</p>
<p>(安兵衛対決願い奉る儀に付、惣懸り合の者召出され対決仰せつけられる際申し上げるに付) * (端裏書)「入用なし」</p>		<p>豎継紙・1通</p>	<p>え4768-3-11</p>
<p>(花山院様御名目金証文善右衛門方より私共受取っても用立て申さざる段御檢察成し下されたきに付)</p>		<p>豎継紙・1通</p>	<p>え4768-3-12</p>
<p>覚(材木代・両度飛脚御用路金ほかメ金214両3歩余、去子年より段々御取替金延引忝きに付) * 4768-3-2の下書カ 増田宗右衛門・佐藤伊兵衛→本庄豊前守様・一色治部様・口入安兵衛殿</p>		<p>豎継紙・1通</p>	<p>え4768-3-13</p>
<p>差出申一札之事(廣田筑後殿居宅御普請諸入用岩出六右衛門相談を以て売渡し差引残金の義埴科郡高井郡奉加金を以て拝借仕りたきに付) * 後欠</p>		<p>豎切紙・1通</p>	<p>え4768-3-14</p>
<p>口上書を以申上候事(花山院様御名目拝借金の義、御白洲に御呼出の上内済に付、済口証文連印仕る旨) 八田孫左衛門印・惣代惣八印・伊兵衛印・和助印・名主茂兵衛印→御奉行所</p>	<p>安永元辰年12月5日</p>	<p>豎継紙・1通</p>	<p>え4768-3-15</p>
<p>(訴訟人岩出六右衛門申すには、山田御師廣田筑後方の手代職を勤めていた所、筑後儀居宅大破により八田孫左衛門ほか5人の者へ願ひ借金、ほか信州旦家より勸化奉加集めるに付)</p>		<p>横切継紙・1通</p>	<p>え4768-4</p>
<p>(書状、奉加金の義は善右衛門・茂兵衛兩人方へ抜取の段、右の者共の請取書にある金子有増し帳面に写取り差し上げに付) * 前後欠</p>		<p>横切継紙・1通</p>	<p>え4768-5</p>
<p>(受取分メ27両金錢書付) 仁田村安兵衛印</p>		<p>小切紙・1通</p>	<p>え4768-6</p>
<p>覚(金147両3分余り宗右衛門伊兵衛兩人より安兵衛方へ差出証文写しほかメ8通の証文の内容について書上)</p>	<p>6月</p>	<p>横切継紙・1通</p>	<p>え4768-7</p>
<p>(西田九兵衛方へ遣わした金5両は六右衛門引請に付ほか書付) * 下書/全文抹消 竹兵衛印・惣右衛門印、(奥書) 徳兵衛→小野喜太右衛門様・山越六郎右衛門様</p>	<p>天明2寅年4月</p>	<p>豎紙/(え4747-1~16は巻込一括)・1通</p>	<p>え4747-8</p>
<p>(仁田村安兵衛一件につき伊勢町伊兵衛返答書一括)</p>		<p>綴/(え4762-1~16は一綴)・1綴</p>	<p>え4762</p>

被召出御不審御答乍恐奉申上候御事(吉村嘉右衛門20両の金子に付、度々飛脚等遣しメ3筆の賃路用等、勢州表において懸け合い申したきに付) 伊勢町伊兵衛(印)・惣右衛門(印)、(奥書)名主徳兵衛(印)→小野喜太右衛門様・山越六郎右衛門様御役所	天明2壬寅年4月22日	豎継紙・1通	え4762-1
乍恐奉申上候御事(仁田村安兵衛、西田九兵衛方へ安兵衛方より金5両遣わしの由、金子私方へ請取たく願ひ奉るに付) 伊勢町伊兵衛(印)、(奥書)名主徳兵衛(印)→小野喜太右衛門様・山越六郎右衛門様御役所	天明2壬寅年3月28日	豎継紙・1通	え4762-2
乍恐口上書を以奉申上候御事(西田九兵衛方への5両の内4両の切手見え兼ねる段、私共方にあったもの今日迄見え不調法の段、御高面成し下さるべきに付) 伊勢町伊兵衛(印)・惣右衛門(印)、(奥書)名主徳兵衛(印)→小野喜太右衛門様・山越六郎右衛門様御役所	天明2壬寅年4月21日	豎継紙・1通	え4762-3
乍恐口上書を以奉願上候御事(紀州様御領分仁田村安兵衛、私共相手取に付、筑後殿一同に勢州御役所へ願ひ、岩出六右衛門召し出され済む様願ひたく、安兵衛一件御日延願ひに付) 伊勢町伊兵衛(印)・惣右衛門(印)、(奥書)名主徳兵衛(印)→小野喜太右衛門様・山越六郎右衛門様御役所	天明2壬寅年4月21日	豎継紙・1通	え4762-4
御尋二付乍恐奉申上候御事(紀州様御領分仁田村安兵衛再返答書並びに引合書付6通差し上げ、銘々御読み聞かせの上御答え申し上げるべき旨仰せつけられるに付) 伊勢町伊兵衛(印)・惣右衛門(印)、(奥書)名主徳兵衛(印)→小野喜太右衛門様・山越六郎右衛門様御役所	天明2壬寅4月13日	豎継紙・1通	え4762-5
覚(卯年に鈴木安兵衛から佐藤伊兵衛様への金4両請取書差し上げに付) * (端裏貼紙)「明和八年卯二月廿二日金四両西田九兵衛方江遣候由安兵衛方より伊兵衛方江遣候請取書写」 伊勢町伊兵衛(印)・惣右衛門(印)、(奥書)名主徳兵衛(印)→小野喜太右衛門様・山越六郎右衛門様御役所	天明2寅年4月	豎紙・1通	え4762-6
御尋二付御答申上候御事(橋本久兵衛殿飛脚残り金1両1分ほかメ3筆、濟口仰せつけられ、吉村嘉右衛門方より請取っていないため私方より弁金仕り難きに付) 伊勢町伊兵衛(印)・惣右衛門(印)、(奥書)名主徳兵衛(印)→小野喜太右衛門様・山越六郎右衛門様御役所	天明2寅年4月19日	豎継紙・1通	え4762-7
乍恐以口上書申上候御事(仁田村安兵衛義、追訴に付、召出され御読み聞かせ成し下され御答申し上げるべき様仰せつけられるに付) 伊勢町伊兵衛(印)・惣右衛門(印)、(奥書)名主徳兵衛(印)→小野喜太右衛門様・山越六郎右衛門様御役所	天明2壬寅年3月25日	豎継紙・1通	え4762-8
被召出再御尋に付乍恐奉申上候御事(何方へも願う存寄りなき趣、濟方をも仕らざる願ひも出でまじき趣、両様の申分ケ急度仕るべき旨仰せ渡されるに付) 伊勢町伊兵衛(印)・惣右衛門(印)、(奥書)名主徳兵衛(印)→小野喜太右衛門様・山越六郎右衛門様御役所	天明2壬寅年4月19日	豎紙・1通	え4762-9
乍恐口上書を以奉申上候御事(仁田村安兵衛御願ひ罷り下るに付、有体口上書を以て御答申し上げた処、内濟等の所存もなき哉と御尋ねに付、金子等を差出し内濟する所存はなきに付) 伊勢町伊兵衛(印)・同惣右衛門(印)→御奉行所	天明2寅3月	豎紙・1通	え4762-10
乍恐口上書を以奉申上候御事(仁田村安兵衛今般御添翰頂戴仕り願書差し上げ、安兵衛何方まで御願ひ申し上げたとても其節は罷り出で申し披き仕るべきに付) 伊勢町伊兵衛(印)・同町惣右衛門(印)→御奉行所	天明2壬寅年3月	豎紙・1通	え4762-11

1. 内方/1.13. 金融/1.13.5. 伊勢山田御師広田筑後一件

御尋ニ付乍恐口上書を以申上候御事(其方共六右衛門より安兵衛へ差し遣わす証文にも伊兵衛末書致し安兵衛へ差し出す金子証文にも不足の所、其方共より都合致し差し出すべき旨文言にあるに付) 伊勢町伊兵衛代(印)・惣右衛門(印)、(奥書)名主徳兵衛(印)→小野喜太右衛門様・山越六郎右衛門様御役所	天明2壬寅年4月22日	縦継紙・1通	え4762-12
御尋ニ付乍恐奉申上候御事(金147両3分余、証文表の儀は私共名前ではあるが、元来六右衛門勢州表において筑後殿入用に遣わす金子より事発り、江戸表の内済の節六右衛門より取り置く引受証文高覧にいれ奉るに付) 伊勢町伊兵衛(印)・惣右衛門(印)、(奥書)名主徳兵衛(印)→小野喜太右衛門様・山越六郎右衛門様御役所	天明2壬寅年4月18日	縦継紙・1通	え4762-13
御尋ニ付乍恐奉申上候御事(20両の利足金2両1分5匁、手紙に差加えあり、また追啓覚書等の金子受取たく安兵衛願うにつき、意味御尋ね成し下され御答え申し上げるに付) 伊勢町伊兵衛(印)、(奥書)名主徳兵衛(印)→小野喜太右衛門様・山越六郎右衛門様御役所	天明2壬寅年3月28日	縦継紙・1通	え4762-14
御尋ニ付乍恐以口上書奉申上候御事(岩出六右衛門借主・鈴木安兵衛加判証文3通、安兵衛致すべき所など証文、其方共致す所などの儀明白に致すべきに付) 伊勢町伊兵衛(印)・惣右衛門(印)、(奥書)名主徳兵衛(印)→小野喜太右衛門様・山越六郎右衛門様御役所	天明2壬寅年4月24日	縦継紙・1通	え4762-15
乍恐以口上書御尋之趣奉申上候御事(紀州様御領分仁田村安兵衛罷り下り私共へ懸り金子出入願い奉るに付、御尋ねの趣申し上げる旨) 伊勢町伊兵衛(印)・惣右衛門(印)、(奥書)名主徳兵衛(印)→小野喜太右衛門様・山越六郎右衛門様御役所	天明2壬寅年3月	縦継紙・1通	え4762-16
覚(去酉年金50両借用致し申合せの通り10ヶ年賦に済ます様本証文御返し成され受取り申すに付) 廣田筑後(印)→八田孫左衛門殿	(天明7)丁未6月23日	堅切紙/(え4768-1~8は旧封筒一括)/(え4768-3-1~16は一綴)・1通	え4768-3-16
(松崎平左衛門100両無尽関係文書一括)		綴/(え4768-8-1~5は一綴)・1綴	え4768-8
覚(金16両2分、廣田筑後且中の内へ差遣わした処、矢代村松崎平左衛門殿100両無尽発会、人数不足に付、筑後へ加入無心申した処掛金不足に付御貸し下さる旨) * (端裏貼紙)「文化九申年七月 一金拾六両貳分 吉村嘉橋殿へ印書」 吉村嘉橋(印)、(奥書)平出喜左衛門(印)・竹内三郎兵衛(印)・小林小助(印)・入直左衛門(印)→八田嘉右衛門殿	文化9申年7月	縦継紙・1通	え4768-8-1
(書状、機術用差支え御助情を願ひ、金5葉拜受感謝に付ほか) 神溪拜[印]	文化癸酉仲秋	縦継紙・1通	え4768-8-2
(心術修行の奥義) 神溪拜	文化癸酉仲秋	縦継紙・1通	え4768-8-3
覚(御発起500両無尽へ廣田筑後御加入にて当末3番会鬮金の内3番取になる儀、また初回よりの懸出金御取替え下さる分も無利足に差引下され借財返済片付き忝きに付) 廣田筑後代吉村嘉橋(印)→八田喜右衛門殿	文化8未年11月	堅紙・1通	え4768-8-4
借入金証文之事(金100両、御無心申し上げた処、御寺内御修復として御旦中御講金御借し下され請取り申すに付) * 全文抹消 勢州山田廣田筑後代官代判岩出六右衛門(印)、(奥書)松代八田孫左衛門(印墨消)→信行寺・浄泉寺・御口合中川伴右衛門殿	明和6丑年8月	縦継紙・1通	え4768-8-5

(書状、嘉例により御祈禱御祓大麻並びに御祝儀として土産添え進上仕り神前において御武運長久御安全丹誠を抽すに付) 筑後儀廣田正四位(花押)「正陽」→八田慎蔵様人々御中	9月吉日	折紙/(え4712-1~26は紙縫一括)・1通	え4712-26
口上之覚(少々風聞あり鈴木安兵衛儀又々其御地へ罷り下る様承るに付ほか) *(包紙上書)「八田孫左衛門様 吉村嘉右衛門」 吉村嘉右衛門→八田孫左衛門様	7月25日	横切紙/(え4714-1~18は紙縫一括)/(え4714-1-1~9は紙縫一括)/(包紙共)・1通	え4714-1-3
(書状、岩出六右衛門殿廣田家と出入に及び、替り役先役小林伊左衛門殿へ申附けられた趣承知致し、我々儀は差構い申す儀も無きに付) *(包紙上書)「信州松代八田喜右衛門様 増宗右衛門様 八田嘉太郎様 大工宗吉 河竹宗兵衛 瓦屋甚兵衛」 大工宗吉・河竹宗兵衛・瓦屋甚兵衛・日雇方次兵衛・藁田代弥右衛門→信州松代八田喜右衛門様・増宗右衛門様・八田嘉太郎様・亀山増田羽四郎様・亀田平助様	10月15日	折紙/(え4719-1~23は括紐一括)/(包紙共)・1通	え4719-3
(書状、八田孫左衛門御自分様へ御口入金金の儀、去暮御出金ある筈のところ、これ無き儀、何れとも去暮御出金片付けの儀仰下さるべきに付) *(端裏書)「辰九月廿日玉井惣三郎殿へ頼遣御下伊右衛門叩」 伴伊右衛門居判・宇佐美清十郎居判→廣田筑後様・檜垣掃部様	9月20日	横切紙・1通	え4719-5
(書状、普請入用帳面および知行引上げに付) いわて→増田殿	10月14日	折紙・1通	え4719-6
(書状、廣田殿材木・瓦代の儀、金高の儀か(斯)様に延引に相成りては甚だ難儀、当冬中に御済まし下されるよう御世話下さるべく頼むに付) 河竹宗兵衛・中納甚兵衛→八田嘉太郎様・八田嘉右衛門様・益田宗右衛門様・亀山羽四郎様・八田平助様参人々御中	11月15日	横切紙・1通	え4719-7
覚書(幸助一件の内済をめぐる口書再差し上げに付)		折紙・1通	え4719-8
(書状、御借金今以て御片付けもこれ無く、否やも仰下されず迷惑至極存じ奉り、濟方御相談下され、委しき貴報仰下さるべきに付) *下書 八田孫左衛門→廣田筑後様	8月20日	横切紙・1通	え4719-21
(書状、私御口入金について去卯年まで相片付かずにより去年掃部様御出も御返金御調達成され難きに付) *前欠/下書		横切紙/(え4732-1~21は紙縫一括)・1通	え4732-17
(書状、去年中掃部様御下りに成られ八田孫左衛門などへ御口入金片付け兼ね私共御世話申し上げに付) 伴伊右衛門・宇佐美清十郎→廣田筑後様・檜垣掃部様	9月	横切紙・1通	え4732-18
一札之事(鈴木安兵衛など広田筑後方元手代岩出六右衛門と懇意に致す所、成年以来安兵衛仕送り相止めるも筑後居宅普請により仕送るに付) *人參三蔵門引札反故紙利用/下書		横切紙/(え4743-1~12は紙縫一括)・1通(2枚)	え4743-8
(右金子の儀、証文表は私共名前だが、元来六右衛門勢州表で筑後入用から事起り、江戸表にて内済の節六右衛門より取置き引請証文を高覧に入れるに付) *前欠		縦紙/(え4747-1~16は巻込一括)・1通	え4747-6
(本文の通り六右衛門引受証拠がある故、私共弁金仕り難きに付ほか書付) *全文抹消		縦紙・1通	え4747-7

1. 内方/1.13. 金融/1.13.5. 伊勢山田御師広田筑後一件

口上覚(廣田筑後御物成御不足、吉兵衛・八田孫左衛門方へ頼み置き、当年より10ヶ年間御断此方御渡し下さるべきに付) 吉村嘉右衛門		横切紙/(え4748-1~67は一綴)・1通	え4748-35
(書状、吉村嘉右衛門殿より御咄の御世話下さる筑後殿御方一件、当夏より嘉右衛門殿頼まれるに付) →山本彦四郎様・原彦五郎様	8月	折紙・1通	え4748-46
(書状、吉村嘉右衛門へ此度の勅化は師職式に掛るため、勅化一件早々止める様成し下さるべきに付) 廣田筑後(花押)「正」→八田孫左衛門様	10月17日	折紙・1通	え4748-67
(書状、旧冬吉村へ向け一書御尋ね申し上げ亀抹の品2品呈上仕り御握掌下さる儀と遠察するに付ほか) 桧垣越中(花押)「常」→八田嘉右衛門様人々御衆中	正月4日	横切継紙/(え4750-1~47は一綴)・1通	え4750-28
(書状、先日頂いた3通拝見の上吟味の処、伊原・字右衛門兩人不行届き訳合いへ江戸表にも出訴に及びたき儀願出候に付) 八田孫右衛門→岩出六右衛門殿	10月	堅継紙/(日焼あり)・1通	え5021
(安兵衛方より御吟味願い上ぐ次第、去る11ヶ年以前明和9年11月江戸表寺社御奉行所様御政所にて御吟味ありて内済の上は対事し御答え申すに付) *下書		堅切紙/(え5054-2~8は包紙一括)・1通	え5054-4
(札、「此入用之義ハ別紙之方有之」)		札/(え5054-8-1~8は巻込一括)/(え5054-8-1-1~4は巻込一括)・1点	え5054-8-1-1
(申上書、廣田手代吉村嘉右衛門金20両安兵衛へ返済滞るに付) *前後欠/下書		堅切紙・1通	え5054-8-1-2
(「安兵衛受取度様申候節…」) *下書		横切紙・1通	え5054-8-1-3
(廣田筑後殿一件に付) *2行のみの下書		堅切紙・1通	え5054-8-1-4
(「奉加金百両也」・「花山院様御名目金百両善右衛門」など) *下書		堅切紙/(え5054-8-2~17は巻込一括)・1通	え5054-8-2
(申上書、廣田筑後方仕送り金の事、安兵衛・六右衛門申し合わせ、花山院様御名目金借り受くに付) *下書/前欠		堅切紙・1通	え5054-8-3
(出訴一件内済にて私共より安兵衛へ済ます節、六右衛門引き請け印書遣わし置きながら差引き通り行わず捨て置くの儀不埒に付) *下書/前欠		堅切紙・1通	え5054-8-4
(右金子請取り致すの旨願い出し候に付) *下書		横切紙・1通	え5054-8-5
(書状、御名目金証文申し立つるに付) *下書/(書状上書)「八田孫左衛門様 杭全平左衛門」 杭全平左衛門→八田孫左衛門様	3月13日	横切継紙・1通	え5054-8-6
(147両3分借証文に付) *2行のみの下書		堅切紙・1通	え5054-8-7
(木町喜右衛門・弥右衛門甥嘉右衛門御名目金拝借の為とて訴訟申すに付) *下書		横切紙・1通	え5054-8-8
(書状、安兵衛方へ私共方より証文の金子近々残らず相済ますに付) *下書		横切紙・1通	え5054-8-9
(書状、去る卯年正月廣田筑後殿手代吉村嘉右衛門例年の土産荷物請負の者ども金20両相渡さず返済滞るに付) *下書/後欠		堅切紙・1通	え5054-8-10

(反故紙)		堅切紙・1通	え5054-8-11
(申上書、金147両3分・銀10匁1分4厘の事、廣田筑後殿手代六右衛門借用し返済滞るに付) *下書		堅紙・1通	え5054-8-12
(申上書、筑後殿元手代六右衛門明和9辰年江戸表欠込御訴訟にて内済相成る節、六右衛門借入金を引き請け私共方より安兵衛方へ渡すよう申し、安兵衛方より私共へ御名目証文渡し申すに付) *下書		堅切紙・1通	え5054-8-13
(御尋につき申上書、筑後殿元手代六右衛門明和9辰年江戸表欠込御訴訟にて内済相成る節、借入金的事六右衛門引き請け私共方より安兵衛方へ相済まし御名目証文受取、また六右衛門方より印書請取り所持仕るに付) *下書		折紙・1通	え5054-8-14
引合之書附(安兵衛罷り越すたびごと並びに日雇い諸雑用に付勘定書付) *下書	寅3月10日上ル	堅継紙・1通	え5054-8-15
(岩出六右衛門147両3分借金にて借金証文印書差し出すに付) *下書		堅紙・1通	え5054-8-16
(書状、六右衛門方よりも一札請取、その上残金を加え、中野表より六右衛門方請取り善右衛門方より請取る金子の内60両私方へ請取の趣御相談したくも色々難しきに付) *下書/(端裏書)[入用なし]		堅紙・1通	え5054-8-17

1.13.6. 高遠へ御貸金取立方一件

(書状、兼ねて御意を得ている当社修覆金今以て相済まないため、当院内峯村卯右衛門と申す者指遣わすので、否や仰聞けるべきに付) *下書 宗眼寺→弥勒村祖助様・中村糸助様	12月16日	横切継紙/(継目剥離)/(え4719-1~23は括紐一括)・1通	え4719-19
(書状、御口入金喜右衛門殿方迄度々罷越し御内済の儀御無心仕るが、御聞濟無く、何卒御内済成し下されるよう仕りたく相願うに付) * (包紙上書)[川中島八幡神宮寺様御役僧宗眼寺様 伊奈郡弥勒村祖助 中村糸助] 中村糸助・弥勒村祖助→宗眼寺様	12月21日	横切継紙/(包紙破損)/(包紙共)・1通	え4719-20

1.14. 飯山領

1.14.1. 無尽

差上申一札之事(私企みの頼母鋪にて金50両掛け3口御加入御願いのところ、御取口4番・6番・8番にて御加入に付) * (端裏貼紙)[文政二卯年九月大和屋三四郎高井屋傳右衛門五百両無尽企二付不都東之取計致候付右一条誤一札] 飯山本町高井屋傳右衛門(印)・同所同町大和屋三四郎(印)・同組合葛倉屋長兵衛(印)・同組頭大坂屋助七(印)→八田嘉右衛門様御内浦野忠七様	文政2卯年9月	堅継紙・1通	え5032
覚(八田嘉右衛門・同喜兵衛・同辰三郎、当会懸出金不足の為、金100両御無尽に付) * (端裏書)[文政十三寅年十一月飯山御無尽之節時借金証文下案]/下書 松代家中代浦野屋忠七、(奥書)関田守之丞→飯山様御領分静間村市郎右衛門殿・永江村宗左衛門殿・尾崎村権左衛門殿・神代村十郎兵衛殿・田子村武左衛門殿	文政13寅年11月	堅紙・1通	え5109

1. 内方/1.14. 飯山領/1.14.1. 無尽

(書状、先頃善之助が起こした趣を八田家にお頼み願に付) * (端裏貼紙)「飯山御家中高田茂左衛門殿より堅葉へ向到来書状紛乱致間敷候事」 高田茂左衛門→中嶋三右衛門様貴答札下	9月22日	横切継紙/(え4744-1~5は括紐一括)・1通	え4744-3
覚(戸狩村管之助金50両などは飯山町空左衛門元金受取、並びに大瀧村太左衛門金50両などは無尽懸け出すに付) * (端裏書)「文政三辰四月廿九日飯山大和や無尽罷越候付覚書」	辰4月29日	横切継紙・1通	え5189

1.14.2. 訴訟

口上覚(飯山・岩村田質貸金滞りに付、去年中は菊屋傳兵衛より公訴する含みをもって掛合うため中町越前屋五兵衛に仲裁を依頼するに付) 御三人	2月	横切継紙/(え4716-1~8は紙縫一括)/(え4716-8-1~8は紙縫一括)・1通	え4716-8-3
(書状、一件済寄願の下げ書取替のため駒次郎殿代同道いたし飯山へ罷り出、伝右衛門殿ほかへ掛合の上にて済口願書連印に付) * (包紙上書)「松代伊勢町有賀平兵衛様 御報 滝澤助之丞」/(包紙裏書)「善光寺前大門町」 滝沢助之丞→有賀平兵衛様	9月15日	横切継紙/(え4723-1~11は紙縫一括)/(包紙共)・1通	え4723-11
御内密(飯山・岩村田等へ口入金滞りの趣にて伝兵衛出訴の計画に付、小林公・中嶋公との相談等に付) * (包紙上書)「文政十亥九月飯山借附金岡田氏相頼東都之方問合候書取入」/八田嘉右衛門と岡田守之丞の往復書簡包紙を再利用 素弓→書鳩様(八田嘉右衛門)	10月13日認	横切継紙/(え4724-1~34は紙縫一括)/(包紙共)・1通	え4724-27
(書状、江府において御役成の御礼御名代勤めるに付、御細書成し下され、その上御肴料拝受仕り忝きに付) * (書状上書)「嘉助様 権七郎 権七郎→(八田)嘉助様	6月29日	横切継紙/継目剥離/(え4772-1~2は旧封筒一括)/(え4772-1-1~50は一綴)・1通	え4772-1-41
(書状、①酒井氏への下案の義、即刻申し上げ兼ね認め差し上げに付、②小林公差支えに付、名代の儀御承知御取計いも成し下さるべき旨、③酒井公へ明後御頼み御礼に付) * (書状上書)「嘉助様 隠居」 ①隠居、②嘉助・嘉右衛門、③嘉助→①嘉助様、②権七郎様貴下、③源左衛門様	①15日、②5月15日、③15日	横切継紙・1通	え4772-1-43

1.14.3. 質地

①乍恐以書付奉申上候(伊勢町傳兵衛の家内平兵衛、当村人別に差加えたきに付)、②入置申一札之事(飯山御領静間村・蓮村両村質流地引請けの分、手作は遠方のため、其御村方へ家作仕りたく御無心した処、御持地御貸し下さるに付) ①高井郡柳沢村名主幸右衛門・組頭惣七・長百姓傳十郎、(奥書)高井郡柳沢村名主幸右衛門・組頭惣七・長百姓傳十郎、②松代町傳兵衛・加判平兵衛→①井上五郎左衛門様御役所、②井上五郎左衛門様御支配所柳沢村七右衛門殿	①天保2卯年3月、②天保2卯年2月	堅継紙・1通	え4920
---	-------------------	--------	-------

1.14.4. 音信

(包紙) * (包紙上書)「松代八田嘉右衛門様御内菊屋傳兵衛様 貴下要用 飯山本町小山五右衛門」		包紙/(え4732-1~21は紙縫一括)/(え4732-21-2~3は包紙一括)・1点	え4732-21-1
--	--	---	------------

(書状、この度御手代中様御越しになり御土産下されるも未明に御出立のため幸便を以て御礼に付) 小山五右衛門→菊屋傳兵衛様	12月23日	横切継紙・1通	え4732-21-2
(書状、この度御手代中様御越しになり御土産下され御礼に付) *(包紙上書)「八田嘉右衛門様尊下 小山五右衛門」 高井屋栄助・小山五右衛門→八田嘉右衛門様尊下	12月23日	折紙/(包紙共)・1通	え4732-21-3

1.14.5. 小作

①覚(当酉小作初代金として金80兩請取に付)、②覚(当酉小作初代金として金40兩請取に付) *(端裏書)「飯山御領作徳米代受取切手案」/下書 ①松代町傳兵衛→①水内郡静間村勝右衛門殿、②唯右衛門殿・久兵衛殿・庄右衛門殿	①文政8酉年12月	縦紙・1通	え5111
---	-----------	-------	-------

1.15. 岩村田領

1.15.1. 御勝手御用

覚(御入料筋へ金2000兩献上に付) 真田弾正大弼内八田嘉右衛門印→内藤豊後守様御内前田守右衛門殿・土井丈左衛門殿	文政5午年正月	縦継紙・1通	え4911
---	---------	--------	-------

1.15.2. 仕送金

覚(3人御用立金戌年御利息金45兩などメ金51兩、岩村田様御用立金御利息分受取に付) *(端裏貼紙)「文化十二亥年四月廿二日塩田三人衆江三百兩岩村田差出金利分四拾五兩並びに貳百兩三分之利金都合五拾壹兩代印書」 五加村甲田十左衛門(印)→松代町傳兵衛殿	文化12年亥4月22日	縦紙/(え5134-1~3は一綴)・1通	え5134-2
覚(倉澤七太夫受取の金9兩他、岩村田様へ出金の分利分御渡し成し下され、受取に付) *(端裏貼紙)「丑五月廿九日岩村田御仕送金倉沢氏金拾六兩貳分甲田氏出金利分子年分相渡候印書」 甲田十左衛門(印)・倉澤七太夫代印・山極八郎右衛門(印)→松代町傳兵衛殿	文化14丑年5月	縦紙/(虫摺)・1通	え4977
覚(岩村田様御仕送り差支え、御無心にて連名出金の処、御手元過分御迷惑により金150兩御渡し下され受取に付) 手塚村山極八郎右衛門(印)・証人五加村甲田十左衛門(印)→松代町傳兵衛殿	文化14丑年5月	縦紙/(え5134-1~3は一綴)・1通	え5134-1
覚(岩村田様御仕送り差支えにて連名出金の処、過分により私出金の分金75兩御引き受け下され、元利とも受取に付) 別所村倉澤愛之助(印)→松代町傳兵衛殿	文化14年丑10月	縦紙・1通	え5134-3

1.15.3. 小作

(包紙) *(包紙上書)「天保三辰十二月 岩村田町池田源助より到来書状 平兵衛掛合口上書 権右衛門様守之丞殿より申上下案 メ三通」/(包紙上朱書)「十二月廿四日改置 八田嘉助」	天保3辰12月	包紙/(え4839-2~5は包紙一括)・1点	え4839-1
(中ノ条鶴屋頼りに佐久郡より金子持ち参り、数右衛門へも一同差し添え申し遣わすべき旨伺いなどに付) *(端裏書)「平兵衛へ為見候紙面」		横切継紙・1通	え4839-2
(申上下案、八田嘉右衛門当暮上納金、飯山方出入申さず、岩村田は来たる正月まで延引により催促仕りかねる旨嘉右衛門へ申し聞かせに付) *(端裏書)「辰 十二月廿二日 興津殿へ差出」 関田守之丞→興津殿(権右衛門)	12月	横切継紙・1通	え4839-3

1. 内方/1.15. 岩村田領/1.15.3. 小作

口上覚(岩村田へは当月18日作徳金請取のところ、来たる正月20日過ぎ池田源助・依田弥五右衛門内1名持ち参らせたき旨窺い) 平兵衛	12月22日	横切継紙・1通	え4839-4
(書状、私岩村田へ御出向、然る上は勘定通り御片付けるべき旨御承知下さるべきに付) 浦野忠七→有賀平兵衛殿	12月	横切継紙・1通	え4839-5
(寅年分より申年分までの質地・作徳米に関する覚書、上塚原村源助殿質地関係ほか)		横切紙/(え4740-1~31は紙縫一括)・1通	え4740-28
覚(午年作徳米代金の内澁かに受取り申し、巳年各別違作に付斯くの如く受取り金銭書上) 松代町傳兵衛代宗弥・同平兵衛→池田源助殿・池田新九郎殿	天保6未年閏7月	折紙/(え4744-1~5は括紐一括)・1通	え4744-2
口上覚(岩村田御領分村々作徳米金延引について立入人赤岩村名主新九郎など2名行き届かずにより手切申し出るに付) 傳兵衛代良右衛門・宗弥	天保6未年12月	縦継紙・1通	え4875
入上初代金請取之事(飯沼村など7ヶ村分金40両小作入上初代金受取に付) 松代菊屋傳兵衛・名代権左衛門・旅宿立入人元右衛門→岩村田町御世話人篠沢兵市郎殿	天保8酉年12月29日	横切紙/(え4743-1~12は紙縫一括)・1通	え4743-6

1.15.4. 貸付金

借用申金子之事(金2000両通用文字金、豊後守公務要用のため借用に付、金100両に付1ヵ月、金1両ずつの利足差加え、都合3ヵ度に元利共返済に付) 勝手懸り望月権之進・井上庄兵衛・綿貫五郎兵衛、(奥書)小山田主膳→石橋弥兵衛殿	享和2戌年8月	縦紙/(え5191-1~4は旧封筒一括)・1通	え5191-2
田地書入証文之事(甲田勝太郎所持の田地を我等方へ受取り置くに付) 小県郡五加村庄屋甲田繁太郎(印)・同村組頭源兵衛(印)・同惣三郎(印)・同武平治(印)・同唯右衛門(印)・同村百姓代清吉(印)・同富右衛門(印)	文化8歳未11月	縦継紙・1通	え4785
御借用金一札之事(商売入用により私家屋敷などメ9ツ引き当てとして口入金200両借用に付) 小県郡上丸子村借用主傳兵衛(印)・同村引請人佐市兵衛(印)→松代御城下伊勢町傳兵衛殿	文化14年丑11月	縦継紙/(え4932-1~12は一綴)・1通	え4932-10
(岩村田領貸付関係文書一括)		綴/(え4740-1~31は紙縫一括)/(え4740-9-1~3は一綴)・1綴	え4740-9
覚(利分金18両受取) 八田嘉右衛門内笠井和七(印)→篠沢佐五右衛門殿	文政2卯年11月	横切継紙・1通	え4740-9-1
覚(金150両借用証文は預かったが、18両受取印書の御返却がないのでお返し下されたきに付) 松代町傳兵衛(印)→岩村田町篠澤佐五右衛門殿	文政2卯年11月	横切継紙・1通	え4740-9-2
覚(元金500両の当年利分50両受取書) 八田嘉右衛門内笠井和七(印)→渡邊武左衛門殿	文政2卯年11月	横切継紙・1通	え4740-9-3
覚(文政2年より金300両借用のところ、今年に至り差し引き、並びに書類御戻し受取に付) *(包紙上書)「文政六癸未年十一月十三日岩村田法花堂金三百両借附金差引後來彼是申出無之分印書并内実預証文入置候付先方より調査立端紙二印書納入置申候」 岩村田法華堂(印)→松代町傳兵衛殿	文政6年未11月	横切紙/(包紙共)・1通	え4894

田方質地証文之事(扱無き入用により、字姫子石下田など合6石4斗6合8勺質地に入れ金子84両借用に付) 信州佐久郡上塚原村質置主源助(印)・請人静作(印)・組頭伊六(印)・組頭甚兵衛(印)→同国埴科郡松代町傳兵衛殿	天保4巳年12月	縦継紙・1通	え4804
差出申延書一札之事(去巳年に借用した金子の返済期日を10月まで日延べ願) * (包紙上書)「延書 源太郎代善治」/(包紙貼紙)「戌六月塚原村源太郎」 上塚原村源太郎代善治(印)→松代町傳兵衛殿内良右衛門殿	天保9戌年6月	縦紙/(え4740-1~31は紙縫一括)/(包紙共)・1通	え4740-29
御内々申上候(飯山岩村田質地取極め借付金の儀約定異乱に付) 八田嘉右衛門	3月	横切継紙/(え4716-1~8は紙縫一括)・1通	え4716-4
(岩村田御取替金の儀、殿様へ御家来八田嘉右衛門内証並びに向々立ち入りに付挨拶など心得るべきに付) * (包紙上書)「遺命下案 知義」		横切継紙/(包紙共)・1通	え4823

1.15.5. 無尽

(包紙) * (包紙上書)「文政五年九月三日指遣候飯山三四郎方より無尽差引並びに表札調書入用書類和七方より受取置紛乱致間敷事」		包紙/(え4914-2~3は包紙一括)・1点	え4914-1
①覚(元金960両懸戻し金93両余差引勘定に付)、②覚(金250両当卯年御貸附金ほか差引に付)	①②卯3月	横切継紙・1通	え4914-2
覚(巳11月初子引当元金・当5月中まで菅之助分滞金の処理試算はいずれも拒否に付)		折紙・1通	え4914-3
(袋) * (袋上書)「文政十三年十月小県郡海野宿平七居屋敷金百兩ニ而引受証文尅通 同人役代請証文 但家賃一ヶ年金五兩ツ、尅通 同郡腰越村六兵衛発起無尽加入之分平吉取込ニ付右同人江譲渡証文 尅通 天保六乙未年三月改」		袋/(え4932-1~12は一綴)・1点	え4932-1
おほへ(代金差引金1兩2分3朱と銀2匁5分6厘御渡しに付) 海の出宿平七(印)→松代笠井和七様	天保2年うの3月21日	横切継紙・1通	え4932-2
覚(未7月より翌丑までめて金136両余り金銭勘定書付)		横切継紙・1通	え4932-3
覚(笠屋より普請金15兩受取に付) 海の出宿平吉→八田嘉右衛門様内忠七殿	子6月10日	横切継紙・1通	え4932-4
覚(金18兩1朱銀5匁3分4厘助成の旨の下書き遣わさるにて新規に認むべきに付)		横切継紙/(え4932-5-1~2は一紙上にあり)・1通	え4932-5-1
覚(文政2年2月中養父平吉借用金10兩返却に付) 海野宿平七→松代町伝兵衛殿	文政13子年12月	横切継紙・1通	え4932-5-2
(貸金ある雨宮村久左衛門病死により、跡目の婦人へ元金呉れ遣わずに付)		小切紙・1通	え4932-6
一札之事(商売方入用のため小県郡海野宿の酒藏など受人へ渡し金200両借用のところ、返金出来かね一式引き渡しに付) 上丸子村金五郎(印)・加判同村傳五郎(印)→松代御城下町傳兵衛殿	文政6未年4月19日	横切継紙・1通	え4932-7
無尽御掛出金受取通(小県郡腰越村六兵衛発起金100兩無尽に付) 小県郡海野宿升屋平吉(印)→松代八田嘉右衛門様御内浦野忠七様	文政6未年4月17日	横半半・1冊	え4932-8

1. 内方/1.15. 岩村田領/1.15.5. 無尽

差出申一札之事(小県郡腰越村六兵衛発起無尽にて、私儀商売体元手金差支え、当番金御譲り下さりたきに付) 小県郡腰越村引受人平吉(印)・同郡腰越村会主六兵衛(印)・同村受人惣右衛門(印)→松代御城下町傳兵衛殿	文政12丑年4月	豎紙・1通	え4932-9
差出申一札之事(歳式並びに無尽御懸込などメて金136両3分余り借用の処、平吉死去により家屋敷金100両宛御渡しに付) 海野宿平七(印)→松代町傳兵衛殿	文政13寅年2月	豎継紙・1通	え4932-12
借家証文之事(居屋敷・物置など借用に付、家賃並びに御年貢・宿役我ら方にて勤めるべきに付) 小諸領石井村借家主藤四郎(印)・海野宿請人林助(印)→松代町傳兵衛殿	天保9年戌ノ正月	豎継紙・1通	え4932-11

1.15.6. 訴訟

乍恐以上書奉申上候(作徳初代金滞出入り、相手佐久郡田野口村又右衛門・瀬左衛門、酉年より未年まで11ヶ年の作徳初代金メ220両永220文滞り) *(包紙上書)「上 真田伊豆守領分埴科郡松代町傳兵衛」真田伊豆守領分埴科郡松代町煩傳兵衛(印)・代良右衛門(印)・親類差添人役人兼平兵衛(印)→松平石見守様御役所	天保7申年4月	豎継紙/(虫損甚大)/(包紙共)・1通	え4805
乍恐以書付奉願上候(佐久郡上塚原村政五郎へ質地請取金52両貸し付け、其後割合金利金共滞りの御召出願に付) 伊勢町傳兵衛→御町御奉行所	天保11子年正月	豎継紙・1通	え4885
乍恐以上書奉出訴候(内藤右近様御領分佐久郡上塚原村政五郎、去文政4巳年質地受取金52両貸付9ヶ年季に請取申すべく対談した所、巳年より申年迄4か年割合金滞り、催促懸合えども彼是申すに付、諸差引き差支え難渋至極のため、書面の人別召出し滞金皆済仕候様仰付けられたきに付) *(包紙上書)「金五両三分二年前戌三月迄年延証文 証文 壱通 代田弥助」/(端裏貼紙)「上塚原村之方訴状下案」 真田信濃守領分信濃国埴科郡松代町病氣伝兵衛・代(花井)沖八・差添人役人兼(丸沢)榮八→寺社御奉行所様	天保11子年正月	豎継紙/(包紙共)・1通	え4996
仮議定書之事(①作徳初米滞の分代金370両、②当領分村々名主年貢皆済、③御府内で金子渡しに相違なきこと、④国元佐久郡小県郡村々名主引受人請書差出し、⑤内済始末により80両返済に付)	天保11子年2月12日	横切継紙・1通	え5060
口上覚(飯山・岩村田質貸金の儀滞りに付、去年中は菊屋傳兵衛より公訴に仕るべき含みを以て掛合の所、段々手入あり実談を以て片付けたきに付) 御三人	2月	横切継紙/(え4716-1~8は紙縫一括)/(え4716-8-1~8は紙縫一括)・1通	え4716-8-3
(書状、岩村田より御状2通差し上げるよう申し参るに付、此度海野へ頼み差し上げ御落手下さるべきに付) *(包紙上書)「松代御家中八田嘉右衛門様急要用 上丸子村工藤左一兵衛」/(包紙裏書)「六月廿六日出 賃済」/(書状上書)「八田嘉右衛門様急要用 工藤左一兵衛」 左一兵衛→八田大人公獅子下	6月26日	横切継紙/(え4718-1~22は紙縫一括)/(包紙共)・1通	え4718-11
(書状、岩村田一条について伝兵衛代仲八など差添出座により御目通仰せ付け下され万端御賢慮願ひ奉るに付) *(端裏書)「子五月二日座間殿へ内状下案」 →(座間)百人様	5月2日	横切継紙/(え4722-1~9は紙縫一括)・1通	え4722-6

(書状、先日13日飛脚江戸表を差遣わす所、御裏判相待合う所今もって沙汰無きに付) * (包紙上書)「八田嘉右衛門様御取次中平安用 池田寛蔵」/(包紙裏書)「佐久郡上塚原村より」 池田寛蔵→八田嘉右衛門栞右	閏11月25日	横切継紙/(え4732-1~21は紙縫一括)/(包紙共)・1通	え4732-15
乍恐以書取申上候(岩村田一件、当村へ罷り越し面会の上和談内済仕りに付)		縦紙・1通(2枚)	え4869
(書状、江戸出訴の状況を旦那方へ御披露依頼に付) 花井沖八・丸峰栄八→伝兵衛様	正月21日	縦紙・1通(2枚)	え5013

1.16. 赤倉温泉

(袋) * (袋上書)「赤倉入用書類入」		袋/(え4753-1~16は一綴)・1点	え4753-1
(書状、赤倉温泉口入の者入用の分、私へ歎くに付、掛合いの折、平右衛門相越し願ったため御疑惑も生じた段御尤もに存ずるに付) * (端裏書)「赤倉四人江口入之節岡川氏書翰 丑十二月」 旭山→書鳩君(八田嘉右衛門)	12月21日	横切継紙・1通	え4753-2
(書状、赤倉温泉場当表屋敷地の内2軒家作の義御示談申し上げに付ほか) * (端裏書)「赤倉所初ノ物之事有之 岡川氏書面」		横切継紙・1通	え4753-3
覚(御縮1反、上田中司様より御送りの品、私共へ御預け下され請取に付) 赤倉湯元源八(印)・市郎右衛門(印)→岡川左十郎様	文政元年寅11月日	横切紙・1通	え4753-4
覚(赤倉御年貢、寅年御取立て分上納に付) 赤倉松井店→井田与三郎様	12月20日	横切継紙・1通	え4753-5
(書状、昨日願人4人への御借附金思召しに叶わざる処もあり、彼等相談跡も金子を借りに参る時は押え付けに付) * (端裏書)「赤倉願人江貸付金之儀ニ付岡川氏紙面」 土口→いせ町様	12月21日	横切継紙・1通	え4753-6
(書状、赤倉願主より申し来り、程なく松本氏書中を以て吉左衛門・覚左衛門両人が来たので、御目代遣わされ委細向方の様子、小気味悪しき様に存ずる旨ほか) * (端裏書)「文化十四丑十二月赤倉金談差引之節岡川氏書面」 土口→いせ町様	12月19日	横切継紙・1通	え4753-7
(町屋敷一筆分図面)		13.9×8.2・1鋪	え4753-8
(書状、仮図面認めさせたので、銘々持家の処名面へ印形仕らせたきに付)		縦切紙・1通	え4753-9
(書状、私義身上向き難しく、当年悴へ家督を譲ったものの悴困り入るに付、一郎右衛門・源八へ取替わす内50両を以て凌ぎたく、御手元御差廻し、悴へ御渡し下されたき旨) * (端裏書)「赤倉一郎右衛門源八江岡川氏被取替候内五拾両同人不手□ニ付差廻し呉候様被頼候岡川氏書面」 (岡川)左十郎→書鳩様(八田嘉右衛門)	12月21日認む	横切継紙・1通	え4753-10
(書状、尊君様よりの拝借分ほか借金書付)		横切継紙・1通	え4753-11
(書状、馬場町の義、代官町よりの御手紙御見せ下され有難く、小野氏へも内談仕りに取り計いに付ほか) * (書状上書)「御請御証文章稿添 一山舎」 一山舎		横切継紙・1通	え4753-12

1. 内方/1.16. 赤倉温泉

(書状、開発人のうち高砂屋吉左衛門悻が申すには、去年中松代表にて赤倉場所引取の御思召しあり御延引になる処、御役所より一同引取申すべき儀仰せ渡されるに付) * (書状上書)「松井和七様 赤倉店中」 赤倉店中→松井和七様	3月20日夜	横切継紙・1通	え4753-13
(書状、赤倉湯につき意見書、松井店向いに温坪出来につき、新規店を普請する旨ほか5ヵ条) * (包紙貼紙)「赤倉温泉埋樋普請入料江金百貳拾兩願人江貸付掛御役人受合末書 上田氏松本氏手簡一通 岡川氏手簡一通添 文政元寅年七月」/(包紙上書)「御内借証文」/(端裏書)「文政元寅年七月赤倉温泉樋普請入用金百廿兩かし付之事 屋敷譲受取極之事 右一件之節岡川氏より之来書追而為見合一同仕廻置候事」 (岡川)左十郎→(八田)嘉右衛門様	(文政元年)8月6日	横切継紙/(包紙共)・1通	え4978
差上申一札之事(この度私長屋の内へ当所罷りある山本屋利兵衛差し置きたきに付) 松井和七・受人仁兵衛→一本木御役所	文政9戌年6月	堅紙/(え4979-1~2は旧封筒一括)・1通	え4979-1
指上申一札之事(この度田口村清右衛門と申す者、私長屋の内へ引越すに付) 松井和七・受人覚右衛門→一本木御役所	文政9戌年6月	堅紙・1通	え4979-2
日延一札之事(出湯家賃について行き届き兼ねる所、作左衛門実談に頼み入れるため、来月15日まで日延御頼申すに付) 根津作左衛門代廣之丞(印)→松代榮八殿	天保12丑年正月25日	堅紙・1通	え4879
(書状、湯本のことは何れ一変を待ち一工夫物に付ほか) * (封筒表書)「書鳩尊君 旭山下閑介」	6月11日	横切継紙/(え4718-1~22は紙縫一括)/(封筒共)・1通	え4718-16
(書状、御院主赤倉へ拙家内一同入湯致され挨拶した所、金子の儀相談に付ほか) * (端裏書)「五月十四日赤倉遣候下案」	5月14日	横切継紙・1通	え4718-17
覚(亥年分入用・和七飯山領赤倉行入料メ3兩2分ト370文を遣わす)	子正月	横切紙/(え4724-1~34は紙縫一括)・1通	え4724-12
覚(赤倉本店、暮入用が足らざるに付金5兩633文を御手充下されたきに付)	酉9月2日	横切継紙/(え4727-1~23は括紐一括)・1通	え4727-14
譲渡証文之事(越後頸城郡赤倉山温泉場私所持家屋敷、金150兩受取、御譲渡に付) * 写 信州松代讓主傳兵衛、(奥書)八田慎蔵→越後頸城郡姫河原村玉や城之助殿	年号月日	堅切紙・1通	え5062
覚(御入湯御上下御逗留中に付、御上方8人様ほか入湯人数メ163人、人数書上並びに金銭書上) 赤倉清兵衛 [印]越州一本木赤倉本町松井]]→笠井和七様	申6月朔日	堅切紙・1通	え5112

1.17. 出張

覚(此度出立に付道中金差支え、金5兩髓請取に付) 仁科甚十郎(印)→佐竹周蔵殿	天保13寅年2月13日	堅紙・1通	え5158
(矢代・根津・上田間の道中金銭出納綴)		綴/(え4714-10-1~4は紙縫一括)/(え4714-10-1~16は一綴)・1綴	え4714-10-1

覚(矢代・根津・上田間の道中金銭出納綴)	(5月11日～14日)	折紙・1綴(2枚)	え4714-10-1-1
覚(448文酒肴代受取に付) 大坂や→上		小切紙・1通	え4714-10-1-2
覚(486匁上酒メ2貫720文諸品代請取に付) つたや長兵衛→松代御家御客様	5月11日	横切継紙・1通	え4714-10-1-3
覚(72文小藤倉1足ほかメ550文諸品代書上) 現金屋丈七	5月13日	横切紙・1通	え4714-10-1-4
覚(174匁女郎花金菊ほかメ280匁諸品代受取に付) かわや彦兵衛→萬作様	5月13日	横切紙・1通	え4714-10-1-5
覚(13匁本新町相沢1本ほかメ金1歩余諸品代請取に付) 綿屋助四郎[印「信州上田榊町綿屋」]→上	5月13日	横切継紙・1通	え4714-10-1-6
覚(酒肴代2朱請取に付) 上田ことふき[印「信州上田榊町寿勝」]→御客様	寅5月	横切紙・1通	え4714-10-1-7
覚(上々金平金1歩受取に付) 海老屋秀蔵(印「上州海野町中嶋」)→上	5月	横切紙・1通	え4714-10-1-8
覚(748匁酒肴代ほかメ1貫100文金銭書上) 大□□屋→上	(5月14日)	横切継紙・1通	え4714-10-1-9
覚(金2朱饅頭代受取に付) 糸ひや秀蔵→上	寅5月	横切紙・1通	え4714-10-1-10
覚(19匁霜の花1引半代受取に付) 上田かゝや又七[印「上田原町和泉屋荒井」]→上	5月14日	横切紙・1通	え4714-10-1-11
覚(800文御泊りほかメ1貫205文御請に付) 東山堂傳八郎→上	5月14日	切継紙・1通	え4714-10-1-12
覚(200匁御酒代ほかメ780匁返上に付) 田沢湯本みやらは庄右衛門→御三家様	□月12日	横切紙/(上部破損)・1通	え4714-10-1-13
覚(さげさかな代850文書上) 寿→上	5月13日	小切紙/(上部破損)・1通	え4714-10-1-14
覚(47匁5ふん小紋紹草羽織地1端ほかメ53匁6分反物代請取に付) 綿屋崑三郎(印「信州上田原町綿喜」)→上		横切紙・1通	え4714-10-1-16
おほへ(稲荷山宿・青柳宿・会田宿等で支払った茶漬代・酒肴代等書上、メ1貫800文) * (端裏書)「丑二月十五日喜三郎松本遣候途中賄雑用」		横切紙/(え4728-1～6は紙縫一括)/(え4728-1-1～12は紙縫一括)・1通	え4728-1-2
(書状、私ども道中何の滞りも御座なく19日8時半頃上州屋へ着致すに付) * 後欠		堅切紙/(え4732-1～21は紙縫一括)・1通	え4732-7
口上(少々御伺いたきことあるにより御苦勞ながら御出張願ひ上げ奉るに付) 唯之進→(八田)慎蔵様	21日	切継紙/(え4737-1～68は紙縫一括)・1通	え4737-17
(松井田・軽井澤、本馬・軽尻・人足賃書付)		横切紙/(虫損)・1通	え5104
覚(左惣二・和七佐久郡行入料代金2分2朱2貫256文他、差引金2両2分2朱1朱と324文御返納に付) 和七	丑正月21日	横切継紙/(え5169-1～8は一綴)・1通	え5169-1

1.18. 金銭・穀物請払

1.18.1. 複数機能に関わる勘定

(初726俵八田孫左衛門、文金1000両八田惣三郎ほか書上)	(延享(マ) (貞享カ) 元 子年9月～元文6酉年)	折紙/(え4713-1 ～14は紙縫一括) ・1通	え4713-2
以為書(去る春勘定利分258両など、店表勘定並びに内勘 定とも利息分など金銭勘定書付) *(包紙上書)「寛延三 年未四月 店勘定之法式書 未春居勘定不勘定入訳書共 二」 宗兵衛→支配人衆殿	寛延3年末(マ)4月	横切継紙/(包紙 共)・1通	え4993
覚(師岡様・牧村氏・水野氏取替金や松山町様無尽金など の差引計算書) 忠次→伊勢町様	丑閏5月	折紙/(え4742-1 ～13は紙縫一括) /(え4742-13-1～ 15は紙縫一括)・ 1通	え4742-13-1
子暮品々御差引一紙(水野氏無尽金・玄米代金等差引ノ 金92両12匁1分3厘) 忠次→(八田)慎蔵様	子3月	折紙・1通	え4742-13-2
覚(隠居之方・当主之方へ渡す玄米高、文久3亥春借財取 調等、下ヶ紙にて御扶持方惣渡仕・伊勢町様え御助力 頼分等の差引計算書)	(文久2年)	折紙/(貼紙あり) ・1通	え4742-13-4
文久二戌暮御差引(酉暮品々御差引返済分、松山町様御 無尽、御扶持御取替などノ金85両3分1匁8分6厘、水野 氏などへ返済金を差し引き残金64両2分余) 忠次→ (八田)慎蔵様	文久(3年)亥3月	折紙・1通	え4742-13-5
(金高書付、「一、金九拾九兩九匁八分四厘 八田慎蔵 殿」)		小切紙・1通	え4742-13-6
(玄米48俵の用途内訳書上、扶持方・益暮入用・竹内氏等 への返済分ほか)		横切紙・1通	え4742-13-7
(卯年の暮、玄米30俵代金42両3分6匁4分の用途内訳書 上、味噌仕入・竹内へ・田中へ・丁子屋へ等)		横切紙・1通	え4742-13-8
戌年慎蔵様御手御取替(おみほさま忌物入料金5両ほか)		小切紙・1通	え4742-13- 10
(金37両12匁の差引書上、鶴殿へ・水野へ・松山町懸戻ほ か)		横切継紙・1通	え4742-13- 11
(借附金400両の返納計画等に付、酒店・味噌油売・質方・ 中町店と店方全体にわたる)		横切継紙/(え 4724-1～34は紙 縫一括)・1通	え4724-24
覚(収支計算書か、午年受取金高・戌春借り方合計412両 余から申春上納・本店へ取替・戌春代物代金高など払 口10口合計550両余を差引き「過上」140両余を計上)		横切継紙・1通	え5080
口上覚(非常の普請御入用にて、酒店より上納分金125両 などノ金390両余りは酒代・呉服代の入用へあてるべき に付)		横長半/(え 5197-1～5は紙 縫一括)・1冊	え5197-3

1.18.2. 金銭請取

覚(御口入金250両確かに受取に付) *(端裏書)「済切」墨 消 松代町傳兵衛(印)、(奥書)八田嘉右衛門(印墨消)→綿内 村長右衛門殿	天保3辰年9月29日	横切継紙/(え 4732-1～21は紙 縫一括)・1通	え4732-2
--	------------	-----------------------------------	---------

覚(御口入金50両確かに受取に付) * (端裏書)「済切」/墨消 八田嘉右衛門(印)→堀内楯一郎殿 (「八田様御請 與作」札) (書状、旧冬御約束残20両御遣わし下され落手仕るに付)	天保3辰年7月13日	横切紙・1通	え4732-3
		札/(え4732-3に挟込み)・1点	え4732-4
		横切継紙/(え4715-1~16は紙縫一括)・1通	え4715-6
(書状、旧臘願い置いた金子取り集め早速御返金申したきに付) * (表書)「嘉右衛門様御印書并金子添 総左衛門」	正月7日	横切継紙・1通	え4715-7
(書状、金50金の所は御勘弁下さる哉御工夫下さる様仕りたきに付) * (表書)「伊勢町様 表町」	2月9日	横切継紙・1通	え4715-16
(受取金書付、入金1分2朱190文 三の屋御店ほか)		横切紙/(中央に縦の切り込みが入っている)/ (え4727-1~23は括紐一括)/ (え4727-20-1~10は巻込一括)・1通	え4727-20-1
(書状、御証文御確かに拝受奉り金200両差し上げ奉るにより御落手下されるべきに付) * (表書)「慎蔵様金子入唯之進」 唯之進→(八田)慎蔵様	12月12日	横切継紙/(え4737-1~68は紙縫一括)・1通	え4737-9

1.18.3. 穀物・諸品請払

(保命丹一切の妙薬の引札) 製薬所武州多摩郡府中領押立村川崎平左衛門[印]	寛政10戊午年卯月	堅紙(木版刷)・1通	え5190
覚(塩20俵代金3両請取り売渡し申すに付) * (端裏書)「西三月差引相済申候」 河内屋武兵衛(印)→菊屋傳兵衛殿	寛政12年申7月	堅紙・1通	え4919
覚(女中乗物など諸品お頼みにつき金銭合金6両1分余り差引銀7匁7分など勘定書上) 渡辺記六(印)→八田嘉右衛門殿	享和2戊年4月	堅切継紙・横切継紙・堅紙の貼り継ぎ文書/(え4798-1~2は旧封筒一括)・1通	え4798-1
覚(大豆・糶・塩の量目と代金書上、メ金2両1分2朱) * (端裏書)「慶応四辰年下屋敷味噌仕入ニ付諸入用調」	(慶応4年)	横切継紙/(え4742-1~13は紙縫一括)/(え4742-13-1~15は紙縫一括)・1通	え4742-13-13
覚(上々白2斗相送り御請取り成さるべきに付) 寺澤慎之丞→宮下三郎治様	午12月21日	横切紙/(え4712-1~26は紙縫一括)・1通	え4712-16
覚(白米19石半ほか書上) いせ町傳蔵→上		堅紙・1通	え4712-19
(包紙) * (包紙上書)「巳九月綿内差引入用紙共」		包紙/(え4714-1~18は紙縫一括)/(え4714-4-2~3は包紙一括)・1点	え4714-4-1
(大小掛り・同柄糸ほか書上)		札・1点	え4714-4-2
覚(4両3歩須坂御売米代金不足之分払ほか金銭書上) 堀内五十治	巳9月	小切継紙・1通	え4714-4-3

1. 内方/1.18. 金銭・穀物請払/1.18.3. 穀物・諸品請払

覚(金3両3歩陣羽織代ほかメ金18両2歩余諸品代書上)	8月29日	横切継紙/(付札あり)・1通	え4714-5
覚(正月26日分皿類代金請求書) 美の屋喜兵衛→八田嘉助様御内	申7月	横切紙/(え4724-1~34は紙縫一括)・1通	え4724-4
覚(亥年入用分の飯米・味噌代・麦代・薪炭代・品々小払金メ5両6貫805文)	2月	横切紙/(え4724-1~34は紙縫一括)・1通	え4724-9
覚(茶屋茶代・髪結代・たばこ代等メ2両ト642文計上書) 和七	7月	横切継紙・1通	え4724-14
(玄米代金40両・辰年5月借金100両等の書付)		横切継紙/(え4725-1~14は紙縫一括)・1通	え4725-7
(緞通・毛氈・草履の員数書付)		小切紙/(え4727-1~23は括紐一括)/(え4727-22-1~23は巻込一括)・1通	え4727-22-16
覚(白米46石4斗5合などメ97石7斗余など米・大豆石高書付)		横切継紙/(え4734-1~16は紙縫一括)・1通	え4734-3
覚(種水2駄1斗4升余内金9両2朱受取により売決め申すに付) あらけ糸甚右衛門(印「信州高井野白金屋」)→北堀甚十郎様	亥6月25日	横切紙・1通	え4734-15
(書状、御賄成された飯米8斗並びに雑用銀2枚落手仕り焚炭代についても相尋ねるに付) *(表書)「小林太一郎様 八田慎蔵」 八田慎蔵→小林太一郎様	10月17日	横切継紙/(え4737-1~68は紙縫一括)・1通	え4737-23
(書状、焚炭代金2両御落手成し下されるべき所、そのほか雑用代銀3枚間違いないか伺いたきに付) *(表書)「八田慎蔵様 小林太一郎」 小林太一郎→八田慎蔵様	10月17日	横切継紙・1通	え4737-33
(書状、酒2升入物代料拝借にて御遣わし成し下される様願ひ上げ奉るに付) *(表書)「幾久屋佐助様 下屋敷」 下屋敷→幾久屋佐助様	9月18日	横切紙・1通	え4737-37
(諸品勘定書付数枚を貼り継いだもの)		縦継紙/(虫損甚大)/(え4738-1~33は巻込一括)・1通	え4738-26
おぼへ(糸吉きぬ・小河、もみ代・染代等メ34両2朱250文請求書) 日野屋伝兵衛(印)→荒物屋友吉様・御支配人中様	6月24日	横切継紙/(貼紙あり)/(え4740-1~31は紙縫一括)/(え4740-5-1~2は巻込一括)・1通	え4740-5-1
覚(御納戸中形綿20疋、染代金6両1分銀1匁書上)		折紙・1通	え4740-5-2
覚(肴代・酒代・蠟燭代メ3分3朱256文請求書) かしわ屋→八田辰三郎様	10月25日	横切紙・1通	え4740-31
(書状、奉書紙請払元帳がないため御手元にて御記し置き下されたきに付) *(表書)「慎蔵様 良右衛門」 良右衛門→(八田)慎蔵様	9月23日	横切継紙/(え4741-1~54は紙縫一括、内側から子番号付与)・1通	え4741-48

1. 内方/1.18. 金銭・穀物請払/1.18.3. 穀物・諸品請払

(書状、先頃御渡しの米2俵、4升3合不足のため、以後計り立て願に付) * (表書)「伊勢町様 申上置 上柴町より」 上柴町より→伊勢町様申上置	10月13日認置候	横切継紙/(え4744-1~5は括紐一括)/(え4744-1-1~30は巻込一括)・1通	え4744-1-30
覚(金品書上、佐々木元又老・倉田左甲老ほか分の葉書上、および琉球覚)		横長半/(綴外れ)/(え4746-1~2は旧封筒一括)・1冊(14枚)	え4746-1
(疱瘡の薬の師・値段書付)		横切紙/(え4748-1~67は一綴)・1通(2枚)	え4748-45
覚(金10両、高田米代金御前借御預り申すに付) 徳田神一郎(印)→大瀬登殿	辰4月	横切紙・1通	え4748-65
覚(メ1貫229文、縄1束・清野表13枚代書付) 若松屋権蔵→八田慶助様御内	酉極月	横切紙/(え4790-1~2は旧封筒一括)/(え4790-1-1~21は一綴)・1通	え4790-1-21
(乗物並びに蛇目傘など諸品お頼みに付、合金5両勘定書上) (八田)嘉右衛門→喜六様	6月5日	堅切継紙・横切継紙・堅紙貼付/(え4798-1~2は旧封筒一括)・1通	え4798-2
覚(すけ札代5貫500文ならびに駄賃代受取に付) 柴町左傳二→イセ町金治様	4月2日	堅紙・1通	え4925
(金銭書上一括)		綴/(え4934-1~3は巻込一括)/(え4934-1-1~7は一綴)・1綴	え4934-1
記(湯当2つほか代20匁他、諸品金銭書上) *後欠		横切紙/(一部破損)・1通	え4934-1-1
(行灯ほか代150匁メ16両3分5匁他金1円、諸品金銭書上) *前欠 入礼人北村熊一郎→上	10月18日	横切紙/(一部破損)・1通	え4934-1-2
記(湯当2ツ他メ66銭他惣メ金15円308銭入札に付、諸品金銭書上) 伊勢町石合周左衛門・小嶋茂七郎	10月18日	横長半・1冊	え4934-1-3
(湯当2ツ代3匁2歩5厘他惣メ金17両3分2朱銀1匁5歩、諸品金銭書上) 赤沢富吉・佐藤鉄五郎→上		横長半・1冊	え4934-1-4
記(湯当2ツ他メ代金1分1朱ト12匁5歩、惣メ代金17両3分を頂戴仕りたきに付) 伊勢町大場房吉・瀧沢二助→上	酉年10月	横長半・1冊	え4934-1-5
記(湯当2ツ他メ代6円60銭8厘他、惣メ代金15円99銭9厘1毛にて御払下ケ払願に付、諸品金銭書上) 中町阪本吉左衛門・柳澤助左衛門	明治6年酉10月17日	横長半・1冊	え4934-1-6
記(湯当2ツ代2匁5歩メ810匁5歩にて御払い成し下されるようお願いに付、諸品金銭書上) 小林作左衛門・伊勢山安吉	10月18日	横長半・1冊	え4934-1-7
(金銭書上一括)		綴/(え4934-2-1~8は一綴)・1綴	え4934-2
入札(大桶1ツ代2匁7歩5毛他メ156匁5歩に付、諸品金銭書上) かじ町鉄五郎・辰五郎・山造	申4月15日	折紙・1通	え4934-2-1

1. 内方/1.18. 金銭・穀物請払/1.18.3. 穀物・諸品請払

記(松長持2本代金1両他メ金2両3分2朱にて御品御下ケに付、諸品金銭書上) 松川屋辰五郎・三井屋鉄五郎・柏屋元治・澤屋山造→上	申4月	横切継紙・1通	え4934-2-2
覚(笠12蓋代1貫200文他メ1分3朱156文上納、2口メ3両1分1朱156文に付、諸品金銭書上) 皆吉		横切紙・1通	え4934-2-3
覚(まこも呉座1枚2朱他メ3分1朱、師岡様小山田様御引取に付、諸品金銭書上)		横切紙・1通	え4934-2-4
記(廻り箆筒1ツ代60匁他メ28品代金16両ト3匁5歩入札差上に付) 伊勢町小島茂七郎・石合周左衛門→上	申7月晦日	折紙/(下札あり)・1通	え4934-2-5
記(金皮御馬印1本代金1両にて入札に付) 中町相原邦治郎	8月23日	横切紙・1通	え4934-2-6
覚(かわらけ100枚程代金2朱他メ金6両ト200文、割なしに申し上げに付、諸品金銭書上) 有楽町政治郎→上	明治6年酉年3月3日	横切紙・1通	え4934-2-7
記(灯油2斗代金5両3分2朱2匁7歩5厘の御払代金上納に付) 久米	酉7月	横切紙・1通	え4934-2-8
(薬の効能書並びに由来書一括)		巻込一括/(え4949-1~9は巻込一括)	え4949
粒甲丹能書(薬の効能書)		印刷物(木版刷)/(虫損)・1通	え4949-1
(薬の効能書)		印刷物(木版刷)/(虫損)・1通	え4949-2
(薬の効能書)		印刷物(木版刷)/(虫損)・1通	え4949-3
(薬の効能書)		印刷物(木版刷)/(虫損)・1通	え4949-4
(薬の効能書)		印刷物(木版刷)/(虫損)・1通	え4949-5
粒甲丹能書(薬の効能書)		印刷物(木版刷)/(虫損)・1通	え4949-6
(増田26両他メ金70両、金銭書上) *反故紙利用		堅切紙/(虫損)・1通	え4949-7
粒甲丹来由(薬の由来書) 勢州安濃津停車齋長良彦門識 [印][印]		印刷物(木版刷)/(虫損)・1通	え4949-8
粒甲丹来由(薬の由来書) 勢州安濃津停車齋長良彦門識 [印][印]		印刷物(木版刷)/(虫損)・1通	え4949-9
(書状、当地相場作徳米取引等に付) □□石塚六三郎(印「越後直江津石塚六三郎」)→菊屋傳兵衛様・藤屋戸佐久様□(貴)下	□□(虫損)	横切継紙/(虫損甚大)・1通	え5072
(品々代金書付綴)		綴/(え5166-1~4は一綴)・1綴	え5166
覚(2匁7分盃台他3品メ10匁2分2厘書付)		横切継紙・1通	え5166-1
覚(75匁大茶碗30他6品メ銀108匁3分4厘書上) 藤田→八田様	3月23日	横切紙・1通	え5166-2
をほゑ(茶碗代1つに付7分宛ほか4品書上) 瀬戸春二		横切紙・1通	え5166-3

1. 内方/1.18. 金銭・穀物請払/1.18.3. 穀物・諸品請払

覚(5匁縄引香入ほか6品及び半紙ノ264匁5分書付) * (端裏書)「子三月廿四日内川村長泉寺へ送り候扣書」		横切継紙・1通	え5166-4
覚(蒲団地6反代金3分300文上納に付、金銭書上) 和七 (村上松園関係書類一括)	2月朔日	横切紙/(え5169-1~8は一綴)・1通 綴/(え4903-1~4は一綴)・1綴	え5169-4 え4903
(書状、かねてよりの正金55両落手に付) (村上)松園再拜 →(八田)知道様貴下	10月28日	横切継紙・1通	え4903-1
記(松代東京間にて目方1貫300匁の荷物請取に付) 仲町 定飛脚酒井新平[印「陸運元会所 松代分社」]	12月24日	堅切紙(木版刷用紙)・1通	え4903-2

1.18.4. 金銭払方

(書状、木町銀左衛門へ組合立会の子金相渡すところ、下水鉤村付の方証文持参仕るに付) * (書状上書)「嘉右衛門様 五助」(小林)五助→(八田)嘉右衛門様	巳12月28日	横切紙/(え5093-1~2は旧封筒一括)/(え5093-1-1~4は一綴)・1通	え5093-1-3
(書状、如何の間違いか為替証文が届かざるに付) * (書状上書)「喜兵衛様嘉助様 重之助」重之助→喜兵衛様・嘉助様	9月12日	横切継紙/(紙縫共)/(え4740-1~31は紙縫一括)・1通	え4740-17

1.18.5. 売掛金滞

一札之事(伝六買掛かり金1両2分600文について今度伝六欠落する所、伝六帰るまで訴訟取延ばしの由忝きに付) 紺屋傳六母(印)・かう神町惣介(印)→八田孫左衛門様	享保13年申3月	縦紙・1通	え4873
--	----------	-------	-------

1.18.6. 金銭勘定

覚(金75両、反故紙)		縦紙/(え4713-1~14は紙縫一括)・1通	え4713-11
(10両沢田平兵衛ほか人別金銭書上、帳簿の一葉か)	(享保11年)	折紙・1通	え4713-12
(200両上田町増田八郎兵衛ほか人別金銭書上、帳簿の一葉か)	(享保13~15年)	折紙・1通	え4713-13
(包紙) * (包紙上書)「馬場町為替金切手二枚」		包紙/(え4784-2~8は包紙一括)・1点	え4784-1
覚(金1両受取に付) 八田競(印)→きくや傳兵衛殿	丑12月29日	横切紙・1通	え4784-2
覚(金3分受取、大工善兵衛為替金に付) (八田)競(印)→きくや傳兵衛殿	丑8月20日	横切継紙・1通	え4784-3
覚(江戸より書状1封並びに金3分御届け下さり、受取に付) ミのや清蔵(印)→八田平助様	8月24日	横切継紙/(継目剥離)・1通	え4784-4
覚(金1両、紺屋町宇佐美平七方へ御渡しに付) 八田競(印)→幾久屋傳兵衛殿	宝暦7年丑6月	横切紙・1通	え4784-5
覚(金2分受取、大工善兵衛方より紙屋町清蔵方へ送りたく、為替致すに付) (八田)競(印)→儀兵衛殿	丑3月18日	横切紙・1通	え4784-6

1. 内方/1.18. 金銭・穀物請払/1.18.6. 金銭勘定

覚(金2分受取、長井村権四郎並びに源蔵内へ渡す為替に付) (八田)競(印)→儀兵衛殿	寅2月29日	横切継紙/(継目剥離)・1通	え4784-7
おほへ(81兩請取に付) 斎田四郎左衛門→八田競殿御使 (近江屋金銭書上書一括)	正月6日	横切継紙・1通 旧封筒一括/(え5153-1~3は旧封筒一括)	え4784-8 え5153
覚(辰8月下す545匁7分正味436匁5分6厘ほか金銭書上) 近江屋金左衛門・傳兵衛(印)→八田孫右(マ)衛門殿・傳兵衛殿・兵助殿・佐助殿	安永2年3月朔日	堅紙・1通	え5153-1
覚(合6貫731匁3分9厘ほか金銭書上) 近江屋金左衛門・傳兵衛(印)→八田孫右衛門殿・傳兵衛殿・兵助殿・佐助殿	安永2年3月朔日	堅紙・1通	え5153-2
覚(辰2月下す7貫994匁6分5厘ほか金銭書上) 近江屋金左衛門・傳兵衛(印)→八田孫右衛門殿・傳兵衛殿・兵助殿・佐助殿 (小林五助作成金銭勘定書付関係書類一括)	安永2年3月朔日	堅紙・1通	え5153-3
覚(小山田遣わされる分金13兩2分請取に付) 小林五助(印)→八田嘉右衛門殿	文化5辰年12月27日	綴/(え5093-1~2は旧封筒一括)/(え5093-1-1~4は一綴)・1綴	え5093
覚(諏訪宮分金60兩などメ74兩2分ほか金銭勘定書付)		横切紙・1通	え5093-1-1
覚(小山田へ取替金・小助方掛金合計19兩余から諏訪宮再建金等差引き御渡しに付) * (包紙上書)「文化九申年十二月廿六日小林五助殿より受取印書」 小林五助(印)→八田嘉右衛門殿	文化9申年12月	横切紙・1通	え5093-1-2
覚(2兩請取り久兵衛ほかメ金4兩1歩余金銭勘定に付) * (端裏書)「○印」		横切紙/(包紙共)・1通	え5093-2
(2貫722文葛屋へ払ほかメ2分2朱と7貫12文金銭勘定に付)		横切紙/(え4714-1~18は紙縫一括)・1通	え4714-6
覚(卯秋・辰5月分メ金466兩1分2朱差引勘定に付)		横切紙/(え4714-10-1~4は紙縫一括)・1通	え4714-10-2
覚(朔78俵代金19兩1分余と取集入金より、望月様上納金・人足手間代など差引計算書) (金額書付、「メ式兩式分式朱 拾六貫七拾六文…」)		横切紙/(え4718-1~22は紙縫一括)・1通	え4718-19
(1兩13匁4分1厘不足に付書付)		横切紙/(え4724-1~34は紙縫一括)・1通	え4724-8
(3人割合分・湯田中2人割合分などの金額差引計算書) 伊左衛門→八田様	4月	小切紙/(え4728-1~6は紙縫一括)/(え4728-1-1~12は紙縫一括)・1通	え4728-1-3
(金銭差引計算書、金8兩3分1匁9厘より10兩を請取、残金1兩3朱1匁8分5厘ほか)		小切紙・1通	え4728-1-6
(正月より5月まで払メ1045兩余り金銭勘定書付)		横切紙・1通	え4728-1-7
		横切紙・1通	え4728-4
		横切紙・1通	え4734-12

(五八殿1万3550番分600文など勘定書付) *断簡		小切紙/(え4743-1~12は紙縫一括)・1通	え4743-2
覚(卯3月中見積りほかメ金28両6分金銭書上)		横切紙/(え4744-1~5は括紐一括)/(え4744-1-1~30は巻込一括)・1通	え4744-1-19
おほへ(メ162匁5分4厘、2口分金銭書上) 塚田屋茂作→八田様	未9月19日	縦紙/(え4747-1~16は巻込一括)・1通	え4747-1
覚(金3両3分弥惣右衛門ほか寅年分メ50両金銭書上)		縦紙・1通	え4747-15
(書状、金2分御出し下さるべく、先達での都合2分2朱切手差遣わずに付)	10月朔日	折紙/(え4748-1~67は一綴)・1通	え4748-59
覚(寅年・辰年分メ6両金銭書上)		小切紙/(え4749-1~69は一綴)・1通	え4749-36
覚(戌割合の内金1分2朱馬喰町源三郎ほかメ金3分2朱3匁去子暮金銭差引勘定に付) 坂本常左衛門	丑2月	折紙/(え4750-1~47は一綴)・1通	え4750-2
(14品4両2分2朱の内訳書上)		横切継紙・1通	え4750-4
覚(紙包・桐油包の駄賃書上) 柴丁利助→栄治郎殿	5月21日	横切紙・1通	え4750-44
覚(盆前分差引残り分ほか勘定に付) 伊兵衛→八田様御内	酉極月28日	横切継紙/(え4790-1~2は旧封筒一括)/(え4790-1-1~21は一綴)・1通	え4790-1-1
覚(3匁2分金銭書付) 紺屋町龍右衛門→八田慶助様御内	酉極月	横切紙・1通	え4790-1-2
覚(7月メ4匁5分金銭書付) 万や富吉→八田様御内	酉12月	横切継紙・1通	え4790-1-3
覚(酉年・別口分メ198匁8分差引勘定に付) 麻屋庄助→八田慶助様御内	戌2月	横切継紙・1通	え4790-1-4
覚(西7月まで御残り17貫471匁金銭書付) 菊や傳兵衛→八田慶助様御内御役人中様	酉12月	横切紙・1通	え4790-1-5
覚(盆前メ1貫954文ほかメ4卷446文金銭書付) 松井平兵衛→八田様御内	酉極月	横切継紙・1通	え4790-1-6
覚(138文金銭書付) 紺屋町善九郎→八田慶助様御内	酉極月	横切継紙・1通	え4790-1-7
覚(メ1貫277文金銭書付) よろつや傳吉→八田様御内	酉12月	横切紙・1通	え4790-1-8
覚(申年残り分ほかメ1貫180文金銭書付) 車屋勇左衛門→八田慶助様御内	酉極月	横切継紙・1通	え4790-1-9
覚(金3分余金銭書付) 三澤や義兵衛→八田様御内	酉12月	横切継紙・1通	え4790-1-10
覚(1匁6分未年より申年迄分金銭書付) 坂屋賀助→八田慶助様	酉極月	横切継紙・1通	え4790-1-11
覚(大竹1本・唐敷1筋メ356文品物代書付) 嶋屋新五郎→八田慶助様御内	酉極月	横切継紙・1通	え4790-1-12
覚(7月メ1貫867文金銭書付) 菊屋左兵衛→八田慶助様御内	酉極月	横切紙・1通	え4790-1-13
覚(上酒1升代ほか金銭書付) 伊勢屋寿作→八田慶助様御内	酉12月	横切継紙・1通	え4790-1-14

1. 内方/1.18. 金銭・穀物請払/1.18.6. 金銭勘定

覚(酉惣メたか3匁2分6貫49文差引勘定に付) 現金や祖吉→八田慶助様御内御役人中様	戌3月	横切紙・1通	え4790-1-15
覚(140文みのほかメ1貫116文諸品代書付) 美のや宇兵衛→八田慶助様御内	酉極月	横切継紙・1通	え4790-1-16
覚(木綿代ほかメ32匁5分金銭書付) いせ屋吉兵衛→八田様御内	酉極月	横切継紙・1通	え4790-1-17
覚(酒・ろうそくほかメ金2分1朱302文諸品代書付) 竹屋仙蔵→八田慶助様御内御役人中様	酉12月	横切継紙・1通	え4790-1-18
覚(染代残り金7匁5分に付) 沼田や大蔵→八田慶助様御内	酉極月	横切継紙・1通	え4790-1-19
覚(80匁手桶2つ代書付) 桶屋太助→八田慶助様御内	酉12月	横切紙・1通	え4790-1-20
覚(金300両から初代御上納285両2分差引き勘定)	正月27日	横切紙/(え5169-1~8は一綴)・1通	え5169-7
正月分銭渡シ覚(6日取り渡す代金5貫文ほか、金銭書上)		横切紙・1通	え5169-8

1.18.7. 普請

(反故紙、シキイヨリ天井マテ内ノリ6尺1寸5分ほか各所寸法書上)		折紙/(え4713-1~14は紙綴一括)・1通	え4713-4
覚(材木代・大工手間賃等建築関係費メ金67両1分1メ652文書上)		横切継紙/(え4725-1~14は紙綴一括)/(え4725-10-1~4は紙綴一括)・1通	え4725-10-3
(書状、片普請にて敷砂利沢山御入料の所、車にて引かせれば余程御都合筋なるにより暫くの内拝借願うに付) * (書状上書)「慎蔵様 平左衛門」(杭全)平左衛門→(八田)慎蔵様	7月22日	横切継紙/(え4738-1~33は巻込一括)・1通	え4738-6
覚(戸口など普請により道具人足の勘定、メ銀44匁2分5厘並びに4貫548文に付書上) 左官龍作→御茶之間御会所	6月日	縦継紙・1通	え4795
(大嶋矢倉滝掘割、八間岩石割ほか人足賃銭などメ71両余り出金割皆済書付)		綴・1綴	え4877
覚(手間5人代金3朱などメ金1分銀43匁代金書上に付) 屋ねや藤七→八田様御内御役人様		縦紙・1通	え4964
覚(普請入用大日向勘助金5両2分2朱などメ金62両2朱余りに付金銭書付) * (端裏書)「盆前普請入用惣調」		横切継紙/(え5197-1~5は紙綴一括)・1通	え5197-4
盆後普請入用(大工佐作へ金4両2分と銀6匁などメ金29両1分1朱と銀729匁に付金銭書付)		横切継紙・1通	え5197-5

1.19. 賄

1.19.1. 諸品請払

覚(金2朱うなぎ代請取に付) 本郷代地ふな屋定吉[印「桜田本郷代地鮎屋定吉 鱧蒲焼所」]→上	2月9日	豎切紙(木版刷領収書用紙)/(え4714-1~18は紙縫一括)/(え4714-1-1~9は紙縫一括)・1通	え4714-1-6
(750文酒3升代請取に付) ますや(印「幸橋御門外升屋」)→上 (茶会の道具・献立)	2月9日	横切紙・1通 横切紙/(え4714-1~18は紙縫一括)・1通(3枚)	え4714-7 え4714-18
覚(大平・大鉢・井などの食器・調理用具を依頼するに付) (四角の物の配置図)		横切紙/(え4727-1~23は括紐一括)/(え4727-22-1~23は巻込一括)・1通 横切紙・1通	え4727-22-20 え4727-22-21
覚(焼鯛・かまぼこ・わかめ等代金メ2両3分に関する差引計算書) 下田端町きの国や→松代大木仲左衛門	寅4月22日	横切紙/(え4728-1~6は紙縫一括)/(え4728-1-1~12は紙縫一括)・1通	え4728-1-1
(書状、焼酎でなければ不用の由何とか1合程御貰い申したきに付) *(書状上書)「慎蔵様 知樹」 知樹→(八田)慎蔵様		横切紙/(え4738-1~33は巻込一括)・1通	え4738-11
覚(ヒラメ・鯉・玉子・大海老・鰹節などの食品類買物代金書上、メ4両1分12匁1分8厘)		豎継紙/(貼紙訂正あり)/(え4740-1~31は紙縫一括)・1通	え4740-26
覚(ざる2代金120文ほかメ2分1朱と2貫14文、御買物代に付金銭書上) 和七	丑正月	横切継紙/(え5169-1~8は一綴)・1通	え5169-3
覚(飯米3石4斗5升代金3両1分と7匁9歩2厘他メ金6両1分2朱1朱と245文、子年中入用御情願い上げに付)	丑3月	横切紙・1通	え5169-5

1.19.2. 献立

差置申一札之事(蕎麦の天心陰陽五行の徳に付)		豎継紙/(え4747-1~16は巻込一括)・1通	え4747-11
------------------------	--	--------------------------	----------

1.20. 勝手向

1.20.1. 勝手向立て直し

改革存念申述候下案(相続第一に心得、衣服飲食家作の費無きように指示) *(包紙上書)「天保十二丑年正月家事改革ニ付拙者存念申演候下案 八田知義」/(端裏書)「改革存念申達候下案」 (八田)知義	天保12辛丑年正月	横切紙/(貼紙あり)/(包紙共)・1通	え4843
(奉公人勤め方関係文書一括)		綴/(え5117-1~4は一綴)・1綴	え5117
乍恐以書取奉申上候(今般御改革に付御聞き済み願) 市兵衛	11月	横切継紙・1通	え5117-1
乍恐以書付奉願候(去々春中、佐助へ支配見習い仰せ付けられ任すところ、差支え無きにより、私儀支配退役仰せ付けられたきに付) 清十→上	嘉永2酉年2月	横切継紙・1通	え5117-2
(酒蔵売子先の義は酒蔵にて通帳通り取り上げる旨など御請け申し上げに付書付) 忠七(印)・六右衛門(印)・和七(印)・常八(印)	正月10日	横切継紙・1通	え5117-3
(書取の趣、源吾御面会仕るべきと申す条、あまりの申方通らずにはこれ無き哉、評議相談に付書付)	寅5月	横切継紙・1通	え5117-4
(勝手向難渋により拝借金上納方手段なき所、代々功勞により拝借金残らず御払切など節儉申渡書) *(端裏書)「八田慎蔵親類」		横切紙/(え4737-1~68は紙綴一括)・1通	え4737-32
(祖父嘉右衛門代よりの勝手向不如意の状況、並びに儉約方、借金取片付方ほかに付) *下書(「進上 羊羹」とある用紙を使用)		折紙/(え4742-1~13は紙綴一括)・1通	え4742-1
(家計の状況に関する説明書、家督以来莫大の拝借金凡そ350両の取片付に付、並びに当人の病状に付) *下書		横切継紙・1通	え4742-6
(御内証向き借財多きに付愚意存じ付きを申し上げる書付) *下書		横長半・1冊	え4928

1.20.2. 家事内尋

(袋) *(袋上書)「家事取計ニ付御内尋一卷 天保巳亥年 三月」	天保10年3月	袋/(え4778-1~70は一綴)・1点	え4778-1
(書状、関田公菊池氏へ仰せ入れられ下され御挨拶の由、菊池氏へ御持参御礼仰せられ認め方御取調べあるべきに付)	3月20日	横切継紙・1通	え4778-2
覚(大工棟梁御極めの件、金子割合の事、普請始めの祝いなど相談に付書付)	(天保10年)亥9月	横切継紙・1通	え4778-3
(当寺の借財を絶えさせ客殿再建成就いたしたく助成を願うに付書付)		横切継紙・1通	え4778-4
(田中村浄福寺祠堂金差し引かず不義理の事及び同寺金談にて不実意の取り計らいの委細書付)		横切継紙・1通	え4778-5
(書状、先日願った敷紙如何の御様子か、御不仕合の手段も仕る心得にて貴答を願うに付) *(書状上書)「嘉助様要用 友作」 (水野)友作→(八田)嘉助様	3月26日	横切継紙・1通	え4778-6

(書状、早速罷り出でたきところ、平臥し唯今は罷り出でかねるに付)	14日	横切紙・1通	え4778-7
(私家事改革始末方一統批判宜しからざる趣、先達で御内々御尋ね成され御書取の御趣意に付、此度御箇条を以て御内尋成し下されるにつき書付)		横切継紙・1通	え4778-8
(書状、御不快如何か御様子伺い奉るに付) * (書状上書)「守之丞様 尊答御書入奉願候 嘉助」(八田)嘉助→(岡田)守之丞様	4月22日	横切継紙・1通	え4778-9
(書状、金治申し聞き一日も早くと申しても未だ持参仕らず、早速持参して呉れる様願うに付) * (書状上書)「いせ町様申上 同心丁」同心丁→いせ町様	16日	横切継紙・1通	え4778-10
(書状、田町御老人様御尋ね成し下され委細御咄し御承知も成し下さるべきに付、下案御見せ再読仕るに付) * (書状上書)「い勢町様御意 同心丁」同心丁→い勢町様	16日	横切継紙・1通	え4778-11
(書状、私儀勝手向き不如意にて改革仕りたく倅嘉助取り計らい家来勝之助へ任せた処、同人取計い非儀により一統批判に付)		横切継紙・1通	え4778-12
口上覚(年来御奉公相勤め給分等の義御願立等仕る義御座なきに付) 七兵衛→いせ町傳兵衛殿	4月22日	横切継紙・1通	え4778-13
(書状、別紙差し上げ御入手下さるべきに付) * (書状上書)「嘉助様 惣之進」(矢野倉)惣之進→(八田)嘉助様	7月22日	横切紙・1通	え4778-14
口上覚(私儀勝手向き不如意にて改革仕る始末方一統批判宜しからざる趣、取調べたく少々御猶予成し下されたきに付) * (端裏書)「六月廿九日出ス 写し」(八田)嘉右衛門→(矢野倉)惣之進様・(菊池)孝助様	6月	横切継紙・1通	え4778-15
口上覚(私儀当年より東寺尾村瀬戸場所地代上がったが御拝借仕り御願いがましき儀はなき段御答え申し上げるに付) 荒神町傳兵衛(印)→伊勢町傳兵衛殿	天保10亥年4月	横切継紙・1通	え4778-16
口上覚(私儀先年莫大の御恩金頂戴以来、難洪の節御拝借願ひ御下金成し下される御重恩の儀、何方様より御尋ねの際は申し上げますに付) 鍛冶町源兵衛(印)→八田嘉右衛門様御内長崎源吾殿	4月	横切継紙・1通	え4778-17
口上覚(私親類瀧右衛門儀御家賃の儀に付、御上様へ御願ひしたか御尋ねがあり家内糺した所、決して仕らざる段申し上げますに付) 瀧右衛門親類常左衛門(印)→傳兵衛殿	天保10亥4月	横切継紙・1通	え4778-18
(書状、私儀御借屋間口8間、此度御入用に付御相談の上3間差出し申すに付) 伊兵衛→八田嘉右衛門様御内御役人衆中様	亥4月	横切継紙・1通	え4778-19
口上覚(私儀御借屋拝借の処、家賃の儀御上様へ御願ひしたか御尋ねに付、決して御願ひは仕らざるに付) 西木町平兵衛(印)→伊勢町傳兵衛殿	天保10亥4月	横切紙・1通	え4778-20
口上覚(私儀唯今まで御借屋8間御拝借の処、今度御入用に付3間口差出し、残り5間口は当年より3か年季の処、難洪はしているが御上様へ願う儀は無きに付) 鏡屋町伊兵衛(印)→伊勢町傳兵衛殿	亥4月	横切継紙・1通	え4778-21
(勝之助暇に出しては差引向行届かないと思うので、内実は是迄の様子にて上納方滞りなく相済ませるべきかと存じ、此段御賢考下されたきに付) * (端書)「忒」	6月7日	折紙・1通	え4778-22

1. 内方/1.20. 勝手向/1.20.2. 家事内尋

(勝之助暇差出しの儀は決着仕るに付) *(端書)「壱」		折紙・1通	え4778-23
(書状、先両条の処規定に的当致す様御取調べ下されたく、暇出の儀委細差支えの義御内話に及ぶ処決めなくては取調べも出来ないので、両条の処御取調べ御頼み成さるべきに付) *(書状上書)「嘉介殿内用 嘉右衛門」(八田)嘉右衛門→(八田)嘉介殿内用	6月7日	横切紙・1通	え4778-24
(勝之助暇差出しても差引向きそのほか締方につき立入申談ず事しなければ行届からざるやと存じ奉るに付) *前後欠		小切紙・1通	え4778-25
(西木町抱屋敷平兵衛・滝右衛門・助七等店賃非儀の取計い22ヶ条に付)		横切継紙・1通	え4778-26
(西木町借屋借賃の義に付、助七・瀧右衛門・平兵衛申し分もあり用達取計いの趣尋ね別紙取調べ差し出すほか13ヶ条に付)		横切継紙・1通	え4778-27
(嘉右衛門勝手向き不如意に成り改革の由嘉助専ら取り計らう哉にて勝之助へ万事任せるに付)		横切継紙・1通	え4778-28
口上覚(勝手向不如意に付、改革仕り俸嘉助専ら取り計らわせ家来勝之助へ万事任せた処、同人取計い非儀の儀多く一統批判宜しからざるに付、御奉行中御不審があれば御内々御伺い下さるよう願うに付) 八田嘉右衛門→矢野倉惣之進様・菊池孝助様	3月	横切継紙・1通	え4778-29
口上覚(私儀酒造株拝借成し下され商売勤めてきた処、近年の難渋に付、株頂戴仕りたく願った処御内意成し下され有難きに付) 小川屋三平(印)→菊屋傳兵衛殿	天保10年亥3月	横切紙・1通	え4778-30
(御用酒数十年來相勤め罷り在り当春御訴訟申し上げほか10ヶ条に付)		横切継紙・1通	え4778-31
以書取奉御伺候(去戌年酒造の義は40本造入仕る処、一統酒直段下直になり、且つ酒店小売の義も御差留めに成る故、売捌き方手薄に付) *下書 酒造方喜左衛門	亥4月	横切継紙・1通	え4778-32
口上覚(私儀痔湿煩い上州伊香保温泉へ湯治仕りたく御隙頂戴仕りたきに付) 勝之助	8月	横切紙・1通	え4778-33
(鏡屋町伊兵衛店や間遣のものへ切米金渡さざる事ほか書付)		横切紙・1通	え4778-34
(書状、私家事改革始末方批判を受け、御内々御尋ねあり御書取の御趣意に付、御箇条の内浄福寺祠堂金などの義不実意ある様取沙汰され余儀なき事ではあるが、召仕勝之助暇差出は御内々御勘弁を願う旨) *下書		横切継紙・1通	え4778-35
西木町抱屋敷平兵衛瀧右衛門助七等店賃非儀之取計之事 *(端裏書)「御郡方より御内尋之紙面写 天保十亥年四月五日」/(端裏貼紙)「四」	天保10年4月5日	横切継紙・1通	え4778-36
(矢野倉惣之進殿・菊池孝助殿、拙宅罷り越され寺内多宮殿御尋の趣を以て御父子間柄御心得行き違いの趣尋ねられるに付書付) *(端裏書)「三月二日矢野倉氏菊池氏より御尋被成下候趣書取」/(端裏貼紙)「壱」	3月29日	横切継紙・1通	え4778-37
(嘉右衛門勝手向き不如意に成り都て改革の由、嘉助専ら取り計らう哉にて勝之助と申す者へ万事任せ置くに付尋書) *(端裏書)「三月八日矢野倉氏菊池氏を以御尋紙面写」/(端裏貼紙)「弐」		横切継紙・1通	え4778-38

口上覚(私儀勝手向き不如意に付改革仕り嘉助が取り計わせた家来勝之助へ任せたと、一統批判を受けた儀、御奉行中へ宜しく御取り成し下さる様頼むに付) *(端裏書)「亥三月廿九日菊池氏へ差出ス 控」/(端裏貼紙)「三」 (八田)嘉右衛門→(矢野倉)惣之進様・(菊池)孝助様	3月	横切継紙・1通	え4778-39
(西木町平兵衛家作の取替金の利足滞りに付、及び同町瀧右衛門家作の金子に付、及び同町助七家賃の儀に付) *(端裏書)「西木町三人之事」		横切継紙・1通	え4778-40
(預り金等多分あり此節貸出仕り置く分取集め返済仕りたきに付) *下書		横切紙・1通	え4778-41
覚(西木町平兵衛家作の取替金20両の利足差引勘定に付)		横切継紙・1通	え4778-42
(書付、「召仕男女不平之事」)		小切継紙・1通	え4778-43
(勝之介存寄りをも尋ね関田君御見込みをも承る上にてこの書取差出申すべきに付)		横切紙・1通	え4778-44
(寺尾瀬戸物場地代上げの事、非人乞食施しの事、田中村源兵衛へ金子の事の書付)		横切継紙・1通	え4778-45
(田畑共追々相払う事、質店にて質物請取り申さざる事、酒商衰えの事の書付) *(端裏書)「田畑共追々相払候事 質店二而質物請取不申事 酒商衰候事 付石灰汁を入候事」		横切継紙・1通	え4778-46
(右の通り取計仕り御尋ねに付申し上げに付) *前欠	4月	小切紙・1通	え4778-47
(書状、御入用の品御写しの上私まで御返却成し下さるべきに付) *(書状上書)「嘉助様不及貴酬 守之丞」 (関田)守之丞→(八田)嘉助様	4月21日	横切紙・1通	え4778-48
(鏡屋町伊兵衛店の事に付難渋に及ぶ事、手続の事につき書付) *(端裏書)「伊兵衛事」		小切紙・1通	え4778-49
(御尋ねの趣は召遣のものの不平の事に付)		小切紙・1通	え4778-50
(右のものの承服仕り兼ね、酒造休む年には傳兵衛方にては給金などはなきに付)		小切紙・1通	え4778-51
辰三郎取扱之事(先年別家の節の仕送りに付)		横切紙・1通	え4778-52
(抱地の内へ了道と申す髪結自普請の家在る所へ引越しに付、同組権左衛門へ譲り請けた節、同人へ金子35両貸し遣わした所、元利返済滞りに付)		横切継紙・1通	え4778-53
(産物の事に付清十郎へ金子遣わさず難渋に及ぶ事の書付)		小切紙・1通	え4778-54
(御紙上の趣召参の者申し付ける趣、不得心の者申し聞ける儀はなきに付、及び財宝の儀約定違いの儀催促仕るに付ほか)		横切紙・1通	え4778-55
(書状、浄福寺へ送り下されし由、嘉介見せた処、差引金が前条のメ辻と的当かどうか覚束なく存じ奉るに付) *(書状上書)「素弓様 書鳩」 書鳩(八田嘉右衛門)→素弓様	4月19日	横切継紙・1通	え4778-56
(違作に付昶滞る義を源吾取り計らわず嚴重取り計う事の書付)		横切紙・1通	え4778-57
召仕之もの江切米金不相渡候事 *(端裏書)「召仕之もの江切米金不相渡之事」		横切継紙・1通	え4778-58
(御町方御祭礼入用備金の儀、天明8年町方類焼後難渋に付、頼母子企てた処、利分格別の出方無きに付、傳兵衛預け置き是迄1割利分相渡すに付) *(端裏書)「式十」		横切継紙・1通	え4778-59

1. 内方/1.20. 勝手向/1.20.2. 家事内尋

(書状、髪結床家賃の儀行事召し呼び夫々へ承らせ別紙の通り申し出で御用弁成るべきに付) * (端裏書)「上田氏より」	4月16日	横切継紙・1通	え4778-60
覚(吉五郎・助七ほかの居宅間口・奥行・家賃書付) 髪結職行事進之助	4月16日	横切紙・1通	え4778-61
(惣助・林蔵の居宅間口・裏行・家賃書付)		小切紙・1通	え4778-62
(書状、田中方丈より紙面遣わされ加筆して呉れる様御申越しの所、私は善悪極め兼ね、御内々御目に懸け御思召し仰せ蒙りたきに付) * (書状上書)「嘉右衛門様 守之丞」 (関田)守之丞→(八田)嘉右衛門様	4月20日	横切継紙・1通	え4778-63
(酒店の方にて越後酒買ひ入れる義取り計わせる者なく、買ひ入れたかどうか分かり兼ねるに付) * 前欠/下書		横切継紙・1通	え4778-64
(何年以前表之方明地借用仕りたく願ひ出に付)		横切継紙・1通	え4778-65
御尋書(小作年貢喜左衛門と馴れ合い非儀の取計らいの事ほか)		横切継紙・1通	え4778-66
(西木町平兵衛・瀧右衛門店賃の儀に付申し上げの旨) —	4月	横切紙・1通	え4778-67
(矢野倉氏・菊池氏罷り越され寺内公より御尋ねの趣は御父子御取計の儀行き違ひの趣如何の御様子か、この件に付勝之助取計方や家来暇出のことなど種々尋ねられるに付)		横切継紙・1通	え4778-68
(書状、甚だ役所迄も在り成さるべき御義なので、御光来成し下されたきに付) * (書状上書)「守之丞様 嘉助」 (八田)嘉助→(関田)守之丞様	4月18日	横切紙・1通	え4778-69
口上覚(当寺先代より度々御預り置き下さる金子の事に付、関田守之丞殿存慮の程有底口上書にて申すべき様内々御申し聞かされ申し上げに付) 浄福寺密秀→八田嘉右衛門様	天保10亥年4月	横切継紙・1通	え4778-70

1.21. 日記・控留

1.21.1. 日記

(元治2年2月10日から同25日までの日記)	元治2年2月(元治2年2月10日～同25日)	小横帳/黒色罫紙(16行)・1冊	え4851
------------------------	------------------------	------------------	-------

1.21.2. 手控

(御跡方掛りの儀は宮下三郎次出役、町年寄の事ほか諸事箇条書)		小切紙/(え4712-1～26は紙縫一括)・1通	え4712-9
--------------------------------	--	--------------------------	---------

1.22. 儀礼

1.22.1. 成人

口上覚(嫡孫孫太郎儀前髪剃り、名慎蔵と改めさせたく、此段御家老中迄御執成願に付) 八田嘉右衛門→岡嶋莊蔵殿・竹村金吾殿・山寺源大夫殿・磯田音門殿	11月11日	罫紙/(虫損)・1通	え4888
--	--------	------------	-------

1.22.2. 献上

覚(20匹、献上御肴代請取に付) 竹花伊十郎(印)→八田嘉右衛門殿	8月5日	横切紙/(え4712-1~26は紙縫一括)/(え4712-3-1~2は巻込一括)・1通	え4712-3-1
覚(青銅10匹、当戌年始御礼銭請取に付御納戸へ相収め申すに付) 金兎総左衛門(印)→八田嘉右衛門殿	文化11年戌正月	横切紙・1通	え4712-3-2

1.22.3. 贈答・進物

(包金5両、御歳暮下し置かれ頂戴仕るに付) 中町惣五郎(印)→八田嘉右衛門様御内御役人中様	文政11子午12月28日	堅切紙/(え4716-1~8は紙縫一括)/(え4716-8-1~8は紙縫一括)・1通	え4716-8-4
弘化三丙午年御歳暮物配帳	弘化三丙午年	横長半/(綴外れ)/(え4746-1~2は旧封筒一括)・1冊(25枚)	え4746-2
覚(贈り物の書上、おちか様へ和紙10把、母上様へ真綿3把ほか) 坂原嘉太郎より	3月11日	折紙/(え4727-1~23は括紐一括)・1通	え4727-6
(書状、切羽4枚を差し上げに付) *(書状上書)「いせ町様 莊助 切羽四枚添」(関田)莊助→いせ町様	10月20日	横切紙・1通	え4727-11
(目録の通り受取に付書付) 坂原兵左衛門内山内惣七→八田孫左衛門様御内村田兵助殿	2月晦日	堅紙/(一部破損)・1通	え4727-16
(祝事の贈答品目録、上下・扇子・昆布ほか)		堅紙・1通	え4727-21
(祝事の贈答品目録、鮭・扇子)		堅紙/(え4727-22-1~23は巻込一括)・1通	え4727-23
(御菓子など品名書上、朝日餅・薯蕷饅頭・かせかん・うは玉餅・やうかん)		横切継紙/(え4729-1~19は紙縫一括)・1通	え4729-1
(書状、美製てんぶら下し置かれるべきに付)		横切継紙/(え4732-1~21は紙縫一括)・1通	え4732-5
(書状、先頃中御話にあった餞別差し上げ申す献上にしたく存じ奉るにより御収め下される様願ひ奉るに付) *(書状上書)「嘉助様申上 句蔵」 句蔵→嘉助様申上	7月28日	横切継紙/(え4734-1~16は紙縫一括)・1通	え4734-4
(書状、八朔御祝儀として御肴1折進上致される所、誠に御祝詞貴意を得たきに付) *(包紙上書)「八田嘉右衛門様堀内楯一郎」 堀内楯一郎→八田嘉右衛門様参人々御中	7月晦日	折紙/(包紙共)・1通	え4734-9
口上(この程中は頂戴仕り有難き所、この1羽甚だ如何至極も到来に任せ御目に懸け申すに付) *(端裏書)「口上 一路」 一路	9日	横切継紙/(え4737-1~68は紙縫一括)・1通	え4737-63
(書状、鎌原公へ御祝御出により私御祝儀憚りながら御序に願ひ奉るに付) *(書状上書)「慎蔵様 喜兵衛」(八田)喜兵衛→(八田)慎蔵様	19日	横切継紙/(え4738-1~33は巻込一括)・1通	え4738-27

1. 内方/1.22. 儀礼/1.22.3. 贈答・進物

(書状、御約束の誠林1軸早速落掌仕るに付) *(書状上書) 「拝添 御暇錢返上仕候」(杭全)平左衛門	5月14日	横切紙・1通	え4738-31
(書状、此籠品を笑納いただきたきに付) *(書状上書)「伊勢町様 坂本」坂本→伊勢町様	5月24日	横切紙/(え4739-1~33は紙縫一括)・1通	え4739-18
(書状、此品を笑納いただきたきに付) *(書状上書)「慎蔵様 玄又」玄又→(八田)慎蔵様	25日	横切紙・1通	え4739-19
(書状、此品を笑納いただきたきに付) *(書状上書)「八田様 龍蔵」龍蔵→八田様	5月25日	横切継紙・1通	え4739-20
(書状、千曲川の鮭を御恵贈いただいたことの御礼) 廣田正陽(花押)→八田知道様	2月25日	横切紙/(え4739-1~33は紙縫一括)・1通	え4739-24
(書状別紙、時雨蛤1曲を御笑納下されたきに付)		横切継紙・1通	え4739-26
(書状、この干たこ(蛸)播州明石の産物にて、漸く手に入れたので少々ながら1盃の御肴に献じ奉るに付) 重大夫→(八田)嘉右衛門様	9月15日認	横切継紙/(え4744-1~5は括紐一括)/(え4744-1-1~30は巻込一括)・1通	え4744-1-5
(書状、籠茶進上申したきに付、別紙の内御障り入りがあれば御記し下さるべきに付) *(書状上書)「嘉右衛門様 主税」主税→(八田)嘉右衛門様	正月16日	横切紙/(え4750-1~47は一綴)・1通	え4750-16
(28日・29日、どちらか御障り入りの方に御記し下さるべきに付) *4750-16の別紙		小切紙・1通	え4750-17
(書状、嘉右衛門出勤御受け申し上げる由に付、献上物の義仰せ下され御菓子然るべきと存ずるに付) 傳吾郎→友右衛門様	正月19日	横切継紙・1通	え4750-46
(書状、仰せに任せ軽少ながら御節鎗代銀1斤進上に付) *(書状上書)「嘉右衛門様 縫殿進」(平林)縫殿進→(八田)嘉右衛門様	4月晦日	横切継紙/(え5054-2~8は包紙一括)/(え5054-2-2~4は包紙一括)/(え5054-2-3-2~4はえ5054-2-3-1に挟込み)・1通	え5054-2-3-1
(書状、反物御恵送ありがたきに付) (八田)嘉助カ拜	7日	豎紙・1通	え5054-7

1.22.4. 婚姻・離縁

覚(衣桁ほか御縁女様御道具受取に付) 岡野弥右衛門様 御内北嶋左源次→八田嘉右衛門様御内浦野忠七様	9月28日	横切継紙/(え4715-1~16は紙縫一括)・1通	え4715-1
(書状、長四郎殿御縁談の儀矢代柳町御両婦御面談に付) *(包紙上書)「巳正月到来入用書状」	正月20日	横切継紙/(包紙共)・1通	え4715-4
(配り物と配り先書上、上田縞・扇子・風呂敷等を御家内様・嘉右衛門様ほか八田家家族および和七ほか奉公人さらに親類へ、婚礼関係カ)		横長半/(え4725-1~14は紙縫一括)・1冊	え4725-3
(婚礼に関する取り決めの書付、結納・掣引出物・縁女諸道具など)		横切紙/(え4725-11-1~7は紙縫一括)・1通	え4725-11-1
(縁組関係の書付、御近親様を御招・参上等に付)		横切紙・1通	え4725-11-3

(書状、悴四郎兵衛婚姻に付) * (書状上書)「八田嘉助様 八田慎蔵様 小野肇」 小野弥ね→八田嘉助様・八田慎蔵様	8月5日	横切紙/(え4727-1~23は括紐一括)/(え4727-20-1~10は巻込一括)・1通	え4727-20-4
(書状、娘が三沢源蔵の悴刑部丞と縁組に付知らせ) * (書状上書)「八田嘉助様 八田慎蔵様 徳田五百人」 徳田五百人→八田嘉助様・八田慎蔵様	11月22日	横切紙/(え4727-22-1~23は巻込一括)・1通	え4727-22-11
(書状、悴刑部丞が徳田五百人娘と縁組に付知らせ) * (書状上書)「八田嘉助様 八田慎蔵様 三沢源蔵」 三沢源蔵→八田嘉助様・八田慎蔵様	11月22日	横切紙・1通	え4727-22-12
(御縁女様御荷物13日朝弥右衛門殿より遣わされる所、御親類御逢い成され御挨拶あるに付)		横長半/(虫損甚大)/(え4731-1~3は紙縫一括)・1冊	え4731-3
覚(今般御世話をもって水井取之助殿姉縁談引取により仕着料分受納致すに付) →御世話殿		横切紙/(え4737-1~68は紙縫一括)・1通	え4737-34
(書状、妹儀縁組仕りたきに付願い奉る通り仰下され有難き仕合せに付) * (書状上書)「八田嘉右衛門様 八田嘉助様 祢津左馬允」 祢津左馬允→八田嘉右衛門様・八田嘉助様	6月7日	小切紙/(え4744-1~5は括紐一括)/(え4744-1-1~30は巻込一括)・1通	え4744-1-17
目録(青木千代助ヨリ結納の品々として小袖1台、昆布1台、松魚1連、家内喜多留1台、末広1箱書上)		縦紙・1通	え5012
海野一件(おふさ離縁に付関係書簡写)	10月25日~11月	半・1冊	特2

1.22.5. 葬儀・法事

(包紙) * (包紙上書)「八田嘉右衛門様 藤田傳左衛門 同温山」 藤田傳左衛門・同温山→八田嘉右衛門様		包紙/(え4719-1~23は括紐一括)/(え4719-1-2~3は包紙一括)・1点	え4719-1-1
(御香奠・御茶料金銭書上) 藤田傳左衛門・同温山		折紙/(虫損)/(貨幣の破片の添付あり)・1通	え4719-1-2
(書状、霊明院様御一周忌御法事に付、御香奠10疋、御茶料30疋御霊前へ御備え下さるべきに付) 藤田傳左衛門・同温山→八田嘉右衛門様	5月20日	折紙/(虫損)・1通	え4719-1-3
(大瀬氏への香奠金30疋ほか金銭書付、裏には85両1分2朱との金額や人数の書上あり)		横切紙/(え4725-1~14は紙縫一括)/(え4725-13-1~11は紙縫一括)/(え4725-13-10-1~2は巻込一括)・1通	え4725-13-10-2
(書状、清庵七回忌法事は9日の予定のところ7日夕からに変更に付) * (書状上書)「嘉介様慎蔵様 周徹」 周徹→(八田)嘉介様・(八田)慎蔵様	9月5日	横切紙/(え4727-1~23は括紐一括)/(え4727-20-1~10は巻込一括)・1通	え4727-20-5

1. 内方/1.22. 儀礼/1.22.5. 葬儀・法事

(書状、霊前へ御香志頂戴仕り有り難きにより愚父にても呉々も承り申し上げたきと申し聞くに付) 道斎拜→(八田)慎蔵様尊下	8月23日	横切継紙/(え4737-1~68は紙縫一括)・1通	え4737-28
(父嘉右衛門死去の知らせに付) 八田嘉助		小切紙/(え4740-1~31は紙縫一括)・1通	え4740-21
(書状、文聡院様御法事にて先例の通り拝礼があるか否や問い合わせに付) *(書状上書)「慎蔵様 一郎」 一郎→(八田)慎蔵様	10月16日	横切継紙/(え4741-1~54は紙縫一括、内側から子番号付与)・1通	え4741-10
(包紙のみ) *(包紙上書)「献御焼香 八田嘉右衛門知義」 八田嘉右衛門知義		包紙/(え4744-1~5は括紐一括)/(え4744-1-1~30は巻込一括)・1点	え4744-1-1
三月二十四日夕(「死盛」を含む献立と段取り)		横長半/(え4748-1~67は一綴)・1冊	え4748-30

1.22.6. 先祖供養

(盆中燈籠紋形一括)		包紙一括/(え5167-2~5は包紙一括)/(え5167-2-1~3は巻込一括)	え5167
(包紙) *(包紙上書)「盆中御燈籠 御紋形」		包紙/(包紙内部にも紋形を模った貼紙あり)・1点	え5167-1
(紋形図面)		17.0×20.3/(え5167-2-1~3は巻込一括)・1鋪	え5167-2-1
(紋形図面)		12.0×8.8・1鋪	え5167-2-2
(紋形図面)		14.1×8.5・1鋪	え5167-2-3
(蓮文様形型紙)		8.2×27.3/(柿渋和紙)・1点	え5167-3
(観世水形型紙)		6.5×28.0/(柿渋和紙)・1点	え5167-4
(紋形型紙)		30.3×27.2/(柿渋和紙)・1点	え5167-5

1.22.7. 祝儀

(御祝儀に付御荷物・御使者への対応の仕方に関する書上)		横切継紙/(虫損甚大)/(え4740-1~31は紙縫一括)・1通	え4740-13
(正月21日、御年賀御祝儀御囃子組演目・役割書上)		横切継紙/(え4748-1~67は一綴)・1通	え4748-13

1.22.8. 年賀状・暑中見舞等

(年賀状、11月27日着坂に付ほか) 雅明→(八田)慎蔵様	(近代)1月30日	横切紙/(え4739-1~33は紙縫一括)・1通	え4739-6
(書状、暑中御見舞縮縮2反贈られ年寄共も宜しく御意を得るよう申し付けるに付) *(書状上書)「八田嘉右衛門様 三橋新五右衛門 吉松四郎左衛門 深井傳之丞」 深井傳之丞重連(花押)・吉松四郎左衛門集美(花押)・三橋新五右衛門當榮(花押)→八田嘉右衛門様	6月12日	折紙/(え4718-1~22は紙縫一括)・1通	え4718-1
(包紙) *(包紙上書)「八田嘉右衛門様 三橋新五右衛門」		包紙/(え4718-21-2~3は包紙一括)・1点	え4718-21-1
(書状、暑中御見舞いに付) 三新五右衛門→八嘉右衛門様 尊下	7月12日	横切継紙・1通	え4718-21-2
(お香)		お香・1点	え4718-21-3
(書状、当辰年年始御礼銭早速御上納存じ奉るに付) *(表書)「慎蔵様 市治」 市治→(八田)慎蔵様	12月5日	横切継紙/(え4737-1~68は紙縫一括)・1通	え4737-59
(書状、久兵衛殿・平蔵殿再々御噂下し置かれ承知仕るに付ほか、時候御見舞い) 林幸八跡名林善七	8月22日	折紙/(え4748-1~67は一綴)・1通	え4748-10
(書状、年甫の御祝詞申し上げに付) 檜垣越中常(花押)→八田嘉右衛門様人々御衆中	正月吉日	折紙/(え4750-1~47は一綴)・1通	え4750-27

1.22.9. 見舞

(書状、御地御急変御心痛推察に付白米1斗御見舞いとして進上仕るに付) *(封筒上書)「松代二而八田慎蔵様 井上村坂本幸右衛門」 坂本幸右衛門→八田慎蔵様 尊下	11月26日	横切継紙/(え4712-1~26は紙縫一括)・1通	え4712-7
口演(此品御見舞いの印まで呈すに付) 渡辺拜→伊せ街様	7日	横切紙・1通	え4712-12
(書状、火事なく風も甚だ静かにて御取り込み成さるべきに付寒中伺い、(追啓)石橋弥兵衛家財道具払物出しに付) 弥友→(八田)嘉右衛門様	11月19日	横切継紙/(え4717-1~8は紙縫一括)・1通	え4717-3
(書状、山之内にて松之菌見出し彼の流行痢病の妙果と申し置き味噌汁にて煮給うべく、御目に懸け御落掌下さるに付) 宗治郎→(八田)嘉右衛門様	7月18日	横切継紙/(え4718-1~22は紙縫一括)/(包紙共)・1通	え4718-14
見舞到来覚(蕎麦切2重を湯本喜四郎より、いも・青菜を助次郎より、ほか)		折紙/(え4727-1~23は括紐一括)・1通	え4727-7
(重の内は伝右衛門殿より御見舞いとして差し上げた品物の書付)		横切継紙/(え4739-1~33は紙縫一括)・1通	え4739-13
(書状、北沢君この節御訴訟あるにより尊前様も御心配の程察し上げに付) 八田(嘉右衛門)拜→中島(三右衛門)様 尊報	3月20日	横切継紙/(え5054-2~8は包紙一括)/(え5054-2-2~4は包紙一括)/(え5054-2-3-2~4はえ5054-2-3-1に挟込み)・1通	え5054-2-3-2

1. 内方/1.22. 儀礼/1.22.9. 見舞

(書状、甚十郎よりこの一本を願うに付) *(端裏書)「中島様」 (八田)嘉右衛門→(中島)三右衛門様尊下	3月23日	横切継紙・1通	え5054-2-3-3
(書状、端午御飾の品委細注文書仰せ下さるに付) 中島 (三右衛門)→八田(嘉右衛門)様尊報	4月朔日	横切継紙・1通	え5054-2-3-4

1.22.10. 御礼

(書状、御大難にて御心痛御推察に付、及び不調法の者 罷り出で御用に相立たず長々御厚情有難きに付ほか) 坂本幸右衛門→八田慎蔵様尊下	11月念日	横切継紙/(え 4712-1~26は紙 繕一括)・1通	え4712-22
(書状、遠嶋の所、御使札御香料金100疋並びに何よりの 御品御礼申し上げに付) 幸右衛門→(八田)慎蔵様貴答	8月23日	横切継紙/(え 4737-1~68は紙 繕一括)・1通	え4737-6
(書状、両親ともに御地住居中は厚情を受けたことの御 礼、去る3日に此表へ安着したに付) 丸沢新八郎→御取 次中様	4月8日	横切紙/(え 4739-1~33は紙 繕一括)・1通	え4739-27
(書状、篠野井村惣右衛門御当地へ御用筋あり、出府仕り 委細承知仕る、同苗跡式相続の謝意に付)	3月5日	横切継紙/(え 4748-1~67は一 綴)・1通	え4748-55

1.23. 旅

1.23.1. 寺社参詣

秩父札所案内絵図	(明和7年)	30.1×40.2/(え 4960-1~2は旧 封筒一括)・1鋪 (木版刷)	え4960-1
秩父札所案内絵図(寸見ヲ以テ改之) 板元秩父白久村清 川惣助	明和7庚寅年	29.9×41.1・1鋪 (木版刷)	え4960-2
おぼへ(善光寺参詣に付舟渡し賃・茶代・菓子代などの書 上、メ金1両1分ト118文) *(端裏書)「文久三年四月十二日 善光寺参詣入料」	文久3年	横切継紙/(え 4728-1~6は紙 繕一括)/(え 4728-1-1~12は 紙繕一括)・1通	え4728-1-8
(参詣入用関係書類)		紙繕一括/(え 4728-6-1~4は紙 繕一括)	え4728-6
(善光寺参詣諸入用書上、丹波島小松屋酒肴餅代・茶代・ 善光寺にて瀬戸物買物代ほか、メ金1両銀5匁銭7メ332 文) *(端裏書)「戊年四月善光寺参詣入用」		横切継紙・1通	え4728-6-1
覚(旅籠代・草鞋代等メ金2朱ト3貫580文領収書) 平塚屋 五郎右衛門→上	10月19日	横切継紙・1通	え4728-6-2
(別所参詣に付旅籠代・賽銭・道中舟賃・茶代等書上) *八 田慎蔵宛書状の包紙の紙背を利用	(10月17日~19日)	折紙・1通	え4728-6-3
(別所観音参詣入用差引書、水井様と手前で割合の計算 書、惣メ銀85匁1分9厘) *(端裏書)「元治元年甲子歳十月 水井様主従手前主従都合四人二而別所観音参詣入用差引 書也」	(元治元年10月17日~ 19日)	横切紙・1通	え4728-6-4

(書状、兼て申し上げた通り近々勢州より甲州身延山へ参詣として母妹召し連れ出立に付、御暇乞いたきに付) * (封筒上書)「嘉右衛門様 岡左十郎」 土口→伊勢町様	6月18日	横切継紙/(え 4718-1~22は紙縫一括)/(封筒共)・1通	え4718-20
(書状、群神山へ御参山に付御礼により畏み奉るに付) * (書状上書)「奉復 □□」	3日	横切紙/(え 4732-1~21は紙縫一括)・1通	え4732-1
(書状、明日御登山成し下されたきとのこと仰せを蒙り小子ども差障りなきにより御供致すべきに付) * (書状上書)「慎蔵様御請 束」 (松木)束→(八田)慎蔵様	4月14日	横切継紙/(え 4738-1~33は巻込一括)・1通	え4738-16
(書状、今日飯縄祭に付御登山下されたきに付) * (書状上書)「慎蔵様 良右衛門」 良右衛門→(八田)慎蔵様	9月21日	横切紙/(え 4741-1~54は紙縫一括、内側から子番号付与)・1通	え4741-50
濃州虎溪山永保禅寺之図		66.8×46.3・1鋪 (木版刷)	え4959
えんぎにいわく秩父札所巡礼開闢権化聖者		31.2×40.5・1鋪 (木版刷)	え4963
下野国河内郡宇部宮清巖寺鉄窠塔婆五分一縮図 * (包紙上書)「宇都宮鉄塔婆縮図 清巖寺」 城下逸民岩齋井上信好附考	正和元年8月	67.0×19.6・1鋪 (木版刷)	え4973
奥州松島塩竈図(絵図、塩釜大明神や瑞巖寺など松島・塩釜一带の名所が記載)		31.0×40.3・1鋪 (木版刷)	え5038

1.23.2. 入湯

(帰湯の届病気届の事ほか諸事書上)		小切紙/(え 4712-1~26は紙縫一括)・1通	え4712-25
(書状、農事世話鋪成り無人の上悴不快にて伺わざること本意に背くに付、及び赤倉温湯へ御療治入らせられる由に付ほか) * (封筒上書)「五月十八日来帖 八嘉右衛門様 岡左十郎」 吐愚痴→神都街様玉案下捧上	5月18日	横切継紙/(え 4718-1~22は紙縫一括)/(え 4718-7-1~2は帯一括)・1通	え4718-7-1
(書状、御惣容様赤倉へ御入浴入らせられる由承知仕り如何御便もあるか伺うに付、及び農業最中に付鶏卵など御笑味下さるべきに付) * (書状上書)「嘉右衛門様 太一郎」	5月18日	横切継紙・1通	え4718-7-2
(赤倉入湯関係書付一括)		包紙一括/(え 4718-8-2~4は包紙一括)	え4718-8
(包紙) * (包紙上書)「八田嘉右衛門様 増田徳左衛門」/え 4718-8-2の封紙を3通の包紙として使用カ		包紙・1点	え4718-8-1
(書状、かかや与七郎方より飛脚を以て塩たい2枚・生鯛2枚小生方まで送り、差し上げ申し直に御笑味願うに付) 学道→書鳩君机下(八田嘉右衛門)	5月13日	横切継紙・1通	え4718-8-2
(書状、滞りなく赤倉着き御安心下さるべきに付) * (書状上書)「八田嘉右衛門様 増田徳左衛門」 徳左衛門→(八田)嘉右衛門様	12日	横切紙・1通	え4718-8-3

1. 内方/1.23. 旅/1.23.2. 入湯

(書状、例の大雨にて御母堂様拜路中御案事申し思いの外御健ながら、柏原まで参りかね余程に止宿を取り計り申すに付ほか) * (書状上書)「八田嘉右衛門様平安用赤倉二而和合院」 学道→書嶋雅君机下(八田嘉右衛門)	5月12日	横切継紙・1通	え4718-8-4
(書状、先般家族共一本木温泉入湯の節御地へ罷り出で旅舎へ品々御恵投下され御礼暑中御見舞申し上げたきに付) * (内包紙上書)「高田上田中司様 松代八田嘉右衛門」 八田嘉右衛門→上田中司様貴下	6月16日	横切継紙/(包紙2点共)・1通	え4718-10
(書状、出立の節は段々有り難く天氣の都合も宜しく中野泊にて14日湯元へ着仕り15・16日休息に付) * 後欠		横切継紙/(え4738-1~33は巻込一括)・1通	え4738-10
上州草津温泉図		36.5×54.5・1鋪(木版刷)	え4961

1.24. 寺社

1.24.1. 寺社奉加

(書状、飯縄宮御奉加金5両この者へ御下げ渡し下されたきに付) * (書状上書)「八田慎蔵様 水野清右衛門」 水野清右衛門→八田慎蔵様	10月14日	横切紙/(え4741-1~54は紙縫一括、内側から子番号付与)・1通	え4741-47
--	--------	------------------------------------	----------

1.24.2. 菩提寺浄福寺

差上申一札之事(御領主様金子御入用、綿内村堀内五十治殿方、御借入に付、古証文請取に付) * (端裏貼紙)「先達而芝津より浄福寺向差出候紙面五拾両ハ手元受取(以下略)」 水田郡柴津村清水斧右衛門(印)→浄福寺様	文化8年末12月	豎継紙・1通	え4825
覚(去申10月中借用700両の内、当西4月元本400両並びに利金42両返済、御請取書を清水斧右衛門方へ当座として差し置くに付) 飯山深井傳之丞(印)・吉松四郎左衛門(印)・三橋新五右衛門(印)→松代浄福寺和尚	文化10酉年閏11月	豎紙・1通	え4850
(浄福寺御堂再建関係一括)		包紙一括/(え5184-2~3は包紙一括)	え5184
(包紙) * (包紙上書)「浄福寺焼失古御堂絵図面文政三辰四月十三日寺尾村喜右衛門より承候由吉兵衛申間候」	文政3年	包紙・1点	え5184-1
(浄福寺御堂御再建以前の形、並びに地形など書付)		横切継紙・1通	え5184-2
(浄福寺御堂焼失以前の絵図)		29.5×39.0・1鋪	え5184-3
(包紙) * (包紙上書)「上信州松代城御家中八田嘉右衛門様錦繍寺」/(包紙裏書)「越後蒲原郡七日町村」		包紙/(え4717-1~8は紙縫一括)/(え4717-2-2~3は包紙一括)・1点	え4717-2-1
(書状、浄福寺番住瑞峰和尚遷寂致され遺書により後住は野拙とのこと點頭(承諾)に付) 越後蒲原郡七日町村錦繍寺智泉僧(印)→八田嘉右衛門様	午閏正月21日	折紙・1通	え4717-2-2
(文政5年閏正月28日平川村法昌寺和尚中町卯十郎帰国、持参の書状浄福寺に於て面会否承知に付)	(文政5年)	小切紙・1通	え4717-2-3

(浄福寺先住知門一件関係一括)		/(え5186-2~3 は袋一括)	え5186
(袋) * (袋上書)「文政五年四月十三日 石川新八様より書取被下候上袋」/(袋裏書)「此度麻布御役方寮様奉願候付国元御上屋敷御留主居御内々一件之儀申上度当十二日罷出山内様御頼申上候而御内々申入候処御同人様御差図被下候二而翌十三日御留主居様江罷出御伺候旨申上様被仰聞候十三日罷出候処職方差上候願書写二如此御書取を以被 仰聞候二付引取右書取上袋」	文政5年	袋・1点	え5186-1
覚(関所手形、この者江戸より信州松代へ差し遣わさるにより、碓氷御関所御通し下さるべきに付) 真田禪正大弼内石川新八(印)→上州碓氷御関所御番御衆中	文政5年年3月26日	堅切紙・1通	え5186-2
(浄福寺先住知門、祠金片付けもせず月宮地へ転住により檀中より城方へ訴えの処、役方へ内々の頼みは承り難きに付)		横切紙・1通	え5186-3
乍恐以上書奉願候御事(馬場形新田高4石9斗4升を浄福寺御役代伝右衛門方へ譲り渡しに付、御元帳名面御附替願) * 下書 浄福寺役代伝右衛門・八田嘉右衛門役代伝兵衛→御代官所	文政8酉年11月	堅紙/(え4724-1~34は紙纏一括) ・1通	え4724-13
一札之事(瑞峯方丈御末期御遺金として15両御遺贈を御頼み仰せ置かれるに付) * (上書)「文政八酉年三月六日当僧へ指遣候印証下案」 八田嘉右衛門印(墨消)→活尻長老	文政8酉年2月	堅紙/(え4747-1~16は巻込一括) ・1通	え4747-2
借入金証文之事(当寺本堂再建に付49両借用証文) * 関田守之丞奥書印形、八田嘉右衛門奥書 浄福寺[印]→嶋田磯右衛門殿	天保8酉年2月	堅紙・1通	え4793
一札之事(客殿再営にて金150両御寄付、残り翌8月一括皆済のところ、当12月上旬・翌3月・同8月に分割皆済にお改め願ひ) 浄福寺(印)・寫田大藏(印)→八田嘉助殿・八田喜兵衛殿・八田辰三郎殿	嘉永2己酉年4月	堅紙・1通	え4792
(中之条代官所貸付金関係文書一括)		包紙一括/(え4717-7-2~4は包紙一括)	え4717-7
(包紙) * (包紙上書)「八田嘉右衛門様当用書 浄福寺」/(包紙裏書)「善光寺旅館」		包紙・1点	え4717-7-1
(書状、中之条御役所御貸附金当申年割合30両上納明10日限りに付、御尊寺様へ御纏りに参上仕るに付) * (書状上書)「浄福寺様宗光寺様大急用 松代より源五左衛門」 源五左衛門→浄福寺様・宗光寺様	12月9日夜	横切紙・1通	え4717-7-2
口上覚(此表一条到着より早々評定相立ち種々手入れ相調べ示談致すに付) 知門→(八田)嘉右衛門様	12月9日夜半	横切紙・1通	え4717-7-3
(書状、中之条金子の儀川中島へ罷出で願ひ、兩人申すは惣じて片付き申し、藤井氏・清水氏と御相談し此前の事は急ぎ呉れる様申すに付) * (書状上書)「浄福寺様宗光寺様 柄沢孝左衛門」 柄沢孝左衛門→浄福寺様・宗光寺様	12月9日	横切紙・1通	え4717-7-4
(包紙) * (包紙上書)「浄福寺様侍右 柄沢孝左衛門」		包紙/(え4717-8-2~3は包紙一括) ・1点	え4717-8-1
(書状、母儀甚だよろしからず叔母および其外謹慎相集り看病致すとも当月中おほつかなきに付ほか) 柄澤鼎昇→浄福寺様	11月28日	横切紙/(え4717-8-2-1~2は巻込一括) ・1通	え4717-8-2-1

1. 内方/1.24. 寺社/1.24.2. 菩提寺浄福寺

(書状、上田破談の儀不実の致し方にて野沢までも申し遣わし破談に及び、野沢より扱いに出でる様子に付)	11月28日	横切紙・1通	え4717-8-2-2
(書状、柴澤頼母子の儀は罷り帰り御相談仕りたく先ず御含み置き下さるべきに付ほか) *(書状上書)「嘉右衛門様 包物添 知門」	11月28日	横切継紙・1通	え4717-8-3
(書状、横田寺よりも厳しく催促するに付、梅翁院へ申し上げたが、彼是延引に付) *(書状上書)「嘉右衛門様貴酬 浄福寺」 浄福寺→八田嘉右衛門様	臘月29日夜	横切継紙/(え4729-1~19は紙縫一括)・1通	え4729-15
(書状、田中和尚より御内々御掛合について繰り合わせ申すべきにより金600両御印書遣わされる段に付) *(包紙上書)「八田嘉右衛門様御内用貴答 三橋新五右衛門 吉松四郎左衛門」 吉松四郎左衛門・三橋新五右衛門→八田嘉右衛門様貴酬	11月22日	横切継紙/(包紙共)/(え4732-1~21は紙縫一括)・1通	え4732-11
(書状、この間申上げた仏類において八印御噂の一条御様子伺いたく申し上げる所繰合の上上旬御上納に付) *(包紙上書)「浄福寺様 無□御内用先江 三橋新右衛門 吉松四郎左衛門」 吉松・三橋→知門様	12月18日夕	横切継紙/(包紙共)・1通	え4732-12
(書状、今般余儀なく差し支える所、田中和尚より御無心申し上げ金600両取替え仰せ下され忝に付) *下書カ 八田嘉右衛門→三橋新五右衛門・吉松四郎左衛門様人々御中	12月23日	横切継紙・1通	え4732-13
舌件(案事のことに付ては飯山表で差越し心配在る所、別紙の通り拙者出張により申し上げられず) *(書状上書)「嘉右衛門様 知門」/(裏書)「善光寺出張より」 知門→(八田)嘉右衛門様	12月20日	横切継紙・1通	え4732-14
(書状、今朝倅へ10日・11日の内御来臨下される様申し上げる所、10日御出障りあれば11日御出大慶仕るに付) *(包紙上書)「鎌原長門様田中浄福寺崇愿様へ被遣御手帖貴置候」/(書状上書)「田中老和尚玉床下 中堀」 中堀→田中老和尚	8月8日	横切紙/(包紙共)/(え4734-1~16は紙縫一括)・1通	え4734-1
覚(八田喜兵衛様御香典など受取に付) 浄福寺納所→八田慎蔵様御内瀧澤藤五郎様	6月22日	横切継紙/(え4738-1~33は巻込一括)・1通	え4738-2
(包紙のみ) *(包紙上書)「覚 浄福寺納所」		包紙・1点	え4738-19
覚(御布施200疋など確かに受取り披露仕るべきに付) 浄福寺納所→八田慎蔵様御内瀧澤藤五郎様	6月22日	横切継紙・1通	え4738-20
覚(御布施100疋など確かに受取り披露仕るべきに付) 浄福寺納所→八田慎蔵様御内瀧澤藤五郎様	6月22日	横切継紙・1通	え4738-21
(包紙) *(包紙上書)「浄福寺再建に付心得方書取」		包紙/(え4742-1~13は紙縫一括)/(え4742-10-2~3は包紙一括)・1点	え4742-10-1
(浄福寺再建に付心得方取調書、並びに浄福寺殿堂再建趣意書)		横切継紙・1通	え4742-10-2
(浄福寺再建に付心得方取調書、並びに浄福寺殿堂再建趣意書) *え4742-10-2の下書		横切継紙・1通	え4742-10-3

(伊勢町八田孫左衛門殿浄福寺旦那に付、御訴書持参拝見させ忝きに付申上書) 田中村三役人→御代官所	9月	横切紙/(え4748-1~67は一綴)・1通	え4748-5
(書状、結構なる御一箱の内送り下され有難きに付) *(書状上書)「おきひさま・おちかさま 浄福寺」 浄福寺→おきひさま・おちかさま		横切紙/(え4750-1~47は一綴)・1通	え4750-45
(末寺圓福寺より浄福寺へ寄付金あれども、寺内殿堂再建方出来仕らず、八田嘉右衛門様御問合にて金子貸用に付)		縦継紙・1通	え4980
(田中村浄福寺開基は御許様先祖興朋院殿御住殿前へ御廻向仕れども、礎と御開基の義聞申さざるに付) *(端裏貼紙)「本書之通別ニ書返御認和尚被相願御寺之什物ニ被成度由ニ御座候」		横切継紙/(え5022-1~2は旧封筒一括)・1通	え5022-1
御内々申上候(田中村浄福寺瑞筆和尚肉弟である江戸数寄屋河岸丹波屋新助在命中も折々罷越し、和尚迂化の砌も罷越し付添い看病すれども、新命和尚入院等差滞り、葬式延引となり、肉弟の儀遣命も立たず迷惑至極、当表惣代の者江戸へ出府仕るに付) *(端裏書)「恩田鞆負殿より中島三衛門殿を以御内々御尋ニ付取結差出候紙面」		横切継紙・1通	え5022-2
(埴科郡田中村浄福寺知門隠居の処、後住瑞峰へ諸什物・田畑など引き渡さざるまま病死に付、知門より引渡すべき旨の達) *(包紙上書)「御達書下案」 龍穩寺鑑司→信州松代長国寺	午6月	横切継紙/(包紙共)・1通	え5083
一札之事(皆神山腰平助殿へ御預けの山御留山の所、家来とも先月18日か材木37本引き下げ御詮議申し訳なきに付) 浄福寺祖中(印)→八田嘉助殿	亥4月	縦紙・1通	え5145

1.24.3. 松代大林寺

覚(大林寺領内裏柴丁上畑1反4畝など譲り渡しの田畑書付) *(端裏貼紙書)「西条村田山讓請証文」、「裏芝町御安口大林寺領先年買取古証文より御地改後格段御高相増申候買入金高過分候事ニ候得共当時御高相益候故各段相下り可申候尤見取畑者聊義故相払申候後來見入候程勘弁可申事」		縦紙/(貼紙あり)・1通	え5187
---	--	--------------	-------

1.24.4. 高野山明泉院

(書状、年甫御祝詞申し上げたきに付) *(包紙上書)「信州松城八田嘉右衛門貴下 高野山明泉院」/(包紙裏書)「山より賃相済」 明泉院伯雅(花押)→八田嘉右衛門様貴下	正月6日	折紙/(包紙共)/(え4716-1~8は紙縫一括)/(え4716-8-1~8は紙縫一括)・1通	え4716-8-8
(書状、愚寺儀越年仕り御休意思召され、年始御祝詞貴意を得るべきに付) *(包紙上書)「信州松城伊勢町八田嘉右衛門様貴下 高野山明泉院」/(包紙裏書)「賃相済」 明泉院伯雅(花押)→八田嘉右衛門様貴下	正月6日	折紙/(包紙共)/(え4717-1~8は紙縫一括)・1通	え4717-6
覚(青銅50疋、御初穂として寺納申すに付) 高野山明泉院代僧→八田孫左衛門様	6月18日	横切継紙/(え4748-1~67は一綴)・1通	え4748-23
覚(方金200疋、大般若経料御寄附成し下され受納に付) 高野山明泉院代僧慈圓院(印)	亥6月18日	横切継紙・1通	え4748-27

1.24.5. 松代離山神社

覚(金15両、離山御宮普請勤めに内借下さるに付、慥かに受取るに付) 伊木三郎右衛門(印)・中村惣右衛門→八田嘉右衛門殿	文化13子年12月	横切継紙/(え5193-1~6は綴一括)・1通	え5193-1
覚(金19両、離山社普請入料御時借下さるに付、慥かに受取るに付) 伊木三郎右衛門(印)・中村惣右衛門(印)→八田嘉右衛門殿	文化13子年12月	横切継紙・1通	え5193-2
(書状、明日大工など引き払いに付、今日勤定仕度の旨、御納米19両並び30両2ツ割15両、御手数として今日御渡し下さるに付) *(書状上書)「嘉右衛門様 右仲」	11月10日	横切継紙・1通	え5193-3
覚(金20両、離山御宮御普請入料に付、御時借下され証文引替に付) *(端裏張紙)「子八月 金貳拾両 伊木三郎右衛門 中村惣右衛門」 伊木三郎右衛門(印)・中村惣右衛門(印)→八田嘉右衛門殿	文化13子年閏8月	横切紙・1通	え5193-4
(書状、今朝罷出御懸合申し置き金子は明日中に廻し下さるべきに付) *(端裏書)「善兵衛様内用 永左衛門」	12月27日	横切継紙・1通	え5193-5
覚(金10両、当社再建の伐木代金不足に付、内借確かに受取、証文差し上げるに付) 安藤常陸(印)・離山受人善之丞(印)・同断富右衛門(印)、(奥書)中村惣右衛門(印)・伊木三郎右衛門(印)→大嶋永左衛門殿	文化13子年12月	縦継紙・1通	え5193-6

1.24.6. 和合院

差上申一札之御事(私御年賦金御恩借の所、卯辰両年滞金7両余差し上げるにより来3月中まで御取延願い奉るに付) か、井村三郎右衛門(印)→和合院様御内	文政4巳年12月	縦紙・1通	え4880
御借用申候金子証文之御事(上向上納金差し詰まりにて金5両3分御雑用金の内より拝借に付) 佐久郡上塚原村池田源助(印)→皆神山和合院様御役者中	文政8酉年12月	縦継紙・1通	え4803
質渡申屋敷地証文之事(大門町西側屋敷1ヶ所質代金115両にて5ヶ年季賃入) 善光寺大門町質渡人彦八印・同町親族平左衛門印・大門町彦八組惣代磯兵衛印・同町組頭久八印、(奥書)庄屋仁左衛門印→松代皆神山和合院様御役者中	文政8乙酉年12月	縦継紙・1通	え5103
(御状1通預りに付) *(端裏書)「御状受取書」 上田在山極八郎右衛門代嘉右衛門(印)「山極」→松代和合院様御内鑑司様	9月24日	縦紙/(え4724-1~34は紙縫一括)・1通	え4724-32
(書状、当月24・25日頃お出で下されたきに付) *(包紙上書)「和合院様 前田宗右衛門」 前田宗右衛門→和合院様	11月6日	横切紙/(包紙共)/(え4740-1~31は紙縫一括)・1通	え4740-8
(書状、和合院事旧冬帰国の際承る幼若は役僧共是迄の取計い等閑にて一山建立の儀覚東なく、御鼠戻下され御取立て下さる様願うに付) 潜龍院幸清→御主八田孫左衛門様尊下	正月26日	横切継紙/(え4748-1~67は一綴)・1通	え4748-12

1.24.7. 戸隠山善法院

覚(金56匁借用に付名当証文) 松代八田嘉右衛門→戸隠山小川弥兵衛殿	文政3辰年5月	縦紙・1通	え5044
------------------------------------	---------	-------	-------

1.24.8. 江戸

借用申金子之事(主人抛無き要用により貴寺祠堂金の内書面の金子借用致すに付下書) * (端裏書)「壱」 中川喜左衛門内何之誰・何之誰→喜福寺御役僧中	文政5午年月	豎紙/(え5068-1~2は封筒一括)・1通	え5068-1
借入金添証文(地頭所抛無く貴寺へ祠堂金の内書面の金子借用いたすに付下書) * (端裏書)「貳」 中川喜左衛門知行濃州郡村惣代・名主誰(印)・組頭誰(印)・誰(印)→喜福寺御納所中	文政5午年月	豎紙・1通	え5068-2

1.24.9. 良性院

(書状、暑中伺いに付) * (包紙上書)「松代八田嘉右衛門様貴下 善光寺良性院」 良性院亮慶→八田嘉右衛門様貴下	6月21日	折紙/(え4718-1~22は紙縫一括)/(包紙共)・1通	え4718-9
--	-------	-------------------------------	---------

1.24.10. 諸寺社

(下総第一鎮守葛飾八幡宮の元亨元年鑄造、願主右衛門尉丸子直吉、梵鐘銘文写し) * 当丑年正月19日に当社土中より出たもの	(元亨元年)辛酉12月17日	横切紙/(え4748-1~67は一綴)・1通	え4748-24
一札之事(表書の通り代々浄土宗にて拙寺旦那に紛れなきに付) 網嶋村安養寺(印)	宝暦8年寅3月	堅切紙/(え4747-1~16は巻込一括)・1通	え4747-4
(金100匹、厄除観世音17日永代月並燈明料御寄進なされ受納仕るに付) 別所北向堂別当常楽寺(印)→松代伊勢町八田御氏	明和7年庚寅5月22日	横切紙/(え4748-1~67は一綴)・1通	え4748-50
覚(金子3両、拙寺先住俊能和尚へ、慥に受納に付) * (端裏書)「水沢村典厩寺江金三両遣候付受取印書」 [(虫損)(杵湖カ)村典厩寺(印)→八田嘉右衛門殿御使	文化12年亥11月28日	豎紙/(虫損)・1通	え4886
覚(御祠堂御再建のため金26両銀8匁5分受取り御預け置くに付) 八田嘉右衛門浦野忠七(印墨消)→泉光寺様	文化14丑年11月	豎紙・1通	え5138
口上覚(拙院儀、持地の内借用致す住居、今年限り地取り、稽古角力、明後10日興行致させるに付) 新御安口正覚院(印)・合地銀兵衛(印)・組合林右衛門(印)・同断藤蔵(印)→伊勢町傳兵衛殿	文政3辰9月	豎紙・1通	え5125
(包紙) * (包紙上書)「八田嘉右衛門様尊□ □(瀧カ)村右源太」/(包紙裏書)「文政九戌年三月七日来状」 □(瀧カ)村右源太→八田嘉右衛門様	文政9戌年3月7日	包紙/(え4724-1~34は紙縫一括)/(え4724-29-2~3は包紙一括)・1点	え4724-29-1
(年賀状) 瀧村右源太盛則(花押)→八田嘉右衛門様人々御中	正月29日	横切継紙・1通	え4724-29-2
(追啓書状、旅屋大神宮を玉川嘉仲太殿が信仰するに付、御普請の節に金2両を奉納したき心願に付) (瀧村)右源太→(八田)嘉右衛門様	正月29日	横切継紙・1通	え4724-29-3
書付ヲ以御縫申一札之事(皆神山社領にて、きく屋伝兵衛持来候松木を東条村千吉が盗伐の上売渡しに及び、貴院様江継り御内済成下されたきに付) * (端裏貼紙)「文政十丁亥正月群神山立木盗伐いたし候ニ付致穿鑿候所、東条村千吉が四ツ谷村喜三太方へ立木買渡し候ニ付」 東条村惣左衛門受合判同人子千吉(印)・親類組合兼嶋吉(印)→平林村万行寺様	文政10亥2月	豎継紙/(え5047-1~2は旧封筒一括)・1通	え5047-2

1. 内方/1.24. 寺社/1.24.10. 諸寺社

御奉納金請取一札(宮相撲興行御祭礼の節、永代御神酒料として金5両請取に付) 吉田酒造(印)・宮澤善吉(印)・社地世話人富右衛門(印)・岩之丞→八田嘉右衛門様	天保13寅年12月	横切継紙・1通	え5030
(池田宮御神前御当城御鎮守玉依比売命神社神宝御児玉石総数679、御田祭包換に付)	弘化3午年正月7種日	横切紙/(え4717-1~8は紙縫一括)・1通	え4717-1
乍恐書付御慈悲奉願上候(上新井村利平など御答仰せ付けらるに付) 山本村浄玄寺・光明寺・龍笠寺・観音寺・宗林寺→竹佐御役所	嘉永5子年4月	折紙/(え5095-1~17は巻込一括)・1通	え5095-4
(巳7月18日村出立、21日江戸表御奉行所安藤対馬守殿へ御届け仕るに付) 南野呂村神主厚矢伊勢助	安政4巳年7月18日	折紙・1通	え5095-1
(大英寺住職新井大慧への用立金より金受取り関係一括)		旧封筒一括/(え5179-1~2は旧封筒一括)	え5179
記(本年11月中金100円用達金の内より金32円62銭5厘元利ともに受取に付) 大英寺住職新井大慧(印)→増田徳左衛門殿	明治7年12月4日	縦紙/青色罫紙(17行)・1通	え5179-1
記(本年5月中金100円用立金の内より金53円75銭元利ともに受取に付) 大英寺住職新井大慧(印)→増田徳左衛門殿	戊10月20日	縦紙/青色罫紙(16行)・1通	え5179-2
(寺院規則、俗典・地理ほかの書および武具を寮中に置くべからず、腰刀等蓄える者は寺院放逐に付ほか)		縦紙/(え4717-1~8は紙縫一括)・1通	え4717-4
(御本社・拝殿建立日等書付、「御本社御建立 享保二十卯年」ほか)		横切紙/(え4723-1~11は紙縫一括)・1通	え4723-3
(書状、常徳院からの書通入掌に付ほか) * (書状上書)「貴酬 尼巖山野衲」 尼巖山野衲	正月22日	横切継紙・1通	え4729-7
(書状、常徳院の方へ当寺よりも慥かな人物が懸合向をするように、並びに手元書類を一見したいと惣代共が申し越すに付) * (書状上書)「伊勢町様 尼巖山より」 尼巖山より→伊勢町様	正月12日	横切継紙・1通	え4729-8
(書状、御同道にて8ツ時頃より御来遊下されたならば幸甚、余は拝顔申上ぐべきに付) * (書状上書)「書鳩様 功德山主拜」 功德山主拜→書鳩様(八田嘉右衛門)	5月24日	横切紙/(え4744-1~5は括紐一括)/(え4744-1-1~30は巻込一括)・1通	え4744-1-21
正一位稻荷大明神御安鎮幣料定式 * 木活字/え4748-3と同じ 本官正官羽倉撰津守神役人		折紙/(え4748-1~67は一綴)・1通	え4748-2
正一位稻荷大明神御安鎮幣料定式 * 木活字/え4748-2と同じ 本官正官羽倉撰津守神役人		折紙・1通	え4748-3
(篤丸大漸院において善観25廻忌追善のため三拝物稽古仕るに付)		横切継紙・1通	え4748-4
(書状、御世話成し下され御礼申すに付、私死後は此品おちか殿へあげ申したきに付) 智性→孫さへもん殿・おちか殿・(八田)嘉右衛門殿人々	申ノ正月29日	横切継紙・1通	え4748-53
(包紙) * (包紙上書)「智性様より御預り申置候跡附之鍵一ツ 寛政十二申四月十一日」		包紙/(え4835-2~3は包紙一括)・1点	え4835-1

(書状、嘉右衛門御留守にて御朱印入箱に願上げ仰せ付けられた書付奉書などお預かりお頼みに付) * (表書)「孫左衛門殿 智性」		横切継紙・1通	え4835-2
(鍵) * (包紙上書)「かぎ」/(付札)「跡附かぎ」		鍵/(包紙共)・1点	え4835-3
覚(菩提寺建立のため私共月懸出銭仕る分御預り下され、御印形帳私共集番にて紛失仕り見出し次第御引替下されたきに付) 集番 中町喜代松(印)・同町新兵衛(印)→菊屋傳兵衛殿	申3月晦日	縦紙・1通	え4921

1.24.11. 諏訪宮

(包紙) * (包紙上書)「祝神社宮諏方宮御普請皆出来且亦御鳥居是迄建地礎より引込候而建候付菅沼九左衛門殿迄紙面差出控 知蔵」		包紙・1点	え5002-1
覚(鉄釘などの代金慥かに受取に付) 伊勢屋彦七(印)→御役所様	申12月	縦紙/(え5002-2~8は包紙一括)・1通	え5002-2
諏方宮御本社御屋根一連調査	文化10年酉7月	横切継紙・1通	え5002-3
口上覚(天真院様内掛仰せつけられた諏訪社再建、絵図面の通り本社・幣殿・拝殿・鳥居出来に付届) * (端裏書)「皆出来御届 控」 八田嘉右衛門→菅沼九左衛門様	9月24日	横切継紙・1通	え5002-4
口上覚(諏方宮再建皆出来御届別紙の通り申し上げ、然処、門・外圍破壊に及び、地形不陸なども相見えに付申上) * (端裏書)「別紙 控」 八田嘉右衛門→菅沼九左衛門様	9月24日	横切紙・1通	え5002-5
口上覚(諏方宮鳥居再建の儀、前々の場所は家際に火災等の節防ぐことも出来兼ねるに付、雛形朱引の通り礎相決めたきに付) 一 →菅沼九左衛門様	8月	横切紙・1通	え5002-6
覚(訪諏宮御屋根銅板代江戸表に差出のところ、今日慥かに預かり置くに付相伺い取斗申すべきに付) 関田庄助(印)→八田嘉右衛門殿	文化10年酉7月2日	横切継紙・1通	え5002-8
(書状、御祈祷の御玉会並びに一種進覧致し神前において御武運長久如意御安全丹誠を抽すに付) * (包紙上書)「八田慎右衛門様人々御中 諏方宮擬祝 諏方宮擬祝定(花押)」	11月吉日	折紙/(え4712-1~26は紙繕一括)・1通	え4712-15
口上覚(諏訪宮御再建の費用の助成とするため社内にて狂言興行の計画に付) * (包紙上書)「口上覚 八田嘉右衛門」 八田嘉右衛門	6月	横長半/(え4742-1~13は紙繕一括)/(包紙共)・1冊	え4742-11
(包紙) * (包紙上書)「諏訪宮御門棟札」/(包紙裏書)「追而認替差上度奉存候尤式枚相認御控置可被下候 庚寅五月八日 練光寺 八田嘉右衛門様」		包紙/(え4791-2~4は包紙一括)・1点	え4791-1
(諏訪宮再建造立御門棟札写)		縦紙・1通	え4791-2
(諏訪宮再建造立御門棟札写)		縦切紙・1通	え4791-3
(再建祝神社諏訪御門成成就棟札写)		縦切紙・1通	え4791-4

1.24.12. 願行寺

(家断絶後引き分れの者の宗旨寺は他に定めた後も以前の菩提寺を以て御訴訟願い来る節は以前の通り取り計らうべきか御尋ねに付) * (端裏)「長国寺・大林寺右御渡し」 願行寺→長井四郎右衛門様・師岡十郎右衛門様	10月朔日	縦紙/(え4747-1~16は巻込一括)・1通	え4747-10
覚(燈明料金5両2步落掌に付) 願行寺(印)→八田孫左衛門様・八田喜右衛門様	子12月	横切紙/(え4748-1~67は一綴)・1通	え4748-60
覚(御念仏料1ヶ年分八田氏より御寄進、金30両小判受納に付) * (包紙上書)「先年御寄懐ニ付願行寺念仏堂此方より御建被置念仏興行有之候処追年内証向相衰其上念仏堂断も無之量被取候付右念仏回向料遣不申候由後來為心得此紙面残置候事 知義」 願行寺(印)光賢坊	寅ノ12月3日	堅切紙/(包紙共)・1通	え4836
(願行寺関係文書一括)		綴/(え4881-1~3は一綴)・1綴	え4881
願行寺江金拾両寄附後証覚(文正文4巳年11月証書到来)		縦紙・1通	え4881-1
後証覚(当寺本堂再建入料の内並びに念仏堂仏壇再興料として御寄附金10両下されるに付) 願行寺(印)十三世大定(花押)→八田嘉右衛門殿	文化13子年10月	横切紙・1通	え4881-2
(書状、先年金子御喜捨に付印証御惠贈下され落手、法要、田中へ御誘引の御使い下され忝きに付) * (書状上書)「八田嘉右衛門様 貴報 願行寺」 願行寺→八田嘉右衛門	11月4日	横切継紙・1通	え4881-3

1.24.13. 本誓寺

口上覚(両角弥惣兵衛妻死去仕る処家断絶に付、伊勢町又次郎仕取仕舞宮む処、又次郎勝手不如意に付施主願う旨) 願主伊せ町又二郎印・両角与惣兵衛親類光村三郎右衛門印・御藤弥吉印→本誓寺様	月日	横切紙/(え4748-1~67は一綴)・1通	え4748-17
(前書の通り又二郎義私共へ申し聞けず不埒に存じ、当人願いの通り御訴訟成し下さるに付) * 4748-17の追而書		小切紙・1通	え4748-18
口上覚(私妹幾義死去仕る処、両角与惣兵衛家断絶に付、私旦那寺証連寺様御取置願う筋違誤り奉り、御旦那本誓寺様へ御訴訟仰せ立てられ下さるべき旨) 伊せ町又二郎・同人親類藤兵衛→富岡庄七殿	月日	横切紙・1通	え4748-19
(書状、両角与惣兵衛妻伊勢町又二郎妹死去致し、取置き義間違いの筋貴様御取懸り下さる所行届き済み難く佐藤軍治殿内済に付)		横切継紙・1通	え4748-20

1.24.14. 長国寺

(包紙) * (包紙上書)「天保十一子六月十四日東條村持山立木一本長国寺江奉納御挨拶御口上書入」	天保11年	包紙/(え4712-1~26は紙縫一括)/(え4712-6-2~3は包紙一括)・1点	え4712-6-1
(書状、場所案内のため御家来此者同道下さるに付) * (書状上書)「八田嘉右衛門様当用 長国寺納所」 長国寺納所→八田嘉右衛門様当用	6月14日	横切紙・1通	え4712-6-2

使僧口上書取(当寺欄間用槻板不足にて差支に付東條村御持山の槻名木1本御寄進成し下され忝きに付) 長国寺	6月14日	横切紙・1通	え4712-6-3
---	-------	--------	-----------

1.25. 家財

1.25.1. 武具

一札之事(私が捨て、其許御子息が御拾い成される脇差1腰を、此方へ申し請けるに付) 牧内村捨主甚右衛門(印)・証人柴□三太夫(印)・同断弥平治(印)→市兵衛殿	享保12年未10月28日	豎紙・1通	え5172
(包紙) * (包紙上書)「文化五戊辰五月十三日 金四両具足調手形 高田孝七殿」 →高田孝七殿	文化5戊辰5月13日	包紙/(え5045-2~3は包紙一括)・1点	え5045-1
覚(具足代4両、東高尾村才右衛門持ち等の品御世話申し売上の処、代金儘かに請取に付) 高田孝七(印)→八田嘉右衛門殿	文化5辰年5月	横切紙・1通	え5045-2
書状(具足、向方より4両にては迷惑だが何分差上申すべき旨申し聞くに付) * (書状上書)「八田嘉右衛門様 高田孝七」 高田孝七→八田嘉右衛門様	5月13日	横切紙・1通	え5045-3
覚(鉄代金1両3朱・銀12匁5分などメ金3両・銀561匁1分・錢19貫94文、鉄砲修復の金子請取に付一札) * (包紙上書)「文化七庚午四月十日鉄砲代金相渡印文 覚 鏡屋町嘉藤太」 鏡屋町嘉藤太(印)→八田嘉右衛門様御内	文化7午年4月	豎紙・1通	え4810
(是介二字銘之刀逐一覧申処、備前国乾元頃之作ニ而正真に付) * (包紙上書)「嘉永三戊辰十一月備前国是介刀之副状」 御差掛本阿弥喜三二忠恕→八田嘉助様人々御中	嘉永3年霜月朔日	折紙/(包紙2点共)・1通	え5040
刀拵注文書(切羽・柄糸・鞘等、金2両1分2朱余)		横切紙/(え4725-1~14は紙縫一括)/(え4725-13-1~111は紙縫一括)・1通	え4725-13-2
覚(目貫大小両龍彫手間代金6両2分ほか請求書) * (書状上書)「上」 彫物師三吉→上		横切紙/(え4728-1~6は紙縫一括)/(え4728-5-1~7は紙縫一括)・1通	え4728-5-5
(両龍御目貫下絵) * (包紙上書)「両龍御目貫下絵」		小切紙/(包紙共)・4通	え4728-5-7
覚(西6月9日銀小柄・小刀・茶入れなど諸品値段、御控と引き合わせ下さるに付) 堀内五十治(印)→八田嘉右衛門殿	丑12月	横切紙・1通	え4732-9
(書状、拝見の御鑿何分にも拝見相願いたきに付) * (上書)「慎蔵様 申上候 亀作」 亀作→(八田)慎蔵様		横切紙/(え4738-1~33は巻込一括)・1通	え4738-4
覚(無銘大小・助広脇差、売渡し代金17両受取るに付) 佐久間常左衛門(印)→菊屋卯兵衛殿	辰2月晦日	豎紙・1通	え4918

1.25.2. 諸道具・書画ほか

覚(染付花入1本払物に付御世話代金2両2歩受取に付) 神戸忠兵衛(印)→菊屋傳兵衛殿	天保2年9月	豎紙・1通	え4887
--	--------	-------	-------

1. 内方/1.25. 家財/1.25.2. 諸道具・書画ほか

(書状、今度旦那方にて檀白新規申し付けられるも置き場所問い合わせに付)	5月15日	横切紙/(え4718-1~22は紙縫一括)・1通	え4718-4
伊勢町注文(針箱・鏡台・耳盤ほか12品目書上)		横切紙/(え4728-1~6は紙縫一括)/(え4728-2-1~6は一綴)・1通	え4728-2-1
(メ金5両1朱479文金額書付)		切継紙・1通	え4728-2-2
(傘25匁ほか3品目代金書付)		横切紙・1通	え4728-2-3
覚(小倉山百人一首かるた代金ほかメ金2歩3朱258文等請取に付) いつみや市兵衛(印)→上	10月19日	横切紙・1通	え4728-2-4
覚(8寸・6寸などの品物代金受取書、代金メ1両2分) 沢村和助(印「飯倉町六丁目澤和」)→上	10月14日	横切継紙・1通	え4728-2-5
覚(木地箱4点代金メ1両3分2朱16文請取書) いせや善次郎(印「飯倉町六丁目伊勢善」)→岡野様御取次衆中様	10月14日	横切継紙・1通	え4728-2-6
(書状、代料1両3分の硯箱をご覧の上、買入を検討いただきたきに付) 大猷町より→伊勢町様		横切継紙/(え4729-1~19は紙縫一括)・1通	え4729-2
(書状、昨夜相願う法帖拝借成し下され有難き所、3帖の内3表の稿帖1帖拝借ほか2帖返上仕るに付) *(表書)「慎蔵様御請 善治」 善治→(八田)慎蔵様	10月15日	横切継紙/(え4737-1~68は紙縫一括)・1通	え4737-8
(書状、戯鴻堂法帖14巻差し上げ奉るにより御照入成し下されるべきに付) *(表書)「慎蔵様 半蔵」	10月13日	横切継紙・1通	え4737-13
(書状、御注文の富士見13州絵図お手数ながら旦那様へ御届け成し下されるべきに付) 新八→佐助様	10月6日	横切継紙・1通	え4737-14
(書状、この節何れも珍説申し上げることも無き所、この本又借りするも御看過下されたきに付) *(表書)「いせ町様 小田」 小田→いせ町様	6日	横切紙・1通	え4737-15
(書状、法帖代金について青木殿にても余儀なき入用があるとのことにて御繰合願ひ奉るに付) *(表書)「慎蔵様 半蔵」 半蔵→(八田)慎蔵様	10日	横切紙・1通	え4737-18
口上(顔真卿法帖について何でも宜しきにより少々の間拝借願ひいたきに付) 善治→(八田)慎蔵様	10月14日	横切継紙・1通	え4737-47
口上(書物について御手数ながら後巻拝借したきににより御引替のこと御礼に付) 又右衛門	23日	横切紙・1通	え4737-49
(書状、御秘蔵の珍図有難きにより御落掌成し下されるべきに付) *(書状上書)「慎蔵様 喜兵衛」 (八田)喜兵衛→(八田)慎蔵様	7月8日	横切紙/(え4738-1~33は巻込一括)・1通	え4738-8
(書状、書画の表装に関する指示書) *(書状上書)「宮本様 慎蔵」 (八田)慎蔵→宮本様	28日	横切継紙/(え4739-1~33は紙縫一括)・1通	え4739-7
(包紙) *(包紙上書)「関田守之丞殿在府ニ付古筆鑑定相頼ニ付被相送候紙面入」		包紙/(え4742-1~13は紙縫一括)/(え4742-7-2~4は包紙一括)・1点	え4742-7-1

(小堀大膳正筆の短冊ほか2点を鑑定のため預かるに付)		横切紙・1通	え4742-7-2
(書状、掛物二幅返上、極め札と天伴よりの返事も差し上げるに付) * (書状上書)「守之丞様 書鳩」 書鳩(八田嘉右衛門)→(関田)守之丞様	6月9日	横切紙・1通	え4742-7-3
(極め札カ、長文の御一軸は中院大納言通純卿の正筆であるに付)		小切紙・1通	え4742-7-4
(書画・器物類の売却値段鑑定に付、具足・楠公御筆・芭蕉翁軸物等) * (包紙上書)「柿崎源左衛門方より預り置候品 訳柄内々委曲認置候」	未7月	堅切紙/(包紙共)・1通	え4742-8
(金森宗和の文・古田織部正重勝文共に正筆に付鑑定書) * (包紙上書)「了意様御手紙入」/倉田三郎左衛門より大日方蔵左衛門様宛書状包紙を再利用		横切紙/(包紙共)・1通	え4742-9
(書状、落款の字御尋ねに付)		横切紙/(え4750-1~47は一綴)・1通	え4750-10
(津ノ国芦屋コシキロ釜地雷紋の由緒書付)		横切紙・1通	え4750-11
(書状、先達て表装を仰せ付けられた海北友松、此方にて承り合うに付ほか) 宗寿→(八田)嘉右衛門様	10月7日	横切継紙・1通	え4750-12
(周徳の万宝全書書き抜き)		横切紙・1通	え4750-13
(海北友松の来歴)		横切紙・1通	え4750-14
(書状、額字太伯の書差し上げるに付) * (書状上書)「六瀬街様 下田町」 下田町→六瀬街様	3月初3日	横切継紙・1通	え4750-29
(書状、春中は推参仕り御奔走下され御礼申し上げるに付、及び尾州名古屋台嶺と申す画工拙家へ参られ貴境迄参り申したきに付) 倉沢七大夫→八田辰三郎様参人々御中	7月24日	横切継紙・1通	え4750-42
覚(大立物1幅手間代とも代金85匁5分などメ232匁5分請取に付) 大経師十左衛門(印)→坂部五郎左衛門様	申ノ10月19日(11月14日)	堅継紙・1通	え4808
(包紙) * (包紙上書)「鳩丸金具」		包紙/(え5017-2~4は包紙一括)・1点	え5017-1
(金具の絵図)		12.7×9.4・1鋪	え5017-2
(金具の絵図)		27×8.8・1鋪	え5017-3
(包紙) * (包紙上書)「御改状」		包紙/(え5017-4-2の包紙)・1点	え5017-4-1
(金具の絵図)		7.4×5.4・1鋪	え5017-4-2

1.25.3. 諸道具貸出

(書状、願い置いた御一軸拝借下されたきに付) * (書状上書)「伊勢町様 柴丁」	5月18日	横切継紙/(え4718-1~22は紙縫一括)・1通	え4718-5
覚(掛物・盆を受取るに付) 深谷寿一郎→八田嘉助様御使中	8月10日	横切紙/(え4727-1~23は括紐一括)/(え4727-20-1~10は巻込一括)・1通	え4727-20-8

1. 内方/1.25. 家財/1.25.3. 諸道具貸出

(書状断簡、「久々御左右も不相伺…」)		横切紙/(え4727-20-10-1~2は巻込一括)・1通	え4727-20-10-1
(書状、書画持参の件を頼み申すに付)		横切紙・1通	え4727-20-10-2
(書状、御弓張桃灯1張明日まで拝借願ひ奉るに付) * (表書)「慎蔵様 清右衛門 清右衛門→(八田)慎蔵様	9日	横切継紙/(え4737-1~68は紙縫一括)・1通	え4737-52
(書状、御宝物数多御拝借仕るも御書画帖何分この者へ御下げ渡し願ひ上げ奉るに付) * (書状上書)「慎蔵様机下 亀作」 亀作→(八田)慎蔵様机下	11日	横切紙・1通	え4737-62
(書状、結構の御品・御書物そのほか品々有難き所、返上仕るにより御照入なし下られるべきに付) * (書状上書)「慎蔵様机下 熊三郎」 (竹村)熊三郎→(八田)慎蔵様	12日	横切継紙/(え4738-1~33は巻込一括)・1通	え4738-1
(書状、御台子の儀もう少し小形を御内覧遊ばされたく、御借下さるべきに付) * (書状上書)「八田嘉助様 原権右衛門」 原権右衛門→八田嘉助様	正月20日	横切継紙/(え4772-1~2は旧封筒一括)/(え4772-1-1~50は一綴)・1通	え4772-1-2
(書状、御内用に付、小形風呂・釜返却致し御落手下されたきに付) * (書状上書)「八田嘉助様 原権右衛門」 原権右衛門→八田嘉助様	正月26日	横切継紙・1通	え4772-1-8
(書状、小形風呂釜の義御問合せ申す処、外に石州好みの台子1巻ある由仰せ聞けられ借用致す様御内沙汰あり此御人に御借下さるべきに付) * (書状上書)「八田嘉助様 原権右衛門」 原権右衛門→八田嘉助様	正月19日	横切継紙・1通	え4772-1-31
(書状、小さき風呂・釜寸法の処、拝見致したく一寸同人へ御借し下さるべきに付) * (書状上書)「八田嘉助様 原権右衛門」 原権右衛門→八田嘉助様	正月19日	横切紙・1通	え4772-1-37

1.26. 蔵書・読書

(経解140巻勢州神庫へ納、論語儀疏10巻開板の書付)		横切紙/(え4725-1~14は紙縫一括)/(え4725-11-1~7は紙縫一括)・1通	え4725-11-6
(勢州神庫奉納経解140巻60帙360冊・論語儀疏1巻開板との書付)		横切紙・1通	え4725-11-7
(書状、坤輿図識御用により返上に付未だ拝見仕り切らざるも差し上げ奉るにより御覧相済めばまた拝借願ひに付) 如□→義井大聖	20日	横切継紙/(え4738-1~33は巻込一括)・1通	え4738-5
(書状、内々願ひ奉る異国書翰和解御贈りなし下され有り難き所、本文の方御手にあれば御写頂戴仕りたきに付) (小林)唯蔵→(八田)慎蔵様	8月8日	横切継紙・1通	え4738-12
(書状、この程差し上げた環海書山田公より御催促あるにより御返却願ひ奉るに付) * (書状上書)「いせ町様 寺町」 寺町→いせ町様	8月末8日	横切紙・1通	え4738-25
兵要録巻之九澹齋長沼氏広教著(馳駆之術の内より表題並びに単騎無相証のみ書き抜き)		縦紙/黒色罫紙(20行)・1通	え5183

来暦(節気・雑節早見表) *(包紙上書)「来暦 鶯谷亭[蔵板]」		横切紙/(包紙共) ・1通	え5188
(寿命陀羅尼経、朝暮看経之次第)		折本・1冊	え5196
(書状、鎮将府日誌六についてはじめてにより閲覧したきによりもしあれば願い奉るに付) *(表書)「八田慎蔵様 山田兵衛」 山田兵衛→八田慎蔵様	9月12日	横切継紙/(え 4737-1~68は紙 縫一括)・1通	え4737-25
(書状、この程中御約束の日誌12冊差し上げに付) *(表書)「八田慎蔵様 矢野六蔵」 矢野六蔵→八田慎蔵様	7日	横切継紙・1通	え4737-29
(書状、長々拝借していた新聞誌返上に付) *(書状上書)「知道様 吉儀」 吉儀→(八田)知道様	5月17日	横切紙/(え 4739-1~33は紙 縫一括)・1通	え4739-10
内外新報 壺(第1号~第5号)	(慶応3年卯7月26日)~ 慶応4年3月27日	小堅帳(木版刷) ・1冊	特05
内外新報 貳(第6号~第10号)	慶應4年4月18日~4月 29日	小堅帳(木版刷) ・1冊	特06
内外新報 三(第11号~第15号)	慶応4年閏4月3日~閏4 月17日	小堅帳(木版刷) ・1冊	特07
内外新報 四(第16号~第20号)	慶応4年閏4月18日~閏 4月(25日)	小堅帳(木版刷) ・1冊	特08
内外新報 五(第21号~第25号)	慶応4年閏4月24日~閏 4月27日	小堅帳(木版刷) ・1冊	特09
内外新報 六(第26号~第30号)	慶応4年閏4月28日~5 月4日	小堅帳(木版刷) ・1冊	特10
内外新報 七(第31号~第35号)	慶応4年5月2日~5月9 日	小堅帳(木版刷) ・1冊	特11
内外新報 八(第36号~第40号)	慶応4年5月12日~5月 15日	小堅帳(木版刷) ・1冊	特12
内外新報 九(第41号~第45号)	慶応4年5月19日~5月 23日	小堅帳(木版刷) ・1冊	特13
内外新報 十(第46号・第47号)	慶応4年5月25日	小堅帳(木版刷) ・1冊	特14
読売新聞附録(明治13年から明治14年に掲出された広告掲載の紙面)	(明治14年)1月23日	印刷物(活版)・ 1通	え5052
江湖新報第四十九號 編輯兼印刷長大久保常吉・社務総理服部誠一、東京京橋区南金六町六番地四通社	明治14年4月14日発兌	印刷物(活版)/ (え4775-1~11 は旧封筒一括)・ 1冊	え4775-1
江湖新報第五十號 編輯兼印刷長大久保常吉・社務総理服部誠一、東京京橋区南金六町六番地四通社	明治14年4月17日発兌	印刷物(活版)・ 1冊	え4775-2
江湖新報第五十一號 編輯兼印刷長大久保常吉・社務総理服部誠一、東京京橋区南金六町六番地四通社	明治14年4月20日発兌	印刷物(活版)・ 1冊	え4775-3
江湖新報第五十二號 編輯兼印刷長大久保常吉・社務総理服部誠一、東京京橋区南金六町六番地四通社	明治14年4月23日発兌	印刷物(活版)・ 1冊	え4775-4
江湖新報第五十三號 編輯兼印刷長大久保常吉・社務総理服部誠一、東京京橋区南金六町六番地四通社	明治14年4月26日発兌	印刷物(活版)・ 1冊	え4775-5
江湖新報第五十四號 編輯兼印刷長大久保常吉・社務総理服部誠一、東京京橋区南金六町六番地四通社	明治14年4月29日発兌	印刷物(活版)・ 1冊	え4775-6

1. 内方/1.26. 蔵書・読書

江湖新報第五十五號 編輯兼印刷長大久保常吉・社務総理服部誠一、東京京橋区南金六町六番地四通社	明治14年5月2日発兌	印刷物(活版)・1冊	え4775-7
江湖新報第五十七號 編輯兼印刷長大久保常吉・社務総理服部誠一、東京京橋区南金六町六番地四通社	明治14年5月8日発兌	印刷物(活版)・1冊	え4775-8
江湖新報第五十八號 編輯兼印刷長大久保常吉・社務総理服部誠一、東京京橋区南金六町六番地四通社	明治14年5月11日発兌	印刷物(活版)・1冊	え4775-9
江湖新報第五十九號 編輯兼印刷長大久保常吉・社務総理服部誠一、東京京橋区南金六町六番地四通社	明治14年5月14日発兌	印刷物(活版)・1冊	え4775-10
江湖新報第六十號 編輯兼印刷長大久保常吉・社務総理服部誠一、東京京橋区南金六町六番地四通社	明治14年5月17日発兌	印刷物(活版)・1冊	え4775-11
(書状、御話申し上げた新聞100号より私もしかとみることも無きに付) * (書状上書)「伊勢町様御答 久蔵」久蔵→伊勢町様	26日	横切継紙/(え4737-1~68は紙繕一括)・1通	え4737-21

1.27. 見聞・風説書

(包紙) * (包紙上書)「天明八申正月晦日京都大火内裏炎上其外洛中焼失絵図 一枚入」	天明8年	包紙/(え4924-2~3は包紙一括)・1点	え4924-1
京都出火之聞書		折紙・1通	え4924-2
天明八申年正月晦日出火洛中焼失之絵図	天明8申年正月晦日	64.2×43.4・1鋪(木版刷)	え4924-3
(袋) * (袋上書)「文化三寅三月四日江戸表火災書立有増書付入」	文化3年	袋/(え4935-2~4は袋一括)・1点	え4935-1
(昨4日四ツ時過、高輪石橋湯屋の材木を置く明屋より出火など火災の状況知る次第書付)	3月5日八ツ時過	横長半・1冊	え4935-2
(当4日四半時頃芝高輪より出火の火災について焼失地あらましなど箇条書き)		横長半・1冊	え4935-3
文化三寅三月江戸大火之事 * 写	文化3寅年3月15日	横長半・1冊	え4935-4
(包紙) * (包紙上書)「松代いせ町二而八田嘉右衛門様無別条竹山重五郎」/(包紙裏書)「從江戸芝西之久保」		包紙/(え4718-1~22は紙繕一括)/(え4718-22-2~3は包紙一括)・1点	え4718-22-1
(文政3年春本所回向院境内角力勝負付)	文政3年	綴・1綴	え4718-22-2
(書状、当春角力6日目限りにて仕舞い6日迄の勝負付差し上げ申すに付) 竹山重五郎→八田旦那様貴下	5月12日	横切継紙・1通	え4718-22-3
十一月十二日越後長岡大地震(松代周辺及び越後三条被害状況書上)	(文政11年)	横切紙/(え4716-1~8は紙繕一括)/(え4716-8-1~8は紙繕一括)・1通	え4716-8-2
(書状、出立の際に品々頂戴したことの御礼並びに京都の形勢を伺うに付) * (端裏書)「元治元年甲子歳四月京師へ遣候手紙」 八田慎蔵知道(花押)→佐久間修理様侍史	元治元年4月20日	横切紙/(え4725-1~14は紙繕一括)/(え4725-4-1~3紙繕一括)・1通	え4725-4-2

(書状、先達で立田へ廻した伊豆七島国並びに諸家御届達を内密にお送り下されたき願に付)		横切継紙/(え4738-1~33は巻込一括)・1通	え4738-29
(書状、①地所の代価、②早魃、③先達で飯田大横町まで類焼に付) * (表書)「追啓高嶋村赤岩君 いよた吉治拜」		横切継紙/(え5095-1~17は巻込一括)・1通	え5095-6
羽州村山郡徒党之義ニ付御届	酉7月	横切継紙/(え4748-1~67は一綴)・1通	え4748-37
(包紙) * (包紙表書)「松代和合院様 岩村田犬井喜間太 神津完蔵 貴答要用書 正月十六日発」		包紙/(え4719-1~23は括紐一括)/(え4719-14-2~3は包紙一括)・1点	え4719-14-1
(書状、「二白」家中も二つに割れ小子とも両人は永暇願する覚悟に付) 神津完蔵・犬井喜間太→和合院様参人々御中	正月16日	横切継紙・1通	え4719-14-2
二啓(日々の悪法にて近き内に乱を起こすならんと察するに付)		横切紙・1通	え4719-14-3
(無宿清七、飛驒高山より浅草万福寺前陽助店伝兵衛方へ隠売女売遣わすにより礫に付申渡書) * 写	卯2月	横切継紙/(え4732-1~21は紙縫一括)・1通	え4732-10
(書状追伸、3月に伝説会を開催、両宮御神宝・諸宗名物等が会するに付)		横切紙/(え4739-1~33は紙縫一括)・1通	え4739-25
稲葉美濃守様御渡し候書付右目付瀧川播磨守様より御回状之写(禁裏へ御貢献のため山城国領分知行上地仰せ出られるに付)	(明治初年)8月	縦紙・1通	え4838
(捨訴状カ、松代藩の者不屈きの次第致し東京よりの弾正台を村々一同申し合わせ打殺すなど風聞あり早く御返り成さるべきに付) * (稚拙な仮名書き) 松代しはい村々中・宿々中・当町→たん正さん	(明治初年)12月19日夜かく	縦紙/(え4712-1~26は紙縫一括)・1通	え4712-11
(捨訴状カ、昨晚書面差出申す儀いろいろ申し上げたくも筆に書く事できずに付) * (稚拙な仮名書き) 松代しはい山中二而犬かい村吉右衛門・仁左衛門、つましなしてん徳太郎外三人→たん正様	(明治初年)12月19日夜	縦紙・1通	え4712-13
第二回内国勸業博覧会案内図 東京神田万世橋内國文社		29.5×41.0・1鋪	え4962
(付箋、「越州浜見物書類」)		小切紙/(え4725-1~14は紙縫一括)・1通	え4725-14

1.28. 外交・軍事情報

(イギリス船浦賀来航時安房・武蔵・相模・伊豆・大島航路図) * マリナー号カ	(嘉永2己酉年カ)閏4月8日~17日	37.0×65.8/(虫損)/(え5105-1~3は旧封筒一括)・1鋪	え5105-1
(安房・武蔵・相模・伊豆・大島里程図)		37.0×67.0/(虫損)・1鋪	え5105-2

1. 内方/1.28. 外交・軍事情報

(江戸・松輪・大津・三崎・大津ほか御番所・御陣屋・御台場 里程図)		37.2×53.7/(虫 損)/(え5105- 3-1~2は巻込一 括)・1鋪	え5105-3-1
(三浦半島周辺地里程・浅深書込道程図)		37.0×53.8/(虫 損甚大)・1鋪	え5105-3-2
(書状、浦賀辺御固場絵図面御手元であれば何分ちよつ と拝借願ひ奉りたきに付) * (書状上書)「いセ町様 寺 町」 寺町→いセ町様	7日	横切紙/(え 4738-1~33は巻 込一括)・1通	え4738-9
千駄ヶ崎之図(大筒の記載あり、湘南海岸)		33.5×55.5・1鋪	え4872
(海防図、江戸湾南半分の沿岸を描く、井伊家・松平下総守 家などの陣屋や台場のほか、陸路・海路の距離を記載)	(弘化~嘉永年間)	36.7×51.8・1鋪	え5010
房相海岸炮台図(房総・相模の海岸警衛関係絵図)		54.7×39.1・1鋪	え5170
応接警衛之記(横浜における異人応接に関する日記、2月6 日~20日)		横長半/(虫損甚 大)・1冊	え5049
御固大名御役人附(亜墨利加船並びに海上警固に付、木 版絵図)		62.9×40.6/(虫 損)・1鋪	え5107
(書状、先達て御城御焼失の趣恐れ入るも引き続き異船 渡来の騒動御地においても御混雑に付) * 後欠		横切継紙/(え 4738-1~33は巻 込一括)・1通	え4738-13
亜国江別船ニ而被超候姓名(咸臨丸並びにポーハタン号 へ乗り込みアメリカへ出帆の人名書付)		綴・1綴	え5181
(下関・長崎へ異船渡来に付、京都井筒屋町鈴屋にて見分 聞き書き写し)	文久3亥7月7日	半・1冊	え4814
(書状、京都の騒擾より引き続き東国の方向かと騒がし き所、偽勅により上武の騒動佐久郡へも押入るに付) (八田)慎蔵→(関田)莊助様	4月15日	横切継紙/(え 4737-1~68は紙 縫一括)・1通	え4737-12
(9月29日に北陸道監軍藤村四郎殿が当表へ着に関する 情報、附属の者達の名簿共)		横切継紙/(え 4725-1~14は 紙縫一括)/(え 4725-13-1~11は 紙縫一括)/(え 4725-13-10-1~2 は巻込一括)・1通	え4725-13- 10-1
(書状、徳川亀之助脱走軍艦3艘等の兵隊4000人程が箱館 松前へ上陸し、御総督様をはじめとする官軍と交戦し たことを松前表より報知に付)	(明治元年)11月	横切紙・1通	え4725-13- 11
今般御尋之義付兵政局一同申上(今般大参事初御処置 振り御藩情と大いに相違に付など)		綴・1綴	え5136

1.29. 諸情報

(杭瀬下宮坂宇兵衛ほか人名4名書上)		小切紙/(え 4712-1~26は紙 縫一括)・1通	え4712-21
(水野備中守ほか長寿者名・年齢書上)		横切紙/(え 4748-1~67は一 綴)・1通	え4748-11

(中之条御支配和子村小平又兵衛ほか村名・人名書上)	横切紙・1通	え4748-34
(八重原村黒沢嘉兵衛・黒沢小十郎ほか町・村名人名書上)	横切紙・1通	え4748-52
(八幡・塩名・田増助郷、家数など覚書)	縦紙・1通	え5041

1.30. 文化的活動

1.30.1. 武芸・文芸

(釈尊が阿私仙人と山に入って、人を食う鬼と出会った逸話や道歌の書付)	横切紙・折紙/ (2紙に連続して書かれる)/ (え4724-1~34は紙縫一括)・1通	え4724-34
(某随筆と和歌の写、「素にめてし なにはのうめも はる 過て なつかしきかに 匂ふかのはな」)	縦紙/(え4727-1~23は括紐一括)・1通	え4727-9
(紀行文の写し、「古織より角田河見物の時ニ歌ニもよみたる由文をおくられける物ト申に…」)	縦紙・1通	え4727-19
(漢詩、「執轡遅々筑水辺…」)	横切紙/(え4741-1~54は紙縫一括、内側から子番号付与)・1通	え4741-52
(書状、①過時相伺った御至情の趣見合わせ居るよう申置き、吉兵衛を以て申し上げ宜しいか御様子相伺いたき、②易術に付、③講武の方も近来2,3人ずつ入門等に付) * (書状上書)「八田君御下 神澄拜上」 神澄拜上→八田君御下	閏9月19日 横切継紙/(え4744-1~5は括紐一括)・1通	え4744-4
(和歌詠草、詞書「於恣水園に清水による秋のもの」)	縦紙/(え4747-1~16は巻込一括)・1通	え4747-9
(立役の部・角かつらの部など書上)	横切継紙/(え4748-1~67は一綴)・1通	え4748-25
(漢詩、「和了一章黒甜確房…」)	折紙・1通	え4748-38
(川柳詠草、「山人のやたら踏出ス清水かな」ほか)	折紙・1通<2枚>	え4748-47
(漢詩、「伯顔」庚嶺梅)	横切継紙/(え4750-1~47は一綴)・1通	え4750-5

1.30.2. 茶の湯

(床・棚卓・下座鋪・茶場の釜・風炉・水差など諸道具書上)	横切継紙/(え4718-1~22は紙縫一括)・1通	え4718-2
(刷物「大乃月旬毎入レて…」、茶器の彩色絵入り)	横切紙/(え4729-1~19は紙縫一括)・1通	え4729-9
(利休居士の図製をもって写机台図)	24.9×63.1/(え4734-1~16は紙縫一括)・1鋪	え4734-2

1. 内方/1.30. 文化的活動/1.30.2. 茶の湯

(葉形生かほか会席献立書上)		横切継紙/(え4750-1~47は一綴)・1通	え4750-6
戌十一月十六日御献立 *(端裏書)「文政九戌十一月十六日飯山千両無尽之会合ニ付献立(以下略)」	文政9年	横切継紙・1通	え4750-7
(千枝朽茶杓、銘神風)		横切継紙・1通	え4750-9
(書状、御到来の茶盃御見せ下され忝く、ひしきが目立ち残念に存じ返上仕るに付) *(書状上書)「伊勢町様 紙町」 紙町→伊勢町様	4日	横切紙・1通	え4750-15
(書状、例の時節に付、御茶入りも記しの通り、精細黙祝の上、御落掌下さるべきに付) 河村宗順甫(花押)→大澤[]坐右	8月23日	折紙・1通	え4750-18
十月廿五日献立		横切継紙・1通	え4750-19
(書状、新装の御茶碗御投恵下され御礼に付) *(書状上書)「嘉右衛門様 主税」 主税→(八田)嘉右衛門様	季夏27日	横切継紙・1通	え4750-20
(書状、宗甫から政房の系図、古書より見出し申すに付、差し上げる旨) 鉄之輔→茂一郎様		横切紙・1通	え4750-22
(白魚ほか会席献立書上)		横切継紙・1通	え4750-23
(書状、初座入釜の蓋は閉め置くなど5ヶ条の茶道心得につき) 六十郎→(八田)嘉右衛門様	10月10日	横切継紙・1通	え4750-24
(書状、御茶拝味辱く、種々御馳走に預かりながら沈酔失礼の段、御礼申し入れたきに付) 桐山拜→書鳩契丈(八田嘉右衛門)	8月9日	横切継紙・1通	え4750-25
(2月9日八田鉄之助茶会記)		折紙・1通	え4750-30
(正月24日沢勇記茶会記) *(端裏書)「正月廿四日沢勇記殿茶事」		横切継紙・1通	え4750-31
(会席才形島あちほか献立書上)		横切継紙・1通	え4750-32
(書状、7日の御茶筵矢沢故障出来にて同道し難きに付、代り木村子申し談じ同伴致したき段御承知下さるべきに付) *(書状上書)「書鳩契丈 桐山」 桐山→書鳩契丈(八田嘉右衛門)	2月4日	横切紙・1通	え4750-33
神無月十三日口切茶之湯		横切紙・1通	え4750-35
神無月十三日口切		横切継紙・1通	え4750-36
正月九日湧泉亭茶		横切継紙・1通	え4750-37
申春年始茶事		横切継紙・1通	え4750-38
(会席山葵和ほか献立書上)		横切紙・1通	え4750-39
(利休形桑釣瓶煙草盆ほか茶器書上)		横切継紙・1通	え4750-40
(10月茶会、10月16日八田嘉右衛門茶の懸物・花筒書上)		横切継紙・1通	え4750-41
(2月7日鈴木弥左衛門殿囲にて出張大沢宗寿茶事次第)		横切継紙・1通	え4789
覚(包メ4ツ代6匁4文受取に付、領収書) 名古や久次郎(印)→上	9月27日	横切紙/(え4950-1~3は一綴)・1通	え4950-1

覚(飛驒湯桶1ツ代25匁他ノ75匁8歩受取に付、領収書) 山本嘉兵衛・傳兵衛(印)「現金売上江戸日本橋通二丁目御茶師山本嘉兵衛諸国御茶所」→片岡源左衛門様	9月28日	横切継紙・1通	え4950-2
覚(献上形蛤香合1ツ代4匁3歩他ノ19匁1歩受取に付、領収書) 山本嘉兵衛・傳兵衛(印)「現金売上江戸日本橋通二丁目御茶師山本嘉兵衛諸国御茶所」→片岡源左衛門様	8月15日	横切紙・1通	え4950-3
(八田嘉右衛門様御茶料亥年分金3分ほかノ3両3分、年内中に江戸御屋敷松林太泉様へ御差出下されたきに付) 河村宗順	寅8月21日	縦紙・1通	え4983

1.30.3. 学芸

(冒頭、「御持やしきへ清水涌出たるは…」) * (包紙上書) 「祝 一章 素弓」 素弓(花押)		横切紙/(え4717-1~8は紙縫一括)・1通	え4717-5
(包紙) * (包紙上書)「勢州街大人御下 裏街老人拝 不及之答へ」		包紙/(え4719-1~23は括紐一括)/(え4719-13-2~3は包紙一括)・1点	え4719-13-1
龍雲口号(八田氏別蔵井養亭 和相山大人靈村作、神演佐国実謹題)		縦継紙・1通	え4719-13-2
(書状、禎祥の拙作御目に掛けるに付) * (表書)「勢州街大人御下 裏街老人拝」 裏街老人拝→勢州街大人御下	初夏4日	横切継紙・1通	え4719-13-3
(書状、皆神山別紙草稿罷りあるにより御加筆なし下されたく願ひ奉るに付) * (書状上書)「慎蔵様 喜兵衛」(八田)喜兵衛→(八田)慎蔵様	25日	横切紙/(え4738-1~33は巻込一括)・1通	え4738-24
(「神懲仏 神神懲」)		横切紙/(え4744-1~5は括紐一括)/(え4744-1-1~30は巻込一括)・1通	え4744-1-14
(十二支別故事書上)		縦紙/(え4748-1~67は一綴)・1通	え4748-39

1.30.4. 能

御竹内能組(巴・羽衣・阿漕ほか能演目・人名書上)		横切紙/(え4748-1~67は一綴)・1通	え4748-16
(竹生嶋・兼平など能・狂言興行番付書上ほか)		横切継紙・1通	え4748-31
(肴町常吉鼓免許譲渡関係書類一括)		封筒一括/(え5067-1~2は旧封筒一括)・1点	え5067
規定一札(肴町常吉所持の鼓御免許伊勢町伝兵衛方へ譲渡し申す所、代金は仲間中より積金5両常吉借用分伝兵衛引受けるに付) 肴町常吉・伊勢町傳兵衛・立入人三平→鼓行司衆中・御惣代衆中	天保12丑6月	縦紙・1通	え5067-1

1. 内方/1.30. 文化的活動/1.30.4. 能

乍恐以書付奉願上候(私御厚恩により御免許頂戴の鼓商売について勝手をもって御免許伊勢町伝兵衛方へ譲渡したきに付) 肴町常吉、(奥書)御□□や弥左衛門・忠左衛門→御役所		縦紙・1通	え5067-2
--	--	-------	---------

1.30.5. 柔術

(書状、窪田先生御老衰に付柔術御門弟御永帳共樋村幾三郎へ御附属に付) * (包紙上書)「窪田宗右衛門様御稽古御長帳樋村幾三郎方江御譲被成候付上村何右衛門殿より御案内手紙」/(本紙表書)「八田嘉右衛門様 上村何右衛門」	11月4日	横切紙綴/(え4712-1~26は紙綴一括)・1通	え4712-2
--	-------	---------------------------	---------

1.30.6. 手習

千字文四字経 * (奥書の一部)「八田於円娘」	天明3年癸卯冬臘	小縦帳・1冊	特3
四字経千文 * (奥書の一部)「八田甚五郎 時年十歳」	寛政7年卯冬初三日	小縦帳・1冊	特4
(手習い一括、「隸」弁」の文字などを記す)		横切紙/(え4727-1~23は括紐一括)・3通	え4727-4
(紅花墨・唐墨制など墨使用法に付)	丑7月	小切紙/(え4748-1~67は一綴)・1通	え4748-21

1.30.7. 占い

(易占い) 占者原田當厚(花押)(印)	文化元甲子仲秋吉日	縦紙/(え4809-1~3は旧封筒一括)/(え4809-2~3は巻込一括)・1通	え4809-2
(易占い) 井田龜學門人原田當厚(花押)(印)	文化元甲子仲秋	縦紙・1通	え4809-3
覚(占いの書付カ、「一、天靈厄解な行事」)	文化6年12月吉辰	横切紙/(え4727-1~23は括紐一括)/(え4727-22-1~23は巻込一括)・1通	え4727-22-18
(「吉上」「病悪」など方角による占い書付)		横切紙/(え4748-1~67は一綴)・1通	え4748-26
(延享元年納音(なっちゃん)占いによる出生死運書付)		横切紙・1通<2枚>	え4748-48
謹筮周易十八變 辛卯木性男一代考(易占い)		縦紙/(え4809-1~3は旧封筒一括)・1通	え4809-1

1.30.8. 俳句・和歌

(包紙) * (包紙上書)「伊勢町公 柴町拜」		包紙/(え4716-1~8は紙綴一括)/(え4716-2-2~3は包紙一括)・1点	え4716-2-1
(万葉集卷第16、恋夫君歌一首書付)		縦紙・1通	え4716-2-2
(万葉集卷第17、恋夫君歌一首書付手習い)		縦紙・1通	え4716-2-3

1. 内方/1.30. 文化的活動/1.30.8. 俳句・和歌

(和歌、「田大君の令嬰君の…」)*〔端裏書〕「当賀 梅庵拜 書梅庵拜		横切紙/(え 4716-8-1~8は紙 縫一括)・1通	え4716-8-1
(董安短歌短冊書付)		短冊/(え4743-1 ~12は紙縫一括) ・1通	え4743-3
(短歌短冊書付)		短冊・1通	え4743-4
(歌書「うみ越て山路も近し鹿の声…」[ほか) 恵湖	癸丑10月23日	横半半/綴じ穴 あり/(え4748-1 ~67は一綴)・1 通(4枚)	え4748-8
野章(「鶴四五羽野入真中や初日の出…」[ほか俳句書上)		横切紙・1通	え4748-9

1.30.9. 歴史

(包紙)*〔包紙上書〕「御証文写式通并景図写 雨宮半六」		包紙/(え4901-2 ~4は包紙一 括)・1点	え4901-1
雨宮景図写(系図写)*〔表書〕「景図写 雨宮半六 荷速(花 押)」		横切継紙・1点	え4901-2
(甲州台ヶ原郷350貫之など所宛行に付朱印状写)*〔表 書〕「東照神君様より頂戴御朱印之御証文写 壺通」 本田弥 八郎→雨宮午之介殿	天正10年午8月3日	横切紙・1通	え4901-3
(信州川中島合戦にての手柄により、甲州穴山郷にて300 石宛行に付朱印状写)*〔表書〕「武田信玄公より頂戴御朱 印之御証文写 壺通」 晴信(花押)・山惣三郎兵衛(花押)→ 雨宮掃部助とのへ	永禄4年9月	横切紙・1通	え4901-4
(包紙)*〔包紙上書〕「古印紙 二葉」		包紙/(え5000-2 ~3は包紙一括) ・1点	え5000-1
(小西行長印並びに伝来書付)		札・1点	え5000-2
(真田安房守昌幸印)		札・1点	え5000-3
(多胡碑碑文の写し)	天明3癸卯季秋	堅紙/緑色罫紙 (6行)/版心「括 塾蔵」/(え4747-1 ~16は巻込一括) ・1通	え4747-14
(元豊通宝・康熙通宝など41種の中国貨幣名称のみの書上)		折紙/(え4748-1 ~67は一綴)・1通	え4748-36

1.30.10. 佐久間家稽古所

(書状、稽古所入料の内金10両御渡し下され落手仕るに 付)*〔包紙上書〕「金拾両裏町稽古所入用遣し受取手形」/ (書状上書)「嘉右衛門様 総左衛門」	11月27日	横切継紙/(え 4715-1~16は紙 縫一括)・1通	え4715-9
(書状、佐久間方稽古所入料莫大の一方、御槍刀をもって 流儀再興は筆紙に尽し難きに付)*〔包紙上書〕「辰二月 佐久間家稽古所入料之内金三両金児公へ遣し手紙(以下略) /(書状上書)「嘉右衛門様要用 総左衛門」	2月晦日	横切継紙・1通	え4715-10

1. 内方/1.30. 文化的活動/1.30.10. 佐久間家稽古所

(書状、内々御預り金の外に払い方あり佐久間へも寺尾へも差し遣わし申し、私方手元不埒に付10両も御渡し下さるべきに付) * (端裏貼紙)「文化四卯三月金拾両佐久間家御稽古所入用ニ付金児公へ遣候手紙」* (書状上書)「嘉右衛門様 総左衛門」	12月25日	横切紙・1通	え4715-11
(書状、内々の一件入用の儀あるべき哉と金10両御渡し下さるべく落手に付) * (端裏貼紙)「金拾両金児公稽古所入用」/(書状上書)「嘉右衛門様 総左衛門」	10月14日	横切紙・1通	え4715-12
覚(佐久間氏へ時々切手を以て相渡す金27両ほか差引に付、残金の分去暮不足あり私方取り替わし相渡す申すに付) * (端裏貼紙)「文化四卯十二月佐久間家御稽古所入用渡方手形」 忠右衛門→(八田)嘉右衛門様	正月29日	横切継紙・1通	え4715-13
覚(金10両、此度稽古所入用の内受取に付) * (端裏書)「卯年金拾両金児公稽古所入用」 金児総左衛門(印)→八田嘉右衛門殿	文化4卯年10月2日	横切紙・1通	え4715-14
覚(メ金45両9分、うち稽古所入用料預け分5両9匁、御落手下さるべきに付) * (端裏貼紙)「金五両九匁佐久間家御稽古所入用渡手形」 忠右衛門→(八田)嘉右衛門様	12月23日	横切継紙・1通	え4715-15

1.30.11. その他

(書状、師匠の廟参次いでは立帰り申すべしと心懸け罷在ったところ、紀伊様御発駕、初の御入国遊ばせられる故、彼是延引仕るに付) * (包紙上書)「信州松代伊勢町八田嘉右衛門様参人々御中 哲堂平安 江戸駒込寓居より」 哲堂→八田嘉右衛門様参人々御中	5月28日	横切継紙/(え4719-1~23は括紐一括)・1通	え4719-16
(かなの散らし書き)		横切継紙・1通	え4719-18
(祥瑞香合ほか香合書上)		折紙/(え4750-1~47は一綴)・1通	え4750-26
後小松天皇御席之写(御薫物類略目録として菊花銭300文、千代松400文など御香品目書上の刷物) 御用御香具司京都姉小路寺町南鳩居堂久右衛門製		堅紙、印刷物(木版刷)・1通	え5011

1.31. 諸家交流

1.31.1. 音信

(書状、師岡氏にて割麦飯にて御咄合い致したく貴君御誘引申し呉れるに付) * (書状上書)「書鳩君 末長」 末長→書鳩君(八田嘉右衛門)	6月大尽	横切継紙/(え4718-1~22は紙縫一括)/(え4718-12-1~2は巻込一括)・1通	え4718-12-1
(二白、逮夜のため、魚類は止め申し遣わすべくに付)		横切紙・1通	え4718-12-2
(包紙) * (包紙上書)「八田嘉右衛門様 柄沢孝左衛門 品々添」		包紙/(え4719-1~23は括紐一括)/(え4719-23-2~3は包紙一括)・1点	え4719-23-1
(書状、仰せ付けられた品々別紙の通り御屋敷へ差出し) 槻窓→書鳩仁君侍右(八田嘉右衛門)	7月6日	横切継紙・1通	え4719-23-2
覚(反物・籠・烟草盆・薩摩あわもりなど品々書上)	7月6日	横切継紙・1通	え4719-23-3

(書状、東都久松町は飯田辺を遊行のち東武へ帰るとして来訪、久しぶりに対話の由に付) * (書状上書)「書鳩大君玉松下 梅兆拜」 梅兆拜→書鳩大君(八田嘉右衛門)		横切継紙/(え4729-1~19は紙縫一括)・1通	え4729-4
(この品を態と御目に懸けるに付書付)	12月27日	横切紙・1通	え4729-5
(書状、頼んでいた桜一紙をこの者に御渡し下されたきに付) * (書状上書)「一長倉雅士 松雪庵」 松雪庵→長倉雅士	11月23日	横切継紙・1通	え4729-6
(書状、印書落手に付) * (書状上書)「嘉右衛門様 玄道」 玄道→(八田)嘉右衛門様	12月24日	横切紙・1通	え4729-10
舌代(此一尾を差し上げに付) * (書状上書)「書鳩様 玄道」 玄道→書鳩様(八田嘉右衛門)		横切継紙・1通	え4729-11
(書状、御加恩の祝儀として鯖10進上に付) * (書状上書)「八田嘉右衛門様 徳田多膳」 徳田多膳→八田嘉右衛門様	12月29日	横切紙・1通	え4729-12
(書状、良斎よりの書状来るに付) * (書状上書)「嘉右衛門様□□(虫損) 玄道」 玄道→(八田)嘉右衛門様	12月27日	横切紙・1通	え4729-13
(書状、御知らせを受けてお悦びに伺うべきところ、泥途にて歩行難渋ゆえ伺えずに付) * (書状上書)「嘉右衛門様 縫殿進」 (平林)縫殿進→(八田)嘉右衛門様	12月29日	横切紙・1通	え4729-14
(書状、風邪が全快せず迷惑しているに付) * (書状上書)「書鳩君 篷月庵」 篷月庵→書鳩君(八田嘉右衛門)	12月22日	横切紙・1通	え4729-16
(書状、海胆一曲を献ずるに付) * (包紙上書)「八田嘉右衛門様 立田良斎」/(端裏書)「八田様」 (立田)良斎→(八田)嘉右衛門様	12月15日	横切継紙/(包紙共)・1通	え4729-18
(書状、横田参れば罷り越す委曲承り申すべきも明日帰るにより如何とも知れ兼ねるに付) * 後欠		横切紙/(え4734-1~16は紙縫一括)・1通	え4734-6
(書状、私も風邪をひき難渋仕る所、委細中川君相願ひ一兩日出立日延ばししたきに付) 五十司→(八田)慎蔵様	12月20日	横切継紙/(え4737-1~68は紙縫一括)・1通	え4737-11
(書状、御引越の御状申し上げる所、御目掛けたくも延引の段御仁恕仰せ上げ奉るに付) (八田)知道	16日	横切紙・1通	え4737-19
(書状、岡君御内意何れ一人前一酒一肴自分の望み次第に持参申すことに付) * 前欠/(書状上書)「義井賢兄 宜拜」 宜拜→義井賢兄	15日	横切継紙/(え4738-1~33は巻込一括)・1通	え4738-18
(書状、裏の石垣積出来により御暇であれば光来御覧なし下されるべきに付) * (書状上書)「義井君足下 賢拜」 賢拜→義井君足下	9日	横切紙・1通	え4738-22
(書状、来る晦日御惣容様御揃尊来なし下される様にしたく御繰り合わせ御光来待ち奉るに付) * (書状上書)「慎蔵様 五百人」 (徳田)五百人→(八田)慎蔵様	4月25日	横切紙・1通	え4738-23

1.31.2. 礼状

(包紙、書状封紙の転用) * (封紙上書)「松しろ 八田嘉右衛門様 工藤伝兵衛」	10日	包紙/(え4742-1~13は紙縫一括)/(え4742-12-2~3は包紙一括)・1点	え4742-12-1
--	-----	---	------------

1. 内方/1.31. 諸家交流/1.31.2. 礼状

(書状、先日参上した際にゆるゆる御馳走に相成った御礼) * (書状上書)「八田於中様 お梅様 くとぶ伝兵衛」 くとぶ伝兵衛→八田於中様、お梅様	9月10日	横切継紙・1通	え4742-12-2
(書状、先日参上した際にゆるゆる御馳走に相成った御礼、並びにお咄したかわらけをさし送るに付) 工藤国→八ツ田嘉右衛門様、嘉助様	9月10日	横切継紙・1通	え4742-12-3
(書状、過日7日御銘酒早々下され辱く存ずる等に付)	5月	横切紙/(え4744-1~5は括紐一括)/(え4744-1-1~30は巻込一括)/(え4744-1-7-1~2は巻込一括)・1通	え4744-1-7-2
(書状、過日7日御銘酒下され辱く存ずる等に付) * 下書	5月28日	横切紙・1通	え4744-1-18
(書状、過日7日は御銘酒いろいろ下され辱く存ずる等に付) * 下書		横切紙・1通	え4744-1-23
(書状、越海の名介授恵下され、御礼に付) * (書状上書)「書鳩契丈 桐山拜」 桐山拜→書鳩契丈(八田嘉右衛門)	7月4日	横切紙/(え4750-1~47は一綴)・1通	え4750-3
(書状、大保養仕るに付、御手重の御品拝頂仕り御礼申し上げる旨ほか) * (書状上書)「嘉助様 守之丞」 (関田) 守之丞→(八田) 嘉助様	水無月末の7日	横切継紙/(え4772-1~2は旧封筒一括)/(え4772-1-1~50は一綴)・1通	え4772-1-44

既刊目録に見られる八田家文書群の階層構造一覧

凡 例：大＝大項目、中＝中項目、小＝小項目、小々＝小々項目とする。

大	中	小	小々	その1	その2	その3	その4	その5	その6	その7	その8	その9	その10	その11	その12	その13	その14	その15	その16
01	内方(御茶之間)			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	上
	01	系図・親類書		1	2				6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	上
		01	由緒		2				6	8			10				14		上
		02	扶持方請取		2														15
	02	相続／家督／隠居		1	2				6	8				11	12		14		上
	03	家訓・規定		1	2				6	8				11					15
		01	条目・遺言		1						8				11				15
		02	東条村養父運右衛門殺害候八十吉磔罪一件								8								
		03	勝手向取締(家政立て直し)		1	2													15
		04	役代調印規定		1														
		05	帳簿口立規定		1														
		06	店入足規定(奉公人規定)		1														上
		07	帳面仕立方			2													
		08	元方・勘定一式			2													
	04	人別改		1															15
	05	家族・奉公人(別家・日傭)		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	上
		01	鉄之助内室出産				4												
		02	市兵衛意見書				4												
		03	増田徳左衛門家勝手向き立て直し								8					13	14		
		04	本家勝手向立直し									9							上
		05	婚姻											11	12	13	14	15	上
		06	鉄之助(嫡子)							8				11			14		上
		07	大瀬登へ養女縁組						8										
		08	鉄治郎松村家養子入り							8					12				上
		09	嘉永7年江戸表鉄治郎離縁一条書類綴／鉄治郎不行跡							8					11				15
		10	鉄治郎金井家養子入り							8					11	12	13		上
		11	辰三郎引き取り							8					11				
		12	八田喜兵衛(一件)										9		11		13	14	上
		13	人名・年齢書上				4										13	14	15
		14	儀礼					5											
		15	役代					5											15
		16	店入別規定(奉公人規定)			2													
		17	奉公人請状										9						
		18	奉公人勤向			2						8	9	10	11	12			15
		19	奉公人給金(不払一件／出入)			2	3					8			11			14	上
		20	貸付金								8								上
		21	送金													12			15
		22	八田鉄之助前髪剃												10				
		23	八田辰三郎														13		
		24	改名																15
		25	書状その他													11	12		上
		26	娘奉公上り																上
	06	親類				3									11	12	13	14	上
		01	増田徳左衛門家勝手向立て直し				3												上
		02	親類不埒示談仲介				3												
		03	八田本之進跡目(申立入用書類)													11			上
		04	柿崎源左衛門一件													12			
		05	書状												11	12		14	上
		06	師岡七郎右衛門縁組														13		
		07	甲州八代郡八田村八田新太郎														13		
		08	その他													11	12	14	上
	07	田村半右衛門書状綴				4													
	08	家政						5								12		14	上
	09	藩への上納金・才覚金				4	5			7	8	9	10	11	12	13	14		上
	10	藩関係								7	8	9		11	12		14	15	上
		01	御目見(御入・拝領)							7		9		11	12		14		上
		02	救恤							7									
		03	勤務										9		11	12		14	15
		04	献上										9						上
		05	藩士との交際									9		11	12		14		上
		06	藩士への縁組への助力									9							
		07	藩主相撲上覧一件									9							
		08	他藩ほかの情報									9							
		09	樋口民衛													12			
		10	諸伺・諸届													12		14	
		11	書状													12		14	
		12	苗字帯刀																15
		13	秩禄																15
		14	藩政																上

大	中	小	小々	その1	その2	その3	その4	その5	その6	その7	その8	その9	その10	その11	その12	その13	その14	その15	その16
			15 その他							7				11	12				
	11	町関係								7								14	
			01 立入人							7									
			02 上水関係							7									
	12	給人格取立・扶持加増					4	5			8					13	14		上
	13	土地経営(所有地経営)		1	2	3			6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	上
			01 持地	1					6	8	9	10				13		15	上
			02 借家(借地経営)						6			9	10	11	12	13		15	上
			03 江戸屋敷						6										上
			04 持地・抱屋敷絵図	1										11	12		14	15	上
			05 抱屋敷肝煎用留	1															上
			06 買取・質取	1					6		8	9		11	12		14		上
			07 売渡	1								9		11	12		14		上
			08 田畑見廻	1															上
			09 田地譲渡						6							13			上
			10 家賃(・小作年貢)取立	1	2									11			14		上
			11 小作年貢滞納出入	1	2														上
			12 小作方日記	1															上
			13 年貢諸役上納	1							8		10	11	12		14	15	上
			01 年貢・小役勤定目録等																上
			02 御飯米一紙目録等																上
			03 配符など																上
			04 明治初年ほか																上
			14 米・桑売渡	1							8						14		上
			15 家屋敷建築		2								10					15	上
			16 下屋敷		2				6				10	11				15	上
			17 抱屋敷(引請)		2					8									上
			18 抱屋敷普請		2														上
			19 手作地		2														上
			20 田地譲渡取調		2														上
			21 質地証文・借用証文				4(小々々)												上
			22 所持地年貢目録綴										9						上
			23 所持地石高取調										9						上
			24 土地絵図										9		12			15	上
			25 小作				4(小々々)		6		8		10			13		15	上
			26 土口村(小作)		2						8	9					14		上
			27 矢代村(小作)		2					7	8	9	10	11			14	15	上
			28 生管村小作		2														上
			29 長岡助右衛門小作		2														上
			30 古川敷小作		2														上
			31 東寺尾村新堰		2														上
			32 居屋敷・土蔵			3					8				12				上
			33 自作・小作貸出			3													上
			34 質入						6										上
			35 根津村								8			11					上
			36 小作米日延								8								上
			37 赤倉温泉								8		10					15	上
			38 鹿沢温泉・山野湯温泉								8						14		上
			39 取米(正徳米)												12				上
			40 御安口堤土手								8								上
			41 井上村								8								上
			42 東寺尾村								8	9			12		14	15	上
			43 西寺尾村								8	9							上
			44 沓野村								8								上
			45 上徳間村								8								上
			46 皆神山								8	9	10						上
			47 牧内村								8	9					14		上
			48 田野口村							7	8								上
			49 後町							7									上
			50 清野村							7		9			12				上
			51 東条村							7		9		11	12				上
			52 平林村							7	8	9			12				上
			53 赤岩村									9							上
			54 田中村									9							上
			55 河原新田									9			12				上
			56 浦新田									9							上
			57 木町									9							上
			58 西条村									9	10	11					上
			59 岩野村新田									9							上
			60 会村									9							上
			61 東荒町村									9							上
			62 中条村									9		11					上
			63 荒町村									9							上
			64 御安口村									9							上

大	中	小	小々	その1	その2	その3	その4	その5	その6	その7	その8	その9	その10	その11	その12	その13	その14	その15	その16	
		65	新御安口村									9								
		66	荒町									9	10	11					上	
		67	浄行寺									9								
		68	綾光寺							7				11						
		69	地券								8									
		70	所持地年貢皆済明細勘定書綴										10							
		71	山林														14			
		72	堤普請														14			
		73	その他							7			10	11						
	14		小作年貢滞出入一件			2			6(中)					11				15	上	
		01	岩村田小作年貢滞一件			2														
		02	飯山小作年貢滞一件			2														
		03	田野口村小作年貢滞一件			2													上	
		04	中野質地一件			2								11				15	上	
		05	赤倉湯一件			2														
		06	その他											11						
	15		材木方		1	2			6		8			11					上	
	16		通船方		1	2					8			11						
	17		金融		1	2	3		5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	上
		01	借入金・預り金		1		3		5	6		8	9	10	11	12		14	15	上
			01 松代藩御用達金預り運用				3													
		02	貸付金		1	2	3		5	6		8	9	10	11	12	13	14	15	上
		03	他家借財片付		1					6					11					上
		04	無尽		1	2	3(中)		5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	上
		05	預り金利払			2							10		12					
		06	貸付金調			2														
		07	貸付金返済滞り			2										12		14		
		08	広田筑後・岩出六右衛門無尽一条			2									11					
		09	皆神山無尽			2														
		10	家中侍借財勝手向立直し			2				6						12				
		11	質地(・借金)					5										14		
		12	飯山藩・岩村田藩領(小作年貢滞一件)					5							11		13			
		13	伊勢山田御師広田筑後一件					5			8				11	12	13	14	15	上
		14	貸借金							7				10	11	12		14		
		15	宿方式割増御手充積金								8									
		16	余計金上納								8									
		17	下屋敷御助成金								8									
		18	拝借米								8					12	13			
		19	高遠へ御貸金取立方一件											10		12				上
		20	八田家私底一件													12				
		21	その他													12				
	18		飯山領							7	8(小)	9	10	11	12	13	14			上
		01	無尽							7		9		11	12		14			上
		02	訴訟							7				11	12		14			上
		03	貸付金									9		11		13	14			
		04	質地									9		11						上
		05	本多豊後守婚礼											10						
		06	本多豊後守松代城下止宿関係綴											10		13				
		07	芝津村斧右衛門借財片付方一件											10						
		08	音信													12		14		上
		09	藩御用(年貢糶払)													12		14		
		10	小作																	上
	19		上田領									9								
	20		岩村田領							7	8(小)	9	10	11	12	13	14	15		上
		01	御勝手御用									9						14		上
		02	仕送金									9						14		上
		03	地所改									9								
		04	小作									9				12				上
		05	貸付金									9			11	12	13	14	15	上
		06	無尽											10		12	13	14		上
		07	訴訟											10	11			14	15	上
		08	岩村田差引方調書類綴											10						
		09	岩村田村法華堂差引勘定一件											10						
		10	内藤豊後守大番頭就任														13			
		11	音信																14	
		12	その他												11	12				
	21		田野口領									9	10							
	22		埴科郡下戸倉村(篝領)									9								
	23		小県郡根津(旗本知行所)									9								
	24		赤倉温泉									9			11	12				上
	25		出張			1	2								11	12				上
	26		金銭・穀物請払			1	2		5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	上
		01	店方江下ケ金・上納金／複数機能に関わる勘定			1	2					8							15	上

大	中	小	小々	その1	その2	その3	その4	その5	その6	その7	その8	その9	その10	その11	その12	その13	その14	その15	その16	
		02	金銭請取	1	2									11		13	14		上	
		03	暮方見積	1																
		04	入用	1						8						13		15		
		05	買物方日記	1																
		06	金銭出入帳(金銭請払帳)	1																
		07	金銭差引(金銭差引帳)	1						8		10	11							
		08	穀物・諸品請払	1			4(中)			8	9	10	11			13	14	15	上	
		09	金銭穀物請払取調勘定	1																
		10	請払勘定覚		2															
		11	木町伊勢町差引帳		2											13				
		12	金銭払方		2				6					11	12		14		上	
		13	雑穀		2															
		14	売掛金滞		2														上	
		15	金銭勘定						6						12	13	14	15	上	
		16	普請						6			9		11	12				上	
		17	近代税金領収書								8								15	
		18	近代諸領収書								8									
		19	小切手								8									
		20	株券(・公債)							8				11						
		21	両替													12				
		22	その他											11	12	13				
27	賄			1	2			5	6					11	12		14		上	
		01	賄穀物請払	1										11						
		02	入用	1										11						
		03	勝手方日記・控帳	1																
		04	御膳日記	1																
		05	諸品通帳(家計)		2									11						
		06	諸品請払						6					11	12		14		上	
		07	献立											11	12				上	
		08	移送												12		14			
28	勝手向					3				8		10	11				14	15	上	
		01	勝手向立て直し			3				8		10						15	上	
		02	勝手向取極・諸入用			3														
		03	金銭出入帳			3														
		04	家事内尋																上	
29	棚卸			1	2															
30	家計取調											9								
31	日記・控留			1	2														上	
		01	被仰付書・願書控留	1																
		02	状留	1																
		03	茶之間日記・元方日記・役代日記他	1															上	
		04	万書留帳	1																
		05	手控	1	2														上	
		06	殿様湧泉亭御入一条		2															
32	儀礼(家族)			1	2	3			6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	上	
		01	為知帳	1	2															
		02	赤飯配	1	2															
		03	出生／節句									9				13	14	15		
		04	元服(・成人)									9		11	12		14	15	上	
		05	献上(・進物)	1		3				8								15	上	
		06	献上・寄付						6											
		07	来訪(人名面帳)	1													14			
		08	到来物	1	2	3									12					
		09	贈答覚帳(贈答)	1						7										
		10	贈答・進物								9		11	12	13	14	15	上		
		11	婚姻・離縁	1	2				6	7		9	10	11		13	14	15	上	
		12	葬儀・法事	1	2				6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	上	
		13	先祖供養									9		11			14		上	
		14	大福帳(諸儀礼覚帳)	1																
		15	年中行事(帳)	1									10	11						
		16	宴会	1							8		10				13	14		
		17	引越為知		2											13		15		
		18	祝儀(入料)		2														上	
		19	書状[儀礼の書状]				3			6			10	11						
		20	中島三右衛門書状								8									
		21	目録・目録包紙一括								8									
		22	年賀状(・暑中見舞・寒中見舞)														13	14	15	上
		23	御目見・代替・就任挨拶・許可／加増														13	14	15	
		24	見舞													13		15	上	
		25	御礼															15	上	
33	旅			1									10	11	12		14	15	上	
		01	社寺参詣(寺社参詣)	1									10		12		14	15	上	
		02	入湯	1									10				14		上	
		03	経費															14		

大	中	小	小々	その1	その2	その3	その4	その5	その6	その7	その8	その9	その10	その11	その12	その13	その14	その15	その16
34	寺社(寺社奉加)			1	2			5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	上
	01 寺社奉加				2										12	13	14		上
	02 浄福寺借財関係											9	10						
	03 浄福寺(無尽一件)													11			14		
	04 浄福寺祠堂金貸付一件											9							
	05 菩提寺浄福寺(一件)				2				6	7	8		10	11	12		14	15	上
	06 松代大林寺										8			11	12	13		15	上
	07 松代清瀧山観音堂										8					13			
	08 松代証蓮寺										8				12				
	09 湯田中梅翁寺										8								
	10 高野山明泉院										8					13	14		上
	11 松代興善寺										8								
	12 松代離山神社										8								上
	13 埴科郡倉科村福昌寺												10						
	14 和合院														12		14	15	上
	15 戸隠山善法院														12				上
	16 江戸										8			11				15	上
	17 松代練光寺															13	14		
	18 松代福德寺															13			
	19 白鳥宮															13			
	20 海野宿奥善寺																	14	
	21 良性院																	14	上
	22 諸寺社																	14	上
	23 水銭																	14	
	24 諏訪宮																		15
	25 高野山蓮華定院																		15
	26 尾張																		15
	27 願行寺																		上
	28 本誓寺																		上
	29 長国寺																		上
	30 その他								7	8	9	10	11	12					
35	家財			1	2	3					8			11	12	13	14	15	上
	01 武器/武具			1	2						8			11	12		14	15	上
	02 (衣類・)諸道具・書画ほか			1	2						8			11	12		14	15	上
	03 武具・印章等注文					3									12	13		15	
	04 茶道具等売払					3													
	05 諸道具貸出					3									12	13	14	15	上
36	運送														12				
	01 荷札														12				
37	投資									7									
	01 松代貯積銀行									7									
38	蔵書(・読書)			1		3			6					11	12				上
39	見聞・風説書			1	2	3			6		8		10	11	12	13	14	15	上
40	アメリカ船渡来情報収集						4												
41	外交・軍事情報							5			8								上
42	諸情報														12		14		上
43	諸芸/文化的活動			1	2	3			6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	上
	01 武芸・文芸			1	2		5(中)				8		10	11	12	13	14	15	上
	02 茶の湯			1	2						8	9	11	12	13	14	15	上	
	03 学芸					3									12		14	15	上
	04 能					3												15	上
	05 柔術					3							11					15	上
	06 水術					3												15	
	07 松明製法					3													
	08 手習									8				11		13	14	15	上
	09 占い(・観相)											9		11		13		15	上
	10 泰全様御在命中山口専始斉先生より御伝達書類綴												10						
	11 俳句・和歌																13	14	15
	12 将棋															13			
	13 歴史																		上
	14 佐久間家稽古所																		上
	15 その他													11	12				上
44	学校			1		3			6		8								
	01 試験問題					3													
	02 教科書										8								
45	証書				1														
	01 生系改会社証記簿				1														
	02 横浜正金銀行創立証書				1														
46	養蚕					3													
47	信心					3								11		13			
48	諸家交流														12		14		上
	01 音信														12		14		上
	02 礼状														12		14		上
	03 贈答物														12				

大	中	小	小々	その1	その2	その3	その4	その5	その6	その7	その8	その9	その10	その11	その12	その13	その14	その15	その16
			04	依頼											12				
49	書状類						5		7				10	11	12		14		
			01	嘉永6年12月中到来書状綴											11				
			02	嘉永7年正月より到来書簡											11				
			03	嘉永7年3月よりの到来書簡											11				
			04	嘉永7年4月よりの到来書簡											11				
			05	安政2年10月よりの来状											11				
			06	安政2年11月中よりの書簡綴											11				
			07	安政2年12月よりの来簡											11				
			08	安政3年6月よりの来簡											11				
			09	安政3年7月よりの来簡											11				
			10	安政3年11月中より来状											11				
			11	安政3年12月書簡綴											11				
			12	安政4年4月中より到来の書簡											11				
			13	安政4年7月よりの来状											11				
			14	安政4年10月中より到来の要用書簡											11				
			15	安政5年正月より到来書簡											11				
			16	年代不明の袋											11				
			17	依田市右衛門関係												12		14	
			18	相談															14
			19	経営															14
			20	依頼															14
			21	連絡															14
			22	封紙のみ															14
			23	その他											11	12			
50	諸書類						5				8	9	10	11	12				14
			01	大瀬弥門縁付関係綴							8								
			02	京平岡入日記							8								
			03	雑用書類							8								
			04	岩村田上向筋調帳面綴							8								
			05	文政5年御出張付入用書類							8								
			06	当用書帖							8								
			07	天保7年御向來状綴							8								
			08	嘉永5年中到来の要用書状綴							8								
			09	嘉永7年3月より品々差引書抜							8								
			10	安政2年6月よりの要用来簡綴							8								
			11	安政3年8月以降来簡綴							8								
			12	安政3年～文久元年要用の書類綴							8								
			13	安政4年7月中到来書簡							8								
			14	安政4年11月中到来書簡							8								
			15	紀元2533年6月中よりの来章綴							8								
			16	巳年京都入綴							8								
			17	明治10年2月用書類綴							8								
			18	善光寺一件							8								
			19	澤守禮ほか印書関係															14
			20	安政3丙辰年正月の中よりの参簡											9				
			21	依田市右衛門関係											9				
			22	諸方到来之文通											9				
			23	天保8年正月の中よりの来簡綴															10
			24	天保11子年切手関係綴															10
			25	嘉永5子年10月取調要用書状綴															10
			26	嘉永7年入用の書類綴															10
			27	安政3丙辰年12月晦日より到来書状綴															10
			28	安政4年正月下旬よりの到来要用書状綴															10
			29	安政4年3月中よりの到来要用書簡綴															10
			30	安政6年4月よりの来簡綴															10
			31	安政7年正月よりの来簡綴															10
			32	文久元年5月～10月までの来簡綴															10
			33	文久元年10月～12月の来簡綴															10
			34	慶応2年9月中よりの書類綴															10
			35	慶応2年11月中よりの来簡綴															10
			36	慶応3年正月よりの来書簡綴															10
			37	慶応3年4月中よりの来状綴															10
			38	慶応3年8月よりの来簡綴															10
			39	慶応4年2月～9月まで来簡一綴															10
			40	明治2年3月より10月までの来簡綴															10
			41	明治4年正月の中よりの来簡綴															10
			42	明治5年5月よりの来簡綴															10
			43	明治5年10月よりの来簡綴															10
			44	明治5年10月中よりの書状綴															10
			45	西2月中来簡関係綴															10
			46	西3月中諸方御到来状并諸向差出書類綴															10
			47	西4月中諸方より到来状并申立書類綴															10
			48	西5月中諸方御到来書帖及び書取類の綴															10

大	中	小	小々	その1	その2	その3	その4	その5	その6	その7	その8	その9	その10	その11	その12	その13	その14	その15	その16	
			49	西6月中諸方よりの到来状・雑書等綴										10						
			50	酉極月中諸方到来状綴										10						
			51	10月中入用書類綴										10						
			52	松代表より到来書状及び入用書状の綴										10						
			53	弘化年間金銭書上書類綴											11					
			54	書出品々入綴											11					
			55	諸色代金書上一括											11					
			56	不用書類											11					
			57	その他												12		14		
			51	吹直金銀引替										10				14		
			52	泰全院一代一巻綴										10						
			53	その他																
02	店方				1							9	10	11						
	01	酒造方(酒蔵・酒店)			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	
		01	酒株・酒造高書上／酒造株高		1		3	4	5						11					
		02	酒造鑑札		1								9	11					15	
		03	内方より拝借米金・上納金		1								9						15	
		04	酒造入用		1								9						15	
		05	酒蔵より酒店出酒		1															
		06	売渡		1		3													
		07	金銀出入帳		1															
		08	取替(立替)		1															
		09	棚卸		1	2							9						15	
		10	酒蔵・酒道具貸付		1	2														
		11	諸控留		1	2														
		12	蔵書		1															
		13	酒蔵・酒店勘定			2					8		10	11				14	15	
		14	酒売掛帳			2														
		15	酒蔵普請			2														
		16	水油			2														
		17	質地証文					4												
		18	酒株・鑑札						6		8									
		19	仕法						6		8			11	12					
		20	酒造高								8		10	11						
		21	酒造米(貸付)								8							14		
		22	奉公人(使用人)						6		8			11					15	
		23	手充						6											
		24	諸品請払						6											
		25	借入金						6		8	9								
		26	一件						6											
		27	道具調						6										15	
		28	書状						6						11	12				
		29	褒賞								8									
		30	酒造関係綴								8		10	11						
		31	酒造関係重要古書類										9							
		32	藩関係											11	12					
		33	借地																15	
		34	普請																15	
02	呉服店				1	2			5		7	8			11		13	14	15	
		01	売買		1							8			11				15	
		02	御会符荷物		1															
		03	棚卸		1															
		04	控留		1															
		05	呉服仕入勘定			2														
		06	古着			2														
		07	その他												11					
03	油店				1	2				6		8				12		14	15	
		01	内方より拝借金・上納金		1															
		02	金銭請払		1														15	
		03	棚卸		1											12				
		04	油・醬油			2														
		05	奉公人(使用人)									8				12				
04	醬油店(松井店)				1	2	3			6	7	8	9			11			14	15
		01	内方より拝借金・上納金		1															15
		02	仕入		1															
		03	売渡		1															
		04	売買差引勘定		1														11	
		05	入用		1								9		11					
		06	取替(立替)		1															
		07	棚卸		1							8								
		08	道具調		1															
		09	越後赤倉松井店		1						7									
		10	店立て直し				3					8								
		11	他店立て直し										9							

大	中	小	小々	その1	その2	その3	その4	その5	その6	その7	その8	その9	その10	その11	その12	その13	その14	その15	その16
		12	藩御用			3								11					
	06	質店		1	2			6		8				11		13		15	
		01	内方より拝借金・上納金	1														15	
		02	入用	1														15	
		03	取替(立替)	1														15	
		04	棚卸	1															
		05	控留	1															
	07	角店・酒店												11					
	08	陶器方			2	3	4												15
	09	甘草方					4									12			
	10	諸勘定						5											
	11	諸情報													12				
	12	赤倉松井店															13	14	15
	13	その他		1										11					
03	町方	町年寄		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	
	01	控留		1							8		10						
		01	高札・条目写控	1							8		10						
		02	町年寄用留	1			4												
	02	触留						5									13		
	03	宗門改						5			8	9	10	11	12	13			
	04	諸役・貢税		1							8				12		14	15	
		01	家数・町役書上	1							8								
		02	伝馬役	1							8				12				
		03	巡見本陣役	1							8				12				
		04	明治期貢税取調	1														14	
		05	御用金								8								
		06	年貢諸役												12			15	
	05	殿様御用		1					6		8		10	11	12	13		15	
		01	殿様帰城出迎	1															
		02	殿様御入接待	1									10	11					15
		03	殿様御巡見												12				15
	06	救済		1							8			11	12	13		15	
		01	飢饉	1							8			11	12	13			
		02	火災・水害	1							8			11	12				
		03	御買上米												12				
		04	手当・施行												12				15
	07	講		1											12			14	
		01	町内無尽講	1											12				
		02	恵比寿講	1											12				
	08	町会所			2														
	09	穀行司			2														
	10	御巡見様入用			2												13		
	11	大庄屋			2														
	12	触書写控					3							11				14	
	13	転切支丹類族改					3												
	14	殿様御入					3			8									
	15	飢饉時米調達					3												
	16	町政／一件							6	7	8	9	10	11	12			14	15
	17	御取締							6										
	18	御巡見様御用							6		8				12				
	19	貸借							6		8								15
	20	社倉							6						12				
	21	町内無尽							6										
	22	祭礼									8			11				14	15
	23	相場									8								
	24	町役金									8					12			
	25	酒造													12				
	26	水道方																13	
04	松代	藩御用		1	2	3			6		8	9	10	11	12	13	14	15	
		01	年貢諸役取立請負・御用米金調達	1	2						8		10	11		13		15	
		02	御勝手御用役	1		3								11				15	
		01	月番表	1															
		02	用留・日記	1															
		03	融通金	1															
		04	役人任免・俸禄																15
		05	褒賞																15
	03	産物御用掛		1		3	4				8			11	12				
		01	用留	1															
		02	産物取立無尽	1		3									12				
		03	国産方入用	1															
		04	産物御用掛任命			3	4												
		05	藩より拝借金			3													
	04	手控		1															
	05	御用達金預り運用				3					8								

大	中	小	小々	その1	その2	その3	その4	その5	その6	その7	その8	その9	その10	その11	その12	その13	その14	その15	その16
06	産物売捌方問屋					3													
	01	褒賞				3													
07	川船会所					3					8	9	10	11	12	13	14	15	
	01	通船免許				3					8	9	10			13	14	15	
	02	通船貸下				3													
	03	通船取締				3													
	04	会所世話料				3													
	05	金子・田畑屋敷貸下				3					8					13		15	
	06	冥加金				3													
	07	飯山一件										9						14	
	08	中野一件										9						14	
	09	貸付金										9							
	10	諸書類綴									8								
	11	殿様田植見物															13		
08	接待用諸道具貸出					3													
09	御用金・御用米／御用米納入								6			9		11					
10	江戸運送								6										
11	人足								6										
12	漬物御用										8								
13	荷物札差認方										8								
14	巡見使接待											9						14	
15	分量金												9						
16	荷物差札認方											9							
17	融通米世話													10				14	
18	椀類挽物問屋													10				14	
19	飛脚会所														11			14	
05	会所・商社／糸会		1(中)	2	3	4	5			8	9		11	12	13	14	15		
	01	藩より拝借金品	1(小)		3														
	02	諸方より預り金・借入金	1(小)		3										12				
	03	会所貸下金	1(小)		3									11	12				15
	04	借入金・預り金・貸付金				4	5							11					
	05	繭中買入仲間・糸元師仲間／繭仲買	1(小)											11					
	06	糸元師への鑑札給付				4													
	07	糸元師不正取り締まり				4													
	08	糸元師の統制					5												
	09	袖市統制					4								11				
	10	袖中買入仲間	1(小)									9							
	11	糸売買	1(小)											11		13			
	12	買物帳	1(小)																
	13	取替(立替)	1(小)																
	14	金銀請払	1(小)																
	15	日記・用留	1(小)																
	16	御内用荷	1(小)																
	17	糸会所締掛任命				3													
	18	糸元師				3													
	19	細類売捌				3													
	20	上州売り捌き					4			8									
	21	紡会所			2														
	22	木綿行司			2														
	23	諸書類(綴)					4								11				
06	会所・商社／産物会所		1(中)		3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15		
	01	触順	1(小)																
	02	拝借金						6				9		11	12	13	14		
	03	藩より拝借金(上納金)	1(小)		3	4	5							11					
	04	会所江献上金	1(小)																
	05	会所貸下金	1(小)		3					8	9			11		13	14	15	
	06	会所より貸下げ品・拝借金				4	5							11					
		01	蚕種紙			4													
		02	拝借金			4								11					
		03	諸品			4													
	07	産物改	1(小)																
	08	出役	1(小)																
	09	鑑札渡	1(小)																
	10	産物会所鑑札名面			2														
	11	冥加金(取立)	1(小)		2							9		11	12		14	15	
	12	絹細類買入	1(小)																
	13	絹細類売捌	1(小)											11	12			15	
	14	絹細類貸下	1(小)																
	15	甘草・杏仁大坂取引	1(小)												12				
	16	駄送／江戸への荷物運送駄賃・取引	1(小)					5	6		8			11		13		15	
	17	麻・木綿売買	1(小)							8									
	18	蚕種・生糸売買	1(小)															14	
	19	入用	1(小)		2										12			15	
		01	諸入用													12			

大	中	小	小々	その1	その2	その3	その4	その5	その6	その7	その8	その9	その10	その11	その12	その13	その14	その15	その16	
	20	金銭請払		1(小)							8			11	12					
	21	金銭請払取調勘定		1(小)										11			14			
	22	棚卸		1(小)																
	23	日記・用留		1(小)															15	
	24	褒賞		1(小)								9				13	14			
	25	過料		1(小)																
	26	産物助成講		1(小)							8									
	27	道具帳		1(小)																
	28	蔵書		1(小)																
	29	会所役人心得方・取計方条々					3							11				15		
	30	藩江献上金					3													
	31	藩入用品調達					3													
	32	諸方より預り金					3	4			8									
	33	産物会所仕入金融通				2														
	34	産物無尽				2												14	15	
	35	産業統制					3	4	5		8		10	11	12	13	14	15		
		01	市役金・店口銭				3													
			01 糸市役金				3													
			02 店口銭				3													
		02	絹紬・木綿布・麻布等他製品商売禁制				3													
		03	諸国より城下入込商人改				3				8									
		04	行司				3							11		13				
		05	産物改				3													
			01 木綿改所				3													
			02 縮緬改				3													
			03 産物会所并取締役				3													
		06	鑑札				3		5					11	12	13		15		
			01 領産取締				3													
			02 絹紬仲買鑑札				3	4												
			03 繭仲買・蚕種商売・糸繭買・唐糸師等の鑑札				3	4	5											
			04 蚕種・生糸鑑札				3	4												
			05 木綿商買・木綿布仲買鑑札				3													
			06 杏干仁商売鑑札				3	4												
			07 甘草仲買鑑札				3	4												
			08 天秤振商売(香具)鑑札				3	4	5											
			09 煙草鑑札				3													
			10 楮商人荷宿并鑑札				3	4	5											
		07	糸商売免許				3													
		08	冥加金				3					9(中)			12					
			01 絹紬仲買冥加金				3	4												
			02 繭仲買冥加金				3	4												
			03 唐糸師冥加金				3													
			04 木綿師冥加金				3													
			05 品々冥加金				3													
		09	陶器竈場				3		5	6							14	15		
		10	桑畑				3													
		11	縮緬製造				3													
		12	関係書類綴							5										
		13	蚕種・絹紬							4	5		8				13	14	15	
			01 紬売り代金書上							4	5									
			02 隠糸挽							4	5									
			03 触留								5									
			04 仕法替え								5									
			05 糸繭取引								5									
			06 紬ほか売り代金書上								5									
			07 荷札								5									
			08 冥加金							4										
		14	甘草							4			8		11	12			15	
			01 取締筋							4										
			02 植え付け							4										
			03 鑑札							4										
		15	杏仁							4			8	9(中)	10	11	12		14	15
			01 買入札							4									14	
			02 惣勘定							4										
			03 「杏仁御買上二付入用之雑書類入」							4										
			04 諸書類綴							4					10					
			05 書状													12				
		16	杏仁・甘草				2(中)			4	5						13			
		17	楮							4					11					
		18	天秤振							4										
		19	蚊帳							4										
		20	明礬							4	5									
		21	白粉							4										
		22	硫黄							4			8							

大	中	小	小々	その1	その2	その3	その4	その5	その6	その7	その8	その9	その10	その11	その12	その13	その14	その15	その16
		23	木綿				4	5			8								15
		24	麻					5											
		25	葉草						6								14		
		26	銅山						6										
		27	諸品				4							11					
		28	規定																15
		29	その他				4												
			01 鑑札給付				4												
			02 鑑札制作				4												
	36		絹紬類売買				3												
		01	絹紬類織立				3												
		02	絹紬類買上				3												
		03	絹紬類売捌				3												
			01 絹紬類専売仕法替				3												
			02 上州吹屋村一件				3												
		04	絹紬類買下				3												
	37		葉藍		2									11					
	38		陶器甕		2									11					
	39		大坂交易			3	4	5	6		8	10	11		13	14	15		
		01	嘉永期甘草・杏仁等大坂売捌仕法			3	4	5			8	10			13				
			01 大坂交易関係文書書留			3													
			02 甘草相場下落			3													
			03 炭屋孫七手許不繰合一件			3													
			04 大坂表無心一件			3													
			05 御用場							8									
		02	西国産物買入／西国産諸品買上げ			3	4							11		13			
		03	安政期杏仁大坂売捌仕法／杏仁売捌			3	4	5						11					
			01 杏仁買上			3													
			02 杏仁大坂試捌			3													
		04	維新时期京坂交易			3													
		05	北国への荷物運送駄賃・取引				4	5					10						
		06	炭屋孫七割済金関係				4												
		07	炭屋彦五郎からの預り金				4												
		08	炭屋孫七関係書状など綴				4	5					10	11					
		09	諸仕切状綴				4												
		10	年賀状・暑中見舞・寒中見舞														13		
		11	その他				4							11					
	40		大坂にて金子調達		2									11					
	41		京都での取引				4	5	6					11	12				
	42		横浜での取引				4							11					
			01 才覚金徴集				4												
			02 横浜交易取扱所				4												
	43		近郷での取引				4	5											15
	44		江戸での取引				4	5			8		10	11		13	14	15	
			01 諸品				4	5											14
			02 売捌代金滞り				4	5			8								14
			03 荷物送り状				4												
			04 取引					5			8		10						
	45		松前での取引													13			15
	46		その他地域での取引					5											
	47		麻(・木綿)売買			3									12				14
			01 麻売買			3													14
			02 木綿売買			3													
			03 繰綿												12				
	48		明礬江戸送り			3													14
	49		蚕種・生糸改井外国交易			3													
	50		検断・調停			3													
			01 不実商い吟味			3													
			02 商い出入調停			3													
	51		入用			3								11					15
			01 諸入用			3													
			02 会所普請・作事入用			3								11					
	52		勘定			3			6										
	53		会所運営(・賄い領収書)				4	5						11	12			14	15
			01 近代産物会所領収書綴				4												
			02 御用米世話料				4												
			03 荷物駄賃				4								12				
			04 諸品				4							11					
			05 通船川岸端地所売り渡し				4												
			06 役人任免・俸禄					5						11	12				
			07 用地取得					5							12				
			08 賄い領収書					5						11					14
			09 相場情報					5											
			10 会所締方												12				

大	中	小	小々	その1	その2	その3	その4	その5	その6	その7	その8	その9	その10	その11	その12	その13	その14	その15	その16
			11 諸勘定												12				
	54	産物会所手控			2														
	55	産物会所勤人別			2														
	56	産物会所仲間給金			2														
	57	川船会所					4	5						11			14		
		01 貸付金					4												
		02 廻送荷物の改め					4												
		03 船手の者の願書受付					4												
		04 川船会所への地所売り渡し					4												
		05 小作証文					4												
		06 その他					4												
	58	藩内地域の産物会所				4	5												
		01 力石村				4													
		02 内川村				4													
		03 向八幡村				4													
	59	役人任免・俸禄				4				8				11					15
	60	一件							6										
	61	諸書類綴				3	4	5	6				8	10					
		01 東京より来状綴											8						
		02 産物方用事書状											8						
	62	用状				3								11	12			14	
	63	関田家文書													12				
	64	その他				3									11	12			
07	会所・商社/松代商法社		1(中)	3	4	5	6	7				9	10	11	12			14	
	01 商法社貸出金		1(小)																
	02 貸付金の貸与				4														
	03 蚕種・生糸売買		1(小)																
	04 商社手形・太政官札引換		1(小)																
	05 入用		1(小)																
	06 棚卸		1(小)																
	07 商社引払		1(小)																
	08 諸書類綴								6					10					
	09 商社				2														
	10 書状								6						12			14	
08	会所・商社来状一括											9		11					
09	長野県					3										12			
	01 勸業					3										12			
	01 蚕種・生糸交易					3										12			
10	松木家					3									11	12	13	14	15
	01 松代藩士																		14
	02 藩勤役														12				14
	01 御警衛方御番士																		14
	02 御吟味役																		14
	03 銃兵小隊長																		14
	04 役職不明																		14
	03 護国隊																		13
	04 砲術															13			15
	05 御賞典																		14
	06 教育職																		14
	01 教授																		14
	02 訓導																		14
	07 求職/上京																		14
	08 家経當																		14
	01 借金																		14
	02 貸付金・無尽																13		14
	03 株																		14
	04 金銭勘定																		14
	05 金銭授受																		14
	06 諸品請払														12				14
	07 土地・建物																		14
	08 その他																		14
	09 教育																		14
	01 手習																		14
	02 童宣																		14
	03 童隆																		14
	10 童隆徴兵																		13
	11 (松木家)家族																		13
	01 童正(源太郎・源八)																		14
	02 長(てふ・ちやう)																		14
	03 栄太郎																		14
	04 童宣																		14
	05 童隆																		14
	06 姉妹																		14
	07 作成者不明																		14

大	中	小	小々	その1	その2	その3	その4	その5	その6	その7	その8	その9	その10	その11	その12	その13	その14	その15	その16
	12	縁談														13	14		
	13	交際																	
	14	挨拶・連絡																	
	15	贈答																	
	16	依頼																	
	17	接待																	
	18	購入																	
	19	文芸														13	14		
	20	情報																	14
	21	寺社																	14
	22	書簡				3									11	12			
	23	その他													11				
11		副区長(第大区小区)							6										
12		第六十三国立銀行頭取							6	7	8								
	01	借用									8								
	02	預金									8								
13		電信切手売下所									8								
14		混合文書								7				9					
	01	内方・糸会所混合文書												9					
	02	内方・産物会所混合文書					4	5						9					
		01「有用之紙屑」					4												
		02 書状・領収書ほか一括					4	5											
		03 白紙・断簡						5											
16		内方・店方・産物会所混在文書							6										
17		その他				4			6	7	8	9		11	12	13	14		
	01	諸書類綴				4													14
	02	真田家郡方当番日記				4													
	03	不明									8			11	12	13			
	04	袋・包紙・こより等									8			11					
	05	白紙												11	12				
18		混入文書									8	9		11	12		14	15	
	01	信濃国佐久郡御馬寄村町田家文書									8			11	12				
		01 町田家									8			11					
		02 収集史料									8								
	02	信濃国高井郡東江部村山田庄左衛門家文書																	15
	03	下総国相馬郡藤代村飯田家文書									8								14
	04	下総国北相馬郡																	14
	05	出羽国村山郡山村山口家文書												11					
	06	陸奥国白河郡栃本村根本家文書												11	12				14
	07	甲斐国山梨郡下井尻村												11					
	08	不明									8								
19		欠番																	15

『信濃国埴科郡松代伊勢町八田家文書目録(その1～16上)』より作成。

その16は、上・下巻に分かれる為、本巻に該当する項目は「上」とした。

丸括弧やスラッシュで示した項目名は、類似の項目をまとめるための表現である。

例えば、「奉公人給金(不払一件/出入)」は、「奉公人給金」「奉公人給金不払一件」「奉公人給金出入」

という三種類の項目表現をまとめた表現であることを意味する。

史料目録 第118集

信濃国埴科郡松代伊勢町八田家文書目録（その16上）

印刷発行 令和6年3月31日

発行者 人間文化研究機構 国文学研究資料館

編集 学術資料事業部

〒190-0014

東京都立川市緑町10-3

電話 050-5533-2900（代）

印刷 株式会社トリッド

©人間文化研究機構 禁無断複写

（本目録は国文学研究資料館史料館の『史料館所蔵史料目録』（第78集まで発行）を継続しています。）

ISBN 978-4-87592-212-4

ISSN 2435-2055



9784875922124

ISBN 978-4-87592-212-4

ISSN 2435-2055